

---

デレク・プリンス

バイブルスクール

スタディガイド



---

**デレク・プリンス**

**デレク・プリンス**  
**バイブルスクール**  
**スタディガイド**

デレク・プリンス・ミニストリーズ

**デレク・プリンス バイブルスクール/スタディガイド**

Copyright © 2017 Derek Prince Ministries-International

発行者 : Derek Prince Ministries –Asia/Pacific

PO Box 2029, Christchurch, New Zealand 8140

admin@dpm.co.nz

製本 : Derek Prince Ministries

All rights reserved.

ISBN 978-93-82910-34-3

特に注記のない限り、日本語聖書訳は新改訳聖書第三版を引用しています。

本書の内容を発行者の許可なしに複製、複写、すべての電子機器類、またはインターネット上に掲載、保存することを禁じます。

カバーデザイン: DPM-アジア/パシフィック

## 目次

スタディガイドについて	6
スタディガイドの使い方	8
第 1 課 十字架のみわざ	10
「土台を据える」シリーズ 導入	17
第 2 課 「土台を据える」 第一回 岩の上に建てる	18
第 3 課 「土台を据える」 第二回 神のことばの権威と力	23
第 4 課 「土台を据える」 第三回 悔い改めから信仰へ	29
第 5 課 「土台を据える」 第四回 信仰と行ない	35
第 6 課 「土台を据える」 第五回 水に浸かる	42
第 7 課 「土台を据える」 第六回 聖霊に浸される	50
第 8 課 「土台を据える」 第七回 神の力を伝える	57
第 9 課 「土台を据える」 第八回 終末	63
第 10 課 「土台を据える」 第九回 死者の復活	69
第 11 課 「土台を据える」 第十回 永遠のさばき	75
「のろいからの解放」シリーズ 導入	82
第 12 課 「のろいからの解放」 パート 1	84
第 13 課 「のろいからの解放」 パート 2	92
「解放の基礎」シリーズ 導入	100
第 14 課 「解放の基礎」 第一回 敵の見分け方	101
第 15 課 「解放の基礎」 第二回 敵を吐き出す	109
「神のことば: 尽きることのない源」シリーズ 導入	118
第 16 課 「神のことば: 尽きることのない源」 パート 1	119
第 17 課 「神のことば: 尽きることのない源」 パート 2	128

「御霊の賜物を用いる」シリーズ 導入 .....	136
第 18 課 「御霊の賜物を用いる」 第一回 聖霊を受ける .....	137
第 19 課 「御霊の賜物を用いる」 第二回 解き明かしと預言 .....	146
第 20 課 「御霊の賜物を用いる」 第三回 力と啓示の賜物 .....	157
第 21 課 宣言の力 .....	171
第 22 課 感謝、賛美、礼拝 .....	182
第 23 課 血潮の適用 .....	196
第 24 課 いやしを妨げるもの .....	209
「私たちが直面する敵」シリーズ 導入 .....	218
第 25 課 「私たちが直面する敵」 第一回 サタンの王国の構造 .....	219
第 26 課 「私たちが直面する敵」 第二回 魔術の性質 .....	229
第 27 課 「私たちが直面する敵」 第三回 反キリストの霊 .....	236
第 28 課 「私たちが直面する敵」 第四回 教会の勝利 .....	246
第 29 課 2 つの収穫 .....	256
第 30 課 なぜイスラエル .....	265
設問の正解 .....	273
デレク・プリンスについて .....	309
DPM オフィス .....	310

デレク・プリンスのメッセージによるバイブルスクール

## スタディガイド

### スタディガイドについて

聖書は、人として造られた私たちへの神のことばです。それは、イエスにある救いの道を見だし、イエスを知り、ともに歩む方法を知るための「解説書」です。ですから、論理的に言うと、私たちクリスチャンにとっての大きなチャレンジは、神のことばを学ぶことにあります。そのためには、聖霊の助け、そして聖霊の油注ぎを受けた教師の助けが必要です。デレク・プリンスは、その油注ぎを受けた素晴らしい教師の一人です。

私たちはメッセージや教えを聞いてもすぐに忘れてしまい、残念なことに、聞いたことが私たちの日々の生活の中に反映されないことが多いのではないのでしょうか。メッセージを視聴することは私たちの助けとはなりますが、聞いたことを私たちが行ない、それが生活の一部となる時にのみ、そのメッセージが私たちにとって現実のもの、生きたものとなります。デレク・プリンスは自身の教えの中で繰り返し、このように言っています。「教育心理学の一般的原則によると、子どもは耳で聞くことの約40%を記憶し、視覚と聴覚によるものは約60%を記憶する。視覚と聴覚に加え、行なったことは80%残る。」

この「スタディガイド」は、聞いた真理を頭と心の中に植えつけ、私たちの生き方を変え始める、単なる知識以上のものとなるようにと願って作られました。デレクが自分のミニストリーの初期、主に約束したことがあります。それは、宗教的な教えを語らないということでした。自分の教えが実際的であるように、また、主が一人ひとりに示してくださることを、それぞれの生き方を見直す方法で応答できるように語りたいと願いました。ですから、より多くの時間と努力をこの学びに費やすことで、私たちはさらに真理を引き出すことができ、自分の生き方を形作ることができるようになるのです。それが、このスタディガイドの目的です。

これら30のメッセージは、人々からのデレクのミニストリーへの寛大な献金によって、デレク・プリンスのメッセージによるバイブル・スタディとしてまとめられたもの

です。現在翻訳中のものも含め、13の言語に翻訳し、それら13の言語圏に住む多くの人口に届いていくことを計画しています。最近、2言語が追加されました。近いうちに、さらに多くが追加されると信じています。より多くの人々にこの教えを届けることができるよう願うチームの熱心な働きにより、すでにヒンズー語、ネパール語、パキスタン語、中国語、モンゴル語、日本語、インドネシア語、中東、南米などの言語が翻訳されました。教えのインパクトがより大きなものとなるよう、編集者によってこれらのアウトラインの準備に多くの時間が割かれてきました。

私たちの動機は単純です。私たちは、デレクの教えは人生を変えると信じています。信仰によってこの教えが私たちの生活に適用される時、学んだ人々の神との関係がさらに深いものとなり、まさに充実したクリスチャン生活を歩むことができると信じます。

デレク・プリンス・バイブルスクール出版チーム

## スタディガイドの使い方

### 目的

バイブルスクールの付随マニュアルとして、このスタディガイドを用いることで、学ぶ人が教えをよりわかりやすくしっかりと吸収し、それぞれの生活に適用できることを願っています。このガイドの最終的な目的は、聖霊の力によって、聖書を通して人々と主との関係が深まるように助けることです。

各レッスンを終え、学んだことを振り返る時、自分がその教えの内容をしっかりとつかんでいることに気づくでしょう。これは、あなたが友人や教会の人々など、他の人にその内容を分かち合うときの助けともなります。学んだ真理を分かち合えば分かち合うほど、それらの真理はさらにあなたの人生の一部となり、あかしとなるでしょう。

### メッセージ

このバイブルスクールには、約1時間のメッセージが30回ありますので、スタディガイドの導入部分を読む時間、そしてデレクのメッセージを聞く時間、そしてスタディガイドに戻ってまとめを読み、空欄を埋める時間を考慮してください。そのプロセスには個人差はあるでしょうが、各レッスンに約2時間程度かかると考えた方がよいでしょう。

一つのシリーズに複数のメッセージがある場合は、最初のメッセージを聞く前にシリーズの導入がありますので、これから学ぼうとするテーマの全体的な概要を知ることができます。

### 推薦する手順

学びを進めていくうちに、自分に最善の方法を見つけると思いますが、一つお勧めしたいことは、スタディガイドを開き、メッセージを聞きながら空欄を埋めていくことです。本など、書かれたものを読みながら質問に回答していくことは、照らし合わせながらできるので、非常に単純なことです。メッセージを聞きながら質問の答えを正確に探し出すことは、あまり簡単なことではないので、集中する必要があります。

最初は、答えを見ないで空欄を埋めることが重要です。記憶から、あるいは文脈や関連する聖句から質問の答えを呼び起こす方が良いのです。答えを思い出せない時すぐに解答を見れば、学びを早く終えることはできるでしょうが、学ぶというプロセスを無視することになります。あなた自身のためにも、そのような用い方は避けましょう。

学びを終え、すべての空欄を埋めたら答え合わせをし、何問できたかを確認してください。これは、この学びを通してあなたの進歩と理解を知る助けとなります。そのあと、答えられなかった質問の答えを記入してください。

前に行なったレッスンを定期的に復習することは、すでに学んだ重要な真理を思い出す助けとなります。復習すればするほど、長く記憶に残ります。

## 学びのグループ

デレク・プリンスのメッセージとこのスタディガイドは、個人で学ぶだけでなく、グループでの学びにも最適です。その方法で、二人以上のグループで教材を学び、答えられなかった問題や内容を話し合うことができます。それは、豊かで素晴らしい経験となるでしょう。

## 第1課

# 十字架のみわざ

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

この「十字架のみわざ」というメッセージで、歴史の中で最も重要な瞬間であるイエス・キリストの十字架をデレクは紹介しています。I コリント 1:18 でパウロは、十字架は「滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。」と書いています。

デレクが第二次世界大戦中に北アフリカの砂漠の地で不治の皮膚病にかかっていた時、神は彼のために祈る人々のチームを遣わしてくださいました。そのチームの中に異言で語り、解き明かしの賜物がある人が語ったことをデレクには鮮明な記憶として残りました。それは、「カルバリのみわざを考えてみなさい。完全なみわざ、すべてにおいて完全で、すべての面において完全であった。」です。そのことばによってデレクは、十字架でのみわざを理解するための旅路へと押し出されたのです。

十字架でのみわざはこのように簡潔に表現できるでしょう。「私たちのゆえに、すべての悪がイエスの上に臨み、イエスの罪のない従順のゆえに、私たちにすべての良い物が与えられた。」

では、この意義深い、人生を変えるメッセージを聞きましょう。

### まとめと質問

このセクションはメッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

あなたは、十字架で何が行なわれたのかを思い巡らしながら、このメッセージを聞き始めたかもしれません。あるいは、十字架は赦しと新しいいのちを受けることだけだと思っていたけれど、それ以上の大きなものだったと知ったかもしれません。それらの真理を聖書から探り出すデレクの旅路は、異言の解き明かしを通して始まりましたが、理解に至るまでには多くの年月がかかりました。

神は素晴らしい倉を持っており、その中にはあなたが必要とする霊的、物質的、肉体的に必要なも

の、一時的なもの、永遠のものなど、すべてのもので満ちています。それらはすべてあなたに必要なものなのですが、その倉には番人がいます。そしてその倉から何かを出すためには、あなたはその番人と友だちにならなければなりません。その番人とは、聖霊です。

父、御子のすべての富は、聖霊の手の中にあります。それを理解しなければなりません。あなたはすべての正しい教理を持つこと、すべての正しい神学を持つこと、すべての正しいことを語るができますが、それは聖霊から得るものだけです。聖霊が倉の番人です。

聖霊は倉を開ける唯一のカギを持っており、特別な形をしています。それは十字架です。聖霊が倉を開けるために十字架を用いるときだけ、神の宝があなたに与えられるのです。

メッセージの復習のために、以下の空欄を埋めてください。

### 完全ですべてを満たすいけにえ

1. ヘブル 10:14 で言われている捧げもの、あるいはいけにえは、十字架の上でご自身をささげた.....のいけにえです。その一つのささげ物により、イエスは聖なるものとされる人々の必要を永遠に全うしました。ご自身を信じるすべての人々の人生のすべての領域において、一時的な必要、永遠に必要なすべてを提供してくださいました。イエスがそれ以上にならなければならないことは何一つありません。すべてを成し遂げました。それは完全で、すべてを満たすささげ物です。
2. ヘブル 10:14 は「.....ものとされる人々」について語っています。聖なるものとは、神のために選ばれることで、神に近づくことは、前進するプロセスです。イエスがなされたことは一度きりのもので、完全、完成です。しかし、私たちの理解、適用は発展します。
3. デレクはパキスタンでの説教で、一個のオレンジとオレンジ畑の違いについての例を取り上げました。その話の中で、オレンジ畑は.....についての真理を表わしています。
4. デレクはザンビアの牧師とリーダーたちへの奉仕の話の中で、いくつかの有益なことばを語っています。

(ア) 神は素晴らしい倉を持っており、その中にはあなたが必要とする霊的、物質的、からだの必要、一時的なもの、.....のものなど、すべてのもので満ちています。

(イ) その倉には番人がおり、その倉から何かを出すためには、あなたはその番人と友だちにな

らなければなりません。それは、.....です。

(ウ) .....と御子のすべての富は、聖霊の手の中にあります。

(エ) 聖霊が倉を開けるために.....を用いるときだけ、神の宝があなたに与えられます。

5. 十字架のみわざの真理を発掘する旅路へと、デレクを押し出すことになった救世軍の団長のことは、「カルバリののみわざを覚えよ。.....なみわざ、それはすべての面において完全であった。」でした。
6. その体験を通して、十字架のイエスの死によって完成されたことを理解するなら、すべての必要が満たされると、聖霊は示しておられるとデレクは気づきました。受け取ることができない必要は、.....。
7. 十字架を理解するカギは、十字架の上で神が命令された.....がなされたことにあります。全人類が当然受けるべきすべての悪がイエスの上に臨み、イエスの従順のゆえに、すべての良いものが、信じる私たちに与えられることになったのです。

十字架でのイエスの死は神の恵みでした。私たちは神に何の要求もできませんでした。私たちは神にそうすると命じることもできず、神が何をしようとしているのかを知りもしませんでした。私たちには神のしていることを理解することができなかつたのです。しかし、神の測り知れない恵みにより、神はその交換をなされたのです。さらに、預言者たちを通して何百年も前に、旧約聖書の預言者たちを通して神はそれを啓示してくださいました。

### 十字架の側面

8. そのおもな預言は、名もない主のしもべについて語られているイザヤ 53 章です。そこに名前は記されていませんが、使徒たちと新約聖書の著者たちは、名もない主のしもべは、ナザレの.....であるという理解において完全に一致していました。

私たちが犯したことの無い罪はたくさんあります。しかし、私たちすべてが犯した一つのこと、それは、「おのおの、自分勝手な道に向かって行った。」(イザヤ 53:6)です。一言で言うなら、「反抗」です。反抗は、人類すべての罪です。国や肌の色、人種に関わらず、私たちはみな、反抗の罪があります。イ

エスが十字架につけられたとき、神はあわれみにより、私たちのすべての罪、反抗をイエスの上に負わせたのです。

9. ヘブル語の「*arbo*」という語には、罪や反抗の意味だけではなく、罪によるすべての悪い.....という意味もあります。一つの語に両方の意味が含まれています。このように、神は十字架のイエスに全人類の罪や反抗とそのすべての悪影響を負わせ、代わりに、私たちがそれらの悪影響から解放され、イエスの義による益を受け取ることができるようにしてくださいました。
10. イザヤ 53:4-5 で示されている一つ目の交換は、イエスが.....られたことにより、私たちは赦されたということです。
11. 二つ目の交換は、同じ聖句にある、十字架の上でイエスは私たちの病を負い、痛みをにない、イエスの打ち傷によって私たちはいやされたことです。イエスが身代わりとなりました。さらに簡潔に言うと、私たちが.....ためにイエスが打たれた、です。イザヤ 53:4-5 を参照してください。
12. 私たちがイエスの義で義とされるために、イエスは私たちの罪深さで.....とされました。(イザヤ 53:10、Ⅱコリント 5:21)

あなたはホッと胸をなでおろすことができるでしょう。あなたは、義とされるためにベストを尽くそうと苦しむ必要はありません。ただ信仰によって、イエス・キリストの義を受け取るだけでいいのです。それ以外の義では、決して天に行くことができません。しかし、神は神の義によって私たちを義とするように備えをくださいました。

ヘブル 2:9 はこう言っています。「ただ、御使いよりも、しばらくの間、低くされた方であるイエスのことは見えています。イエスは、死の苦しみのゆえに、栄光と誉れの冠をお受けになりました。その死は、神の恵みによって、すべての人のために味わわれたものです。」 そのように、罪の報酬、罰は死です(ローマ 6:23)。イエスが私たちの罪によって罪とされたとき、その死という報酬を支払うことは避けられなかったのです。

13. 私たちがイエスの.....にあずかるために、イエスは私たちの死を味わわれました。(ヘブル 2:9、ヨハネ 10:10)

次の交換は、ガラテヤ 3:13-14 に記されています。「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。なぜなら、『木にかけられる者はすべてののろわれたものである』と書いてあるからです。このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。」

十字架が「木」と呼ばれているのは、ヘブル語や東アフリカのスワヒリ語では、生きている木であれ、切り倒された木であれ、木は「木」と呼ばれるからです。ですから、十字架は切り倒された木のことで

14. 以下はのろいの一般的兆候、しるしです。ほとんどののろいは個人的なものだけではなく、家族や共同体に影響します。そして、のろいと祝福の欠かすことのできない特徴が、それらを断ち切る何かが起こらなければ、どちらも世代から世代へと引き継がれるということです。それこそ、イエスの死がのろいを砕く権威を私たちに与えておられる極めて重要な理由なのです。

(ア) 精神的、.....的な衰弱、消耗

(イ) 繰り返す、あるいは慢性的な..... - 特に遺伝性のものであるとき。

(ウ) 度重なる.....、あるいは婦人科疾患。

(エ).....の崩壊や家庭不和。

(オ) 継続的な.....的不足。

(カ).....に遭いやすい。

(キ) 自殺、不自然な死、.....の歴史のある家系。

15. 私たちがアブラハムの祝福を受け取ることができるために、イエスが.....となりました。

16. 申命記 28:47-48 でモーセは絶対的貧困の 4 つの描写をしています。飢え、渇き、裸、すべてのものにおける欠乏です。十字架の上で.....は、貧困というのろいに苦しみました。イエスは飢え、渇き、裸、すべてのものに欠乏していました。

17. イエスは私たちの貧困を耐え忍びました。それは私たちがイエスの.....にあずかるためです。

18. イエスが十字架の上で裸にされたとき、私たちの恥を負ってくださいました。イエスが私たちの

.....を負ってくださったのは、私たちがイエスの栄光にあずかるためです。

19. 拒絶は人間の心が抱える最も深い傷の一つです。2つのカギとなる拒絶のしるしは、

(ア) いつもあなたは.....から様子をうかがっているように感じる - 他の人は中に入ることができるけれど、あなたは中に入ることができずとを感じる。(疎外感)

(イ) .....することができない。Ⅰヨハネ 4:19 でヨハネはこう言っています。「私たちは愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。」私たちは、愛を表わされたことがなければ、愛を表現することができません。愛の表現を解放するためには、愛の表現を受ける必要があります。

イエスは、十字架刑の肉体的影響のゆえに死んだわけではありません。イエスがすでに死んだと聞いたとき、ピラトは驚きました。通常ならあと2時間は持つはずだったからです。イエスは何のゆえに死んだのでしょうか。砕かれた心のゆえです。何がイエスの心を砕いたのでしょうか。拒絶です。誰からの拒絶ですか。父からの拒絶です。

史上初めて、神の子が父に叫び、父はそれにお答えになりませんでした。耳をふさぎ、目を背けました。なぜでしょうか。イエスが私たちの罪のために罪とされ、神はその罪を好意をもって見ることができなかったからです。

20. イエスは私たちの.....を耐え忍びました。それは、イエスにある父からの受け入れに、私たちがあずかるためです。

ここまで見てきた十字架の8つの交換をまとめましょう。

- イエスは罰せられたのは、私たちが赦されるためです。(イザヤ 53:4-5)
- イエスが打たれたのは、私たちがいやされるためです。(イザヤ 53:4-5、マタイ 8:16-17)
- イエスが私たちの罪のために罪とされたのは、私たちがイエスの義で義とされるためです。(イザヤ 53:10、Ⅱコリント 5:21)
- イエスが私たちの死を味わったのは、私たちがイエスのいのちにあずかるためです。(ヘブル 2:9、ヨハネ 10:10)
- イエスがのろいとなられたのは、私たちが祝福を受けるためです。(ガラテヤ 3:13-14)
- イエスが私たちの貧しさを耐え忍んだのは、私たちがイエスの豊かさにあずかるためです。(Ⅱコリント 8:9、9:8、申命記 28:47-48)
- イエスが私たちの恥を耐え忍んだのは、私たちがイエスの栄光にあずかるためです。(マタイ

27:35-36、ヘブル 2:10)

- イエスが私たちの拒絶に耐え忍んだのは、私たちがイエスの受け入れにあずかるためです。(マタイ 27:45-51、エペソ 1:3-6)

これらの交換をあなた自身のために、また他の人にも分かち合うことができるように、暗記しましょう。これらの聖書からの真理を受け取り、あなたの人生に適用することは、悪の抑圧から解放され、神がすべてにおいて祝福した「アブラハムの祝福」(創世記 24:1)の中へと入る素晴らしいプロセスを始めるものです。これらの真理があなたの思いを日々新しくし続けることを信じることは、イエスの十字架の死を通してあなたに与えられた豊かないのちを感謝する助けとなります。

「十字架のみわざ」は、決して終わることのないという意味において、尽きることのない学びです。上記のリストに含まれていないあなたの必要があるでしょうか。あなたの自由と、あなたに人生における神の備えを解き放つ適切なみことばを示していただくよう、聖霊に祈り求めましょう。

次のように、あなた自身のために祈ってください。

*主イエスさま、私の自由を買い取るために、あなたが十字架の上で支払ってくださった代価を感謝します。聖書が啓示している素晴らしい交換についてさらに学び、あなたの私への愛とあなたが差し出してくださっている有り余るほどの救いへの驚きで新たに満たされています。感謝します。*

*私の人生への重要な新しい真理を適用できるように助けてください。それを通して、十字架での交換の完全な祝福を受け取ることができるように、また、あなたの約束の地を通して私の旅路を続けることができるように祈ります。イエスの御名によって祈ります。アーメン。*

## 「土台を据える」シリーズ

### 導入

この10回のシリーズは、ヘブル6章1-2節の「ですから、私たちは、キリストについての初歩の教えをあとにして、成熟を目ざして進もうではありませんか。死んだ行いからの回心、神に対する信仰、きよめの洗いについての教え、手を置く儀式、死者の復活、とこしえのさばきなど基礎的なことを再びやり直したりしないようにしましょう。」と言われているクリスチャン生活の教理的土台に基づいています。

これは、私たちの心と生活に主の住まいを建て上げることができるように、私たちが据える必要のある6つの特定の礎石のことを言っています。

- 死んだ行ないからの回心
- 神に対する信仰
- きよめの洗い(バプテスマ)についての教え:ヨハネのバプテスマ、クリスチャンのバプテスマ、聖霊のバプテスマ
- 手を置く儀式
- 死者の復活
- とこしえのさばき

初めに、テレクはイエス・キリストの個人的土台について教えており、そのあと、これらの土台の教理の一つ一つを通して体系的に教えています。多くのクリスチャンが、この土台の真の意味や正しい理解を持たず、また実行することもなく歩んでいます。しかし、このプロセスを終えるとき、私たちは成熟し続け、さらにイエスに似た者へと整えられていきます。

あなたの神との関係を変え、その結果あなたの生き方を変える、この学びのために時間を取り、ぜひ教えを吸収してください。

## 第2課

### 「土台を据える」 第一回

## 岩の上に建てる

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

「岩の上に建てる」は、「土台を据える」シリーズの最初のメッセージで、イエスというお方に焦点が当てられています。聖書はすでに据えられたイエス・キリストという土台の他に、土台となるものはないと教えています。イエスは私たちの個人的な土台です。その土台を据える前に、私たちは以下の2つの重要な質問を自分自身に投げかけてみる必要があります。

1. 私の土台は何であるか — 私は正しい土台を据えているか？
2. 私の人生はイエスの上に建てられているか — 私はイエスとの個人的な関係を持っているか。

クリスチャンとして、私たちは主が住まわれる場所として私たち自身を建てる責任があり、またそれを行なうために、イエスにある私たちの人生を建て上げる必要があります。マタイ16章13節以降でイエスは弟子たちに、こう質問しています。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

このメッセージを聞くと、あなたの霊的土台の状態が示され、イエスにあってさらにしっかりと建て上げることができるように、祈り求めてください。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

デレク・プリンスは次のように言っています。

私は何年も前に、助けにならないような単なる宗教的な教えのメッセージはしたくない。しかし、真理を行なう機会を人々に与えることを語りますと、主に言いました。

初めに、メッセージのおもなポイントを覚えているか確かめましょう。空欄を埋めてください。

### 建物に例えられるクリスチャン生活

1. 聖書では、クリスチャン生活を.....に例えています。
2. クリスチャンは、.....の住む場所を建て上げる責任があります。(ユダ 20-21 節、エペソ 2:22、I ペテロ 2:4-5、使徒 20:32 を参照)
3. 土台は、建物の(ア).....と、(イ).....に制限を設けるものなので、第一であり、重要なものです。
4. 霊的生活の土台は、.....キリストです。(I コリント 3:9-11)

### 土台を据える

マタイ 16:13-18 でイエスは、「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」と尋ねました。その質問に対してペテロが答えた内容は、**ペトロス**(石、岩)、**ペトラ**(絶壁、岸壁に不可欠な最下層の岩盤)という、イエスをご自身について用いた言葉の重要な事実を際立たせています。私たちは自分自身にこのように問いかける必要があります。「私は、岩や岩盤の上に建てているだろうか。」

5. イエスがこの状況で求めておられたのは、ペテロと岩(イエス)を.....することであって、比較ではない。
6. ペテロのイエスとの出会いには、4 段階あります。

- (ア) 個人的な ..... : イエスは罪です。
- (イ) ..... : 御霊によって父は御子をあらわしました。
- (ウ) ..... : あなたは、この啓示を受け取り、イエスを認めなければなりません。
- (エ) ..... : 公に、口を開いて。

あなたは、このような出会いが今日でも可能だと信じますか。イエスが永遠の神の御子であることは、永遠の聖霊を通して啓示されたので、神は変わらないお方であることを私たちは知ることができます（ヘブル 13:8 を参照）。あなたは、そのような出会いをしましたか。もし、あなたがまだイエスとの個人的な関係を持っていないなら、あるいは、今聞いたメッセージがあなたの理解に新しい段階をもたらしているなら、以下のように、あなたの願いを祈ってください。

*神さま、私は弟子のペテロのようにあなたを知りたいです。ペテロの話を通して、あなたが私と個人的に出会ってくださっていると感じます。ですから父よ、聖霊によってイエスを私に現わしてください。その啓示をしっかりと受け取ることができるように、そして私の口をもって、公にあなたへの信仰を告白する勇気を与えてください。アーメン。*

### 土台の上に建てる

7. 先ほどの祈りをしたら、あなたはイエスという土台の上に建て始めていることになります。その土台は、マタイ 7:24-27 によると、おもに 2 つのものから成っています。
  - (ア) 神のことばを .....
  - (イ) 神のことばを .....

十分な大きさと耐久性のある建物を建てるために、私たちは深く掘る必要があります。そのためには、私たちの霊的成長を妨げるものを処分する必要があります。

8. デレクが教えの中で言っている、土台を深く掘ることを妨げる 5 つのおもな領域は何でしょうか。（ルカ 6:46-49 を参照）
  - (ア) ..... : 特に否定的なもの
  - (イ) ..... : 人種的、教団教派、社会的
  - (ウ) ..... : イエスがどのようなお方であるか、あるいは、クリスチャンになるとはどういうことか、  
についての間違った視点。

(エ) .....: 私たちはむしろ信仰をオープンにするべきです

(オ) .....: 生まれ持ったこの問題の唯一の解決は、捨てることです。

## 聖書

9. 聖書は、.....神のことばである。聖書とは、書かれたものという意味です。(ヨハネ 10:35)

10. イエス: .....となった神のことば。(ヨハネ 1:1、黙示録 19:11-13)

あなたの聖書に対する態度は、すなわち、あなたのイエスの対する態度です。もし、どちらかを軽視するなら、もう片方も軽視していることになります。その 2 つの間には、完全な一致があります。

## 5つの最重要な事実

11. ヨハネ 14:19、22-23 は、神のことばである聖書についての最も重要な 5 つの事実を含んでいます。

(ア) 神のことばを守ることは、真の弟子と、.....を見分けます。

(イ) 神のことばを守ることは、.....に対する弟子たちの愛の究極のテストです。愛が従順の動機です。

(ウ) 神のことばを守ることは、.....に対する神の愛の究極的な理由。

(エ) 神のことばを通して、守り従うことにより、.....はご自身を弟子たちに現わしてください。

(オ) 神のことばを通して、.....と御子が私たちとともに住んでくださいます。

忘れないでください。あなたは神のことばを愛する以上に、神を愛することはできません。私たちは試されています。「私はどれほど聖書を愛しているだろうか。私の生活の中で、聖書はどのくらいの位置を占めているだろうか。」と、自分自身を探ってみましょう。

この学びを終えるにあたって、イエスの弟子たちへの質問をもう一度振り返りましょう。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」この質問に対するあなたの答えは、このメッセージを聞く前と変化がありましたか。神が示してくださる新しい啓示の一つ一つを神に感謝し、喜んで受け取ることを忘れないでください。

神の書かれたことばに対する私たちの態度は、私たちのイエスに対する態度に大きく影響を与えるものであることを理解し、継続して私たちの聖書に対する態度をチェックしていきましょう。もし、私たちがどちらかを軽視するなら、もう一方も軽視することになるからです。

前に書いたように、私たちが学んだことをチェックし、私たちの生活に実際的にそれらの新しい真理を適用できるように祈り求めてください。あなた自身の人生でこのメッセージの真理がしっかり根付くように、次のように祈ってください。

*主よ、私の霊的生活を岩なるイエスの上に建て上げることができるようにしてくださることを感謝します。私が建てる時、あなたのことばである聖書を聞き、行なう者となるように助けてください。私は堅固な土台のために、深く掘り下げ、否定的な伝統、偏見、先入観、不信仰と反抗などのすべての障害物を取り除くことを願います。これらのものは、しばしばあまりにも近くにあるのに、自分の生活の中で見えない時があります。それらを私に示し、それを掘り出す方法を私に教えてください。*

*私の聖書に対する態度を、続けて探ることができるように助けてください。あなたのことばに対する態度は、あなたに対する態度でもあるのですから。あなたのことばと聖霊を通して、続けて私に教えてください。アーメン。*

今回のメッセージでは、神のことばの権威と力に関して聖書の重要性を理解において、さらに成長を目指します。

## 第3課

### 「土台を据える」 第二回

## 神のことばの権威と力

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

「土台を据える」シリーズ・第二回のメッセージも、続けてヘブル6章で挙げられている6つの礎石の枠組みを建て上げていきます。私たちが実際に土台を据える前に、正しい場所にいなければなりません。そのプロセスにおいて不可欠なものは、①イエス、②神ご自身のことば、③書かれたことばである聖書、と私たちの深い交わりです。

前回のメッセージでは、イエス・キリストという固い岩盤にしっかりした土台を据えることについて、また否定的な伝統や偏見、先入観、不信仰と反抗といった障害物を取り除く必要があることについて学びました。

このメッセージでは、神のことばである聖書の重要性について学びます。「聖書の権威はどこから来るのか」、「聖書はどれほど信頼に値するか」、「人間によって書かれた本が、どうして完全であり得るのか」という質問にデレクは答えています。

さらに、聖書が私たちの生活にもたらす素晴らしい効果のいくつかを学びます。あまりにも良すぎるように思えるものもあるでしょうが、私たちは信仰(あるいは信じること)をもって始める必要があります。「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。」(ヘブル11:6)とあるからです。あなたは信仰が欠けているでしょうか。聖書はそれについても答えを与えています。「信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストについてのみことばによるのです。」(ローマ10:7)。もし、あなたに信仰がないなら、神のことばを通して信仰を持つことができるのです。

デレクは、神ご自身のことばの中に啓示された約束の中に、神の備えがあることを聖書から示しています。驚くべきことに、私たちが神のことばを受け入れると、私たちは神ご自身のご性質を分与された者となるのです。神のことばの真理を私たちの心の中に受け取るために今、心を開き、私たちの人生にもたらされる素晴らしい影響を楽しみましょう。

では、「神のことばの権威と力」のメッセージを聞き、そのあと以下のセクションと質問に進みましょう。

## まとめと質問

このセクションはメッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

私たちの人生で神のことばの素晴らしい目的と効果を見いだすには、吸収する時間を必要とします。その効果は、あまりにも大きく、人生を変えるものです。もし私たちが聖書の真理に喜んで向き合っていくなら、私たちは決して今までと同じままではできません。

最初のメッセージ、「**岩の上に建てる**」を覚えていますか。デレクは、「あなたは神のことばを愛する以上に神を愛することはない。」と言いました。聖書について学べば学ぶほど、神とみことばを生活の優先順位の一つとすることは、賢明な生き方であることがわかってきます。

「岩の上に建てる」のメッセージでも行なったように、学んだことについての私たちの理解と覚えていることを確かめるためにおもなポイントを復習します。学びを終え、答え合わせをしたら、他の人に分かち合うための素晴らしい真理をメモしておいてください。ペテロのイエスとの出会いを覚えていますか。それには、個人的対面、啓示、認識、公の告白の四段階があったと、デレクは教えています。あなたが祈る時、神はそれらの真理を他の人にも分かち合う機会を与え、その人たちもまた、この信仰の歩みに加わることができるのです。

では、以下の空欄を埋めてください。

## 権威

1. 聖書の権威はその.....である、聖霊にあります。
2. II テモテ 3:16 は、「聖書は.....、神の靈感によるもので…」と教えています。
3. 本の著者は解釈者であり、絶対的権限を持っている。聖書の場合、そのお方は、.....です。(II ペテロ 1:20-21)

これについて、導入にもあるように、時に人々は罪深い人間によって書かれた聖書が、なぜ完全だ

と言えるのか、というのは当然の疑問です。デレクは、その答えを詩篇 12:6 の「主のみことばは混じりけのないことば。土の炉で七回もためされて、純化された銀。」から明らかにしています。

4. みことばと銀の対比について、様々な要素が紹介されています。
  - (ア) 土の窯、炉は、.....という要素です。
  - (イ) 銀は、人間の要素を通してもたらされた、神の.....です。
  - (ウ) 純化、精錬する.....は聖霊です。

銀は七回もためされたとあり、「7」は聖霊の数字と完全数であることに注目してください。

### イエスと旧約聖書

聖書の重要性を見ると、イエスの旧約聖書への視点を知ることが大切です(当時、新約聖書はまだありませんでした)。

5. ヨハネ 10:35 でイエスは言われています。「聖書は.....されるものではないから…」

### イエスはどのように聖書を用いたか

6. サタンでさえ神のことばを否定することはできません。エデンの園でエバに、また荒野のイエスへの最初の誘惑においてしたように、サタンはしばしば私たちにも神のことばを.....せます。
7. それに対する私たちの応答は、サタンと議論することではなく、.....をもって答えることです。
8. エペソ 6:17 で、私たちは霊的戦いの中にある時、「御霊の与える剣である、神の.....を受け取りなさい。」と言われています。
9. 神のことばは永遠で、今日も私たちに語ってくださいます。マタイ 22:31 でイエスは、出エジプト記からモーセのことばを引用し、人々にこのように尋ねました。「神が.....に語られたことを、あなたがたは読んだことがないのですか。」

## イエスの生涯はどのように聖書を成就したか

イエスの全生涯は聖書によって導かれており、「聖書のことばが成就した…」と18回言われています。つまり私たちが旧約聖書と呼ぶユダヤ人の聖書の預言は、メシヤなるイエスの誕生、生涯、死と復活について書かれています。

## 聖霊が権威者

10. 旧約、新約聖書の背後にある権威者は.....です。
  
11. ヨハネ 14:25-26 でイエスは言われました。「このことをわたしは、あなたがたといっしょにいる間に、あなたがたに話しました。しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを.....、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。」
  
12. イエスは、弟子たちがその.....で耐えられるすべてを与え、聖霊が弟子たちをさらなる真理に導いてくださると言われました。(ヨハネ 16:12-14)

四福音書(マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ)すべてに書かれている、イエスが弟子たちに繰り返し教えられたことの一つは、イエスを神の子として信じる時、私たちは天の父と和解することができるということです。神はイエスの父であるだけでなく、**私たちの父**でもあるのです。ですから、マタイ 6:9-13 とルカ 11:2-4 にある主の祈りはどちらも、「私たちの父よ」、「父よ」で始まっているのです。「私たちの父よ」、あるいは「父よ」という言葉で祈りを始めることが良いでしょう。

ガラテヤ 4:6 でパウロはこう言っています。「そして、あなたがたは子であるゆえに、神は『アバ、父』と呼ぶ、御子の御霊を、私たちの心に遣わしてくださいました。」アバは、ヘブル語の「お父さん」と親しみを込めた呼び方ですから、親しい父として神のもとへ行くように励ましています。祈りましょう。

父よ、私に聖書が本当に重要であることを示してくださったことを感謝します。私の人生の中でこれまで聖書を優先してこなかったことを赦してください、私を変えてください。すべての真理の中へと導き、すべてのことを教え、私に必要な時にそれらを思い起こさせてくださる、著者としての聖霊を与えてくださってありがとうございます。

どうか、あなたのみことばを知ることにおいて私を成長させ、サタンが私を誘惑するとき、完全に防御できるみことばを用いることができるようにしてください。アーメン。

### 神のことばの性質

ヘブル 4:12 で、「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髓の分かれ目さえも刺し通し…」と学びました。さらに、神のことばは見分けることができ、私たちが聖書を読むとき、同時に聖書も私たちの心を読み、どのように神のみこころにふさわしく変えられるかだけでなく、私たちの本当の霊的状态を示してください。

13. 私たちが必要を覚えるとき、Ⅱペテロ 1:3-4 の約束の中にある備えを思い出しましょう。特に、
- (ア) ..... は、すでに与えられています。
  - (イ) ..... の神としての御力によって。
  - (ウ) 神の ..... によって、尊い、すばらしい約束が与えられます。
  - (エ) 私たちが信仰によって受け取る時、神の ..... にあずかる者となります。

### 神のことばの 8 つの効果

14. 私たちが信仰によって神のことばを受け取る時の 8 つの効果

- (ア) ..... を生み出します。(ローマ 10:17)
- (イ) それは、新しい ..... の種です(ヤコブ 1:18) - 朽ちない種が生み出す、朽ちないのち(Ⅰペテロ 1:22-23)
- (ウ) 霊的な ..... (乳)を受け取ります。(Ⅰペテロ 2:2)、パン(マタイ 4:4)、固い食物(ヘブル 5:12-14)
- (エ) 私たちは ..... を受け取ります(詩篇 119:130) - 教育そのものは光ではありません。知恵は神のことばを通してやって来ます。
- (オ) 私たちは、からだのいやしを受け取る備えをします。
  - a) 詩篇 107:17-20 で、神のことばは ..... 、いやし、助け出すことであることがわかります。
  - b) 箴言 4:20-22 で、神のことばは私たちの ..... を健やかにすると言われています。
- (カ) 神のことばは罪と ..... に対する勝利を与えます。(詩篇 119:9、11、マタイ 4:4、7、10)

(キ).....、聖なるものとしてくださる(エペソ 5:25-27)

(ク) 聖書は霊的な.....の働きをします。(ヤコブ 1:23-25)

どの観点から見ても、あなたは神のことばを愛する以上に、神を愛することはできません。  
祈りましょう。

主、イエスさま。私はあなたを、神の個人的なことばとして認め、私の聖書に対する態度が私のあなたへの態度に反映していることを認めます。私の霊、たましい、からだの中にあなたのことばを受け取る素晴らしさを知り、完全に働いてくださるようになしてください。今日、私は、あなたの個人的な、書かれた聖書に対する願いを宣言します。あなたのことばと私を一致させてください。そして、さらにあなたに似た者としてください。

アーメン。

私たちは、神のことばを通して深く掘り、イエス・キリストという岩の上に土台を据える必要性を理解してきました。次の学びで、ヘブル 6 章から最初の 2 つの礎石の「死んだ行ないからの回心」と「神に対する信仰」を見ていきたいと思えます。

## 第4課

### 「土台を据える」 第三回

## 悔い改めから信仰へ

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

次の学びに進む前に、このシリーズでこれまでに学んだことを復習しましょう。まず、イエス・キリストというお方の上に、私たちの個人的な霊的土台を据えなければならないこと、そしてすべての真のクリスチャンにはその土台が必要であることを学びました。次に、祝福された成功するクリスチャン生活は、対面、啓示、認識、告白に基づいていなければならないことを学びました。

イエスが語られた賢い人と愚かな人のたとえから、土台の上に建てるのは、聖書が「神のことば」と「生けることばなるイエス」であることを認めること、そして、イエスが言われたことを聞いて行なうことであると理解しました。

第二回のメッセージでは、神のことばの権威と力について学びました。言葉の権威は、その著者にあるとデレクは指摘しています。ですから、どんな本でも、その権威は著者にあります。聖書の権威は、その著者である聖霊、神の霊、すなわち神ご自身にあるのです。このように、神の権威は聖書の中にあります。

またデレクは、私たちには、「書かれたことば」と、神のことばとして人となられたイエスという「人格を持ったことば」という2つの形のことばが与えられていると教えています。そして、「あなたは神のことばを愛する以上に神を愛することはない。あなたは神のことばに従う以上に神に従うことはできない。」というチャレンジを与えています。もしあなたが、あなたの生活、人生の中に神の位置を見いだしたいのなら、聖書の位置づけを探し当ててください。それらは同じだからです。聖書は書かれたことばであり、イエスは人格を持ったことばで、その書かれたことばを通して人格を持ったことばが、私たちの人生に入ってくるのです。

個人的土台を建て上げるにあたって、教理的土台を検討しながら、この学びを進めていきます。前にも言いましたが、その教理的土台とは、ヘブル 6:1-2 に挙げられている、死んだ行ないからの回心、

神に対する信仰、きよめの洗い(バプテスマ)、手を置く儀式、死者の復活、とこしえのさばきという6つの礎石から成ります。このメッセージの最初の部分で、死んだ行ないからの回心とは、信仰や従順による行ないに基づかないすべてのこと(=死んだ行ない)からの回心であることが言われています。

悔い改めの重要性で神が言っておられることは、悔い改めとは、思いの明確な決心で、それは後悔とは対照的なものです。また、信仰と悔い改めの関係において、悔い改めは必ず真の信仰に先立つものでなければならないことを学びます。

クリスチャンが直面する多くの問題は、その人が本当の悔い改めをしてこなかったという事実の結果であると示しています。この教えを聞くにあたって、学びが理解できるよう、また神に対する信仰という次の重要なステップへとあなたが整えられるために、真の悔い改めを願い、それができるよう神に祈ってください。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

## 教理的土台

この学びで、デレクはヘブル 6:1-2 の最初の2つの教理的土台である「死者の復活」と「神に対する信仰」について教えています。メッセージを覚えているかを確認するために、空欄を埋めてください。

1. 「死んだ行ない」とは、.....と従順によらないあらゆる行為のことです。それらの行ない自体は必ずしも罪というわけではありませんが、デレクは別の箇所で「命令されていない働きのための報酬はない。」と言っています。

別の課題として、あなたの生活をチェックする時間を取り、あなたの生活の中で、神の「やるべきことリスト」ではないものを示してくださるよう神に祈ってください。しばしば私たちの生活は、神の願いを行なうことで忙しいのではなく、神から言われていないのに、良いことであれ、良くないことであれ、自分がすべきだと感じたことを行なうことに忙しくなってしまう傾向があります。私たちは、神の予定表にないそのような行動をやめる必要があります。そうすれば、奮闘することなく、平安をもって人生を歩むことができます。

## 死んだ行ないからの回心

2. ギリシャ語の「悔い改め」とは、あなたの「.....を変える」という意味です。(決心)
3. ヘブル語の「悔い改め」とは、「.....」という意味です。(行動)
4. 悔い改めは常に真の.....に先立ちます。
5. 聖書の中の真の悔い改めの完璧な例は、放蕩息子の物語の中に見られます。彼は自分の相続分を取り、我に返る前に使い果たしてしまいました。ルカ 15:17-20 の話は、その息子の悔い改めの行為には、三段階があったことを教えています。
  - (ア) 彼は、.....返った - 真理の瞬間
  - (イ) 彼は、.....した - 思いを変える
  - (ウ) 彼は、.....を変えた - 賢明な行動
6. 逆に、誤った悔い改めの 2 つの例は、エサウの話(ヘブル 12:14-17)と、イスカリオテのユダ(マタイ 27:3-5)です。どちらも、.....を示しますが、悔い改めが見られません。

## 悔い改めは信仰に先立つ

7. 悔い改めは.....の前に来なければならないと、テレクは強調しています。悔い改めのない本当の信仰はありません。これは、新約聖書全体で強調されています。
8. マタイ 3 章に、メシヤなるイエスが来られる道を備えるために遣わされたバプテスマのヨハネの働きが書かれています。彼のメッセージを一言で言うと何ですか。  
.....。

言い換えれば、悔い改めはメシヤが来るために不可欠だったのです。悔い改めはメシヤが来られるための道備えでした。神の民イスラエルはこの悔い改めの経験を通るまでは、メシヤに会う備えができていなかったのです。

9. マルコ 1:14-15。ヨハネが捕らえられて後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べて言われた。「時が満ち、神の国は近くなった、悔い改めて福音を.....。」
10. その順序に注目してください。「悔い改めて、信じる。」あなたは最初に悔い改めない限り、本当に信じることはできません。イエスの口から語られた最初の命令は、信じなさいではなく、.....でした。
11. ペンテコステの日、福音を聞いた群衆がどう応答すべきかと尋ねたとき、使徒ペテロは、まずしなければならないことは、.....だと言いました。(使徒 2:37-38)
12. 使徒 17:30 でパウロは、神はどこでもすべての人に悔い改めを.....と言いました。
13. 神の悔い改めの求めに答えるなら、私たちは救い主としてのイエスに出会いますが、もし、その基本的な求めに応じないなら、私たちは.....としてのイエスに出会います。

### 悔い改めは神から生じる

14. 悔い改めのプロセスは、.....によって始まる。(詩篇 80:3、7、19、哀歌 5:21)
15. 聖書は、.....の人が悔い改めなければならないと言っています。あなたはなぜ全世界のすべての人なのかと疑問に思うかもしれません。イザヤ 53:6 に、「私たちはみな、羊のようにさまよひ、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。」とあります。それが、私たちの問題なのです。私たちは殺人や姦淫、盗みなどはしたことがないかもしれませんが、しかし、私たちはみな、一つのことをしてしまいました。そうです、自分勝手な道を行きました。それは神の道ではありません。
16. ピラトはガリラヤ人がいけにえをささげている間に、処刑をしたことや、塔の下敷きになって死んだ 18 人について、イエスはルカ 13 章 3 節と 5 節で 2 度このように言っています。「あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。」悔い改めの他の選択肢は、.....しかありません。

悔い改めの重要性についてのこの新しい理解により、あなたはこの土台となる礎石が、岩なるイエス

にしっかりと据えられていることを確かめるために、自分が本当の悔い改めをしたという確信が与えられるように、主に祈りたいと感じているかもしれません。そう感じているなら、次のように祈ってください。

主よ、悔い改めの命令の重要性を明らかにしてください、私に新しい理解を与えてくださったことを感謝します。私はあなたに対する信仰を働かせる位置にあるかを確認したいのです。ですから、すべての死、滅びに至る行ないから立ち返り、あなたの道に従う確固たる決心をしていない領域が私の内にあるなら示してください。

私は自分の道ではなく、あなたの道を選び、あなたを喜ばせない、すべての悪に背を向ける決心を選びます。私の顔があなたに向かい続け、古い自分の道に戻ることがないように助けてください。

私は命令されてない働きをする人生を送りたくありません。あなたが私のために用意して下さっている道に導かれるために、実りのない生き方を捨て、あなたのことばに従い、あなたのことばと聖霊の励ましに従うように助けてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

悔い改めは、明確な始まりを持つ生涯のプロセスで、私たちが永遠の中に入る時にのみ、悔い改めることに終わりが来ます。私たちが成長するとき、神はご自身に従うために必要な領域を私たちに示し続けてくださいます。これは、私たちが自分の道に背を向け、悔い改めるための招きです。自分の道を捨て、勝利ある人生をもたらす神の道とみこころを、進んで選ばなければなりません。

イスラエルの民が約束の地に入った時、神は彼らに何度もそのように言いました。そうでなければ、彼らはその地を適切に管理することができないからです。私たちが神の約束の地に入る時も同じことが言えます。私たちが着実に成長し、悪魔の攻撃にさらされ過ぎることのないように、段階的に悔い改める必要があるのです。

主にささげる必要がある新しい領域が示され、悔い改めの生活を送る決心をしたので、次の「神に対する信仰」の基礎的教理に進みましょう。

## 信仰

17. 信仰は、神の.....から来る。ローマ 10:17 に、「信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストについてのみことばによる。」とあります。

18. 信仰は.....の中にある、現在のもので。 (ローマ 10:10)
19. しかし、希望は.....の中にある、将来への望みです。( I テサロニケ 5:8)
20. 信仰と.....は、互いに相いれないものです。( II コリント 5:7)
21. 私たちはまず、.....、それから見るのです。(ヨハネ 11:39-40)
22. 信仰とともに、希望は非常に重要です。なぜなら、すべての真のクリスチャンは.....であるべきだからです。悲観主義者であることは、実は、信仰を否定していることなのです。なぜなら、希望は神のことばに基づいた素晴らしさを確信した期待だからです。
23. 何よりも信仰は、単なる信心ではなく、.....です。ヘブル語もギリシャ語も、信仰という単語の第一の意味は、忠実、誠実、献身です。
24. 信仰は.....ます。試されない信仰は、神の目には価値のないものです。

自分の道に背を向ける決心をし、信仰によって私たちの人生のための神のみこころを選んだら、信仰の成長というこの生涯のプロセスに私たち自身を捧げる祈りをしましょう。

*天の父よ、私を愛してくださっていることを感謝します。私の思いを変え、立ち返るという悔い改めをした結果としての私の人生に起こった変化を振り返り、あなたのその恵みにとても感謝しています。*

*あなたのみことばによる信仰の約束を感謝します。乳やパン、固い食物によって私の信仰が成長できるように、私に聖書への飢え渴きを与えてください。信仰がなければ、あなたを喜ばせることができないことを認めます。ですから今日、私はあなたを喜ばせるため、また私が行なうすべてであなたに栄光を帰することができるように、あなたのことばによって私の信仰を増し加えることが私の願いであると宣言します。イエスの御名によって。アーメン。*

次の学びでは、2つ目の教理的土台である、「神に対する信仰」を続けて学びます。デレクは信仰と行ないの非常に重要な違いと、決して行ないによっては義とされず、どのようにして、ただ信仰によってのみ義とされるのかについて教えます。

## 第5課

### 「土台を据える」 第四回

## 信仰と行ない

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

前回のメッセージ「悔い改めから信仰へ」から、ヘブル6章にあるクリスチャン信仰の教理的土台を考察してきました。私たちには、思いを変え、向きを変えるという真の悔い改めが必要であることを学びました。聖書が言う「死んだ行ない」とは、私たちの信仰や従順に基づかない行動のことです。それらの行ないは必ずしも罪深いものではありませんが、神がするようにとされているものではありません。

真の悔い改めは、常に信仰に先立つもので、私たちがイエスという固い岩の上に6つ土台となる石(礎石)を据えるときに不可欠な最初の一步になります。

また、2つ目の土台である、「神に対する信仰」も見てきました。デレクは、信仰(心の中にある現在のもの)と希望(思いの中にある将来への期待)を教えています。信仰は常に神のことばとつながっており、聖書を通して「信仰が来る」ということを学びました。

この学びでは、信仰に求められている必要条件、特に、それがどのように働きと関係するのかを見ていきます。Iコリント15:1-5でパウロが言っている福音は何だったのでしょうか。それは、キリストが死なれたこと、キリストが葬られたこと、キリストがよみがえられたことという3つの歴史的事実です。ローマ4:22-25は、それら3つの事実を信じることによって私たちは義とされると教えています。

ある人は、キリスト教は規則のかたまりではない、と別の形で議論するでしょう。しかし、私たちが強調したいことは、行ないによって救われるのではなく、真実の生きた信仰に基づく、従順からくる行ないによって救われるということです。その究極的なゴールは「愛」による従順です。

信仰と行ないの関係性について、まだほとんど理解されていない、極めて重要なデレクの教えを注意深く聞いてください。神により頼まない正義を作ろうとする律法主義と願望のわなに気づいてください。

このメッセージであなたの信仰の位置を理解できるように成長し、次回のメッセージ「きよめの洗い」を学ぶ前に、その礎石を得ましょう。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

## 福音の事実

1. I コリント 15:1-5 で、パウロは 3 つのシンプルな歴史的事実から成る福音(良き知らせ)を説明しています。
  - (ア) イエスは私たちの罪のために.....。
  - (イ) イエスは.....。
  - (ウ) 神はイエスを三日目に.....。
2. ローマ 4:22-25 によると、私たちがそれら 3 つの事実を信じる時、私たちは..... とされる。

## 義を身にまとう

3. 私たちは、.....こと(信仰)の結果として義とされるのであり、何をするか(行ない)に基づいてではありません。(ローマ 4:2、エペソ 2:8-10)
4. 義は信仰から来ますが、生きた信仰は、ふさわしい.....を生み出すことにつながります(ヤコブ 2:24、26 参照)。恵みとは努力なしに受けるもの、行ないとは私たちが行動に移すことを指します。
5. 私たちが主の前で義とされるために、モーセの律法や他の律法を守るように求められてはいません。キリスト教は.....のかたまりではありません。律法と恵みは両立しません。(ローマ 6:14)。
6. ローマ 7:4 でパウロはこう書いています。「私の兄弟たちよ。それと同じように、あなたがたも、キリストのからだによって、律法に対しては死んでいるのです。それは、あなたがたが他の人、すなわち死者の中からよみがえった方と結ばれて、神のために実を結ぶようになるためです。」

パウロは別の箇所でこう言っていました。もしあなたがたが宗教的なユダヤ人であったなら、あなたは.....と結婚したのです。その律法が死んでいない限り、律法を離れて他の人に行くことは、姦淫、すなわち霊的姦淫です。しかし、十字架のイエスの死によって、律法は死に付けられました。これはほとんどのユダヤ人にとって現実的な問題です。なぜなら、彼らは律法を守らないなら(実は彼らはあまり守ってはいませんが)、自分の夫に不誠実であると感じるからです。彼らがもう一人の夫、よみがえられたメシヤと結ばれるために、キリストにあつて律法は死に渡されたという啓示がなければなりません。そして、彼らも私たちもキリストを通して実を結ぶのです。

7. 実<sup>み</sup>は.....によってしか生まれません。私たちが結びつくものがその実を決定します。もし、私たちがキリストと一つであるなら、私たちは御霊の実を結びます。
8. 律法は義といのちをもたらすのではなく、罪悪感と.....をもたらします。なぜなら、私たちは律法を守ることができないからです。それは、律法が問題なのではなく、私たちの問題です。ローマ 7:5 はこう言っています。「私たちが肉にあつたときは、律法による数々の罪の欲情が私たちのからだの中に働いていて、死のために実を結びました。」パウロはまたこのように言っています。「死のとげは罪であり、罪の力は律法です。」(Ⅰコリント 15:56)

エペソ 2:8-9 にこうあります。「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇るものないためです。」

9. 神は、私たちの.....を助長しない、義の道を定めました。ご存知のように、宗教は人間の高慢を助長し、高慢は大きな基本的罪です。
10. 恵みは、神からの.....で、行ないによらず受けるものです。
11. たとえ私たちが行ないによって救われるのではなくても、行ないはなお非常に重要です。私たちは、正しい順序で信仰と.....を得る必要があります。エペソ 2:10 はこう言っています。「私たちは神の作品であつて、良い行いをするためにキリスト・イエスにあつて造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。」

神は、キリストにあつて私たちを新しく造ってください(Ⅱコリント 5:17)、新しい人にふさわしい行ない

を備えてくださいました。しかし、古い肉的な性質は、神が備えてくださった良い行ないに歩むことができません。あなたは良い行ないに歩む前に、信仰によって新しく造られなければなりません。ですから、良い行ないは極めて重要です。しかし、**まず信仰による新しい創造、そして神が私たちに備えてくださった良い行ない**、という正しい順序でなければなりません。

あなたが新しく造られるとき、もはや神のために何かする必要はないことも忘れないでください。神は、あらかじめそれらの行ないを備えてくださっています。私たちの役割は、神のことばと神の聖霊、また、ときに他のクリスチャンを通してどのようにすべきか、そして神が召してくださるすべてのことを行なうために、従順になることです。

この領域での成長を主にゆだね、恵みによって助けていただくように祈り求めましょう。

*主よ、信仰と行ないについての新しい真理の啓示を感謝します。あなたの好意を得るためや義とされる手段として努力しようとしてきたことを赦してください。私の誤りを認め、その罪を悔い改めます。*

*信仰によって救われたことは、私自身から出たものではなく、恵みによるものであることを宣言します。それは、行ないによるのではなく、私のためのイエスの死を通して私に与えられた、あなたからの賜物です。私が誇ることがないためです。あなたの恵みと、ただ信仰による救いの賜物を感謝します。*

*また、私がなすべき良い行ないをすでに備えてくださっていることを、感謝します。私の人生のためのあなたのみこころを見出し、あなたが召されたすべてのことに従うことができるように助けてください。新しく造られた者として歩み、もはや私の古い肉的な性質に従うことがない恵みを与えてください。イエスの御名によって。アーメン。*

祈りの最後が「イエスの御名によって」であることに気づきましたか。初めて聞いた人は奇妙に感じるかもしれませんが、ヨハネ 14:12-14 でイエスはこう言われています。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行うわざを行い、またそれよりもさらに大きなわざを行います。わたしが父のもとに行くからです。またわたしは、あなたがたが**わたしの名によって求める**ことは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。あなたがたが、**わたしの名によって何かをわたしに求める**なら、わたしはそれをしましょう。」ですから、「私たちがイエスの御名によって」祈る時、その祈りは聖書に従った祈りとして答えられるのです。

12. 信仰と行ない、恵みと律法についての学びにおいて、ガラテヤ 3 章にあるように、律法と肉の行ないをする者は .....れる(ガラテヤ 3:10)とデレクは教えています。
13. ガラテヤ 3 章 1-3 節でパウロは、彼らは .....、キリストの十字架とみわざがかすんでしまったと言っています。
14. 律法は私たち自身の能力によって外側から働くのに対して、.....は与えられる霊的な力で、内側から働きます。
15. 旧約聖書のレビ記と新約聖書の I ペテロ 1:16 で、神が聖であるように、私たちも「聖でありなさい。」とされています。.....は、「私はすべての規律を守らなければならない。」と言います。恵みは、「私の内におられるイエスの聖さが私を聖くしてください。」と言います。( I コリント 1:30 とヘブル 12:10 を参照)

### 律法が求める義

では、私たちの肯定的な面を思い出してみましょう。私たちは自分できないことをするために、もはや自分の努力ではなく、神とイエスの恵みにより頼む者です。これについて、ローマ 8:3-4 のみことばを見てみましょう。

*肉によって無力になったため、律法にはできなくなっていることを、神はしてくださいました。神はご自分の御子を、罪のために、罪深い肉と同じような形でお遣わしになり、肉において罪を処罰されたのです。それは、肉に従って歩まず、御霊に従って歩む私たちの中に、律法の要求が全うされるためなのです。*

16. ....は律法の当然の要件です。
17. 律法の専門家が、「大切な戒めは何ですか。」とイエスに尋ねたとき、イエスはこう答えました。  
『.....を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』これがたいせつな第一の戒めです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。』(マタイ 22:35)

カギとなる言葉は「愛」です。神への愛と、私たちの隣人への愛です。

18. ローマ 13:8 でパウロは、「だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことについては別です。他の人を愛する者は、.....を完全に守っているのです。」
19. ガラテヤ 5:6 は、信仰は愛によって働くを教えています。ヤコブ 2:20 では、.....のない信仰はむなししいと言っています。その 2 つの教えを合わせると、「愛のない信仰はむなししい」という、驚くべき教えにたどり着きます。
20. I テモテ 1:5 によると、私たちの教えのゴールは、常に.....であるべきです。
21. 律法は.....によって私たちを動機づけますが、イエスは愛によって私たちを動機づけます。イエスは、「あなたがたが私を愛するなら、私の戒めを守るはずでず。」と言われました。恐れは正しい結果を生み出しません。恐れによって人々を動機づける宗教が多くあり、その中にはキリスト教だと公言し、最も恐ろしい結果をもたらすものもあります。
22. ヤコブ 1:25 には、「ところが、完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。こういう人は、その行いによって祝福されます。」とあります。一言で言うなら、自由をもたらす完全な律法は.....です。

あなたが本当に愛するとき、そして愛が人生におけるあなたの動機と願いであるなら、あなたは完全に自由な人です。なぜなら、あなたはあなたの望むことをいつも行なうことができるからです。あなたは常に人々を愛することができます。人々があなたをあざけったり、迫害したり、またたとえあなたを殺そうとしても、あなたが人々を愛することを止めることはできません。愛が動機となっている人は、この世で唯一完全に自由な人なのです。

「信仰と行ない」の学びの締めくくりとして、私たちが決して義を得る手段として律法や肉の行ないに戻ることがないように、この土台となる石をしっかりと固める助けを主に祈り求めましょう。

*愛する父よ、あなたの恵みの必要性を改めて知り、あなたの聖さによって私が生き、あなたの恵みの賜物が超自然的な力によって私の内に働くように祈ります。*

*あなたの愛を経験しているので、私は愛することができます。私の不安を取り除き、あなたが豊*

かに与えてくださった愛を、他の人々に豊かに与えることができるように強めてください。  
どのように律法が私を縛るのかを知った今、私は自由の完全な律法を選び取り、また信仰を  
選び取り、あなたが私のために備えてくださった良い行ないのうちに歩むことを選び取ります。  
完全にあなたにゆだねる必要性を理解し、あなたが私のすべてであり、あなたからのものでな  
い安全、コントロールから解放させてください。今日、新たに全面的な従順をもってあなたに私  
自身をお捧げします。アーメン。

このコース全体で推奨されている祈りはすべて、ことばが明確で意図的です。それは、あなたの心にあることを祈るため、促進を与えるためでもあることを覚えていてください。聖書は絶えず祈ることを教えていますので、あなたが「アーメン」という言葉を言い終えたとき、祈ることをやめる必要はありません。祈りはライフスタイルになる必要があり、これらの祈りは、あなたの歩みを助けるためにあります。

私たちは「死んだ行ないからの回心」と、「神に対する信仰」という最初の2つの礎石の終わりに来ました。それぞれの土台は、次の礎石を据えるために不可欠です。続く2回の学びで「きよめの洗い」を見ていきます。

## 第6課

### 「土台を据える」 第五回

## 水に浸かる

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

「土台を据える」シリーズの第5回「水に浸かる」の学びに入っていきます。これまで、神のことばの個人的土台として、イエスが神の人格のことばであり、聖書は書かれた神のことばであることを見てきました。私たちの人生における神のことばの重要性について、また神のことばの中にある条件と約束に私たちが従うとき、私たちのからだ、思い、霊に与える素晴らしい影響について学びました。

また続けて、悔い改めについて詳しく学び、それが私たちの信仰の歩みに不可欠な第一歩であることを理解しました。これは、悔い改め(思いの変化と方向転換に至る固い決心)は、真の信仰に先立つものでなければならず、信仰がなくては神を喜ばせることができないからです。「神に対する信仰」の学びでは、信仰と行ないの違いを考察しました。「あなたは、まず信仰による新しい創造、それから神が私たちのために備えてくださった良い行ないという正しい順序を取らなければならない。」と、デレクが言ったことを忘れないでください。

では、「死んだ行ないからの回心」と、「神に対する信仰」の最初の2つの礎石を見てきたように、教理的土台を学びましょう。次に据える必要があるのは、「きよめの洗い(水のバプテスマ)」という礎石です。このバプテスマという語は、複数形です。それは、新約聖書には、ヨハネのバプテスマ、クリスチャンのバプテスマ、聖霊のバプテスマという3つのカギとなるバプテスマがあるからです。このメッセージの中でデレクは、そのうちの2つのバプテスマ(どちらも水によるバプテスマ)について教えています。

「バプテスマ」という語がどこから来たか、疑問に思ったことがありますか。一人ひとりの霊の領域において、何かの「中で」、別のものの「中へ」とバプテスマを受けます。メッセージの中でデレクは、次のような疑問に聖書を通して答えを与えています。「私たちはバプテスマを受けると決心する前に、果たさなければならない必要条件はあるか。」「バプテスマを受けるまでにどれくらい待つべきか。」「バプテスマを受ける資格を得るために学びをする必要があるか。」「旧約聖書のノアの箱舟とイスラエルの民のエジプト脱出はどちらも、新約聖書のバプテスマの予型であることに気づいていたか。」

ルカの福音書の最後に、イエスは復活したあとエマオの途上でふたりの弟子たちに現われた話が書かれています。最初彼らはそれがイエスだとわかりませんでした。イエスはパンを裂くことで彼らの目を開かれました。「そこでふたりは話し合った。『道々お話しになっている間も、聖書を説明して下さった間も、私たちの心はうちに燃えていたではないか。』」(ルカ 24:32)

私たちの心はその真理によって燃え始め、消えずに私たちの内に刻まれ続けるために、聖霊の力を通してみことばを説明すること、それこそが、究極的な教師としてのイエスの目的です。すべての真の聖書教師がイエスの模範に従わなければなりません。私たちが成すべきことは、みことばの真理を聞き、謙遜になって心の中に受け入れることです。そうすれば、みことばが私たちを燃え立たせ、永遠のために私たちの品性を形成し、整えてくださいます。

では、この極めて重要な「水に浸かる」の教えを聞き、そのあと以下の質問に答えてください。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

Ⅱ テモテ 3:16-17 でパウロはこう書いています。「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」まず注目していただきたいのは、「聖書はすべて」とあることで、それは私たちがお気に入りの聖句を選んで読んだり、よく知っている箇所ばかり読むのではなく、聖書全体を読む必要があるということです。

デレクは 80 歳の時、毎年少なくとも 2 回聖書を通読していると言っていました。彼はその時点でクリスチャンになって 54 年経っていたので、少なくとも 108 回は聖書全体を読んでいたこととなります。バプテスマのようなピックを非常に明確に説明できるためには、神から与えられた賜物にもよりますが、聖書の著者である聖霊の力と啓示を通して聖書を読み、学び、黙想し、理解し、適用するために多くの時間と努力、献身があったゆえでもあるのです。

ですから、デレクの忠実さの実である教えを楽しむとき、私たちは単にその信頼できる教えの益を受けるだけでなく、彼の例にならって、私たちの人生において聖書を読み、学び、黙想し、適用する思いが与えられるように祈りつつ学んでください。。

では、メッセージのカギとなるポイントを思い出しながら、以下の空欄を埋めてください。

## バプテスマの教理

1. 聖書の中には 3 つのおもなバプテスマの形があります。  
(ア) ..... のバプテスマ  
(イ) ..... のバプテスマ  
(ウ) ..... のバプテスマ
2. 「バプテスマを受ける」という語は、..... 語から直接とられ、そのまま英語に取り入れられました。「バプテスマを受ける」とは、何かを水の中に入れる、あるいは上から水を注ぐことにより、..... という元来の意味を持つ非常に明確な語です。バプテスマは部分的にではなく、全体が浸かることです。
3. バプテスマとは、あるものから他のものへと..... することです。私たちは部分的に変化することができないので、バプテスマとは全体的な浸しです。

聖書では、バプテスマという語は「～に、～の中に」、時には、「～へ」という前置詞が伴います。前置詞「～に」は、あなたが浸されるものを指し、それは水であったり聖霊であったりします。「～の中に」は、バプテスマの結果により生まれるものや結果を表わします。バプテスマについて考えるとき、「何に」浸され、「何の中に」生まれるのかという 2 つの疑問が出てくるでしょう。

## ヨハネのバプテスマ

4. マルコ 1:2-5 で、ヨハネのバプテスマと聖書が 2 つのおもな目的を明らかにしていることがわかります。  
(ア) ..... のためにイスラエルを整えます。メシヤは彼らが準備されるまでは来ることができませんでした。また、私たちが準備できるまで再臨しません。  
(イ) それは、律法と..... の間をつなぐ摂理でした。ヨハネのミニストリーは簡潔ですが、神の民の歴史を分ける重要な働きでした。ヨハネは一つの時代を終わらせ、もう一つの時代を始めたのです。
5. ヨハネのバプテスマを受けるには、3 つのおもな条件がありました。

(ア) ..... - 思いを変え、結果として方向転換をする。

(イ) 公での ..... の告白。私たちは常に公に自分の罪を告白する必要はありませんが、罪は神に告白しなければなりません。告白した罪だけが赦されます。

(ウ) 変えられた ..... というし(マタイ 3:7-8 参照)

聖書はバプテスマのヨハネは人々を悔い改め「の中へ」と導いたと言っています。しかし、マタイ 3 章を見ると、**すでに**悔い改めていなければ、ヨハネはバプテスマを授けなかったことが明確です。ですから、バプテスマは悔い改めを生むものではなく、**悔い改めた**というし、証拠でした。

6. ヨハネのバプテスマはメシヤのためにイスラエルの民を整えることにおいて、また 2 つのものをつなぐことにおいて極めて重要でした。それは次の方法に限られました。

(ア) それは、新しい ..... を生み出しませんでした。ヨハネは女から産まれましたが、決して「新生した」ではありません。彼は新しいいのちに入ることはありませんでした。イエスが来られるまで、「新生」は不可能だったからです。(マタイ 11:11)

(イ) ペンテコステの日以降、聖霊が大きな力で臨んだとき、ヨハネのバプテスマは、 ..... のバプテスマの代わりとして認められることはありませんでした。(使徒 19:1-5)

### クリスチャンのバプテスマ

デレクが「クリスチャンのバプテスマ」という言い方をするのは、単純に、水のバプテスマを受けてイエス・キリストにある信者となることを指すものです。それは、ほとんどのクリスチャンが理解しているものよりはるかに重要で、ヨハネのバプテスマとは対照的で、それは悔い改めのバプテスマではありません。私たちは罪人であるので、イエス・キリストの中へとバプテスマを受けるではありません。

マタイ 3:13-17 にこう書かれています。

さて、イエスは、ヨハネからバプテスマを受けるために、ガリラヤからヨルダンにお着きになり、ヨハネのところに来られた。しかし、ヨハネはイエスにそうさせまいとして、言った。「私こそ、あなたからバプテスマを受けるはずなのに、あなたが、私のところにおいでになるのですか。」ところが、イエスは答えて言われた。「今はそうさせてもらいたい。このようにして、すべての正しいことを実行するのは、わたしたちにふさわしいのです。」そこで、ヨハネは承知した。こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるの

を ご覧 にな っ た。ま た、天 か ら こ う 告 げ る 声 が 聞 こ え た。「こ れ は、わ た し の 愛 す る 子、わ た し は こ れ を 喜 ぶ。」

7. この箇所は、クリスチャンのバプテスマが悔い改めのバプテスマではないことを教えています。それは、イエスには.....べき罪はなかったからです。イエスはヨハネからバプテスマを受けましたが、ヨハネのバプテスマではありませんでした。
8. この場面は神が.....でのバプテスマを定めたことを示しています。なぜなら、三人の神格すべてがそこにおられたからです。イエスはその中を通り、聖霊がイエスの上に下りました(イエスが水でバプテスマを受けるまで聖霊は下りませんでした)。そして、天から父なる神が語られたのです。
9. イエスのバプテスマの目的は、上の聖句の 15 節にあります。「今はそうさせてもらいたい。このようにして、すべての.....を実行するのは、わたしたちにふさわしいのです。」イエスが「わたしたち」と言われるとき、イエスご自身と、バプテスマの水を通してイエスに従うすべての人々のことを指しています。
10. ....はバプテスマの必要条件の一つですが、バプテスマを受ける理由ではありません。私たちは「正しいことを実行する」ためにバプテスマを受けます。
11. 私たちはすでに.....にある信仰によって義とされたので、水のバプテスマはその義を行なう、完成させる、あるいは果たすためにふさわしい方法です。
12. ローマ 6:3 によると、クリスチャンのバプテスマは.....、埋葬、復活においてイエスと一つとなることです。私たちはイエスとともに死に、水の墓に埋葬され、イエスとともに新しいいのちを歩むために、その水の墓から出て、よみがえります。

私たちがバプテスマを受けるとき、それは自分の生き方の終わりを意味します。自分自身の力や義で物事を行なうことに終わりが来る時です。水の墓から出るとき、それは聖霊の力によって歩むためです。イエスは自分自身で死からよみがえったわけではありません。それは非常に重要なことです。イエスは父なる神と聖霊によって死からよみがえったのです。

13. 水のバプテスマを受ける前に私たちがしなければならないことが 4 つあります。

(ア) 私たちは.....を聞く必要があります - キリストは私たちの罪のために死なれ、葬られ、三日目によみがえったという福音です。(マタイ 28:19-20)。

(イ) 悔い改め - 使徒ペテロが.....の日に説明したように。(使徒 2:38)

(ウ) イエスにある信仰、あるいは.....。(マルコ 16:15-16)

(エ) 神への正しい.....。( I ペテロ 3:21)

いったん葬られ、よみがえったら、あなたのいのちはあなたに属してはいません。もしあなたが自分の生き方を続けたいのであれば、あなたはバプテスマを受けるべきではありません。なぜなら、バプテスマはあなたへの死刑宣告だからです。あなたがよみがえったとき、あなたのいのちはあなたのものではありません。あなたは、バプテスマが弟子となることへの献身であることを理解していますか。

14. マタイ 28:19-20 でイエスは、行って、.....を作りなさいと言いました。教会員ではありません。今日の教会の最大の問題は、教会員が弟子になっていないことです。

15. バプテスマの教えと準備には、長い.....を必要としません。ペンテコステの日、またエチオピアの宦官、コルネリオの家族やピリピ人の看守の家族などの例では、緊急性があったのです。

16. バプテスマの霊的意義には 3 つあります。

(ア) ローマ 6:3-11 によれば、バプテスマは死と埋葬、復活において.....と一つとなることを意味します。

(イ) 私たちがバプテスマを受けるとき、私たちは死に、.....され、よみがえります。

(ウ) 私たちは罪に死にますが、.....にあって生きようになります。(ローマ 6:11)

17. 2 つの水のバプテスマの対比に注目しましょう。

(ア) ヨハネのバプテスマで、人は水でバプテスマを受け、.....に至りました。

(イ) クリスチャンのバプテスマで、私たちは水でバプテスマを受け、.....につくのです。

もし、誰かが教会や教派に入るためにバプテスマを受けるべきだと言うなら、それは間違いです。

18. パウロはコロサイ 2:12 でこう書いています。「あなたがたは...神の力を信じる信仰によって、キリストとともによみがえらされたのです。」バプテスマは、ただ神の力への.....を持つ人々の

ためにだけ働くのです。私たちが信じないなら、何も起こりません。

19. ローマ 8:11 は、私たちの新しいのちは聖霊によって強められることを思い起こさせてくださいます。死からよみがえったキリストと同じ.....が、私たちの内にも働くのです。

I ペテロ 30:20-21 でペテロは、ノアの箱舟はバプテスマの予型であると言っています。さばきが来ようとしていたとき、唯一の逃れる方法は箱舟に入ることでした。

20. このノアの箱舟の全体像は、洪水は神のさばきを表わし、聖書で常に言われているように、.....はイエス・キリストを表わします。あなたは箱舟の中にいるなら、さばきの水を安全に通り返けるのですが、箱舟の外では、水没してしまいます。

I コリント 10:1-2 でパウロは、モーセによるエジプト脱出において、すべてのイスラエル人は 2 つの体験をしたと言っています。彼らの上に天から雲が下りてきて、彼らは雲の中でバプテスマを受けたと言っています。また、水の中に入って行き、水から出てきたことを、海の中でバプテスマを受けたと言っています。ですから、すべての信者に定められている 2 種類のバプテスマがあります。

雲が天からあなたの上に降りてきて、あなたは雲に浸され、水の中に入って行き、水を通り、水から出て来ます。そして、イスラエルの民は水から出てきたとき、彼らは新しい律法と新しいリーダーとともに、新しい人生を始めました。それ以外のものはみな、過ぎ去ったのです。

水がエジプト人を断ち切ったということが非常に重要なのです。イスラエル人は子羊の血によってエジプトで過ぎ越され、救われたのですが、それは彼らをエジプト人から引き離すものではありませんでした。エジプト人を引き離したのは、水です。そしてそのバプテスマは私たちを切り離すものです。私たちはイエスが流された血を信じ、救われますが、バプテスマを受けるまでは、切り離されないのです。

この時点で、私たち一人一人の応答に 2 種類あることに気づくでしょう。福音を聞き、死んだ行ないを悔い改め、神に対する信仰を持ち、正しい行ないへの応答をするという条件を満たし、水でキリストの中へとバプテスマを受けたという応答、もう一つはそれらをしていないという応答です。その 2 つの応答の可能性があることは当然です。

もし、あなたが聖書で言われている条件にまだ応答していないなら、またバプテスマを受ける必要があるなら、次のように祈ってみましょう。

天の父よ、水のバプテスマの重要性を私が理解できるように、私の心の目がはっきり見える（エペソ 1:18）ようにして下さったことを感謝します。遅れることなく、その条件を満たす必要性とマルコ 16:16 が、「信じてバプテスマを受ける者は救われます。」と教えているように、バプテスマなくしては、救いの保証がないことを正しく理解することができました。

どうか、マタイ 28:19 にあるように、父と御子、聖霊の名によってすぐにもバプテスマを授けてくれる成熟したクリスチャンを私のもとに送ってください。イエスの御名によって。アーメン。

もし、あなたが聖書に書かれている条件を満たし、水でバプテスマを受けたなら、次のように祈ってください。

天の父よ。バプテスマを通してイエスの死、埋葬、復活においてイエスと一つとされているという、私にして下さった素晴らしいことを思い起こさせてくださったことを感謝します。

この単純ではあるけれど、福音の信仰の不可欠な教えを通して、私が見出した自由を、他の多くの人々も見出すことができるように、私がこの真理を分かち合うことができるように助けてください。イエスの御名によって。アーメン。

あなたは、バプテスマを受けたけれども、バプテスマについて理解していなかったと感じているかもしれません。デレクはそのような人のことを、「かわいた罪人として水に入り、濡れた罪人で水から出てきた。」と言っています。もしあなたがそうであるなら、あなたはクリスチャンのバプテスマの条件を満たしていないことになるので、イエスを受け入れ、イエスにすべてを明け渡すために、新たにバプテスマを受けることが適切でしょう。

次のメッセージ「聖霊に浸される」で、水のバプテスマを通して確証された新しい人生において、勝利の人生を歩むための神の備えである、聖霊のバプテスマについて学びます。

## 第7課

### 「土台を据える」 第六回

## 聖霊に浸される

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

このメッセージは、バプテスマの教理の続きで、特に聖霊のバプテスマについて学びます。この学びのタイトルにも、前回のメッセージのタイトル「水に浸される」にも、「バプテスマ」の原語であるギリシャ語の真の意味を思い起こす「浸される」という言葉が使われています。ギリシャ語の「バプティゾ」の単語自体の意味が「つける、浸す」であり、それを英語のアルファベットに当てはめただけです。水の中に入っていくものも、またデレクが語っているナイアガラの滝で上から浸されるものも、同じ「浸し」です。

私たちはすでに水のバプテスマの意義を学び、バプテスマの水を通られたイエスの模範に従わない人には、聖書にある真の救いの保証はないと理解しました。それは、マルコ 16:16 で「信じてバプテスマを受ける者は救われます。」と言われているからです。

水のバプテスマがなされるたびに、イエス・キリストの死、埋葬、復活の教えが新鮮に思い起こされます。初代教会では、あなたが誓ったその信仰の教えである水のバプテスマを通らない限り、教会員とはみなされませんでした。

クリスチャンの霊的意義は3つあります。私たちはイエスの死、埋葬、復活にともにあずかる者となることで、バプテスマを受けるとき、私たちは死に、埋葬され、新しいいのちでよみがえります。私たちは罪に死に、キリストにあって生きる者となります。水の中でキリストの中へと浸されるのです。

ローマ 6:4 はこう言っています。「私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあって新しい歩みをするためです。」バプテスマを受ける前、私たちは肉的な古い生き方をしていましたが、新生を通して神から与えられた超自然的な生き方を効果的に歩むためには、超自然的な力を必要です。そのため、聖霊の約束が与えられたのです。

では、神が私たちに与えてくださる聖霊の賜物を受けるといふ素晴らしい招きを応答する前に、デレクが聖書を通して教えている、「聖霊に浸される」というメッセージを聞きましょう。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

### ペンテコステの前に約束された聖霊

あなたは、聖霊の訪れの重要性に気づいていますか。イエスが聖霊でバプテスマを受けることは、四福音書すべての導入部分で紹介しているとデレクは言っています。イエスが私たちの身代わりに死なれるだけでなく、彼のミニストリーのまさに初めに、イエスは「聖霊でバプテスマを受ける方」であると知らせているのです。これは非常に重要です。なぜなら、イエスが歩まれたように私たちも歩むために、神がどのように私たちを強めてくださるかを啓示しているものだからです。しかし、多くの教会がそれを見過ごしています。

多くの教会は基本的なステップを欠いていながら、勝利の中を歩もうとしているのです。神が私たちに聖霊を与えてくださったのは、私たちが完璧だからではなく、私たちには聖霊が必要だからです。

メッセージを思い出しながら、以下の空欄を埋めてください。

1. ヨハネの福音書だけが、イエスを「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」(ヨハネ 1:29)として啓示しています。しかし、四福音書すべてが、イエスを聖霊で.....と紹介しています。イエスを救い主として、また神の小羊として知ることは素晴らしいのですが、それだけではありません。聖霊のバプテスマを受ける方として、私たちが個人的にイエスを知ることが極めて重要です。
2. 使徒 1:4-5 では、イエスは復活したあと、ペンテコステの日の前に.....のヨハネが語った約束を弟子たちにもう一度言っています。「ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」
3. 聖霊の約束の成就是、使徒 2:1-4 に記録されており、それには 3 つの段階があります。  
(ア) そのバプテスマは、.....から来て、家全体に満ちた - 彼らは上から浸された。  
(イ) 彼らは一人ひとり、.....に聖霊に満たされた。それは、単に集団の体験ではなく、一人ひとりが個々に受けた体験であった。  
(ウ) それは満ちあふれ、超自然的に内側の満たされたものが外へ向かって.....。イエスは、マタイ 12:34 でこう言っています。「……心に満ちていることを口が話すのです。」

4. 心に満たされあふれるとき、ことばが.....を通して流れ出します。
5. これは、神と人との共同作業であることを理解することが重要です。人々を満たしたのは神でしたが、彼らが.....始めたのです。聖霊は話すことをしませんでした。話したのは彼らで、聖霊がそのことばを彼らに与えたのです。

Ⅱ コリント 1:21-22 でパウロはこう書いています。「私たちがあなたがたといっしょにキリストのうちに堅く保ち、私たちに油をそそがれた方は神です。神はまた、確認の印を私たちに押し、保証として、御霊を私たちの心に与えてくださいました。」 そのように聖霊は印であり、保証書のようなものとして表現されています。

また、エペソ 1:13-14 でパウロは類似したことばを用いてこう言っています。「この方においてあなたがたも...それを信じたことにより、約束の聖霊をもって証印を押されました。聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です。」

6. 聖霊のバプテスマは、ただあなたの内側だけで何かが起こり、他の人々には見えないものではなく、目に見え、聞くことのできるものです。それはしるしであり、保証されたものです。
  - (ア) あなたはすでにイエスに従うことを選び取りましたが、これは、あなたがイエスにある者であることを.....に認められるものです。イエスはあなたに公的証印を押されます。
  - (イ) イエスはあなたに保証金を支払い、.....のためにあなたを聖別してください。そのあと、あなたが別の顧客に売られてしまうことはありません。
  - (ウ) 聖霊のバプテスマはイエスの.....です。イエスは言われます。「わたしは戻って来てあなたを連れて行きます。わたしが戻ってくるとき、残りのお金を支払い、あなたは永遠にわたしのものとなるのです。」
7. 使徒 2 章で言われているしるしは、.....が話させてくださるとおりに他国のことばで話すことです。しるしというものは、人々の前で目に見え、聞くことができるものでなければなりません。もし、それが隠されているものであるなら、しるしとしての目的を果たすことができないからです。
8. 聖霊のバプテスマのしるしを確かめるときに、重要なことが 4 つあります。
  - (ア) それは、.....が個々の体験として受けた一人ひとりのためのしるしです。イエスが父

の約束を受けるまではエルサレムにとどまりなさいと言われたので(使徒 1:4-5)、彼らは聖霊が来て異言で話すまで 10 日間待ちましたが、それ以降は聖霊を受けるために待つことはありませんでした。

- (イ) それは、使徒たちが他の人から認められた.....でした - 使徒 10:44 でコルネリオの家族が一例です。
- (ウ) 使徒たちは他のいかなる証印も求めませんでした。あなたが聖霊を受けたとき、イエスが.....したものを受け取ったので、このことは非常に重要です。他のしるしを求める理由はありません。
- (エ) 新約聖書は他のしるしを提供していません - .....はありません。

今日、ある人はコルネリオの家族について、「使徒たちは 6 週間くらい彼らと一緒に過ごして、実を結ぶかどうか確かめた方がよかったかもしれない。」と言うかもしれません。しかし、使徒たちはそうしませんでした。私たちは実について話しているのではなく、賜物について語っているのです。その 2 つに違いはありますが、どちらも非常に重要なものです。賜物は、一回のプロセスで受け取ります。実はゆつくりとした成長のプロセスでやって来ます。クリスマスツリーと実際の木の比較を思い出しましょう。

9. 私たちが聖霊を受けるために 2 つの方法があります。

- (ア) .....から直接受ける。(使徒 2:1-4、10:44-47)
- (イ) .....を置くことを通して。(使徒 8:14-19、9:17、19:6)

### バプテスマの目的

10. 聖霊のバプテスマの全体的な目的は、神からの力を受けることです。イエスは言われました。

「...聖霊があなたかたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。」(使徒 1:8)

特に、その力の第一の目的は 2 つあります。

- (ア) .....し、仕えるために。私たちが超自然的な出来事を証明しようとするなら、あなたには超自然的な力が必要です。(ローマ 15:18-19、I コリント 2:1-5、ヘブル 2:3-4 も参照)
- (イ) からだに.....をもたらすために。I コリント 12:13 はこう言っています。「私たちはみな、ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、一つのからだとなるように、一つの御霊によってバプテスマを受け、そしてすべての者が一つの御霊を飲む者とされたからです。」

水のバプテスマについて学んだとき、デレクはバプテスマを取り扱うとき、「何で」と「何の中へ」という2つの質問が出てくると言いました。

11. I コリント 12:13 はその2つの質問に答えを与えています。私たちは聖霊でバプテスマを受け、一つのからだの.....とバプテスマを受けるのです。そのからだとは、イエスのからだとも呼ばれている教会を指します。イエスがかしらであり、私たちはからだです。聖霊のバプテスマはその立場の証印を押すものです。
12. パウロは、「一つの御霊」で、「一つ」、そして「一つのからだ」という語を用いて、聖霊のバプテスマの目的が.....をもたらすものであることを強調しています。
13. 聖霊のバプテスマはゴールではなく、.....です。それは最終地点ではなく、むしろ新しい始まりなのです。キリストにあって強められた新しいいのちの始まりです。

イエスが死からよみがえったという事実によって人々が強められたのだと言う人が多くいます。しかし、それは正確ではありません。なぜなら、エルサレムにいた人はほとんど誰ひとり、イエスが50日前に死からよみがえったことは知りませんでした。しかし、聖霊が臨んだとき、エルサレム中の人々が数時間以内にそのことを知ったのです。それは、ダイナマイトのようなもの、いわゆる爆発でした。爆発は恐ろしいので、苦手な人もいるでしょう。しかし、それが聖霊であつたらどうでしょう。聖霊さまに爆発していただきます。

14. 聖霊のバプテスマを受けたときにしばしば伴う、目に見える.....について、大半のクリスチャンは、新約時代の信者たちが行なったことのわずかしかしていない、「抑圧された生き方」をしていると言っています。
15. 旧約・新約聖書の人々は、時に強い感情を表わしましたが、私たちは厳粛であろうとして、感情的になったり、興奮したりすることを恐れることが多いのです。そうすることによって、私たちは御霊を.....失っています。(I テサロニケ 5:19 参照)

### **聖霊を受ける7つの条件**

16. 聖書は聖霊のバプテスマを受けるための7つの条件を明らかにしています。

(ア) ..... - 思いを変え、向きを変えるという固い決心をする。

(イ) 水の ..... を受ける - 使徒 2:38 は、これら 2 つの条件は聖霊を受ける人の準備においてカギとなることを言っている。

ヨハネ 7:37-38 でイエスは立って大声で言われました。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。」以下の 3 つの条件はすべて、この聖句の中に答えがあります。

(ウ) ..... - 「～なら」という語は、私たちが実行しなければならない条件であることを示しています。

(エ) .....のもとへ来る - この方だけが聖霊でバプテスマを授けるお方で、あなたがバプテスマを受けたいなら、この方のもとへ来る必要があります。

(オ) 私たちは ..... なければならない - これは、受け取ることと比較され、バプテスマを受けるプロセスにおける積極的な姿勢です。神は望んでいない人に聖霊を強要することはありません。

残りの 2 つは、

(カ) 私たちは父に ..... 必要がある - ルカ 11:13 はこう言っています。「してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありましよう。」

(キ) あなたの ..... をささげなければならない - 異言の賜物を通して聖霊による舌の制御は、聖霊の制御するために来られるというしるしです。(ローマ 6:13 参照)

上記に挙げたものはシンプルな条件ですが、あなたは全てを満たしていないかもしれません。たとえば、デレクやコルネリオの家の者たちのように、水のバプテスマを受ける前に聖霊のバプテスマを受けたので、水のバプテスマを受ける機会を逃したかもしれません。もしそうでしたら、「すべての正しいこと」を実行するのがよいでしょう。

しかし、特定の基本的条件というものがあります。ヨハネ 7:37-39 でイエスは言いました。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。」そうすれば、「わたしを信じる者は…その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」素晴らしい変化です。あなたは渴いた人として来て、水の川の流れとなるのです。それは何ですか。聖霊のバプテスマです。非常にシンプルです。あなたはイエスのもとへ来なければなりません。聖霊のバプテスマを授ける唯一のお方のもとへ来て、飲ま

なければならぬのです。

まだあなたが聖霊のバプテスマを受けていないなら、上記の7つの条件を満たしているかどうかを一つずつ確かめてみましょう。そして、もう一度メッセージの中でデレクが人々を聖霊のバプテスマに導いている箇所を聞くのがよいでしょう。なぜなら、あなたは読むこと以上に、イエスから聞いてイエスに集中することができるからです。あるいは、以下のようにシンプルな祈りをしてよいでしょう。

主イエスさま、あなたが私の罪のために十字架で死に、死からよみがえった神の御子であり、神への唯一の道であることを信じます。私が犯したすべての罪を告白し、あなたの尊い血潮で私を赦し、きよめてくださることを信じ、感謝します。主よ、今私は、聖霊で私にバプテスマを授けるお方であるあなたのもとへ来ます。あなたがすでに私に注いでくださっている御霊を飲み始めるために、あなたに心を開きます。

もう一度言ってください。

あなたがすでに私に注いでくださっている御霊を飲み始めます。主よ、あなたが私にあふれ流れてくださることを信じます。信仰によって、このことを感謝します。イエスの御名によって。  
アーメン。

今、飲み始めてください。あなたの舌をゆだね、あなたが異言を語り始めていることがはっきりわかるように、話し始めてください。あなたの問題や疑問を忘れ、周りを気にせず、この体験を通して主にあなたをゆだねてください。イエスによってあなたに勝利ある歩みをするための素晴らしい賜物が与えられていることを、神に感謝している間ずっと異言を話し続けてください。

## 第 8 課

### 「土台を据える」 第七回

## 神の力を伝える

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

私たちはヘブル 6:1-2 にある 6 つの土台の教理を続けて学んでいます。ここまで、最初の 3 つの教理である、死んだ行ないからの回心、神に対する信仰、バプテスマ(きよめ)の教えを取り扱ってきました。バプテスマの教理に関して、おもに以下の 3 つのバプテスマがあるとデレクは言っています。

バプテスマのタイプ	何で？	何の中へ？
ヨハネのバプテスマ	水	悔い改め
クリスチャンのバプテスマ	水	イエス・キリスト
聖霊のバプテスマ	聖 霊	一つのからだ - 教会

この課では、「手を置く儀式」について学びます。これは基本的な教理であるにもかかわらず、その教えはほとんどなされません。このことがヘブル 6 章のリストに挙げられていることに驚いていらっしやるかもしれませんが、クリスチャン生活の欠かせない部分で、極めて重要なのです。

この儀式は、先輩献身者と後輩献身者の間に、また上の世代と次の世代の間に連続性、継承を与えるものです。祝福を与える、運命を決定づける、聖別する、支持する、整える意味として、また超自然の霊的権威を与える意味を持つ、手を置く儀式について旧約聖書から例を見ていきます。

そのあと、デレクは、教会の時代に生きる私たちが注意すべき危険と、その予防手段に気づくために、「手を置く」多くの目的を新約聖書から教えています。

### まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

ある人が、デレクのメッセージの特質の一つについてこのように言いました。彼のメッセージを聞くと、

「確かに、その通りだ。」と納得するが、デレクから教えられるまで自分が知らなかったことに気づくのだと。

あなたも、この「神の力を伝える」というメッセージを聞いた後、そのような経験をしたかもしれません。うなずいて同意していたけれども、よく考えてみると、その教えのほとんどは、デレクが説明するまであなたにとって新しいものであったかもしれません。すべての教えにおいて、デレクはただ知識を与えようとするのではなく、愛という究極のゴールを持った聖霊を通して、みことばの啓示を与えることを目指しています。

以下の空欄を埋めてください。

### 手を置くこと

1. 手を置く儀式の重要な要素は、.....の最初の書物に見られ、神の民の歴史全体を詳細に語っています。(創世記 48:8-19)
2. 手は、人が他の人との.....を作るおもな方法の一つです。あなたの手をだれかの上に置くことは、人間の自然な反応です。
3. 霊的な文脈において、完成された 2 つのおもな目的があります。
  - (ア) 聖書の中で、祝福、権威、知恵、聖霊、霊的賜物や奉仕を.....のために、手を置いていることがわかります。
  - (イ) それは、神の任命を承認するといったような、キリストのからだである教会の奉仕の場所を、ある人に.....する聖書的方法です。

教会内のことは投票で決めるものではないということを、私たちは理解する必要があります。神は投票を求めてはおられません。任命をしてくださるのは神です。イエスは使徒たちにこう言われました。「あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。」これは、すべての働きやミニストリー、教会での任命において真理であると信じます。ご自身のからだであるイエス・キリストが教会のすべてのかしらであるので、人ではなく、神が選ぶのです。

イエスの権威によらない任命は、全く妥当ではありません。任命が人を特定のものにさせるのではな

く、神がその人はそうであるべきと決めたことを私たちが認めるものです。

4. 委任において、手を置くことの 4 つのカギとなる機能があります。
- (ア).....する - 指名するのではなく、神の選びを認める。
  - (イ) 任務や奉仕を与えるために.....する。
  - (ウ).....する - 任命する人に権威的証印を置く。
  - (エ) 霊的権威を移すことによって、.....。

### 旧約聖書に見られる例

5. 創世記 48:8-19 に、父ヤコブ(イスラエル)からの祝福を受けるために、ヨセフが自分の息子マナセとエフライムを連れてくる話があります。神ご自身の祝福の次に大きな祝福は、父あるいは祖父からの祝福です。この話の中で、
- (ア) より大きな祝福は、父の.....手から来ることを理解できます - 聖霊の導きにより、ヤコブの手は交差され、マナセではなく、エフライムにより大きな祝福の手が置かれました。
  - (イ) それは真の.....でした - 単なる形式的なものではありません。
  - (ウ) それは単なる.....ではなく、2 人の若者の人生にとって重要な受け渡しでした。
  - (エ) 以後の彼らの.....を決定づけました。
6. 民数記 27:12-23 で、モーセは約束の地に導くための新しい指導者を神に求めました。その申し出に対する答えは、ヨシュアでした。
- (ア) 奉仕のために.....する - 「主はモーセに仰せられた。『あなたは神の霊の宿っている人、ヌンの子ヨシュアを取り、あなたの手を彼の上に置け。』」(18 節)
  - (イ) 指導者によって..... - 「彼を祭司エルアザルと全会衆の前に立たせ、彼らの見ているところで彼を任命せよ。」(19 節)
  - (ウ) 指導者の働きのために.....。 - 「あなたは、自分の権威を彼に分け与え、イスラエル人の全会衆を彼に聞き従わせよ。」(20 節)
7. それは単なる形式的なものや儀式ではなく、ヨシュアに実際に起こったことです。申命記 34:9 にこのように書かれています。「ヌンの子ヨシュアは、知恵の霊に満たされていた。モーセが彼の上に、かつて、その.....を置いたからである。」

8. 第Ⅱ列王記 13:14-21 に、エリシャとヨアシユ王の話があります。エリシャが自分の手を  
.....の手に置いたことによって、王の放った矢に影響がもたらされました。

### 新約聖書に示されている目的

新約聖書には、他の人に手を置く数多くの目的が示されています。ヘブル 6:1-2 に、この「手を置く」という基礎的教理があることに驚いたかもしれませんが、以下のリストを見ると、教会内でこの「手を置く」ことを用いないなら、私たちは神の備えの不可欠な部分を欠いてしまうことになると思われます。

9. 病人をいやすことを分け与える:

(ア) .....の人々に。(マルコ 16:17-18、ルカ 4:40-41)

(イ) .....の人々に。ここで用いられている油は聖霊を表わします。(ヤコブ 5:14-15)

10. 聖霊の.....を分け与える - この例には、サマリヤの町の人々(使徒 8:14-20)と、タルソのサウロ(使徒 9:17-18)、またエペソの弟子たち(19:1-6)などがあります。

11. 教会のしもべたち(役員)を.....する - 彼らはみな聖霊に満たされた人々でなければならなかったことを思い出してください。(使徒 6:1-7)

12. ....たちを派遣する - 断食と祈りの後、アンテオケの教会のリーダーたちは 2 人のトップの人物を選びました。ミニストリーの宣教の促進のためには、下の人々ではなく、トップの人々の中から選ばれるべきです。(使徒 13:1-4)

パウロとバルナバが遣わされたとき、彼らは預言者と教師と呼ばれるグループを作っていました。しかし、次の 14 章で、彼らは「使徒たち」、つまり遣わされた者たちと呼ばれています。彼らはどのようにして使徒となったのでしょうか。聖霊の導きによる任命によってです。彼らはどのように聖霊の声を聞いたのでしょうか。祈り、断食し、礼拝していました。教会のリーダーシップがそのようにするとき、使徒たちが起こされるのを私たちは見るのです。

多くのクリスチャンは、太陽が地球の周りを回っているという天動説を唱えたプトレマイオスのようです。コペルニクスが現われ、「それは正しくない。逆である。地球が太陽の周りを回っているのだ。」と言いました。典型的に、教会は自分たちの伝統に反することを言う人を非難します。

今もなお、プロマイオスの時代のような生き方の人々が多いように思えます。御子なるイエスが私たちの周りを回っていると信じ、それが逆であることを学んでいません。しかし、私たちが御子の周りを回っているのです。イエスがおられる目的は、私たちの益のためであることが第一なのではありません。私たちがイエスの栄光のためにいるのです。

13. ....を任命する - 使徒 14:23 にこう書かれています。「また、(バルナバとパウロは)彼らのために教会ごとに長老たちを選び・・・」ですから、長老を任命したのは、まず使徒たちでした。
14. ....の賜物を分け与える - II テモテ 1:6 でパウロはテモテに宛ててこう書いています。「それですから、私はあなたに注意したいのです。私の按手をもってあなたのうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせてください。」賜物はギリシャ語で「カリスマ」です。この節の引用において、テモテに使徒的賜物が与えられたと、デレクは言っています。

### 危険性と予防法

手を置くことにおいて、危険性もあることは事実ですので、私たちが自分自身を守るための予防法を用いましょう。I テモテ 5:22 でパウロは、こう書いています。「また、だれにでも軽々しく按手をしてはいけません。また、他人の罪にかかわりを持つてはいけません。自分を清く保ちなさい。」これは、私たちが手を置く人について注意深くあるべき時のことを教えており、長老たちを取り扱う文脈の中でパウロが言っていることです。「だれにでも軽々しく按手をしてはいけません。」これは、「軽々しく長老を任命してはいけません。」という意味です。

この問題において、神のみこころに十分注意してください。手を置かずにいるより、手を置くことの方が容易であるため、その人に資質があるかどうかご注意ください。いったん長老として任命したら、その任命が間違っていたとき、その人を辞めさせることは大きな問題になるからです。

15. パウロは、「他人の.....にかかわりを持つてはいけません。」と書いています。なぜなら、ふさわしくない人を長老として任命し、その人が教会員や神の民を利用してしまいかも知れないからです。もし、その人がそうなったら、私たちはその罪に関わることになるからです。
16. 私たちは霊的な.....から自分を守る必要があります。あなたは悪霊の解放のためにある人に手を置いて祈ることがあると思いますが、それは二つの方法で働くことがあり得るため、あな

たは自分を守る方法を知っていなければなりません。あなたが神の霊を分け与えるか、その悪霊があなたに影響を及ぼすかのどちらかなのです。

誰かに手を置くときには、祈りと謙遜さによる守りが必要です。常に聖霊に導かれていてください。ローマ 8:14 でこう教えられています。「神の御霊に導かれる人は誰でも、神の子どもです。」さらに、イエスの血潮のもとにとどまり続ける方法を知り、その血によって守られてください。イエスが弟子たちに言ったことを忘れないでください。「確かに、わたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けたのです。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。」(ルカ 10:19)

聖霊に導かれ続けていても、守られ続けることが重要です。手を置くことは、素晴らしい祝福を分け与えることや、キリストのからだの中で継続的な確立のために、神が与えてくださった方法です。このことについては教会内でよく教えられているにもかかわらず、私たちが効果的に行なっていない基本的な教理のカギです。

私たちは知恵をもって手を置く儀式を用いることができるように主に祈りましょう。

天の父よ、この新しい真理の啓示を感謝します。役員を指名したり、使徒を任命する方法として、教会の中で手を置くということの意義を理解し始めています。また、癒しの祈り、聖霊の分け与え、御霊の賜物の分け与えを通して、主よ、あなたの力を移す方法として理解することができました。

あなたの栄光を現わすために、私に与えてくださった素晴らしい道具を用いる機会のために、聖霊に導かれる者として私を成熟へと成長させてください。私は、イエスの守りの血潮のもとにとどまることを選びます。敵のすべての力にまさる権威を与えてくださり、私に害を与えるものは何もないことを感謝します。私は祈り続ける者、謙遜な者としてとどまります。イエスの御名によって。アーメン。

ここまで、イエス・キリストという岩にしっかりとした土台を据えるために深く掘り始めてきました。私たちは書かれた神のことば(聖書)と人格のことば(イエス)を学び、私たちの聖書に対する態度は、私たちの神に対する態度であることを学びました。私たちは死んだ行ないを悔い改め、神に対する信仰を告白し、律法と恵み、また水のバプテスマと聖霊のバプテスマの理解において成長してきました。そして、この学びにおいて、手を置くことを通して神の力を伝え移す真理と意義を学びました。

次回の「終末」というメッセージで、時間から永遠へとフォーカスすることを学びます。

## 第9課

### 「土台を据える」第八回

## 終末

### 導入

*このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。*

今回の学び「終末」は、時を超えた永遠の中へ入る、というテーマです。これまで、死んだ行かないからの回心、神に対する信仰、バプテスマの教理、手を置くことという最初の4つの礎石を学びました。これらはすべてこの世に関連していますが、最後の2つの礎石は私たちが永遠の中へと踏み込むときに起こることです。

今現在のためのことではなく、将来に起こるキリストのさばきの御座で私たちがどのようにさばかれるかがわかっているなら、今どう生きるべきかを知るほうがはるかに良いはずなのに、永遠について学ぶ必要があるのかと思われるかもしれません。

しかし、私たちは今あるいのちだけにフォーカスすべきではありません。次の2つの学びで、極めて重要な「死者からの復活」と「とこしえのさばき」について学びます。今日あまりにも多くのクリスチャンが、神が今の自分の人生に何をしてくれるかだけについて考えていますが、それは神が私たちのために持っておられるもののわずかにすぎません。しかし、デレクはまず、この世から次の領域へと移っていくことについて教えていきます。

では、「終末」についてのメッセージを聞いてください。

### まとめと質問

*このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。*

永遠に関する問題を考え始めると、それはまったく私たちの思いをはるかに超えたものであることに気づきます。事前に何が起こるかをすべて知ることができれば安心できると考える人は、永遠について考えると、自分の快適な空間から追い出されてしまうと感じるでしょう。神はご自身の願いをご自身の時に、誰の許可も必要とせず成されます。その神の主権について知ることは私たちにチャレンジを与え、私たちの神への信頼がためされます。

神は本当に私たちを気にかけてくださっているのだろうか。贖いのために究極の代価を支払ってくださった神の子どもとして、私をそれほど愛してくださっているのだろうか。そのような問題に直面するとき、私たちは子としての確信をもって応答をするでしょうか。それとも孤児のような不安感をもって応答するでしょうか。以下の質問に答えるときに、あなたの思いの中でそのことを思い巡らしてみてください。神の主権、またあなたへの神の大いなる愛の中に憩うことができるように、神の視点から見ることもできるように、神に祈ってください。

以下の空欄を埋めてください。

### 新しい摂理

1. 黙示録 10:6 で御使いは、「もはや.....が延ばされることはない。」と言いました。人間の心臓の鼓動が止まる時、私たちは一人ひとり時間を超え、新しい領域である永遠の中へと入ります。多くの聖書訳が上のように訳していますが、文字通り訳すと、「もう時間は残されていない。」となります。

Ⅱコリント 4:17-18 では、「今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。」と書かれています。

2. この箇所から、究極的な実体は、霊的で永遠のものであることがわかります。特に、2つの真理に気づきます。  
(ア) 目に見える領域は、.....で一時的です。  
(イ) 目に見えない領域は、.....で、永遠です。
3. この今ある世の摂理は、私たちの.....ではありません。この世は墮落しており、私たちは美しい世界の絵を描くべきではありません。なぜなら、罪によって腐敗し、汚れ、すっかり損なわれてしまっているからです。私たちの最終的な目的地がこの世にはないことを神に感謝します。(ヘブル 13:14)
4. Iコリント 15:19 に、「もし、私たちがこの世にあってキリストに単なる希望を置いているだけなら、私たちは、すべての人の中で一番哀れな者です。」と書かれています。もし、私たちがこの世で起

こることだけを優先して考えているなら、私たちは哀れな者となることを覚えておきましょう。なぜなら、真の実体は目に見えない、.....のものだからです。

この世で神から何かを得るというキリスト教の概念は、新約聖書の姿とは全く違っています。一人ひとりが世の終わりと永遠の始まりについて考えるように聖霊によって促されることは、私たちにとって非常に健全なことです。

5. ヘブル 13:14 を読むとき、このように考えるでしょう - 私たちはやがて来るその.....を求めているだろうか。それとも、この世での住まいを求めているだろうか。
6. 私たちにとって長いと思える.....のために、永遠の最も小さな部分を神は犠牲にはしません。なぜなら、時間はいつまでも続くものではないからです。しかし、永遠はいつまでも続くものです。
7. 箴言 8:18 で、知恵は語っています。「富と誉れとはわたしとともにあり、尊い宝物と義もわたしとともにある。」イエスが、「持ち物を売って、施しをしなさい。自分のために、古くならない財布を作り、朽ちることのない宝を天に積み上げなさい。そこには、盗人も近寄らず、しみもいためることがありません。』（ルカ 12:33）と言われたように、永遠の.....は過ぎ去ることがありません。

私たちの賜物は、私たちのこの世でのいのちが終われば消え去ります。私たちの霊的賜物、預言、奇蹟、知識のことばはすべて消え去ります。私たちはそれを持っていくことができず、それらはこの世だけのもの、一時的なものです。しかし、私たちが持つことができるものが一つだけあります。何でしょうか。私たちの人格です。人格はいつまでも残ります。私たちの人格の中にあるものが、私たちが永遠にどうあるのかを決定づけます。それは、きよさを建て上げ、強さ、敬虔なクリスチャンの人格で、いつまでも残る尊い宝物です。

8. II ペテロ 1:19-21 で、使徒ペテロは聖書の預言の重要性と、しるされた 4 つの聖書の預言の重要な意義を教えています。
  - (ア) 19 節にこうあります。「私たちは、さらに確かな預言のみことばを持っています。」非常に多くのイエスに関する.....がすでに成就したという事実のゆえに、私たちは残りの約束についても成就されるという確信を持つことができます
  - (イ) 19 節にはさらに預言的なことばがあります。「暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。」とは、私たちは.....な聖書のことばを軽んじる立場には

ないという意味です。なぜなら、私たちには暗闇で導いてくれるくともしびが必要だからです。神の与えてくださるそのともしびとは、みことばの預言的啓示です。

(ウ) 私たちは、「夜明けとなって、明けの明星があなたがたの心の中に上るまで」は、聖書的な預言に目を留める必要があります。それは、.....の再臨のことではありません。これは、内なるものことで、私たちの心に夜明けの太陽が輝く直前の明けの明星を個人的に経験するということです。何を経験するのでしょうか。イエスが戻って来られることを知り、私たちが期待することです。

(エ) 21 節は、聖書的預言は人から.....ものではなく、神からのものであることを教えています。

申命記 29:29 でモーセはイスラエルの民にこう言っています。

「隠されていることは、私たちの神、主のものである。しかし、現されたことは、永遠に、私たちと私たちの子孫のものであり、私たちがこのみおしえのすべてのことばを行うためである。」

9. この節で、モーセは 2 つのことがあると言っています。

(ア).....ことは、神のものであり、誰ひとりそれらを理解することはできない。

(イ).....ことは、私たちが行なうためのものです。これは、預言についての教えです。人々が混乱する主な理由は、隠されたことを理解しようと、現わされたことには従わないからです。

### 世の終わりの一般的傾向

10. 聖書的視点から世の終わりの一般的傾向を考えると、5 つのおもな特徴があります。

(ア) 正義と.....のどちらもが増し加わります。正義は栄えますが、悪もはびこります。光は輝き、大いなる闇もあるでしょう。(イザヤ 60:1-2、マタイ 13:37-43、黙示録 22:10-12 参照)

(イ) 箴言 4:18 にこうあります。「義人の道は、あけぼのの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。」ですから、義は停止しているものではなく、それは.....です。そして、もしあなたがその道に踏み出すなら、その光は日々輝きを増します。

(ウ) キリストの.....の前に患難があります。マタイ 24 章は地上に神の国が来る前の産みの苦しみを表現しています。どのように応答するかを、自分自身に聞いてみる必要があります。

- (エ) ルカ 21:25-28 で、イエスは.....の到来のしるしのいくつかを私たちに教え、そして私たちへの慰めの美しいことばを与えてくださっています。「そのとき、人々は、人の子が力と輝かしい栄光を帯びて雲に乗って来るのを見るのです。これらのことが起こり始めたなら、からだをまっすぐにし、頭を上を上げなさい。贖いが近づいたのです。」
- (オ) 終わりの日に.....に与えられるしるしは、マタイ 24:14 で言われているように、教会がその任務を完成するときです。「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」

### イエスの再臨に続いて起こる出来事

11. 次に、キリストの再臨に続いて起こる出来事のリストを見ていきます。デレクは、正しい順序にこだわる必要はないと言っています。なぜなら、聖書はその順序について言及していないからです。

- (ア) 真の.....の復活とさばき。携挙(引き上げられること)は、I テサロニケ 4:15-17 にしるされており、さばきは II コリント 5:10 に書かれています。
- (イ).....(獣)とその軍勢が投げ込まれます。(黙示録 19:19-21)
- (ウ).....が千年の間縛られます。(黙示録 20:1-3)
- (エ).....が救われ、回復されます。(ローマ 11:25-26)
- (オ) キリストの千年の統治の始まりに、.....の国々がユダヤ人をどのように取り扱ったかを基に、さばかれます。(ヨエル 3:1-2、マタイ 25:31-46)
- (カ) 地上にキリストの千年.....が確立します。(イザヤ 24:19-23、黙示録 20:4)
- (キ) サタンが.....年の終わりにしばらくの間解き放たれます。(黙示録 20:7-10)
- (ク) 神に対する.....の最後の反逆があります。(黙示録 20:8-9)
- (ケ) 今ある天と.....は過ぎ去ります。(II ペテロ 3:7-13、黙示録 21:1)
- (コ) キリストにあって死ななかった残された死者の復活と.....があります。(黙示録 20:12-15)
- (サ) 新しい.....と新しい地が現れます。(II ペテロ 3:13、黙示録 21:1)
- (シ) イエスが.....の手に王国を渡される(I コリント 15:22-28)

将来にも恐ろしいほどのチャレンジの時が待っていますが、キリストにある私たちには、最も素晴らしく栄光ある私たちの人生が待っています。I ペテロ 5:10 にこう書いてあります。「あらゆる恵みに満ちた神、すなわち、あなたがたをキリストにあってその永遠の栄光の中に招き入れてくださった神ご自身が、あなたがたをしばらくの苦しみのあとで完全に、堅く立たせ、強くし、不動の者としてくださいます。」

この聖句は、神の恵み、永遠に私たちが神とともにいるという神の願い、私たちの忍耐の必要性、そして神が私たちのうちに建て上げてくださる完全で堅く、強い、不動の人格を簡潔に教えています。

時間と永遠についての神の視点を持ち続けることができるよう、祈り求めましょう。

栄光の父よ、あなたの私への大いなる愛を感謝します。時を超えて永遠へと移ることについて、あなたのことばから素晴らしい真理を学ぶことができ、感謝します。この学びに戸惑っている部分もありますが、私が自分の周りの世界ではなく、あなたに目を注ぎ続けることができるよう助けてください。

あなたの私への恵みを信頼することを知り、孤児ではなく、あなたの子どもとして確信を持ってすべての状況に対処できるよう助けてください。夜明けとなって、明けの明星が私の心の中に上るまで、暗闇の中のともしびとして、預言的なみことばに目を留めることができるように助けてください。なぜなら、私はイエスが戻って来られることに興奮したいのです。

今日から、私は一時的な目に見えるものではなく、目に見えないものに目を留めることを選びます。私の人格が、あなたにあって、完全で堅く、強い不動のものとなるように日々取り組ませてください。イエスの御名によって。アーメン。

## 第10課

### 「土台を据える」第九回

## 死者の復活

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

前回のメッセージ「終末」で、時間から永遠へ、今あるいのちから次のいのちへ、この世の領域から霊的領域へと移ることについて学びました。最初の4つの基礎となる教理(死んだ行かないからの回心、神への信仰、バプテスマの教え、手を置く儀式)はすべて、時間の領域の中で行なわれることです。

「土台を据える」シリーズの残りの2つのメッセージ、「死者の復活」と「とこしえのさばき」は永遠の視点から、私たちが人生をどのように生きるべきかを教えてくれる極めて重要な学びです。

客観的、かつ率直に言うと、私たちの生きているこの世界は、幸福よりも苦痛、平和よりも争い、健康よりも病気が多くあります。ですから、この世をバラ色に思い描かないようにしましょう。私たちは罪によって腐敗し、汚れ、墮落した世界に生きています。そこが、今私たちがいる場所です。しかし、イエスにある信者にとって、この世が最終的な目的地ではないことを神に感謝します。

私たちはイエスが死からよみがえったことを知っていますが、聖書は、この「死者からの復活」という基礎的教理によって何を言おうとしているのでしょうか。復活するとはどういうことなのでしょう。クリスチャンは死んだらどこへ行くのでしょうか。いくつの復活があるのでしょうか。イエスの復活の意義は何で、イエスの復活は私たちの復活について何を教えているのでしょうか。聖書は詳細を明らかにしていませんが、復活から予測できる明確な姿を私たちに教えています。デレクは、この主題の専門知識を持った数少ない聖書教師の一人です。

では、「死者の復活」についてのメッセージを聞いてください。

### まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

前回のメッセージ「終末」で、今あるいのちは一時的なものにすぎず、最も重要なことの一つはキリスト・イエスを通して受け取った永遠のいのちであることだと理解し、あなたは成長しておられるでしょう。

私たちの希望がイエスにあり、神の視点で見始め、永遠のものについて学び始めるとき、私たちは期待を持たずにはられません。

以下の空欄を埋めてください。

### 復活の先例

1. ギリシャ語で「復活」とは、「～から立ち上がる」という意味です。ですから、.....とは、死から立ち上がること、墓からの立ち上がることです。
2. I テサロニケ 5:23-24 にこうあります。「平和の神ご自身が、私たちを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、私たちの霊、たましい、からだを完全に守られますように。私たちを召された方は真実ですから、きっとそのことをしてくださいませ。」 この聖句は人が.....、たましい、からだという3つの部分から成っていることを明らかにしています。

その「からだ」が死んで復活することを理解することが重要です。霊とたましいは死を味わわないので、復活する必要はありません。ですから、私たちが死者の復活と言うとき、からだの復活のことを言っていると理解しておくことが非常に重要です。

3. 金持ちとラザロの話がルカ 16:22-26 に書かれており、死んだ人たちについて様々なことが明らかにされています。
  - (ア).....が残る - 人格を失うことはありません。
  - (イ) 他の.....を認識できる - その金持ちはそこにいるのがラザロだとわかりました。
  - (ウ).....での生活の記憶がある - 金持ちは地上での生き方についてアブラハムが言っていることを認めました。
  - (エ) 今現在の状況への.....がある - 金持ちは炎に苦しめられていることがわかっていました。
  - (オ) 義と不義の間には完全な.....がある - どちらからも行き来することはできません
4. イエスの死の前に、
  - (ア) すべてのたましいはハデス(ギリシャ語)、シェオル(ヘブル語)を通ります。これは、からだを

離れた.....のある場所で、目に見えない世界です。

(イ).....と不義の人のための隔たった2つの領域があります - 義人はアブラハムのふとこ  
ろに迎えられます。

5. イエスの死の時、

(ア) イエスの.....は父にゆだねられました。(ルカ 23:46)

(イ) イエスの.....はハデス(シェオル)に下りました。(使徒 2:31、I ペテロ 3:18-19)

(ウ) イエスの.....は墓に納められました。(ヨハネ 19:40-42)

6. イエスは復活されたとき、イエスの.....とたましいはからだに再結合されました。

7. イエスの死と復活の後、義とされた信者の行き着く先は変わり、今や信者の霊は.....のもとへ  
まっすぐ上って行きます。(使徒 7:59、ピリピ 1:23-24)

8. イエスの死と.....は全宇宙に影響を与えました - イエスは死からよみがえった最初の人で、  
全く新しい創造のかしらなるお方です。イエスは、一人の人間の中に神と人の性質を兼ね備えた、  
神であり人であるという、新しい人種のかしらです。

9. イエスが.....と墓を打ち破ったとき、ハデスから義人たちを解放し、その義人たちは捧げものの  
集まり(束)としてイエスとともに天へと上って行きました - 来るべき収穫の初穂の時です。

### **イエスの復活が私たちの復活の保証**

10. 聖書は復活を誕生に例えています。(コロサイ 1:18)

(ア) イエスは.....の中から最初に生まれました。

(イ) イエスは.....です。

(ウ) からだは.....です - すなわち、すべての真の信者たちです。

(エ) 通常の出産では、.....が出てきて、続いてからだが出てきます。

新しく生まれた私たちは、イエスのために生きるために献身しました。今は地上に生き、地上での国籍を持っていますが、私たちの真の国籍は天にあります。地上で私たちが外国へ行くとき、通常はパスポートが必要です。天の国籍を持つ私たちのパスポートはイエスの血であり、献身した信者であるという

しるしは、救い主イエス・キリストが戻って来られるのを切に待ち望んでいることであると、聖書は言っています。

11. イエスの復活したからだは私たちの復活するからだの模範です。(ピリピ 3:20-21)

- (ア) 私たちの.....からだは、栄光のからだとなります。
- (イ) 私たちはイエスの.....と同じ姿に変えられます。
- (ウ) イエスの復活に対するこの望みを持っている者はみな、自分を.....します。( Iヨハネ 3:2-3).
- (エ) イエスの復活のからだは、.....や場所に制限が設けられない。

12. I コリント 15:35-38 で、継続と変化のある「種」と「実」のたとえを学ぶことができます。

- (ア) .....で、私たちのからだは種のように植えられます。
- (イ) .....があります - 何が育つかは、何を蒔いたかに直接関係します。
- (ウ) また、.....もあります - リンゴの種を植えると、リンゴの木が出てきますが、種と木には大きな違いがあります。
- (エ) .....は十字架につけられた同じからだであることを証明しました。(ルカ 24:38-39、ヨハネ 20:20).

13. 私たちの死んだからだの復活には、5 つの特定の変化があります( I コリント 15:42-44、52-55)。空欄を埋めて、表を完成してください。

死ぬからだ	復活のからだ
朽ちる(腐敗する、衰える)	(ア).....
死ぬ	(イ).....
卑しい	(ウ).....
弱い	(エ).....
血肉	(オ).....(たましい的の反対)

14. すべてのものは、イエスの.....と復活とのつながりを持っています。I コリント 15:14 でこう言われています。「そして、もしキリストがよみがえらなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしく、あなたがたは今もなお、自分の罪の中にいるのです。」復活の何よりの証明は、「みことばによると」です。新約聖書がまだ書かれていなかったので、旧約聖書によると、です。いくつかの例が詩

篇 16:9-11、ホセア 6:1-2 に見られます。次に、人間の証言もまた、復活の証明です。

預言はただ将来の出来事を予見するだけでなく、その真の意味を示すような方法で将来に起こることを告げることです。預言とともに解釈をします。完璧な例は、真の信者について書かれたエペソ 2:4 以降に見られます。

「しかし、あわれみ豊かな神は、私たちが愛してくださったその大きな愛のゆえに、罪過の中に死んでいたこの私たちを……」

何と素晴らしいことでしょう。神は、死んでいた私たちを愛してくださいました。いったい何人の人が、死んだからだを愛することができるでしょう。神は何をしてくださいましたか。3 つあります。

「キリストとともに生かし、——あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです—— キリスト・イエスにおいて、ともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださいました。」

それらはすべて過去形です。イエスと私たちが一つとなったゆえに、私たちは生かされ、よみがえらされただけでなく、御座に着きました。それが私たちの最終地点です。パウロは未来形を用いませんでした。パウロが言いたいことは、もしそのことを受け入れるなら、私たちは今まさにイエスとともに御座にいるということです。

### 復活の重要性

15. 復活の重要性を過大評価することはあり得ません。以下に、その意義についての特定の理由をいくつか挙げます。

(ア) 神の子としての.....の証明、正当性。(ローマ 1:3-4)

(イ) 私たちの.....のための基礎。(ローマ 4:25、10:9-10)

(ウ) 私たちを救うキリストの力の.....。(ヘブル 7:25)

(エ) 私たちの贖いの.....。言い換えれば、私たちの復活のからだは、私たちの救いの完成です。(ピリピ 3:10-12)

(オ).....と私たちの一致の完成です。I テサロニケ 4:17 にこうあります。「このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。」二度と離れることはありません。

16. 復活は三段階で起こります。キリストにあって生きる者とされた人々のことが I コリント 15:22 で言われています。「おのおのにその順番があります。」

(ア) 初穂である.....。(レビ記 23:10-11、マタイ 27:51-53)

(イ) キリストの.....の時に生き残っている者たち。( I テサロニケ 4:16-17、黙示録 20:4-5).

(ウ) 死んだままの者たちの最終的な.....。(黙示録 20:5)

あなたはしるしに向かって真っすぐ進んでいるでしょうか。あなたは人生で正しい優先順位を取っているでしょうか。あなたの生き方を悔い改めるように聖霊に促されていますか。可能であれば今ひざまずき、主にあなたの心を注ぎ出してください。以下は、デレクがメッセージの最後で祈りを導いている部分です。「彼ら」という部分を「私」に代えていますので、それをゆっくり祈りてください。デレクの願いは、自分のメッセージを聞いている人が人生で実を結ぶことです。あなたの人生の中でそれが成就することを願います。

祈りましょう。

*主イエスさま、あなたは私たちの救いの源です。あなたは死からよみがえった初穂なるお方です。あなたは私たちのとりなし手として天におられ、父の右の座で今私たちのためにとりなしをしてくださっています。あなたが生きておられるので、私たちも生きることができます。*

*主よ、間もなく戻って来られるあなたの光の中に生きていないと気づいて、あなたの御前に出てきました。イエスの御名によって今あなたの聖霊を私に注いでください。恵みの霊を注ぎ、心からあなたに叫ぶことができるようにしてください。主よ、まごころと謙遜、神を畏れる祈りを私が捧げることができますように。イエス・キリストの御名によって今、その霊を私の上に解き放ってください。とりなしの霊を解き放ってください。主よ、恵みとあわれみを私に注いでください。*

心からの願いとして祈ることができるまで祈り続けてください。祈りの中で主のみこころでないことがあなたのうちにあることが示されたなら、悔い改め、前進する道を示してくださるよう祈ってください。

次のメッセージ「とこしえのさばき」で、デレクは6つ目の礎石について教え、この「土台を据える」シリーズの学びは完成します。

## 第 11 課

### 「土台を据える」 第十回

## 永遠のさばき

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

これは、「土台を据える」シリーズの最後のメッセージです。このシリーズは、すべてのクリスチャンは主のための住まいを備えなければならない、というところから始め、建物を建てる時に重要な役割を担う土台について学んできました。土台はその上に建てることのできる建物の大きさと重さを決定づけます。デレクは一人一人のクリスチャンが据えなければならない 2 つの不可欠な土台があることを教えました。それは、イエスという人格的な土台と、ヘブル 6:1-2 に記されている教理的土台です。

復習のために、すでに学んできたことを振り返りましょう。

1. 神の人格的ことばであるイエス・キリストの岩の上に立って歩む必要があること。
2. 神の書かれたことばである聖書の権威と力。
3. 死んだ行ないを悔い改める重要性。
4. 信仰と行ないの違いを含む、神に対する信仰。
5. 水のバプテスマとイエスの死、埋葬、復活にあずかること、神の民として証印が押されること。
6. 聖霊のバプテスマと、私たちが新しく造られた者として生き、成長するためにどのように強められるか。
7. 神の力を移す方法として手を置くこと。
8. 時を超えて永遠に入る終わりの時について。真の永遠の本質は、目に見えない領域にあること。
9. 死者からの復活 - 特にかからだにおける復活。私たちの贖いが完成される時。

この学びでは、永遠のさばきについて聖書が何と言っているか、そのさばきはいくつあるのか、誰がいつ、さばきに立ち、さばきの基本とは何かなどについて考察します。

では、「永遠のさばき」のメッセージを聞いてください。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

デレクが言っていたように、あなたは神のさばきの厳粛さに衝撃を受けたでしょうか。その真理は、神がご自身で決めておられ、必ずそのさばきは行なわれます。永遠のさばきについて学ぶ時、人々は様々な反応をします。しかし、私たちが神と聖書の前にへりくだり、この重要なテーマを前もって知ることによって、後悔しないように正しく歩むことができるようになります。

ルールを知らないゲームをしようとする、あるいはルールを知らないスポーツの試合に出ることを想像してみてください。ゲームや試合が終わって自分の得点を見ると、あなたは失望してこう思うでしょう。「得点の入れ方を知っていたなら、こんな結果にはならなかったに違いない。」

それこそ、私たちがどのようにさばされるかについて、神が聖書の中で教えている理由なのです。私たちがこの地上で神の教えに従って生きることができるためです。さばきというものは、イエスの死、埋葬、復活を自分自身のものとして受け入れ、地上で神の方法に従った人々にとっては、良いものとなることを忘れないでいてください。私たちが神の求めることを行なうなら、さばきは私たちにとって栄光ある日となります。しかし、この学びで見てきたように、その中に含まれない人々にとっては、大いなる恐ろしい日となるでしょう。

以下の空欄を埋めてください。

## 永遠のさばき

1. 私たちがみなさばされるということを言っている明確な聖句の一つは、ヘブル 9:27 です。「そして、人間には、一度死ぬことと死後に.....を受けることが定まっているように…」
2. 聖書には 2 種類のさばきが書かれています。  
(ア) 後の世代に祝福あるいは罰をもたらす.....におけるさばき。特に、偶像礼拝(出エジプト 20:4-6)、咎(エレミヤ 32:18)、義(詩篇 103:17-18)において。  
(イ) 私たち一人ひとりの生き方における個人的な.....のさばき(エゼキエル 18:1-4, 20)
3. ローマ 2:1-16 は、どのようにさばかれるかという神のさばきの 5 つの原則を明らかにしています。

- (ア) 私たちは.....に従ってさばかれます。(1-2 節).
- (イ) 私たちは.....に従ってさばかれます(6 節)。これは、I ペテロ 1:17 でも明確に語られています。「また、人をそれぞれのわざに従って公平にさばかれる方を父と呼んでいるのなら…」これらの行ない(わざ)は天の巻物に記されています。(黙示録 20:12)
- (ウ) 11 節では、「神にはえこひいきなどはないからです。」と書かれています。これは、神が身分や地位、富などで.....を特別待遇することはないということで、聖書の中でこのフレーズは 11 回出てきます。
- (エ) 人々は受けた.....に従ってさばかれます(12 節)。マタイ 11:20-24 と比較してください。
- (オ) さばきは私たちの.....思いや動機も含まれます。(16 節)

## 連続するさばきの場面

### クリスチャンのさばき

4. 最初のさばきの場面は、キリストのさばきの御座の前の.....のさばきです。I ペテロ 4:17 に、「なぜなら、さばきが神の家から始まる時が来ているからです。さばきが、まず私たちから始まるのだとしたら、神の福音に従わない人たちの終わりは、どうなることでしょう。」とあります。ローマ 14:10-12 と II コリント 5:10 も見てください。

デレクがこのメッセージ・シリーズの中で言っていたように、私たちの行ないには 2 種類しかありません。良いか、悪いかのどちらかです。中間はありません。良くないことはすべて悪です。イエスは非常にはっきりと言われました。「わたしの味方でない者はわたしに逆らう者であり…」(マタイ 12:30、ルカ 11:23)。イエスは中立を完全に排除しました。

残念ながら、教会には多くの日和見的な態度の人たちがいます。日和見的とは、どういう意味かお分かりですか。深く関わろうとしないことです。どちら側にもつかないのです。良いことも行なわず、悪いことをしていても、それを認めることもありません。

聖霊が教会に来られて最初にするものの一つは、その人たちに電気ショックを与えることです。電気ショックが起こると、私たちは飛び跳ねてどちらかに移動せざるを得ません。多くの人々が聖霊を歓迎しないのは、その理由からです。聖霊は中立を廃棄します。

5. 聖書はクリスチャンのさばきの 5 つの特徴を明らかにしています。(最初の 3 つの設問は II コリント

5:10 からのものです。)

(ア) .....のさばき - 私たち一人ひとりが自分の人生の申し開きをしなければなりません。

(イ) .....にあつてした行為に応じて。

(ウ) 善か悪かの2種類しかありません。3つ目はなく、.....もありません。

(エ) それは、.....の判決のためではありません - 聖書はそれを強調しています。例えば、ヨハネ 3:18、5:24、ローマ 8:1 などです。

(オ) 私たちの.....の評価のため( I コリント 3:11-15)。私たちの働きは量ではなく、火によって「質」が試されます。

6. 私たちが火に耐えうるかどうかを確かめるために、聖書は3つの方法を示しています。

(ア) 私たちの.....が正しいものでなければならない - 神の栄光を求めるものであること。  
( I コリント 10:31)

(イ) 神のことばに.....でなければならない。(マタイ 7:21-27)

(ウ) 聖霊の.....で歩まなければならない(ローマ 15:18-19)

7. イエスは、さばきを表わすものとして、ミナ(ルカ 19:11-27)と、タラント(マタイ 25:14-30)についての2つの類似した話をされました。さばきに関して、これら2つのたとえ話には、いくつかの重要な適用があります。

(ア) この.....での私たちの奉仕がやがて来る永遠のいのちでの位置を決定づけます。

(イ) .....タラントの人々が最も危険です。最善の戦略は、実を結ぶ別のミニストリーに投資することです。

(ウ) 神が私たちに与えてくださった.....を用いないことは、最終的にそれを失うことを意味します。(ルカ 19:26)

(エ) なすべき.....ことを行なわないことは、罪です。(ヤコブ 4:17 参照)

(オ) どちらのケースも、何もしなかったしもべは完全に.....されました。逆に言えば、拒絶されるためには、何もしないことです - 何という厳粛な考えでしょう。

### イスラエルのさばき

次に、神に特別に選ばれた民、イスラエルのさばきが来るでしょう。何世紀にもわたる彼らの不従順と不信仰によるものです。神は、完全に彼らを拒絶することはありませんでした。イスラエルについて、第一サムエル記 12:22 でサムエルはこう言っています。

「まことに主は、ご自分の偉大な御名のために、ご自分の民を捨て去らない。主はあえて、あなたがたをご自分の民とされるからだ。」

神がイスラエルのためになされることは、イスラエルの義のゆえではなく、主の御名のため、主の御名が栄光を受けるためなのです。神は特別な方法でイスラエルを取り扱います。

8. 神は.....を直接祝福しますが、異邦人はユダヤ人を通して祝福されます。異邦人である私たちのすべての霊的祝福は、私たちのユダヤ人に対する負債から受け取っているのです。
9. 神は.....を直接さばきますが、ユダヤ人は異邦人を通してさばかれます。ユダヤ人の歴史を何百年もさかのぼると、神が不従順、不信仰なイスラエルをさばくために、異邦の国々を用い続けています。
10. いかなる国家や政治家がどのような考えを持っていたとしても、.....は神がアブラハム、イサク、ヤコブに与えた土地を所有します。驚くことに、聖書には神の民にその地を与えたと誓っている箇所が 47 回も出てきます。(例としてエレミヤ 30:3-7 を見てください。)
11. エレミヤ 30 章 5 節では、「おののきの声を、われわれは聞いた。恐怖があつて.....はない。」それは、私たちの目の前で展開されるように、まさに歴史の中で明らかにされていることがわかります。イスラエルは平和的にその地を所有していません。絶えず周辺地域との紛争があります。
12. 7 節で、「ああ。その日は大なる日、比べるものもない日だ。それはヤコブにも苦難の時だ。しかし彼はそれから救われる。」とされています。イスラエルが.....から救われるのではなく、それを通して救われる、ということに注目することが重要です。神がさばきによってユダヤ民族を取り扱い、患難の最後に彼らのさばきが行なわれるのです。

### 異邦の国々へのさばき

そして、信者とイスラエルのさばきの後、神は他の国々をさばかれます。ヨエル 3:1-2 はこう言っています。

「見よ。わたしがユダとエルサレムの繁栄を元どおりにする、その日、その時・・・」

これは、ユダヤ民族が彼らの地に戻って来るその時、であることに注目してください。神は言われます。

「わたしはすべての国民(異邦の国々)を集め、彼らをヨシヤパテの谷に連れ下り、その所で、彼らがわたしの民、わたしのゆずりの地イスラエルにしたことで彼らをさばく。彼らはわたしの民を諸国の民の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分け取ったからだ。」

つまり、神はユダヤ人を取り扱い、その後、異邦人を取り扱います。神は、異邦人がイスラエルをどう取り扱ったかに基づいて異邦人を取り扱うのです。それは注目に値する事実です。

13. 神は異邦の国々に対して 2 つの告訴理由を持っておられます。

(ア) 第一に、彼らは.....民族を抑圧してきました。

(イ) 第二に、彼らはその地を.....してきました。神は言われます。「それは私の土地だ。わたしがイスラエルに与えた地だ。」と。そして、いかなる人間の権威や政府も、その地を分割する権利はありません。今日何が起こっていますか。まさに、神が起こるべきではないと言ったことです。その地は分割され、今も分割が続き、これからも分割されるでしょう。しかし、神がさばきのために来られるとき、その地を分割した国々をさばかれるでしょう。

14. マタイ 25:31-46 にイエスが国々をさばくために来られることが書いてあります。

(ア).....の国は御国に招かれます。

(イ).....の国は御国から追い出され、永遠の刑罰に送られます。御国に招かれるか、追い出されるかという判別の基本原則は、イエスの兄弟たち(ユダヤ人たち)への扱い方によります。このことは非常に重要です。なぜなら、イスラエルは今日の世界事情の主な要因であり、多くの国々が間違った側に立っているからです。イスラエルは自分自身を守ることではできませんが、遅かれ早かれ、時が来れば神が介入されるのです。

### 残っている死者

15. 最後の 4 つ目のさばきは、黙示録 20:11-15 で言及されている、大きな.....御座の前で行われます。死んだ人々は大きい者も、小さい者も、いのちの書に書きしるされていることに従ってさばかれます。

16. もう一つの.....があることを神に感謝します。そして、その書に名前が記されている人はみ

な、神とともに永遠の中へと入ります。残りの人はみな、神の臨在から永遠に追放されます。

まとめると、4 つのおもなさばきの連続したさばきがあります。

- ① キリストのさばきの御座の前で、クリスチャンがからだ(教会)に行なったことに対してさばかれる。
- ② イスラエルが大患難を通してさばかれる。
- ③ 異邦の国々が千年王国の初めにイスラエルに対する態度に基づいてキリストの御座の前でさばかれる。
- ④ すべての残っている死者たちが大きな白い御座の前でさばかれる。

これらは、神のさばきの原則で、私たちは一人ひとり自分に問いかけてみる必要があります。「私は神のさばきに向き合う準備ができているだろうか。私は神の前に立つとき、面目を失わない生き方をしているだろうか。」と。

以下は、デレクがメッセージの最後に祈っていることばです。自分自身のものとして、心を主に向けて祈ってください。

全能なる神さま、あなたのみことばはとても明らかです。今日語られた聖書からの教えが直接私の心に深く入り、真剣に自分自身の生き方を振り返ることができるように祈ります。  
もし私が一タラントの人であるなら、私は祈ります。主よ、どうか私とそのタラントを地面に埋めて隠さないように、私がそれを銀行に預け、あなたが来られるときに恥を見ないように助けてください。主、イエスさま、あなたは間もなく来られると何度も私たちに語ってくださっています。  
今、あなたの再臨に備えることができるよう、主のさばきの御座の前に立つ備えができ、私が行なってきたことを答えることができるよう、恵みを与えてください。あわれみ深い主イエスの御名によって、祈ります。アーメン。

これで、「土台を据える」シリーズは終わりです。これらの 10 個のメッセージで、深く掘り、岩なるイエスに土台を据えるために、クリスチャン信仰のカギとなる領域を学びました。また、主の御名に大いなる栄光をもたらす主の住まいとなる建物を建てる準備が整いました。

## 「のろいからの解放」 シリーズ

### 導入

「のろい」と聞くと、その言葉の響きから、「そういう学びは避けたい。」、あるいは、「自分にのろいがあるなどと考えたくもない。」と思う方もいらっしゃるかもしれません。しかし、のろいとは、私たちが何かに縛られ、神の祝福を十分に受け取ることができないでいる状態のことです。

デレク・プリンスの著書、『祝福、それとものろい』の導入部分にこのように書かれています。

1970年代、デレク・プリンスは人々がそれまでほとんど聞いたことがなかった、人生を変える驚くべき教えを聖書に基づいて信者たちのために明らかにし始めました。それは完全に聖書的な神からの教えで、神の祝福とのろいについてのメッセージでした。

その後30年以上、霊的洞察を与え続けるこの驚くべき啓示は、数世代にわたり神学者たちや説教者たちに大きな影響を与えてきました。さらに重要なことは、世界中の多くのクリスチャンに、より素晴らしい信仰生活のためのシンプルな奥義を提供してきたことです。

世界中でも その教えはデレクの最も有名な教えの一つとなり、多くの人々の人生に大きな変化をもたらしてきました。この教えを理解するためのカギは、ガラテヤ 3:13-14 にあります。「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。なぜなら、『木にかけられる者はすべてののろわれたものである』と書いてあるからです。このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受け取るためなのです。」

イエスの十字架の死を通して、私たちがのろいから解放して下さる備えを神は与えてくださいました。デレクは以下のように体系的に教えています。

- 祝福とのろいの性質
- 祝福とのろいの様々なかたち
- のろいの下にあるというしるし
- 祝福とのろいの聖書的要因
- 関係性の権威を持った人を通じたのろい
- どのようにのろいから解放されるか

- その解放をどのように保ち続けるか

この教えをあなたの人生に適用することは、劇的な変化をもたらします。神はあなたがすべてののろい、束縛から解放されることを願っておられます。あなたは、すべてのことにおいて祝福されたアブラハムの祝福(創世記 24:1)の中へ導かれるという確信をもって、このシリーズをやり通すことができるでしょう。

## 第 12 課

### 「のろいからの解放」 パート 1

#### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

この学びでは、まず十字架での贖いを学び、次に祝福とのろいについて触れていきます。私たちがアブラハムの祝福を味わうことができるために、イエスはのろいに耐えてくださいました。

ガラテヤ 3:13-14にこうあります。「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。なぜなら、『木にかけられる者はすべてののろわれたものである』と書いてあるからです。このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。」

創世記 24:1 は、「主は、あらゆる面でアブラハムを祝福しておられた。」とっています。

ですから、ガラテヤ 3 章を読むとき、十字架でのイエスの犠牲的な死によって私たちは「アブラハムの祝福」を受け取り、それが私たちの人生のあらゆる領域に影響を与えると理解できるのです。

すべての教会に主が明らかにしているこの教えは、世界中で最も求められている彼の教えの一つで、この教えを受け取った人々に素晴らしい変化を生み出しました。

イエスは、律法ののろいから解放されるための備えを私たちに与えてくださいました。私たちがのろいの代わりに素晴らしい祝福を受け取ることができるように、その真理の理解において成長し、適用していきましょう。

#### まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

祝福とのろいは、聖書のおもな 2 つのテーマです。「祝福」という語は約 600 回、「のろい」という語はその約半分出てきます。それにも関わらず、ほとんどの人々が祝福とのろいの性質の明確な理解を持っていないようです。

キリストの贖いを通して、私たちがのろいから解放され、祝福を味わうことが神の目的です。しかし、祝福を楽しむべき神の民の多くが、のろいに耐えているのです。

以下の空欄を埋めてください。

### 祝福とのろいの性質

1. 祝福とのろいは両方とも.....の力です。それは人知を超えたもので、祝福は超自然的な良いもの、のろいは超自然的な悪です。
2. その特徴は、かなりの確率で.....から世代へと引き継がれます。のろいの場合、どのように断ち切るかを知るまで続くことが多くあります。
3. 祝福とのろいは一般的に、口から出る、あるいは書かれた物、時には口には出さないけれども、心の中の.....によってやって来ます。
4. しかし、祝福も、のろいも、聖餐式のパンとぶどう酒( I コリント 11:23-32 を参照)、旧約聖書では不貞のテストとして、杯の中のインクのように.....によっても運ばれることがあります(民数記 5:11-28)。もう一つの例は、その人が持っているオカルトに由来する物です。
5. デレクは自分の個人的な 3 つの経験から、.....は祝福、いやし、繁栄に対する障壁となり得ると言っています。

### 祝福とのろいの様々なかたち

6. 申命記 28 章は 2 つにはっきりと区分されます。最初の 14 節は私たちが主の.....に喜んで従うとき、私たちに与えられる祝福で、残りの 54 節は、私たちが神の声に聞き従わなかったときに私たちの上に振りかかるのろいを取り扱っています。
7. 以下は、私たちに差し出されている祝福の 7 つの領域のまとめです。
  - (ア)..... - 何かの下にいるのではなく、引き上げられる。
  - (イ) 多産 - 人生のすべての領域において.....になる。
  - (ウ)..... - 私たちのからだ、思い、霊において。
  - (エ).....、あるいは成功 - 必ずしも多額のお金を所有することではなく、自分の必要が

満たされ、他の人にも分かち合うことができる少しの余裕。

- (オ)..... - 勝利者となる。
- (カ) あなたは尾ではなく、.....となる - 振り回されるのではなく、決断者となる。
- (キ) あなたは下ではなく、.....になる。

私たちの人生におけるのろいを見分ける唯一の専門家は、聖霊です。聖霊は私たちに個人的に示して下さいます。なぜなら、私たちは一般的原則を学ぶことはできますが、聖霊からの特定の適用を必要とするからです。

8. 上記の祝福のほぼ逆とも言える、のろいの7つの領域があります。

- (ア)..... - これは謙遜とは異なります。私たちは謙遜にならなければ、最終的に恥をかくこととなります。
- (イ).....、あるいは不妊。
- (ウ) あらゆる種類の..... - 申命記 28 章にすべての種類の病が記されています。
- (エ).....あるいは欠乏 - 試練としての短期間の貧困、欠乏ではなく、長期的不足。
- (オ)..... - 敵の手に渡される。
- (カ) かしらではなく、.....となる。
- (キ) 上ではなく、.....となる。

### のろい(束縛)の下にあるというしるし(兆候)

9. デレクは自身のミニストリーをしている中で、のろいの下にあると考えられる兆候のリストを作りました。彼が言うように、一つの兆候だけでその人がのろいの下にあるとは限りませんが、その状況をよく吟味し、神に真理を示していただくように求めていただきたいのです。もし、あなたの人生にそのリストのいくつかが当てはまるなら、あなたがのろいの下に置かれている確率は高くなります。以下がその7つの兆候です。

- (ア) 精神的、あるいは.....的な崩壊 - 精神的、あるいは感情的に乱れた状態である時。
- (イ) 繰り返す、あるいは慢性的な..... - 世代から世代へとのろいは引き継がれるので、それが遺伝的なものであるなら、特に当てはまるでしょう。また、医者がその病気の原因を見つけない時、当てはまると言えます。

- (ウ) 不妊、.....の傾向、あるいは月経に関する問題。
- (エ) .....の崩壊と家庭不和 - 家庭が崩壊、結婚生活の破たん、子どもたちが両親や他の兄弟から引き離されている状況に関連します - これは、のろいが働く可能性が非常に高いです。
- (オ) .....的欠乏 - 上記にあるように、神は時に私たちに短期間の欠乏という試練を通らせることがあります。しかし、もしあなたが一度も足りることがない、常に爪に火をともしているような生活に思えるなら、のろいが働いているという強い兆候かもしれません。
- (カ) .....の傾向 - よく事故に遭う。
- (キ) .....、あるいは不自然な変死の家族の歴史がある。あなたの家系にこれらが頻繁に起こっている。

上のリストにないのろいの結果も多くあるでしょう。しかし、このリストは様々な人々を取り扱ったことに基づいています。のろいとは、過去から伸びる長い悪の手のようなものと言え、それがどれほど遠い過去のものかをあなたにはわかりません。その悪の手は、あなたがまさに成功しようとしているとき、あるいは、あなたの願いが叶おうとしているとき常にあなたをつまづかせ、あなたは立ち上がって最初からやり直さなければならないのです。あなたがたどり着こうとすると、再びつまづかされるのです。そしてそれが、あなたの人生のストーリーとなってしまいます。どれほど多くの人々がそのように打ち負かされてきたかにあなたは驚くでしょう。人々がこのように言うのを聞いたことがあるでしょう。「同じことが父にも、あるいは祖父にも起こったのです。つまり、それが私の家系なのです。」と。

もう一つのシンプルな概観は、神の祝福の日差しをさえぎる、あなたの人生にある過去からの暗い影です。あなたは、他の人々が日差しの中を歩むのを見ることができ、それが現実にあると知ってはいるのですが、なぜかその太陽はあなたにはほとんど降り注いでいないように思えるのです。もし、そのようなことがあなたに当てはまるなら、デレクのメッセージを復習しながらあなたの特定の必要、あるいは状況や問題を聖霊が示してくださるように神に祈り求めてください。

### 祝福とのろいの聖書的要因

10. 箴言の作者は箴言 26:2 で、非常に重要なことを語っています。「逃げる雀のように、飛び去るつばめのように、いわれないのろいはやって来ない。」つまり、のろいがあるとしたら、それには常に.....があるということです。そののろいを取り扱う前に原因を見つけることは、ほとんどの場合で役立ち、時には不可欠なことです。

申命記 28 章を開いて、祝福とのろいの主な原因を見ましょう。幸いにもそれらは非常に単純です。申命記 28:1-2 はこのように言っています。

もし、あなたが、あなたの神、主の御声によく聞き従い、私が、きょう、あなたに命じる主のすべての命令を守り行なうなら、あなたの神、主は、地のすべての国々の上あなたを高くあげられよう。あなたがあなたの神、主の御声に聞き従うので、次のすべての祝福があなたに臨み、あなたは祝福される。

このように、「もし、あなたが、あなたの神、主の御声によく聞き従い…」と繰り返されています。そしてヘブル語でそのフレーズは、「聞く」という語の繰り返しになっています。もし、あなたがあなたの神、主の御声を「聞いて、聞いて、その言われることを行なうなら…」と、強調されています。すべての祝福の第一の要因は、非常に単純で、神の声を聞いて、その言われることを行なうことなのです。

さて、すべてののろいの第一の原因は、祝福と正反対です。同じ章の 15 節です。

もし、あなたが、あなたの神、主の御声に聞き従わず、私が、きょう、命じる主のすべての命令とおきてを守り行わないなら、次のすべてののろいがあなたに臨み、あなたはのろわれる。

11. ....の要因は神の声を聞くことです。

12. ....の要因は神の声に聞き従わなかったことです。

13. また、聖書にはのろいの数多くの源と特定の原因があります。私たちは一般的なものを取り扱いましたが、以下はそれ以外のいくつかの特定の原因です。

(ア) 驚かれるかもしれませんが、一つ目ののろいの源は.....ご自身からのものです。神が人々に宣告しているのろいの主な原因は、最初の 2 つの戒めを守らないことです。神の他に、オカルトや偶像のあらゆる形式の他の神々を持つことで、それらの戒めを破る結果が、三代、四代にまで続くのろいとなります。

(イ) 申命記 27:15-26 には 12 ののろいが記されており、イスラエルが約束の地に入っていくとき、彼らはこれらすべての.....を自分たちに宣言しなければなりません。もし彼らがその律法に従わなかったら、自動的にそののろいの下に来ることになっていました。

彼らはその宣言をしなければ、約束の地に入ることができなかったのです。それは、私たちが神との関係の中に入る時と非常に似ており、私たちが従順であるなら、私たちは祝福の下に来ますが、もし不従順であるなら、私たちはのろいの下に来るとい、実に危険なところに置かれるのです。

以下は、申命記 27:15 以降に宣告されている 12 ののろいの原因のまとめです。

- (ウ) ..... - 偽りの神々を持つこと。
- (エ) .....を敬わない - 常に両親に同意できないかもしれませんが、神は常に両親への尊敬を示すことを求めておられます。そうすれば、私たちはしあわせになると言っておられます。
- (オ) .....に対する裏切り - 箴言はこう言っています。「善に代えて悪を返すなら、その家から悪が離れない。」(箴言 17:13)
- (カ) 弱者、あるいは無力な者に対する.....。この第一の例は、妊娠中絶をした人は、のろいの下に来るといふものです - しかし、解決法があることを神に感謝します。
- (キ) 不適切な.....関係。特に近親相姦です。
- (ク) 反.....主義はほぼ例外なく、個人的、あるいは国家としてののろいが伴います(創世記 12:3、27:29 参照)。過去 19 世紀の歴史を振り返ってみると、ユダヤ民族をのろったゆえにのろいの下に来た国々を見ることができるでしょう。
- (ケ) エレミヤ 17:5-6 では、「主はこう仰せられる。『人間に信頼し、肉を自分の腕とし、.....が.....主から離れる者はのろわれよ。』」これは、神の超自然的な恵みと祝福を知らながら、自分の努力により頼んだ人を指しています。(ガラテヤ 3:1-14 も参照してください。)
- (コ) ゼカリヤ 5:1-4 で、ゼカリヤは飛んでいる巻き物の両側にのろいがあるという幻を見ました。
  - ① 一つは.....者へののろいです。
  - ② もう一つは、.....をした者へののろいです。その幻の中で、この巻き物はある人の家に入り、その真ん中にとどまり、その家全体を絶ち滅ぼしました。それがのろいの性質です - それは単に特定の領域だけでなく、その周りすべてをむしばむような影響を及ぼします。
- (サ) 神のものを盗む(マラキ 3:8-10) - デレクはクリスチャンが.....を支払うことは義務であると言っているのではなく、神の恵みの中で生きることは、律法の下にいる以上に私たちが寛大にさせると教えています。神に対するケチな態度は非常に哀れな経済です。なぜなら、私たちが持っているすべては神からのものであり、神は私たちが進んで捧げる物の

何倍をも返してくださるからです。

(シ) 福音の真理の誤りを、.....の名のもとで語るすべてのこと。(ガラテヤ 1:8-9)

このメッセージで、私たちがなぜのろいのもとに来るのかという多くの原因をデレクは紹介しています。私たちが十戒の最初の 2 つの戒めに関するのろいが四代後まで続くことを考えるとき、自分からさかのぼって 30 人の先祖がオカルトにまったく関わって来なかったと断言できる人は非常に少ないでしょう。

私たちはこの学びを通して問題を理解し始め、たとえ自分の落ち度でなく、先祖の失敗であっても、それに対する私たちの正しい応答は、柔らかく悔いた心です。私たちは、自分の人生、家族、仕事、教会、あるいは自分の国の罪を告白し、のろいを打ち破ることができるように、その問題の源を明らかにしてくださいと聖霊に祈り求める必要があります。

このセッションを始めたとき、神がイエス・キリストの十字架を通して、この必要に答えを与えてくださることを学びました。繰り返し言いますが、ガラテヤ 3:13-14 はこう言っています。「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。なぜなら、『木にかけられる者はすべてののろわれたものである』と書いてあるからです。』このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。」

創世記 24:1 は、「主は、あらゆる面でアブラハムを祝福しておられた。」と言っており、私たちがガラテヤ 3 章のイエスの十字架上で犠牲的な死を通して、私たちは「アブラハムの祝福」を受け取り、その祝福は私たちの人生のあらゆる領域に影響を与えます。

この学びのパート 2 に進むにあたって、私たちがすべてののろいから解放される方法を十分に理解できるように祈りましょう。

*愛する主よ、私にこの理解の新しい領域を示してくださったことを感謝します。私の人生や家族、また私の権威の下にいる人々に否定的な影響を与えているすべてののろいを示してください。あなたと私の関係と、あなたの子どもの一人として私に用意して下さっている祝福を妨げるあらゆるのろいを取り扱いたいと願います。*

*きょう、私は祝福を選び取ります。あなたの恵みによって、引き上げられること、多産、健康、勝利を選び取ります。尾ではなくかしら、下ではなく上となることを願います。あなたの栄光のためにすべての祝福を用いることができるように、またいつも感謝することができるように助けてく*

ださい。イエスの御名によって。アーメン。

このシリーズのパート 2 で、私たちがすべてののろいから解放されるための実際的な方法に踏み出す前に、私たちがのろいのもとに置く状況を続けて学びます。

## 第 13 課

# 「のろいからの解放」 パート 2

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

パート 1 のメッセージで、人々の人生に作用するのろいの共通点のいくつかを紹介しました。また、罪が原因となるのろいを取り扱いました。すべてののろいの第一の原因は、神の声を聞かず、神が言われることを行なわないことです。

さらに、以下のようなのろいの源を見てきました。

1. 第一ののろいの源は、オカルトや偶像のあらゆる形を用いて、十戒の最初の 2 つの戒めを破ることによって神ご自身からくるのろいです。「他の神々を持つてはならない」、「偶像を造ってはならない」というこの 2 つの戒めを破ることは、三代、四代まで続くのろいとなります。

申命記 27:15-26 にのろわれる者についての 12 種類の宣告があります。イスラエルが約束の地に入っていくとき、自分たちの上にそれらを宣告しなければなりませんでした。

まとめると、

2. **偶像礼拝** - 偽りの神々を持つこと
3. **父母を敬わない** - 私たちが父母を敬うことは約束を伴う第一の戒めです。
4. **隣人に対する裏切り**。
5. **弱者、無力な者に対する不正**(妊娠中絶を含む)
6. **不適切な性的関係、特に近親相姦**
7. **反ユダヤ主義** - ほぼ例外なく個人や国家にのろいがつきまとう
8. **人間や肉により頼む**
9. **盗む者、あるいは偽りの誓いをする者**。
10. **神のものを盗むこと**。
11. **偽りの福音を宣べ伝えること**

では、私たちの人生に影響を及ぼす全てののろいから解放されるという、最重要なテーマに入る前

に、のろいの原因を示している聖書の例をさらに見ていきましょう。

## まとめと解答

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、空欄を埋めてください。

### のろいの原因(続き)

1. 時に、神は特定の状況において、ご自身の代弁者としてののろいを表明するために、人を用いることがあります。聖書には様々な例がありますが、いくつかの例を挙げましょう。
  - (ア).....は滅ぼした後のエリコに町を再建する者へののろいを宣告した。(ヨシュア 6:26)
  - (イ).....は、サウルとヨナタンが殺された悲しみにより、ギルボア山に露や雨が降らないようにとのろった。(Ⅱサムエル 1:21)
  - (ウ).....は、シリヤ人ナアマンからの贈り物を隠れて受け取った自分のしもべゲハジにのろいを宣告した。その結果、ゲハジとその子孫はナアマンのらい病で永遠にのろわれた。(Ⅱ列王 5 章)
  - (エ).....がのろったいちじくの木は、たった 24 時間の間に枯れてしまった。(マルコ 11:12-14)

### 権威の立場にある人によるのろい

2. 現代のクリスチャンにあまり理解されていない、のろいの源で非常に重要なものがあります。それは、権威の.....に関連し、人間関係の中で権威を持った人からのものです。

権威は、今日の世界の多くの場所や地域ではあまり歓迎されませんが、その事実はなおも現実的に残っているのです。権威は人によって作られたものではなく、神から起こったものです。そして、権威の存在する様々な人間関係があります。あなたは好まないかもしれませんが、夫は特定の条件下で妻に対して権威があります。親は子どもに対する権威があり、教師は生徒たちに対する権威があります。牧師は会衆に対する権威を持っています。これはほんのわずかな例にすぎません。

さて、関係性における権威のゆえに、権威のある人からその下にある人に語られることばは、それが

祝福であれ、のろいであれ、特別な超自然的力があります。聖書を見ると、神からの祝福の次に、人生で最も重要な祝福を与える人は、その人の父親です。

3. 関係性における権威の例は、

(ア) ヤコブとラケルのケースのように、.....は妻に対する権威があります。

(イ) .....は子どもたちを祝福する立場にありますが、父や母からの否定的なことばが子どもたちにとってのろいとなることが頻繁にあります。

(ウ) .....が自分の生徒に権威を誤って用いると、その子どもは成人してものろいが付きまといまいます。

一般的に、関係性における権威の結果によるのろいには、悪魔的要素があると言われています。ヤコブ 3:14-15 を見てみましょう。

*しかし、もしあなたがたの心の中に、苦いねたみと敵対心があるならば、誇ってはいけません。真理に逆らって偽ることになります。そのような知恵は、上から来たものではなく、地に属し、肉に属し、悪霊に属するものです。*

言い換えれば、もしあなたの態度が間違っていて、間違った反応をするとき、口から出ることばには悪魔的要素が含まれている、ということです。デレクの話した笛吹ケトルについての例を思い出してください。その笛はのろいに似ており、蒸気が上がると笛が鳴ります。笛を鳴らさない方法はただ一つ、沸騰前にケトルを火からおろすことです。

ですから、父母、教師、夫は、怒りやイライラが増してきたときには、ケトルを火からおろす必要があります。そうしなければ、蒸気が上って笛が大きく鳴り、残酷で不当なことばがのろいとなって口から出てきてしまいます。

4. もう一つの非常に重要で最も一般的であると思われるのろいの源は、自ら.....のろいです。リベカはイサクをだました報いとして、ヤコブに臨むはずののろいを自分が受けると言いました。続けて読んでいくと、リベカが自分の人生にうんざりしていることがわかります。のろいの下にあるという明確なしるしです。

5. 私たちが用いる.....には十分注意し、自分自身について否定的に語ってはいけません。よくある例は、「これをするには絶対できない。」、「私は絶対成功しない。」、「私は役に立たな

い者だ。」「私は落ちこぼれた。」「これ以上できない。」「死んだほうがましだ。」などです。これらのことを言う結果、あなたは死の霊を招くことになります。死の霊は多くの招きを必要としません。一言でやって来ます。

6. もし、あなたが自分自身について.....な発言をしたことがあるなら、もしあなたが自分自身に何らかの否定的なものを負わせたことがあるなら、あなたはそれを肯定的なことを言うことによって取り消す必要があります。その素晴らしい例が詩篇 118:17 にあります。「私は死ぬことなく、かえって生き、そして主のみわざを語り告げよう。」

7. 使徒ペテロがイエスを.....度否定した後、イエスはペテロにご自分を愛するかと三度断言することを求めました。

8. マタイ 27:24-25 を見てみましょう。

「そこでピラトは、自分では手の下しようがなく、かえって暴動になりそうなのを見て、群衆の目の前で水を取り寄せ、手を洗って、言った。『この人の血について、私には責任がない。自分たちで始末するがよい。』すると、民衆はみな答えて言った。『その人の血は、私たちや子どもたちの上にかかってもいい。』」

これはいったい何を表わしているのでしょうか。自分自身に課したのろいです。.....の歴史の大きな悲劇が、このことばにより 20 世紀もの間、彼らの歴史に織り込まれてきました。自分自身について間違ったことを言わないようにという、大きな教訓です。

デレクは、パート 1 のメッセージで、神がアブラハムをのろいから守ったと指摘しています。神はこう言われました。「あなたをのろう者を、わたしはのろう。」神がユダヤ民族を守ることはできない唯一の領域は、彼ら自身によるものです。そして、それは多くの場合、私たちの人生にも当てはまります。神はすべてのものから私たちを守ることができますが、私たち自身が発言したことからは守ることができません。

9. 次ののろいの一般的な原因は、非聖書的.....です。偽りの神々を持っている人がいて、あなたがその人と契約を交わしたなら、あなたもその人の神々と契約を結んだことになるのです。西洋世界においてこの極めて一般的な例がフリーメイソンです。当人とその家族に最も悲惨なのろいを招きます。部族共同体のケースでは、祭りや儀式への参加もあり得ます。

10. もう一つののろいの一般的理由は、.....のしもべによって宣言されるものです。彼らは様々な社会で異なる呼び名で入ってきますが、その力の源は同じで、悪魔です。聖書の2つの例は、バラム(民数記 22:4-6)とゴリヤテ( I サムエル 17:23)です。

11. デレクが語っている最後ののろいの原因は、.....に関連する対象物です。申命記 7:26にはオカルトに関する対象物について書かれています。「*忌みきらうべきものを、あなたの家に持ち込んで、あなたもそれと同じように聖絶のものとなってはならない。それをあくまで忌むべきものとし、あくまで忌みきらわなければならない。それは聖絶のものだからである。*」

このテーマの学びを終えて、あなたがのろいからの解放を必要としていたと感じたら、あなたの家の中にある物を調べてみてください。主イエス・キリストではない、他の神々を表わす物がないかを確認してください。デレク自身の個人的原則は、イエス・キリストの名を汚すいかなる物も自分の家に置かないことであると言っています。

デレクと妻のルースは、赤ちゃんが夜あまり寝ず、絶えず泣き、落ち着かず、おびえていると相談してくる親たちをしばしば取り扱いました。その一般的な原因は、その家のどこかにサタンにアクセス権を与えている何かがあることです。そのような状況にあるなら、あなたの家を隅々まで調べ、オカルトに関連するものをすべて処分してください。あらゆる迷信的な物は、多くの人々が信じているのとは反対に、不運を防ぐのではなく、サタンへの扉を開くのです。

### のろいから解放される方法

では、十字架のイエスの死に基づき、のろいからの解放の段階を学びましょう。

12. のろいから自由へと来る基本の4段階があります。

(ア) .....する - それを取り扱うために、問題がどこにあるのかを知る必要があります。

(イ) ..... - あなた自身やあなたの先祖がのろいにさらされる原因となった、すべてのものについて告白し、思いを変え、方向転換をする必要があります。

(ウ) .....する - あなたはもはやのろいからの悪い影響を受けることはないと言います。

(エ) .....する - あなたは、イエスの血によって贖われたのですから、のろいがこれ以

上あなたの人生に影響を与えることを拒絶し続ける必要があります。

ヤコブ 4:7 はこう言っています。

「ですから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。」

あなたがそのようにすれば、サタンは逃げるしかありません。しかし、抵抗は継続的なプロセスです。強風が吹いているとき、窓を閉めたままにしておかなければならないようなものです。窓を開けると、再び風が入り込んでしまいます。

13. 聖書はあなたの解放のために明確な基本を示しています。

(ア) 最善の聖句は、ガラテヤ 3:13-14 です。「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから.....くださいました。なぜなら、『木にかけられる者はすべてののろわれたものである』と書いてあるからです。このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。」

(イ) エペソ 1:7 はこう言っています。「この方(イエス)にあつて私たちは、その.....による贖い、罪の赦しを受けています。」

(ウ) コロサイ 1:12-14 にはこうあります。「また、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格を私たちに与えてくださった.....なる神に、喜びをもって感謝をささげることができますように。神は、私たちを暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。この御子のうちにあつて、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。」

14. 私たちがキリストへの信仰を告白し、その堅い基礎を建て上げるとき、イエスは私たちの.....の大祭司となります(ヘブル 3:1)。それは、あなたがイエスについてする告白に基づいて、イエスはあなたの最祭司としての役割をしてくださるということです。

15. 次に、あなた自身を.....にならせてください。祝福される資格を覚えていますか。神の声を聞いて、その言われることを行なうことです。ですから、あなたが解放を受け取った時、「今から、私は神が言われることを聞いて行ないます。」と言って、自分を捧げる決心をしてください。

16. 次のステップは、あなた自身、あなたの先祖に関わらず、あなたが知る限りのすべての.....を

告白することです。あなたはあなたの先祖の罪に対する責任はありませんが、その影響はあるということが異なる部分です。

17. それがどのような方法であれ、あなたに対して罪を犯した人々をすべて.....必要があります。なぜなら、赦さない心はあなたの祈りの答えを受け取る妨げとなるからです。私たちが赦されたいと願うなら、他の人を心から赦さなければなりません。
18. 最後に、あなた自身、あるいはあなたの先祖による.....とのすべての関係を絶ち切らなければなりません。これは、すべての「関連する」対象物を処分することを含みます。なぜなら、それらはのろいをもたらすからです。

あなたがこれらの条件を満たせば、イエスの御名によってあなた自身を解放することができます。  
「何でもあなたが地上でつなぐなら、それは天においてもつながれており、あなたが地上で解くなら、それは天においても解かれています。」(マタイ 16:19、18:18)

19. ....の名によって解放を受け取ったら、告白しアブラハムの祝福を期待しなければなりません。そうすれば、私たちはのろいから解放され、アブラハムの祝福を受けるようになるからです。

以下は、デレクがよく用いる告白の一つです。

「十字架のイエスの犠牲を通して、私たちはのろいの下を抜け出て、神がすべてのことにおいて祝福したアブラハムの祝福の中に入ります。」

いくつかの祝福でしょうか。すべてです。そのレベルの祝福が欲しいですか。神はあなたにそれを与えてくださいます。それが聖霊の祝福であることを覚えていてください。つまり、祝福の管理人は聖霊です。私たちは聖霊の友でなければならないということは重要です。もしあなたが聖霊を悲しませるなら、あるいはあなたが聖霊を汚すなら、祝福を与えてくださいません。聖霊は神の倉庫のカギを持っているので、あなたが宝を欲しいと願うなら、その倉庫の管理人と友だちになる必要があります。

もし、あなたがあなたの人生を覆うのろいの陰にいると感じているなら、以下の祈りをしてください。

主イエスさま、私はあなたが神の子で、神への唯一の道であり、十字架の上で私の罪のために死に、死からよみがえったことを信じます。その十字架で、あなたは私のためにすべてののろいとなり、私がのろいから解放され、祝福の中へ入るようにしてくださいました。

主よ、私は私、あるいは私の先祖によってなされたすべての罪を告白します。あなたの赦しを求めます。また、私は私を傷つけた人、不当なことをした人をすべて赦します。神が私を赦してくださいるように、私はその人たちを赦します。また、私は自分自身を赦します。

私はいかなる形においても、あらゆるオカルトとのつながりを絶ち切り、いかなる「つながりの対象物」も処分することを誓います。そして今、主よ、私に与えられている神の子としての権威をもって、あなたの赦しを信仰によって受け取り、今、自分自身と、私の権威の下にある家族をすべてののろいから解放します。今、イエスの御名によって、私は解放を宣言します。私はそれを断言し、信仰によって解放を受け取ります。イエスの御名によって。アーメン。

では、主に感謝を捧げてください。感謝はすべてにまさる信仰の表現だからです。

悪魔があなたの人生に再び権威を振りかざそうとしていると感じたら、いつもこの宣言を思い出してください。

「十字架でのイエスの犠牲を通して、私たちはのろいの下から、神がすべてのことにおいて祝福したアブラハムの祝福の中へと移されました。」

## 「解放の基礎」シリーズ

### 導入

多くの教会では、悪霊からの解放を教会生活の一部とすることに抵抗がありますが、悪霊からの解放は、イエスが多くの場合で行なってきた聖書的概念なのです。この二回のシリーズで、デレクはイエスが私たちに与えてくださった模範を考察することから始め、以下のことを示していきます。

- 人々を悪霊から解放する権威は、整えられた弟子たちに不可欠な部分であること
- 悪魔、悪霊、汚れた霊の性質
- 悪魔の活動の特徴
- 悪魔の住む範囲
- 悪魔の侵入方法
- 解放の方法
- 解放されない人がいる理由

悪霊からの解放は、神の国とサタンの王国の間の衝突を明るみに出し、神の国がサタンの王国よりもはるかに力強いことを明確に打ち建てます。

1963年、デレクは自分の教会員の一人に悪霊の働きが現れていることに初めて直面し、イエスの御名によって追い出しました。以来、彼は解放の分野におけるイエスのミニストリーについて聖書がどのように示しているかという集中的な学びに駆り立てられました。その最初の学び以降、デレクは何千という人々に解放の働きを続け、劇的な結果や多くの人々が解放されるのを見てきました。主があなたに解放の必要があることを示すことにおいても、また、あなたが他の人々に解放のミニストリーをするためにあなたを整えることにおいても、このシリーズはあなたを堅く立たせるためのものとなるでしょう。

## 第 14 課

### 「解放の基礎」 第一回

## 敵の見分け方 - 知りたかったけれど、質問することを恐れてきた悪魔について

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

解放は、私たちがさらに神に似た者とさせるために与えられた、きよめのプロセスの部分です。悪霊による抑圧と、それから解放される必要性は長い間教会から放置されてきましたが、それはイエスのミニストリーの特徴の一つでもありました。私たちは他のどのような伝統よりも、イエスの模範に従う必要があります。

旧約聖書では、悪霊からの解放の記述はありませんので、イエスが公生涯を始めたとき、ほとんどの人々にとって最も驚きだったことは、イエスの悪霊の取り扱い方でした。いやし、食物の備え、自然の支配など、イエスが行なった奇蹟のほぼすべてが旧約聖書にもありますが、悪霊の追い出しの記録は一つもありません。ですから、それを目撃した人々は即座にそれに引きつけられ、興奮したのです。

この学びでは、悪霊の取り扱いにイエスが用いた模範を考察し、解放といやしがどれほど緊密に組み合わされているかを見ていきます。解放とはどのようなものをデレクは聖書から教えます。解放は伝道者にとって重要な道具であり、イエスは悪霊を取り扱う権限を与えるまでは弟子たちを誰ひとり遣わすことはありませんでした。

その土台に続いて、悪魔の性質、その活動の特徴、悪魔が人間の人格の中で働く範囲についての聖書的理解に導きます。このシリーズの第二回では、十字架のイエスのみわざを通して悪魔から解放される方法を学びます。

では、「解放の基礎」のメッセージを聞き、以下のまとめを読んで質問に答えてください。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

預言者イザヤは、イザヤ 61:1 でこのように書いています。

神である主の霊が、わたしの上にある。  
主はわたしに油をそそぎ、貧しい者に良い知らせを伝え、  
心の傷ついた者をいやすために、わたしを遣わされた。  
捕らわれ人には解放を、囚人には釈放を告げ…

この聖句は、イエスのミニストリーの一部に解放が含まれることを預言しています。「捕らわれ人には解放を、囚人には釈放を告げ…」 「捕らわれ人」と「囚人」は、悪魔の抑圧の下にいる人々を表わすためによく用いられる語です。

私たちの人生や、助けを求めている人々の人生における悪魔の働きに気づくために、神が私たちの霊的な目を開いてくださるとき、そのプロセスを通るために私たちには勇気と忍耐が必要です。神がその啓示を与えてくださる目的は、イエスの死を通して私たちに備えてくださった自由へと私たちを導き入れたいからです。その自由への道の一つが、私たちが悪から解放されるためにイエスが悪に引き渡された、という十字架でなされた交換です。

私たちは、私たちの内に恐れを蒔く、あるいは解放を受けることを脅す人を探し求める悪魔に油断せず、疲れしないことが必要です。Iヨハネ 4:18 で神のことはこう教えています。「愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。なぜなら恐れには刑罰が伴っているからです。恐れる者の愛は、全きものとなっていないのです。」 私たちは神のまっつき愛を受け取り、神の素晴らしさに信頼し、また神の願いは、罪の束縛と私たちを罪の奴隷にしておくことを常に求めている悪から自由にされることであると信じなければなりません。

以下の空欄を埋めてください。

## イエスの模範

1. 聖書には入れ替えが可能な.....つのフレーズがあります。悪魔、汚れた霊、悪霊です。さらに、

恐れ<sup>の</sup>霊、重<sup>圧</sup>(うつ)の霊、あるいは虚<sup>弱</sup>の霊などのような特定の霊についても語っています。

2. マルコ 1:23 の「汚れた.....につかれた」と言っている箇所は、ギリシャ語の文字通りでは、「汚れた霊の」となります。最も良い翻訳は、「汚れた霊の影響下にある」でしょう。
3. マルコ 1:25 で、イエスはその人自身ではなく、.....の中にいた霊を取り扱いました。シナゴークからその人を連れ出しても、その状況の助けとはなりません。むしろ、イエスは人の中の霊という問題の根を取り扱いました。
4. この箇所では、その人が普段はどのような人であったかについて何も触れられていません。聖霊の油注ぎのある.....の臨在が、その人の中の見えない悪魔の存在を引き出したのです。
5. イエスが「黙れ、この人から出て行け。」と言ったとき、劇的な目に見える.....がありました。通常シナゴークではそのようなことはあり得ません。
6. マルコ 1:32 は、「悪霊につかれた」という訳になっていますが、ギリシャ語の本当の意味は、「悪魔的となった」です。それは、.....の影響や抑圧の下にあることです。クリスチャンは、イエスに所有されているので、悪魔に所有されることはありません。しかし、多くのクリスチャンが悪魔的となっている場合が多いのです。悪魔に苦しめられ、影響を受けています。悪魔に完全にコントロールされてしまっている領域があるのです。
7. 同じマルコ 1:32 で、「夕方になった。日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた人をみな、イエスのもとに連れて来た。」 イエスが.....と悪霊につかれた人とを区別しなかったことに注目する必要があります。ほぼ例外なく、イエスは病人と悪霊につかれた人を一括して取り扱いました。
8. 多くの人々は、解放が必要な人とは非常にまれで例外的で、刑務所にいる人か、精神病院にいる人ではないかと考えています。しかし、そうではありません。イエスは毎週安息日に.....で会う正統派ユダヤ教徒を取り扱い、それ以外の日は家族の世話や畑の世話、漁師や店で働く人と過ごす人々を取り扱っていました。彼らは普通の人、尊敬に値する人々、宗教的な人々などでしたが、その人たちの人生の中に自分でコントロールできない領域があったのです。私たちは、解放を必要とする人々が犯罪者か狂人だろうという印象を抱いてはなりません。

9. ルカ 4:40-41 で、いやしと解放が混ざり合ったミニストリーを見ることができます。彼らは ..... のために来たのですが、多くの場合そのいやしには、悪霊を吐き出すことが求められました。また、この箇所を見ると、イエスは彼ら一人一人に手を置いています。

### 弟子たちを整える

10. 新約聖書では、最初に悪霊を取り扱う権限が与えられないで、.....に遣わされた人はいません。これには、十二弟子(マタイ 10:5-8)、七十人(ルカ 10:17)、そしてマルコ 16 章とマタイ 28 章の大宣教命令も含まれます。聖書で正式に伝道者と呼ばれている人はただ一人ピリポだけで、彼も悪霊を追い出しました。(使徒 8:5-8).
11. 私たち自身や他の人を助けるために、悪魔がどのようなものであるかを探る時、2 つの御霊の賜物が助けとなります。( I コリント 12:7-11)
- (ア) .....を見分ける
- (イ) .....のことば

### 悪魔、悪霊、汚れた霊の性質

12. これら 2 つの重要な賜物に加えて、超自然的な領域において私たち自身や他の人に悪霊の影響を警告する様々な兆候があります。第一に、悪霊は.....です - 人間のからだの中に入ることを強く願う、肉体から分離した人格です。
13. 悪霊はサタンによって主に 2 つの目的が課せられています。
- (ア) その人が救い主キリストを.....から遠ざける。
- (イ) 悪霊がその最初の目的に失敗すると、次の目的は、その人が主イエスに効果的に.....ことから遠ざける。
14. 私たちは「肉」と「悪霊」を区別することが重要です。
- (ア) .....とは、「古い性質」あるいは「古い人」を指します。
- (イ) .....とは、ある人の中に入り込んで占拠した人格を指します。

このように考えることができます。肉は死体で、悪霊はその死体に集まるハゲタカです。もし、死体がないければハゲタカも来ないでしょう。イエスは言われました。「死体のある所には、はげたかが集まりません。」(マタイ 24:28、ルカ 17:37)。欲と罪深さがあらわな、悔い改めのない肉のある所にハゲタカが集まるのは当然のことです。

15. その肉と悪霊のための対処法は、全く異なります。

(ア) 肉のための治療法は、.....です - ガラテヤ 5:24にこうあります。「キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまな情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。」

(イ) 悪霊のための解決法は、それを.....ことです。

この2つの対処法は入れ替えることはできないことに注意してください。あなたは肉を吐き出し、悪霊を十字架につけることはできません。

### **悪霊の活動の特徴**

もし、あなたが聖書を読み、祈り、定期的な交わりを持ち、主に仕えたいと願う献身的なクリスチャンでありながら、苦悩や屈辱、束縛の中にあたり、何かにとらわれているという特別な問題を抱えていて、祈りや断食、自分に死んだとみなすなど、あらゆる解決法を試したにもかかわらず、その問題が解決されていないなら、ほぼ確実にあなたは悪霊を取り扱っていることわかります。

16. 以下は、悪霊の9つの特徴的な活動です。もし、これらがあなたの人生に2つ以上当てはまるなら、あるいは、それが非常に激しいものであるなら、おそらくあなたには解放が必要と思われます。忘れないでいただきたいことは、これらは人格の活動であって、私たちは肉体を持たない人格を扱っているのだということです。

(ア) 悪霊は.....します - 人々を悪へと誘惑し、悪いことを勧める声の形でやって来ます。

(イ) 悪霊は.....します - 彼らはあなたを知っており、あなたの行動を尾行し、あなたの弱点を知り、どのようにいつ入り込むことができるかを正確に知っています。

(ウ) 悪霊は.....ます - 赦さないことの結果として起こることが多いです。もし、あなたの心に誰かに対して赦さない思いがあるなら、あなたは苦しめるための格好の標的となります。身体的な苦しみには、関節炎、ゆがみ、変形、足を引きずる、不自由などが含まれます。精神的苦痛には、偽りやあなたの平安と救いの確信を取り去る非難の霊から起こる精神異

常を含みます。

(エ) 悪霊は.....します - 脅迫的なことのほとんどが悪霊的になりやすいです。過度の喫煙、アルコール、暴飲暴食のようなもの。

(オ) 悪霊は.....にします - 悔い改めて主からの赦しを求めたあと、あなたがその罪を憎んでいるにも関わらず、再び同じ罪を犯したい思いに激しく駆られるなら、あなたは奴隷となっています。

(カ) 悪霊は.....です - 特にあなたが神を礼拝しているとき、あなたを不潔できくれないと思わせます。

(キ) 悪霊は.....です - 高慢は偽りへの扉を開きます。霊的偽りのすべての形が悪霊的です。

(ク) 悪魔は弱らせ、病気にさせ、.....ます - サタンは人殺しであることを忘れてはいけません。

(ケ) 悪霊につかれた人は通常、何らかの領域で.....ません - 逆に、リラックスでき、平安がある人は、おそらく解放の必要はないでしょう。

### **悪霊の住む領域**

箴言 25:28 はこのように言っています。

*自分の心を制することができない人は、城壁のない、打ちこわされた町のようなだ。*

この節は、人間の内側と町を対比しています。霊的防衛のない人は、町がほぼすべての悪霊が入り込むことができるようにさせてしまっているようなものなのです。薬物依存を考えてみてください。この節はそのような人を完全に表現しています。その人の城壁は打ちこわされているので、何でも入り込むことができるのです。

町の中には、様々な地域があります。裕福な人の住む地域、スラム地域、銀行や商業の地域、スポーツ施設の地域、様々な民族の地域などがあります。あなたや私の内側にも、特徴を持った様々な地域を有する一つの町があるのです。

17. 悪霊が影響を与えようとしている 10 個の領域を挙げてみましょう。

(ア) 態度と..... - この領域を拠点とする悪霊の集団があり、一つ一つが次の道へとつながっています。その最大の元となる問題は拒絶で、その影響は孤独感、みじめさ、自己

憐憫、うつ、究極的には死という、感情全般にもたらされます。もう一つの非常に典型的な問題は、反抗で、憤り、憎しみ、怒り、暴力へと導きます。

- (イ) 戦いの場である..... - この領域に影響を及ぼす特徴的な霊は、疑い、不信仰、混乱、優柔不断、錯乱です。
- (ウ) ..... - この領域に影響を与えるおもな霊は偽りですが、中傷、ゴシップ、誇張、冒とく、汚れたことば、否定的な話なども含みます。
- (エ) ..... - これは、脅迫的性異常のあらゆる形を含みます。例えば、マスターベーション、姦淫、不倫、同性愛、性転換などです。
- (オ) ..... - これは、不健康で破壊的な情欲や食欲を指します。Iヨハネ 2:16は「目の欲」と「肉の欲」について触れており、盗み見、興味本位で見ることや暴食を含みます。
- (カ) ..... - これは、フラストレーションによって成長します。アルコールを飲み過ぎないように、あるいは煙草をやめよう、過食しないようにと思っているのに、できないでいるなら、神にその依存の原因は何かを神に明らかにしていただくよう祈る必要があります。その原因を取り扱わないなら、別の依存にすり替わる可能性があります。
- (キ) .....の全領域 - この広大な領域は深く暗い穴で、外側は良さそうに見えるものであっても、そのすべての部分が悪霊的です。
- (ク) すべての偽りの..... - サタンは宗教の分野においては専門家で、背後に悪魔のいない偽りの宗教はありません。
- (ケ) すべての..... - 聖書で示されている通り、クリスチャン信仰から離脱したすべての異端(いくつかの例がIテモテ 1-3章にあります)。
- (コ) 私たちの.....の領域 - てんかんのようなものも含みますが、必ずしもそうであるとは限りません。

これらすべてのことをある程度深く取り扱う理由は、私たちが自由とされるためです。神は私たちを罪に定めるために私たちを明るみに出したいのではなく、むしろ十字架のイエスの贖いの死を通して私たちに自由をしたいのです。

この「解放の基礎」シリーズの第二回では、デレクはどのように解放され、どのようにその自由を保ち、どのようにして再び悪霊の抑圧の下に来ないようにするかを分かち合います。

この回の締めくくりとして祈り、示してくださったこの重要な領域を主にゆだねましょう。

天の父よ、私の人生に働いてきた悪霊の力についての啓示を与えてくださったことを感謝しま

す。私の人生にあるすべての悪霊の影響を明るみに出し、キリストにある完全な自由を見いだすことができるように助けてください。イエスの御名によって。

アーメン。

主に祈り、待ち望むとき、主があなたを救い出したいと願っている悪霊があるかどうかを示してください。あなたが抑圧を感じてきた霊を書き出すことによって学びを進め、その霊を吐き出すことができるように、準備しましょう。

## 第 15 課

### 「解放の基礎」 第二回

## 敵を吐き出す

### 導入

*このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。*

このシリーズの第一回では、私たちの敵である悪魔について、悪魔が悪霊を通してどのように私たちを圧迫しようとしているかを学びました。特に、地上の生涯においてイエスがどのように悪霊を取り扱ったかを学びました。それは、解放といやしを通してでした。聖書の中で誰ひとりとして、悪霊を追い出すために整えられずに遣わされた人はいません。私たちは前回のメッセージで悪霊の性質、特徴、そして悪霊が住もうとするおもな領域などを学びました。

このメッセージでは、イエス・キリストによる完全な自由の中へ私たちを導きたいと神が願う、私たちの人生の重要な領域についての理解の歩みを続けます。霊的問題を取り扱うとき、私たちはしばしばその問題の原因を突き止め、どこでその問題が始まったかを知る必要があります。そこでデレクは、私たちがどのように解放されるのかをというクライマックスを話す前に、どのように悪霊が入り込むかについて教えます。

このメッセージの最後の部分は、なぜ解放されない人がいるのかについて語られています。これは、その人々が解放される可能性がないということではなく、解放が起こらない時、あるいは部分的にしか解放されない時、もう一度確かめてみるものがあるということです。最後に、私たちがその解放を保ち、再び悪霊の影響下に置かれないことを確実にするための方法を教えています。

では、メッセージを聞いてください。

### まとめと質問

*このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。*

あなたがこの学びを復習し、以下の質問に答え始めるとき、あなたを縛っていた悪の束縛から解放される変化が起こっていることを願います。神は決して私たちが抑圧の下で生きることを願ってはいま

せん。解放は神のきよめの働きのおもな部分です。もし、あなたが今も解放されていない霊があると感じているなら、以下の学びを通して、あなたが見落とした段階や条件がないかを主に示していただくように祈り求めてください。イエスは全能なお方であり、イエスに立ち向かうことのできる悪霊は一つもありませんから、その状況に適した神のこばを宣言するとき、私たちは敵からの解放を受けましょう。

ヨエル 2:32 はこう言っています。「しかし、主の名を呼ぶ者はみな救われる。」

解放は、イエスが十字架で私たちを買い取ってくださった救いの一部であり、キリストを主として永遠に礼拝するために不可欠な要素です。

以下の空欄を埋めてください。

### **悪霊はどのように人間の人格と人生に入り込むのか**

以下は、7つのその方法です。

#### **1. オカルトの背景**

(ア) あなたの.....の中でオカルトに関わったことがある。オカルトは、最初の2つの基本的戒めを破るという、偽りの神々を礼拝しています。それは、「わたしのほかに、他の神々があってはならない。」と、「あなたは、自分のために偶像を造ってはならない。」です。偶像礼拝のすべての形は、自動的に人々を悪霊にさらします。

(イ) この出エジプト20章の最初の2つの戒めに関して、神は三.....、四.....に父の罪を問うと言われました(5節)。それは、もしあなたの先祖の30人中一人でもオカルトに関わったことがあるなら、悪霊が私たちの人生の中に入り込む道を作ることになるということです。

(ウ) 神が.....の必要を示してくださるとき、誰ひとりとしてその問題を罪に定めることはありません。罪悪感私たちがイエスを通して私たちに差し出してくださっている解決を拒むときにのみ、やって来るのです。

2. **個人的なオカルトへの関与** - 申命記 18:10-12 は、どのような方法であれ、オカルトに関わる者は主に.....と教えています。オカルトに少しでも関わりながら安全でいられる道は一つもありません。

### 3. 出生前の影響

- (ア) 多くの人はまだ母親の.....の中にいるこの時期に入った悪霊を持ったままです。
- (イ) 最もよくある原因は.....です。何らかの理由で、母が自分の胎の中で成長しているいのちを拒絶したことによるものです。おそらく、結婚前であるという恥によるもの、あるいは夫との不和や経済的理由によるものが多いでしょう。どのような理由であれ、胎の中の小さな人格は非常に繊細で、結果的にすでに内側に拒絶の霊をもって生まれてきます。
- (ウ) 時に、.....している女性が瞬間的なショックや恐れを経験し、その赤ちゃんが恐れ  
の霊にさらされることがあります。この場合にも、赤ちゃんは恐れ  
の霊をもって生まれてくる  
ことがあります。

### 4. たましい的な支配 - 多くの人々がたましい(思い)を支配することによって、他の人を.....しようとしたり、操ろうとしたりします。

### 5. 幼少期の抑圧

- (ア) 子どもの霊的、感情的.....力は、しつこい悪霊の抑圧を閉め出すために十分ではないことがよくあります。
- (イ) ヤコブ 3:16 にこうあります。「.....や敵対心のあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行いがあるからです。」両親の争いや不和のある環境では、自動的に子どもたちが悪霊の抑圧にさらされます。子どもの 90%以上は、その影響を閉め出す能力がありません。
- (ウ) デレクは自身の観察から、悪霊の問題の 80%は、.....歳になる前に始まっていると言っています - 両親にその責任があるのです。

### 6. 弱い瞬間や弱点 - これは身体的、あるいは感情的.....の瞬間であり得ます。状況によって悪霊の全領域までその人をさらすこともあります。例として、悲観、失望、てんかんも含まれます。

### 7. 罪深い行為や習慣 - 特定の.....習慣を続けると、それが悪霊的になる時が来ることは確実です。これには、映画や音楽、本、雑誌、インターネットなどの中の悪霊にさらされることも含まれます。

## どのように解放されるか

いよいよ、この学びのシリーズのクライマックスである、解放される方法に入ります。

8. 以下は、デレクが解放を得る際に、特に適切であると発見した様々な要素です。神は公式に沿って働かれるのではないので、これらは必ずしもすべてのケースにおいて妥当なわけではありませんが、確かに慎重に考慮されたものです。

- (ア) **謙遜** - 神は真実なお方ですから、神に取り扱っていただくための必要条件の一つは完全に正直であることです。しかし、正直であるためには、.....が求められます。私たちはそれを正当化したり、聞こえよくしようとしたりせずに、問題を認める必要があります。時に私たちは自尊心か解放かのどちらかを選ばなければなりません。もし、選ぶことに悩むなら、それはあなたのプライドに問題があることを意味します。
- (イ) **イエス・キリストへの信仰の告白** - イエスは私たちの告白する大祭司です(ヘブル 3:1、4:14)。ですから、私たちが正しく.....するとき、イエスは私たちを助けてくださいます。しかし、正しい告白をしないなら、イエスは助けてくださいません。
- (ウ) **わかっているすべての罪の告白** - あなた自身とあなたの.....による罪のすべて。聖霊と神のことはが示してくださる中で、私たちは神が明らかにしてくださるすべての罪を告白する必要があります。これは、家族、先祖の問題を自分自身のものにとらえて、罪として告白する必要性も含まれます。
- (エ) **すべての罪を悔い改める**
- ① 悔い改めなくて、.....はありません。もし、あなたが悪霊を取り除きたいと真剣に願わないなら、どうして神はあなたを解放するでしょうか。
  - ② 箴言 28:13 にこうあります。「自分のそむきの罪を隠す者は成功しない。それを告白して、それを捨てる者はあわれみを受ける。」あわれみを受ける 2 つのカギは、告白と.....ことです。
  - ③ 神は全知のお方です。つまり、神はすでにすべてを知っておられます。ですから、神は知ろうとして私たちに.....を求めているではありません。すでに知っておられます。神が私たちに告白を求めるのは、私たちを愛するゆえに、あわれみを示したいからです。
- (オ) のろいや.....結社(特にフリーメイソン)、**オカルトを断ち切る** - これは悔い改めのプロセスの一部ですが、特に英語圏では重要なので別のプロセスとして取り上げました。
- (カ) **他の人を赦す** - すべての人をです。

① マルコ11:25でイエスは言われました。「また立って祈っているとき、だれかに対して恨み事があったら、.....やりなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの罪を赦してくださいます。」その赦しから除外される人は一人もいません。

② 彼らのためではなく、赦しは私たちの責任、私たちのためです。彼ら自身が.....まで待つてはいけません。赦しは超霊的なことや感傷的になることではなく、単純に自分の必要を知らされるためです。

(キ) **吐き出す** - これは単純ですが、非常に意義あることばです。解放を求めることにおいて、私たちは受け身であってはなりません。あなたは行動を起こさなければなりません。あなたができる最もシンプルな行動は、息を吐き出すことです。ヘブル語もギリシャ語も、「霊」という単語は「息」と同じ単語です。あなたが肺の中の煙を出そうとするときは、息を吐き出します。悪霊から解放されたいなら、力強く吐き出すことによって、からだから.....ます。

### **なぜ、解放されない人がいるのか**

人々を祈りに導く前にデレクは、なぜ解放されない人がいるのかについて語っています。この教えは、おもに解放のミニストリーに携わる人々のためのものですが、自分の解放を求める個人にも役立つでしょう。

基本的に、解放を受け取ることができないのは、条件を満たさなかった結果ではありません。解放は条件に見合う人々であるかを確認するような霊的な力のテストではありませんが、人々が条件に見合うとき、その人々は解放されます。あなたは解放を求めている、あるいは解放を必要とする人へのミニストリーを目指して、自分の小ささを感じているかもしれませんが、あなたは勝利のキリストを表わす者であることを忘れないでください。

9. 以下は、すぐに解放されない時に確かめてみる9つの事柄です。

(ア) **悔い改めの欠如** - 聖書は、.....意志のない人への解放の備えを与えません。

(イ) **必死さの欠如** - 解放は.....な人のためのものです。受け身的であることは問題です。

特に東洋のカルトは自分の思いをあいまいな状態にすることを励ますので、必死な状態に持つてくるように駆り立てる必要があります。キリストが私たちに与えてくださったのは、悪霊に勝つ権威であって、人間の意志に勝つ権威ではありません。私たちは他の人のために願うことはできません。その人が自分で解放への願いを持たなければなりません。

- (ウ) **自己中心** - .....されたいという願い。貧しい、無視されている、拒絶されたことのある人々は、自分が唯一注目を集める機会となるので、解放が必要だと慢性的に言うことがあります。しかし、解放されると注目されなくなるので、本心は解放を望んでいないのです。自己中心は、悪霊の注目を集めることになります。
- (エ) **オカルトを断ち切ることに失敗** - これは、すべての.....の対象物を処分することを含みます。よく見かける魔除け、偶像、ポルノ、不信心な本、音楽、映画、雑誌などです。よく見過ごされてしまう物の一つに、何らかの霊に結びついたお土産があります。
- (オ) **悪い、たましい的な人間関係を断ち切ることに失敗** - 感傷的で深みと正直さに欠け、支配、あらゆる種類の虐待、あるいは過去にその内容と理由において否定的だった.....があるとき、その縛りを断ち切るために神の恵みが必要です。
- (カ) **今ものろいのもとにある** - .....の下にある人は、のろいが断ち切られるまでは癒しや解放はありません。なぜなら、のろいは悪霊に居座る正当な権利を与えるからです。まず、のろいを断ち切り、それから解放が訪れます。
- (キ) **特定の罪の告白に失敗** - これは、あらゆるものが含まれますが、一般的な例は、中絶、他の人を虐待、法に触れる性的関係、または.....外の性的関係などです。
- (ク) **水のバプテスマによって聖別されていない** - イスラエルは子羊の血によってエジプトから救い出されましたが、紅海の水によってエジプトから切り離されたことを思い出してください。追って来たエジプト人を遮ったのは.....でした。
- (ケ) **団結した行動が求められるさらに大きな戦い** - デレクが「サタンの戦いの場」と呼ぶところに立たされている人々がいます。キリストの.....全体のために責任を負う必要がある人々がいるのです。

## 自分の解放を保つ方法

最後に、私たちが受けたその解放を保つためにすべきことを考えてみましょう。これは非常に重要です。イエスはマタイ 12:43-45 でこのように言われました。

*汚れた霊が人から出て行って、水のない地をさまよいながら休み場を捜しますが、見つかりません。そこで、「出て来た自分の家に帰ろう」と言って、帰って見ると、家はあいていて、掃除してきちんとかたづいていました。そこで、出かけて行って、自分よりも悪いほかの霊を七つ連れて来て、みな入り込んでそこに住みつくのです。そうすると、その人の後の状態は、初めよりもさらに悪くなります。邪悪なこの時代もまた、そういうことになるのです。*

汚れた霊がその人を見つけたとき、その人(家)は、掃除してきちんと片付いていました。もちろん、家を掃除することも、きちんと片付けることも何の問題ありません。では、何が問題なのでしょう。その家は空っぽでした。あなたの人生に悪魔を入れさせない力がある方はただ一人、イエスだけです。イエスがおられる領域はすべて安全ですが、イエスを主としていない領域があるなら、そこは安全ではありません。

10. 以下は、イエスが私たちを買い取ってくださった解放を保つために必要な 8 つのリストです。

- (ア) **空室がないこと** - 霊的な世界では、イエスに完全に主権を明け渡していない人の人格の領域は、.....という看板になっています。それが見えると、敵は歓迎されていると知り、入る時に自分よりも悪い 7 つの霊を連れて入り込むことができるのです。
- (イ) **賛美の外套を身に着ける** - あなたが主を.....するとき、悪魔があなたを煩わす以上に、あなたは悪魔を煩わしていることになります。(イザヤ 61:3)
- (ウ) **神の武具をすべて身に着ける** - エペソ 6:14-17 は神の.....のカギとなる聖句ですが、聖書には他にも多くの関連する聖句があります。それは、私たちの守りのための神の備えです。
- (エ) **みことばに生きる** - マタイ 4:4 はこう言っています。「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」事実、信仰、感情という順序を正しく守らなければなりません。事実、神の.....の中にあります。信仰はその事実を信じることです。そして、感情はそれに続くものです。しかし、その順序を変え、感情によって歩み始めるなら、あなたは錨を失った船のようになります。
- (オ) **神に従い、悪魔に立ち向かう** - ヤコブ 4:7 で、聖書は悪魔が私たちから逃げ去ると教えていますが、それは、私たち自身をまず神に従わせ、悪魔に立ち向かうときのみです。.....に従い、神に立ち向かうという、よくある間違いを犯さないようにしましょう。
- (カ) **正しい交わりを保つ** - Iヨハネ 1:7 はこう教えています。「しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。」私たちはきよめを願うなら、光の中を歩み、.....を持つ必要があります。
- (キ) **規律のもとに来る** - これは、自己規律、家族の中の規律、政府の規律、学校の規律、教会の規律など様々あります。.....を拒む人は反抗者です。  
Iサムエル 15:23 はこう言っています。「まことに、そむくことは占いの罪だ。」
- (ク) **イエスを中心とする** - サタンを追い出すことは、イエスで満たされる必要のある空間を創り

出すことです。私たちは、暗闇であるサタンでよりも、光である.....にフォーカスしなければなりません。光の入り口は暗闇を追い払います。それは私たちが注目しなければならない光です。

メッセージのこの段階で、デレクは解放の必要があると気づいた人々のために祈る招きをしています。以下は、あなた自身のため、またあなたが他の人のために、悪霊から解放されるようにとの祈るときの例です。

主イエスさま、私はあなたが神の子で、神への唯一の道であることを信じます。あなたは私の罪のために十字架で死なれ、死からよみがえられました。いま、私はあなたのあわれみと赦しを求めてあなたのもとへ来ています。あなたが私を赦し、あなたの子どもとして受け入れてくださることを信じます。あなたが私を受け入れてくださるので、私も自分を神の子どもとして受け入れます。

主よ、私の特定の問題をあなたはご存知です。私を苦しめる悪霊の影響です。主よ、私はあなたの条件を満たし、あなたの解放を受けたいのです。まず、これまで私を傷つけた人、私を中傷した人を赦します。いま、彼らをみな赦します。

(ここで少し静まって、あなたが赦す必要のある人の名前を静かに挙げ、また自分自身を赦す必要があれば自分の名前を言ってください。)

主よ、私はこれらの人をみな赦しました。すべての苦々しさ、罣、憎しみと反抗を捨てます。そして、あなたが私を赦してくださったことを信じます。感謝します。

また、サタン、オカルト、秘密結社、サタンの領域にあるすべてのものとのあらゆるつながりを断ち切ります。私とその領域にいたことを悔い改め、今それに背を向けます。また主よ、もし私の人生にのろいがあるなら、あなたが十字架の上でのろいとなってくださったことによって私はのろいから贖われ、祝福を受けることができることを感謝します。私は今のろいから解放され、祝福に入ることを宣言します。

そして主よ、私は私の人格のいかなる領域を占有するあらゆる悪霊に立ち向かいます。それらを憎むことを宣言します。それは私の敵です。悪霊と折り合いません。妥協しません。悪霊は私の内にもはや居場所がありません。私は今彼らに立ち向かい、イエスの御名の權威によって出て行けと命じます。まさに今、イエスの御名で悪霊を吐き出します。アーメン。

この時点で、少し止まって、悪い息を吐き出すように悪霊を強く吐き出し始める必要があります。  
イエスがあなたを解放し始めたらイエスに感謝し、そのプロセスが完了するまで感謝し続けてください。  
解放されたら、その解放を保つための方法のリストに戻り、イエスの自由にとどまり続けてください。

## 神のことば : 尽きることのない源

### 導入

聖書についてあなたはどのように考えますか。あなたは聖書を愛していますか。聖書は、あなたの人生に効果をもたらすものだと考えますか。それとも、混乱を招く、あるいは退屈だと思いませんか。デレクはこのように言っています。「私たちは神のことばを愛する以上に神を愛することはできない。」「備えは約束の中にある」、そして、「私たちは神のことばを無視することはできず、神のご性質にあずかることができる」と期待を持つ。」

ほとんどの人が、聖書の中には私たちが造り変える素晴らしい可能性があると感じていないため、生活の中で聖書を第一優先としていないのが事実ではないでしょうか。聖書自体が次のように言っています。

- 信仰は聞くことから始まり、聞くことは神のことば(キリストについてのみことば)による
- 新しいいのちを生み出す
- 私たちに霊的食物(乳、パン、固い食物)を与える
- 神のことばは心に光をもたらす
- 私たちの肉体にいやしをもたらす
- 神のことばはサタンに勝利する力を私たちに与える
- みことばを通して私たちは罪に打ち勝つ
- みことばにより、私たちはきよめられる
- 私たちの心の奥深くの状態を明らかにする鏡となる
- 父と御子が私たちの所に来る第一の方法である

上記のリストを見ると、これらの素晴らしい益を望まない人はほとんどいないでしょう。しかし、聖書の真理を掘り起こし、私たちに益となる効果を生み出すようにするには、時間がかかります。神はご自身の奥義をせっかちな読み手には明らかにしません。しかし、神のことばと神の霊は、被造物すべてにいのちを与えた2つの動作主であり、その同じ力が私たちに神のことばを受け取って、私たちの内に神のことばが働くことを可能にしてくださるのです。

## 第 16 課

# 「神のことば : 尽きることのない源」 パート 1

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

この世界のすべてのことを私たちに可能にさせるもので、聖書以上に重要なものは何一つありません。Ⅱ ペテロ 1:2-4 にこう書かれています。

神と私たちの主イエスを知ることによって、恵みと平安が、あなたがたの上にもますます豊かにされますように。というのは、私たちをご自身の栄光と徳によってお召しになった方を私たちが知ったことによって、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与えるからです。その栄光と徳によって、尊い、すばらしい約束が私たちに与えられました。それは、あなたがたが、その約束のゆえに、世にある欲のもたらす滅びを免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。

3 節に、「神としての御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与えるからです。」とあります。それは、素晴らしいことですが、私たちが敬虔に生きるためにそれらのものをどのように受け取るか、またその目的は何かを求めると導かれなければなりません。

上の長い聖句の意味をしっかりとらえるために、分けて見ていきましょう。そうすると、以下のような声明が出てきます。

- 神としての御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与える。
- 栄光と徳によってお召しになった方を私たちが知ることによって、敬虔な生き方をする必要があります。
- その栄光と徳によって、尊いすばらしい約束が私たちに与えられる。(第一に神のことば、そして聖霊によって)
- 神のことばの尊い、すばらしい約束によって、私たちは神のご性質にあずかる者となることができる。
- 神のご性質にあずかるために、私たちは世にある欲のもたらす滅びを免れた者にならなければならない。

私たちにとって、神のご性質にあずかることができることは、驚くべき招きですが、そうなるためには、私たちが聖書に書かれている「尊い、すばらしい約束」をどのように見るかによります。私たちは神のこばを無視せず、神のご性質を預かることを期待しなければなりません。

「土台を据える」シリーズで、ヘブル 6:1-2 の 6 つの礎石を取り扱ったときに、デレクが繰り返し言っていたことは、「あなたは神のこばを愛する以上に神を愛することはできない。」です。ですから、もしあなたが自分はどれくらい神を愛しているかを確かめたいなら、あなたの聖書に対する愛の度合いを見れば、わかります。

聖書はあなたの人生の最高の位置に置かれるべきです。なぜなら、私たちが超自然的な賜物の中に移っていくときでさえ、すべてのことを吟味し、良いものをしっかりと握ることを助けてくれるのは聖書だからです。このシリーズで、神のこばがもたらす多くの素晴らしい益と、尊く素晴らしい約束が示されていますので、私たちはさらにイエスに似た者、神のご性質にあずかる者となることができるでしょう。

では、「神のこば：尽きることのない源」のパート 1 を聞き、そのあとで以下の質問に教えてください。

## まとめと質問

*このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に教えてください。*

このメッセージでは、私たちの人生に神のこばを適用するとき、どのようなことを成して下さるかにしての様々な要素を展開することから始めています。ほとんどのクリスチャンがその可能性に気づいたことがないのは、聖書の素晴らしい価値を聞いたことも、教えられたこともないため、自分たちのためにそれを見いだすことができなかったからです。私たち信者の人生における聖書の可能性は、私たちが神のこばを受け取り、信じ、理解し、聖書が示している義の道を歩むとき、無限なのです。制限は聖書にあるのではなく、受け取ることを選び取る私たちにあるのです。私たちは神のこばを切望し、それを食し、私たちのからだ、たましい、霊の中で完全に働いていただく必要があります。

以下の空欄を埋めてください。

## 聖書についての一般的な声明

1. ヨハネ 10:35 でイエスは、それまでほとんどの神の民が用いていた聖書の 2 つの呼び方を使うこ

とを選びました。それは、「.....のことば」と「聖書」です。

2. これらの 2 つの呼び方は同じものを意味しているではありません。

(ア) イエスが.....を「神のことば」と呼ぶとき、それが「神から来る」、神からの直接のメッセージであることを意味しています。たとえそれが様々な方法で来たとしても、様々な著者によって書かれていたとしても、聖書のすべての最終的な源は神です。それは神のことばであり、私たちに知ってほしいと願っておられる神のメッセージです。

(イ) 「聖書」という語の文字通りの意味は「書かれた物」で、それには限界があります。神は聖書にはない多くのことを語られましたが、聖書には私たちの益となるために記録すべきことが選ばれているのです。私たちは聖書にあるすべてのことは、.....の益となるためのものであることを覚えておかなければなりません。聖書は人生での最善の方法を見だし、神との歩み、またこの世から永遠に至るまで安全な歩みをするために知っておくべきすべてのことが書かれています。

詩篇 33:6 は言っています。

「主のことばによって、天は造られた。天の万象もすべて、御口のいぶきによって。」

聖書で「息」と出て来る箇所は、ヘブル語では「霊」です。なぜなら、神の霊は神のことばとともにやって来ることを表わすからです。それは、宇宙全体がどのように創造され、いのちを持つようになったかを教えています。それは複雑なことではなく、主のことばと御口の息吹によって造られたのです。

3. 全被造物には神の 2 つの動作主があります。神の.....と神の霊です。創世記の記録を読むと、それがどれほど正確かわかるでしょう。

4. デレクは私たちに驚くべき考えを述べています。私たちが聖書を読み、それを吸収し、あなたの中に働かせようとするとき、全能の神の.....の力が私たちの内に働くということです。神は宇宙を創造するために、ご自身のことばと霊以外のものは何も用いませんでした。そして、私たちが聖書を読むとき、その同じことば、同じ霊が私たちに与えられるのです。

5. 私たちは聖書が信者の人生にできることに制限を設けてはいけません。外に出て星を見上げ、太陽を見上げ、海や山々を見るとき、神の壮大な創造の力がそれらの被造物に現わされ、すべてを創造したその同じ動作が、私が聖書を.....時、私の内に働くのです。

6. I テサロニケ 2:13 でパウロは、神のことばは.....人々に効果的に働くと明確に言っています。不信仰は神のことばの良い影響を閉め出してしまいます。しかし、私たちが信仰によって聖書に心を開き、読んでいることを信じるなら、それは効果をもたらすのです。

ヘブル人への手紙もまた、作者は特定の言い方をしています。第一に、旧約聖書で神の民イスラエルについて、彼らがどのように大いなるしるしと不思議によって超自然的にエジプトから連れ出されたかを語っています。しかし、不信仰により、神が約束した地に彼らが入ることはできませんでした。ヘブル 4:2 でイスラエルについて言われています。

*福音を説き聞かされていることは、私たちも彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。*

7. イスラエル人が神のことばを聞いたとき、祝福とはなりませんでした。.....によって結びつけられなかったからです。私たちが神のことばを信仰と結びつける時のみ、神の意図していることが私たちの内に働くのです。

ヘブル 4:12 にこうあります。

*神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。*

8. この聖句は神のことばについての驚くべき事実のリストを挙げています。
- (ア) 神のことばは.....いて、死んでいない。
  - (イ) 神のことばには、.....がある。
  - (ウ) それはどんな両刃の剣よりも.....い。英語には医者のだんなメスよりも鋭いという翻訳もある。
  - (エ) それは、どんな精神科医の診察よりも鋭く、私たちの内側の最も密接な.....とたましいをも切り離すことができる。
  - (オ) メスが刺し通すことのできないところを刺し通すことができ、骨髄から.....を切り離すことができる。
  - (カ) そして著者は、心のいろいろな考えやはかりごとを.....できると言っています。かつて

ある人がこう言いました。「あなたが聖書を読んでいる時、聖書もまたあなたの心を読んでいることを覚えておきなさい。」

ある意味、私たちは聖書に畏れをもって近づく必要があります。なぜなら、自分でさえ気づかなかつた、私たちのうちにあることを明らかにするからです。感謝すべきことは、神は常にあわれみをもってそれをしてください。私たちは、人生で本当の成功を収めることを妨げる問題を持っているかもしれないし、その問題に気づいてすらいないかもしれません。ですから、聖書を読もうとすると、あなたの心を探っていただき、人間のメスが届くことのできないところに真っすぐに入って、あなた自身が気づいていない問題を指摘していただきましょう。

9. 私たちの大半が.....の問題を持っていますが、それに気づいていない人が多くいます。しかし、あなたが聖書を読む時間を持つとき、遅かれ早かれ、神が願っておられることを実際にあなたに成して下さる前に取り扱われなければならない、あなたの中に潜む高慢の根を発見し始めるでしょう。

### **聖書がもたらす具体的な結果**

すでにお話ししましたが、聖書は信仰と結びつけられる時にのみ、望ましい効果があります。そうすると、もし私たちがその信仰に不可欠な要素を持っていないなら、どうすればいいのかという疑問が出てきます。素晴らしいことに、私たちに信仰がないときは、それを得させ、聖書がもたらす最初の具体的な結果へと導いてくれます。

10. ローマ 10:17 はこう言っています。「そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」2つのプロセスがあります。

(ア) あなたが神のことばを開くとき、それを読み、黙想することをあなたの人生で第一のものとするとき、.....がやって来ます。聞くことは、あなたが神と二人きりになり、他のものを閉め出す姿勢を言います。他の人の意見を聞くことをやめ、神があなたの状況をどのように見ているかを理解し始めます。

(イ) 聞き続けていると、.....がやって来ます。それは即座に起こることではなく、プロセスですが、心と思いを開いてあなたの注意を神のことばに向けるとき、聞く姿勢が生まれ、聞くことにより、信仰が発展するのです。

11. 聖書がもたらす二つ目の結果は、新しい人です。新しい誕生は神から始まるものです。私たちが心に受け取る真理のことばによって、神は私たちを生み出してくださいます。(ヤコブ 1:18、ヨハネ 1:12-13 参照)

(ア) I ペテロ 1:23 でペテロはこのテーマを発展させてこのように言っています。「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる.....からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることはない、神のことばによるのです。」

ですから、この新しいのち、新しい人を生み出す種は、朽ちることのない神のことばの種です。それは決して腐敗することも、変わることもありません。私たちが自然界で知っている種の変異や悪化してしまうようなものでもありません。種の性質は生み出すものの性質を決定づけます。あなたがリンゴの種をまくと、みかんではなく、リンゴの木に成長します。そのように、神のことばの種の性質はそこから生まれて来る人生を決定づけます。それは朽ちない種ですので、生み出されるのは、朽ちないのち、腐敗することのないのちです。それは、神の種ですから、神のいのちが生み出されるのです。

(イ) I ヨハネ 3:9 は神の.....の種からの新しい誕生について語っています。ヨハネはこう書いています。「だれでも神から生まれた者は、罪を犯しません。なぜなら、神の種がその人のうちにとどまっているからです。その人は神から生まれたので、罪を犯すことができないのです。」これは、私たちが二度と罪を犯さないと言っているのではなく、新しい人の性質は罪を犯すことができないことを言っています。朽ちない種から生まれたので、その人は朽ちない人だからです。

(ウ) 私たちが取り扱わなければならないもう一つの性質は、私たちの内にキリストに入っていただく前の.....人と呼ばれます。古い人は、性質的に反抗的なので、罪を犯さずにはいられません。ですから、新生したクリスチャンとなったら、私たちが歩む人生は私たちを制御する性質によって決定づけられます。新しい人に統制されている限り、私たちは罪を犯す人生を歩みません。

新生したあなたには、まさに新生児が栄養を求めて泣く、という新しい性質が内側に生み出されます。素晴らしいことに、神のことばは新生を生み出す種であるだけでなく、新しいのちに食物を与える栄養でもあるのです。それが、私たちの人生における神のことばの三つ目の結果です。

12. I ペテロ 2:1 で、「ですから、あなたがたは、すべての悪意、すべてのごまかし、いろいろな偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの

.....を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。」この節の最初の「ですから」という語は、新生のことを言っています。新生したなら、神のことばを定期的に摂取するために、学ぶこと以上に急を要することはありません。しかし、最初はヨハネの福音書のように消化しやすいものから始め、続けて使徒の働き、ローマ人への手紙に進むのがよいでしょう。

13. 新生したばかりの人にデレクが推奨するのは以下のことです。

(ア) 最初は、.....を定期的に読むことが必要です。できれば、毎朝、毎晩読んでください。そうすれば、あなたは着実に成長します。

(イ) 次に、聖書を読みながら、.....ことを学び始めてください。あなたが聖書を読むときは、神があなたに語りかけているときです。あなたが祈る時、それはあなたが神に話しているときです。ですから、聖書を読んで祈るとき、あなたは神と双方向の交わりを持っていることになるのです。

(ウ) 三つ目は、あなたの信仰を.....することです。あなたがイエスを信じていることを人々に知らせてください。路傍伝道する必要はありませんが、何らかの形で、「私はイエスを信じている。」と人々に伝える機会が与えられていることを神は常に見ておられます。あなたが自分の信仰を告白しないなら、それはしぼんでしまいます。信仰は告白されなければなりません。

(エ) 四つ目は、他のクリスチャンとの.....です。クリスチャンは一人では成長しません。互いが必要です。神のことばが絶えず宣言されている場所にとともにいることが必要です。他のクリスチャンと礼拝する機会を持つ必要があります。

14. マタイ 4:4 でイエスは言われました。「『人は.....だけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』(申命記 8:3)と書いてある。」イエスが言おうとしていることは、パンはこの世のもので、神のことばは霊的なものであるということです。世界の多くの地域で他の食物を得ることができない人が多くいますが、通常、パンや米などを主食としており、人々が最初に必要とするものです。神のことばが私たちの主食とならなければなりません。

15. 次の栄養は、聖書が言っているように固い食物です。ヘブル 5:12 で著者はユダヤ人信者を戒めています。なぜなら、彼らは幼い頃からみことばを学んでいるという非常に有利な立場にありながら、怠惰のゆえに教師の立場にいるべきはさすが、なお乳を必要としているからです。

(ア) 著者は続けて 13 節で、「まだ乳ばかり飲んでいるような者はみな、義の教えに通じてはいません。幼子なのです。」と言っています。ですから、あなたの霊的成長のレベルは、どれほど

長くクリスチャンであるかによって決まるのではなく、あなたが消化できる食物の種類によって決まるのです。あなたはクリスチャンになって 10 年経っているかもしれませんが、もし、まだ乳ばかり飲んでいようなら、あなたは霊的には ..... です。あなたの問題は、成長が止まっていて、まったく成長していないことです。

- (イ) ヘブル書の著者は、どのように成長できるかを 14 節で説明しています。「しかし、堅い.....はおとなの物であって、経験によって良い物と悪い物とを見分ける感覚を訓練された人たちの物です。」どのように成熟するのでしょうか。実行することです。聖書を定期的に読み、実行することで、日々直面する状況に適用することです。なぜなら、聖書はすべての状況に光をもたらすからです。

16. 私たちの人生における神のこぼの四つ目の結果は、.....な光です。詩篇 119:130 はこう言っています。「みこぼの戸が開くと、光が差し込み、わきまのない者に悟りを与えます。」これは、私たちの思いの領域に神のこぼが成してくださることについて言っています。それは、光と悟りを与えることです。

デレクはケニアで師範学校の校長をしていた時、どのように人々を教育するかという全体的テーマに直面し続けました。彼は学生たちに、あなたは教育を持つことができても、愚かなままでいることがあると指摘し続けました。教育は重要で不可欠ですが、知恵とはならず、世界の問題のほとんどが教養のある愚かな人たちが原因となってしまっているのが現実です。

17. 神のこぼの五つ目の結果は.....のいやしです。詩篇 107:17-20 は、自分の罪のゆえに死の門の前で主に向かって叫んでいる人々のことを語っています。神は彼らをあわれんでその叫びを聞いてくださいました。20 節でこう言われています。「主はみこぼを送って彼らをいやし、その滅びの穴から彼らを助け出された。」

18-20 節では、神のあわれみの 3 つのみわざが語られています。

(ア) 神は.....を送られる。

(イ) 神は病から私たちを.....。

(ウ) 神はサタンの力から私たちを.....。

18. からだのいやしについてのもう一つの素晴らしい聖句は、箴言 4:20-22 です。「わが子よ。私のこぼをよく聞け。私の言うことに耳を傾けよ。それをあなたの目から離さず、あなたの心のうちに保て。見いだす者には、それはいのちとなり、その全身を健やかにする。」

神のことばと神の言われることに関して、推奨されている 4 つのことがあります。

- (ア) 神のことばに.....を払う - 完全な、集中した注意。
- (イ) 神の言っていることに耳を..... - へりくだった教えられやすい態度。
- (ウ) 私たちの.....から離さない - 神のことばにフォーカスする。
- (エ) 私たちの.....のうちにそれを保つ - それは私たちの歩む道筋を決定する。

19. 私たちがこの 4 つの教えに従うなら、神のことばが私たちの内に働いて、いのちとなり、.....を健やかにします。

これらの素晴らしい益をあなたの人生に受け取り始めるために、神の助けを祈り求めましょう。

天の父よ、人格的なイエスのことばと、書かれたみことばである聖書を感謝します。信者の人生に起こる驚くべき効果を理解し始めている今、私の人生で正しい注意と、正しい優先順位を持つことができるように助けてください。

私が聖霊の導きと光のもとで聖書を読むとき、みことばを吸収し、私の内で素晴らしい効果をもたらすようにと、全能の神のすべての創造の力が私の内に働いてくださると知りました。あなたの生ける力強いことばが私の最も奥深いところに達するために、信仰をもって読み、聞いたことが結びつけられるように助けてください。

聖書を信じる者にもたらされる完全な益を味わうことができるように、隠れた高慢の根っこを示していただき、それを取り扱うことができるようにしてください。あなたのことばを受け取り、信じるとき、信仰と新しい人、そして乳、パン、固い食物である霊的栄養、また精神的な光、私のからだへのいやしが私の内に生み出してくださることを感謝します。イエスの御名によって。  
アーメン。

パート 2 で、デレクは上に述べられた具体的な結果の最初(信仰への入り口)と最後(いやし)から始めます。そして、私たちが最大限に神のことばを受け取ることができるために、私たちの態度と神のみどころが一つとなるように助ける前に、私たちの人生に効果をもたらす益をさらに 5 つ紹介します。

## 第 17 課

### 「神のことば : 尽きることのない源」 パート 2

#### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

パート 1 の学びで、まず聖書の驚くべき力と重要性についてデレクは教えました。神のことばと言うときは、それは神から来ているもので、また聖書と言うときは、書き記された神のことばであることを理解しました。

その中で、神のことばについての一般的な事柄を学びました。

- 神のことばと神の霊がともに働いて、すべてのものを創造した。
- 私たちが聖書を読んで吸収し、それを私たちの内に働くようにさせるとき、全能の神の創造の力が私たちの内に働いている。
- 神のことばは信じる者に効果的に働く。
- 私たちが信仰をもって神のことばに結びつけるときにのみ、神が意図しておられることが私たちの内に成される。
- 神のことばは生きていて力があり、鋭く、刺し通すこと、判別することができる。

パート 1 では、以下のような、神のことばが私たちの人生に生み出す具体的な結果を学びました。

1. 信仰は聞くことから始まり、聞くことは神のみことばによる。
2. 神から始まる新しい誕生は、私たちが心で受け取った真理のことばによって生み出される。
3. 神のことばは、単に新しいいのちを生み出すだけでなく、乳、パン、固い食物という、その新しいいのちに必要な霊的栄養でもある。
4. 神のことばは、私たちの思いに光と理解をもたらす。
5. 神のことばは、私たちの肉体/からだにいやしをもたらす。

パート 2 では、これらの具体的な結果の始まり(信仰への入り口)と終わり(いやし)について、デレク自身の個人的経験から分かち合います。そして、私たちが最大限に神のことばを受け取ることができるために、私たちの態度と神のみこころが一つとなるように助ける前に、私たちの人生に効果をもたらす

益をさらに5つ紹介します。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

多くの人々は、神のことばを信仰によって受け取る時の驚くべき効果を理解していません。デレクは特に哲学(単純に言えば知恵を愛すること)の専門学的背景を持ち、その研究において非常に成功していました。しかし、第二次世界大戦での兵役中に聖書を読み、イエスに出会い、2つの変わることはない結論に至りました。一つは、イエスが生きておられること、そしてもう一つは、聖書は事実であり、信頼に値する、時代遅れにならない書物であるということです。これら2つの結論は彼の全生涯に大きな影響を与え続けることとなり、彼は聖書を理解し、教えることに残りの生涯を捧げました。

デレクは非常に多くの哲学の体系を学びましたが、それらは個々のものは正しくても、それらは互いに矛盾すると気づきました。そして、彼がコロサイ2:2-3の「このキリストのうちに、知恵と知識との宝がすべて隠されているのです。」という部分を読んだとき、「キリストのうちに知恵と知識とのすべての宝がすべて隠されているというのに、なぜ私は人間のつまらない知恵をかき集めているのか。」と考えたのです。私たちも同じことを自分自身に問いかける必要があります。なぜ、私たちは神のことばであるキリストのうちに知恵と知識のすべてがあるのに、他のものに知恵を探し求めているのだろうか。と

この学びをしていく中で、あなた自身が益を得ることができ、また、あなたが新しく見出した愛と聖書の知識を他の人に分かち合うことができるように整えられるために、信者の人生における神のことばの重要性を吸収できるように祈ってください。

以下の空欄を埋めてください。

1. デレクが「神の薬瓶」として理解するに至った箴言4:20-22で、神は私たちに、聞くこととは何かを完璧に表わしてくださっています。
  - (ア) 私の.....に注意を向けよ - あらゆる気を散らすものを閉め出し、集中する必要があります。神が私たちに語っているのですから、そのことばを聞くことに大きな価値があります。
  - (イ).....を傾ける - 神は教師であり、私たちは生徒です。教えてほしいと心から願い、謙遜に学ぶ態度を保たなければなりません。
  - (ウ) あなたの.....を神のことばから離さない - 片目で状況を見、もう片方の目で主を見る

というようなゆがんだ見方をせず、みことばにフォーカスしたままでいることが重要です。

(エ)あなたの.....の真ん中にそれを保つ - これらの教えの目的は、次の23節で、「力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく。」と言っているように、人間の人格のまさに中心であるあなたの心の中に神のことばを入れることです。

### 聖書がもたらすさらなる具体的な効果

聖書が私たちの内に生み出す具体的な効果を、続けて見ていきましょう。パート1で学んだ5つの結果は以下のものでした。

- 信仰
  - 新しい人
  - 霊的栄養
  - 精神的な光
  - からだのいやし
2. 6つ目の効果は、.....に打ち勝つことです。詩篇119:11に、「あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。」とあり、私たちが心の中に神のことばをたくわえると、それは私たちの人生の歩みを方向付け、罪を犯すことに対する防御となります。
3. サタンは破滅へと導くので、あなたをおとしめる誘惑の.....を持っています。その道には、成功や幸福、評判などの非常に紛らわしい標識がありますが、その道はわなと危険に満ちており、最終的には破滅が待っています。その解決策が詩篇17:4にあります。「人としての行いについては、あなたのくちびるのことばによりました。私は無法な者(サタン)の道を避けました。」
4. 7つ目の効果は、.....に打ち勝つことです。エペソ6:12は、私たちが霊的戦いの中にあることを教えており、17節以下に霊的武具の様々な役割の説明があります。パウロは、「御霊の剣である、神のことばを受け取りなさい。」と書いています。(この「ことば」は神の語られることばで、ギリシャ語ではレイマです。)
5. 御霊の.....は、非常に鋭く、いつもあなたが聖書を引用して、口から発するとき、サタンは後ずさりします。イエスは、マタイ4章にあるように、三度サタンの誘惑に会いましたが、申命記か

ら引用して、「…と書かれてある。」と答え、私たちに模範を示してくださっています。

6. Iヨハネ 2:14 にこう書かれています。「若い者たちよ。私があなたがたに書いて来たのは、あなたがたが強い者であり、神のみことばが、あなたがたのうちにとどまり、そして、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。」神のことばをあなたのうちに.....いるなら、霊的な強さとサタンに対する勝利が与えられます。
7. また、黙示録 12:11 で私たちはサタンに勝利するカギが与えられています。「兄弟たち(神の民)は、小羊(イエス)の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼(サタン)に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しなかった。」ここに、3つのカギがあります。
  - (ア).....の血 - イエスの血だけが私たちの罪を洗いよめ、父なる神の前で私たちが義としてくださいます。
  - (イ) 自分たちの.....のことば - イエスの血が私たちにしてくださることを、神のことばがどのように言っているかをあかししなければなりません。
  - (ウ) 私たちは.....に至るまでもいのちを惜しまない - 私たちはすべてを捧げ、求められるなら究極の犠牲をも捧げる準備がなされていなければなりません。

以下は、悪魔に立ち向かうあかしとして、聖句を引用してデレクと妻のルースが用いた宣言です。サタンに立ち向かう武器として神のことばを用いる一例です。

「私のからだは、イエスの血によってあがなわれ、きよめられ、聖とされた、聖霊の宮です。私のからだの器官は、神の働きと栄光のために神にささげた義の道具です。悪魔は私の内に入る隙がなく、私に打ち勝つ力もなく、私を惑わす非難も持っていません。すべてはイエスの血によって決着しました。私は小羊の血と私のあかしのことばによってサタンに打ち勝ち、死をも恐れません。私のからだは主のものであり、主は私のからだのものです。」

8. 8つ目の私たちの人生に起こる神のことばの効果は、きよめる、洗う、あるいは.....とされることです。私たちは神のことばを通して外側ではなく、内側がきよめられるということを知ることとは何と貴い特権でしょうか。

エペソ 5:25-27 でパウロは、夫と妻の関係を、キリストとキリストの花嫁である教会と比較しています。

「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。」

これが、ご自身の花嫁としてイエスが迎えてくださる教会です。しかし、そのような教会となるためには、教会は神のことばを読み、語り、教えることによって、水の洗いをもってきよめられ、聖とされなければなりません。神のことばが絶えず教えられている教会には違いがあります。単に感じたことを表現するだけで、神のことばによるきよめを持たない教会には見られない、きよさがその教会にはあるのです。真の純粋な礼拝を持つ唯一の方法は、人々が定期的に集まって神のことばによってきよめられ、聖とされることです。

9. 9つ目の私たちの人生における神のことばの効果は、.....のような働きをすることです。ヤコブ 1:23 はこう言っています。「みことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で見る人のようです。」聖書は、外見を映し出す通常の鏡のようなものではなく、私たちの真の霊的状态を映し出し、私たちが対処できるようにして下さる鏡です。
10. 鏡をのぞき込むことは、私たちの霊的成長と霊的繁栄のために非常に重要です。Ⅱコリント 3:18 でパウロはこのように書いています。「私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」私たちが神のことばという鏡を見続けるなら、そこに映し出される神の.....を見ることができ、聖霊は私たちが見ている栄光から栄光へと同じ姿に私たちを変えてくださいます。
11. 私たちはこの真理を自分のものとする必要があります。.....は、あなたが神のことばという鏡を見ていなければ、働くことができません。鏡から目を離すと、聖霊はあなたのうちで働くことをやめてしまいます。ですから、あなたが変わりたいと願うなら、鏡を見る時間を取ってください。あなたが鏡を見ている間、聖霊はあなたを変えることに忠実にいてくださいます。
12. 私たちは自分の価値をどのように見出すのでしょうか。神が私一人ひとりのために.....ものを見いだすことによってです。神は宇宙で最も高価なイエスの血で私たちを買い取ってくださいました。ですから、神が支払ってくださったものを考えるとき、私たちの真の価値は神の目に無限に

高価な存在だとわかります。

13. 10 個目の私たちの人生における神のことばの効果は、神が私たちの所に来てくださることです。もしあなたが、聖書が言っていることに驚いたことが一度もないとしたら、あなたはそれを本当に聞いたことがないのです。なぜなら、それは本当に驚くべき書だからです。イエスは弟子たちにこう言われました。「だれでもわたしを.....人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。」(ヨハネ 14:23)

何という驚くべきことばでしょうか。全能の神、宇宙の造り主、父と御子が、弱く価値のない人間のところに来たいと願い、住んでくださるというのです。その条件は何でしょうか。みことばを守ること、みことばを聞き、行ない、適用し、その中を歩むことです。

#### どのように神のことばを受け取るか

信者である私たちに神のことばが何を成してくださるかを学ぶことは素晴らしいことですが、私たちが真心からそれを受け取るために、正しい態度と資質を学ぶことが同様に重要になります。

14. イザヤ 66:2 にこうあります。「わたし(神)が目を留める者は、へりくだって心砕かれ、わたしのことばにおののく者だ。」これは、主が目を注いでくださる 3 つの態度を明らかにしています。
- (ア) .....という自覚。イエスがこう言ったことを忘れないでいましょう。「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人のものだからです。」(マタイ 5:3)。これは、臆病や気が弱いという意味ではなく、自分がどれほどあわれで、実に神を必要としているかを認識しているという意味です。
- (イ) .....霊を持っている - これは、神を悲しませる自分の言動のすべて、また自分の人生から神を追い出し、自分の内に神が住めないようにしてきたことを悔やむ心という意味です。
- (ウ) 神のことばに.....。 - 神は私たちが恐れさせたいのではなく、敬意を払ってほしいと願っておられます。主を畏れる以上に、聖書全体の素晴らしい祝福の約束をもたらすものはありません。

15. 神は知的な学識や学位によってではなく、人格によってご自身の生徒を選ばれます。詩篇 25 篇

は神がご自身の生徒として喜んで受け入れてくださる人々を探していることを明らかにしています。

(ア) 詩篇 25:8-9 にこうあります。「主は、いつくしみ深く、正しくあられる。それゆえ、罪人に道を教えられる。主は貧しい者を公義に導き、貧しい者にご自身の道を教えられる。」ここで言われている一つ目の条件は、.....人です。

(イ) また、25:12 にはこうあります。「主を恐れる人は、だれか。主はその人に選ぶべき道を教えられる。」神が探しておられる二つ目の条件は、主を.....人です。

(ウ) 14 節で二つ目の条件が繰り返されています。「主はご自身を恐れる者と.....され、ご自身の契約を彼らにお知らせになる。」ここで言う「親しく」とは、主の隠れた助言を意味します。神はご自身の個人的な計画を、ご自身を恐れる人に分かち合います。ですから、これは私たちが養わなければならない態度です。

16. 箴言 1:28-29 は、主を恐れることを.....ない者たちが叫んでも、主は答えをくださらないと言っています。

17. ヤコブ 1:21 にはこうあります。「すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを、すなおに受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。」これは、.....と柔和という 2 つの条件を示しています。

18. 私たちはみことばが語っていることを行なう準備ができていなければなりません。ヨハネ 7:17 でイエスはこう言っています。「だれでも神のみこころを行おうと願うなら、その人には、この教えが神から出たものか、わたしが自分から語っているのかがわかります。」イエスは、もしあなたが単に知識だけに関心があるだけなら、神はあなたに出会ってくださらないと言っているのです。しかし、あなたが神のみこころを.....ことを願うなら、神はあなたに真理を示してくださいます。

19. 先ほどの詩篇 119:11 に戻りますが、もしあなたが心から神の祝福と繁栄を願っているなら、あなたの心に神のことばをたくわえる必要があります。その具体的な方法は、聖句を.....することです。

この学びの締めくくりとして、主に祈りましょう。

栄光の父よ、その偉大で尊い約束のすべてがあるあなたのみことばの備えを感謝します。あな

たが私のために持っておられるすべてを受け取りたいと願います。ですから、私の足りなさ、  
どれほどあなたが必要かを認識できるよう、砕かれた心とあなたのことばにおののき、またへり  
くだってあなたを畏敬の念を持つことができるように助けてください。今日、私はその素晴らしい  
祝福のすべてで主を畏れ、悔いた柔和な心であなたに近づくことを選びます。ただあなたのみ  
こころを知りたいだけではなく、それを行ないたいと願います。どうかあなたのことばを暗記し、  
黙想し、喜んで受け取ることができるように助けてください。

あなたのことばが私の人生に完全に働くことができるようにしてください。あなたのことばを通して、  
罪とサタンに打ち勝つことができること、また私をきよめ、聖としてくださること、鏡のように私の  
真の霊的状态を映し出し、私を変えてくださることを感謝します。あなたの愛を日々深く知り、  
みことばをたくわえ、それを行なうとき、父と御子が私のうちに住んでくださることを信じます。  
それは私をへりくだらせ、圧倒させるほどです。感謝します。感謝します。

イエスの御名によって。アーメン。

## 「御霊の賜物を用いる」シリーズ

### 導入

この三回のシリーズでデレクは、聖霊を受けるための聖書的模範を示しています。まず、「復活の日曜日」と「ペンテコステの日曜日」という2つの日曜日に着目し、それぞれにどのような結果がもたらされたかを見ます。続けて、人々が超自然への入口となる聖霊の体験をいつどのように受けたかを、聖書の中の例から見ていきます。

聖霊を受け取る基礎的な教えの後、パウロが I コリント 12:7-11 で言っている御霊の賜物を説明しています。

しかし、みな<sup>の</sup>益となるために、おのおのに御霊の現れが与えられているのです。ある人には御霊によって知恵のことばが与えられ、ほかの人には同じ御霊にかなう知識のことばが与えられ、またある人には同じ御霊による信仰が与えられ、ある人には同一の御霊によって、いやしの賜物が与えられ、ある人には奇蹟を行う力、ある人には預言、ある人には霊を見分ける力、ある人には異言、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。しかし、同一の御霊がこれらすべてのことをなさるのであって、みこころのままに、おのおのにそれぞれの賜物を分け与えてくださるのです。

この聖句には御霊の9つの賜物が示されており、通常それらは3つに区分されます。

- 啓示の賜物 - 知恵のことば、知識のことば、見分ける霊
- 力の賜物 - 信仰、奇跡、いやし
- ことば(声)の賜物 - 異言、異言の解き明かし、預言

このシリーズの第二回、第三回のメッセージでは、他のメッセージとは少し異なり、御霊の賜物の用い方の実践と、他の人に御霊の賜物を用いるように励ますことについても学びます。

御霊の賜物は必要な道具であって、おもちゃではありません。地上にイエスの王国を建て上げるために、超自然的に機能する手段として、神は御霊の賜物を与えられたのです。

## 第 18 課

### 「御霊の賜物を用いる」 第一回

## 聖霊を受ける

### 導入

このセクションはメッセージを聞く前に読んでください。

もしあなたが、デレクのメッセージ・シリーズの「土台を据える」をすでにお聞きになっているなら、「聖霊に浸される」というメッセージで、御霊の賜物についての教えがあったことを覚えていらっしゃるでしょう。あなたがすでに「ペンテコステの日曜日」の概念による聖霊を受けているなら、他の人を教えることができるように、この教理と体験の重要な領域についてさらに学ぶ機会としてこの学びを用いてください。

### まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

残念なことに、特に福音派、ペンテコステ派、カルスマ派と呼ばれる教会の中には、聖霊を受ける意味について混乱や誤解が多くあります。例えば、素晴らしいバプテスト派のクリスチャンが、「私は新生した時に聖霊を受けました。もう受けるべきものは何もありません。」と言い、ペンテコステ派は、「いいえ、あなたは新生したときに聖霊を受けたではありません。聖霊のバプテスマを受けて異言で話すまで、聖霊を受けたことにはなりません。」と言うでしょう。そして、互いに反感を覚えやすい傾向があります。

クリスチャンが聖書の基本教理で意見が食い違うほとんどの場合、それぞれの見解は部分的には正しく、部分的には誤りです。このメッセージを通して、デレクはその混乱を解きほぐします。実は、新約聖書は聖霊を受けることについて 2 通りの方法で語られているのです。その 2 通りを見分ければ、もはや混乱は起こりません。デレクは新約聖書から 2 つの歴史的状況を用いて、その 2 通りの方法を定義、説明し、違いを区別しています。

以下の空欄を埋めてください。

## 聖霊を受ける2つの方法

1. キリスト教会にとって、非常に歴史的に重要な2つの日曜日があります。
  - (ア) 一つ目は、.....の日曜日です。(ヨハネ 20:19-22)
  - (イ) 二つ目は、その7週間後の.....の日曜日です。(使徒 2:1-4)

どちらの日曜日にも、信者たちは聖霊を受ける体験をしましたが、それは異なるものでした。それぞれの体験の性質を理解するとき、私たちは自分がどのような状態であるかを知ることができ、次のような疑問に答えることができます。「私は聖霊を受けたが、何かさらに受ける必要があるものがあるか。」または、「聖霊を受けるときに何が関与しているのか。」です。

## 復活の日曜日

ヨハネ 20:19-22 に、死からよみがえったイエスが最初に弟子たちに現われた「復活の日曜日」の記録があります。以下の6つの質問はこの聖句をもとに出題しています。

*その日、すなわち週の初めの日の夕方のことであった。弟子たちがいた所では、ユダヤ人を恐れて戸がしめてあったが、イエスが来られ、彼らの中に立って言われた。「平安があなたがたにあるように。」こう言ってイエスは、その手とわき腹を彼らに示された。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスはもう一度、彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。」そして、こう言われると、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。」*

2. 19節の「週の初めの日」とは、.....のことです。安息日(土曜日)は七日目なので、日曜日は新しい週の初めの日です。
3. イエスは弟子たちにご自分の.....とわき腹を見せ(19節)、十字架の上で刺されたときに彼らが見た、その同じからだであることを確信させました。それは栄光ある姿に変えられていましたが、同じからだでした。
4. 「息を吹きかけた」(22節)と訳されているギリシャ語は、現代の言語では.....奏者が音を出すために使うマウスピースに吹き込むことです。ですから、イエスは弟子たちの集団に遠くから

息を吹きかけたのではなく、「聖霊を受けなさい。」と言いながら、一人ひとりに息を吹きかけたと  
思われます。

5. それは、弟子たちが旧約聖書の救いから、新約聖書の.....に移る聖霊を受けたときで  
した。預言と型を通して約束されていた、「まだささげられていないいけにえ」による信仰を通して、  
旧約時代にも救われている人々がいました。その人々の信仰は、未完成のものを待ち望むという  
ものでした。新約時代の私たちは十字架のイエスの犠牲による信仰を通して救われており、それ  
は歴史的に完成されています。イエスは死なれるとき、「完了した。」と言われました。ですから、  
私たちは完成したみわざを振り返るのです。
6. 弟子たちに起こったことは、私たちにとっての.....です。よみがえられたキリストと顔と顔を合  
わせることによって、またキリストが吹き込まれた霊を受け取ることによって、新約の救いに移され  
ました。
7. 霊はギリシャ語では「*pneuma*」で、それはまた「風」や「息」を意味します。イエスが彼らに息を吹き  
込んで「聖霊を受けなさい。」と言ったとき、聖なる「.....」を受けなさいと言っていたのです。  
それは二人の人の間での直接的な作用で、彼らは新しい被造物の一部となりました。そのことは、  
神が園で土のからだを形作り、いのちの息を吹きかけられたアダムが被造物となり、生きたたまし  
いとなった最初の創造を思い起こさせます。

弟子たちは瞬間的な聖書的啓示を持っていたのではありません。イエスの復活に続いて、彼らはイ  
エスに出会い、聖霊を受けました。そのようにして、彼らは聖なる永遠のよみがえりである、朽ちないい  
のちを受けたのです。そのいのちは決して敗北しません。ヨハネはそれについてのちこう言っています。  
「神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。」(Ⅰヨハネ 5:4)。あなたのうちにあるいのちは、  
敗北することがありません。それはすべての悪に打ち勝つ圧倒的ないのちです。素晴らしいことです。  
しかし、弟子たちは働きのための方向性にまだ欠けていました。

ペテロが漁に行ったのは、それから幾日も経っていませんでした。彼は自分に対する神の召命がは  
つきりわかっていませんでした。また、弟子たちもエルサレムの町に何のインパクトも与えておらず、町は  
以前のままでした。彼らは宮の中で毎日神に礼拝をささげていましたが、エルサレムには何の変化もあ  
りませんでした。

8. イエスはよみがえられた後しばらくして、「あなたがたは、これらのことの証人です。さあ、わたしは、

わたしの父の約束してくださったものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」(ルカ 24:48-49)と言いました。彼らはまだ.....の聖霊を父から受けていなかったの、まだ待つ必要があったのです。しかし、その聖霊を受けるとき、彼らにはあかしする力が与えられます。

9. 使徒 1:4-5 でルカはこう記しています。「彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。『エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。』ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」これは、.....の約束が聖霊であることに疑問の余地を残さないイエスのことばです。
10. 続けて使徒 1:8 で、イエスは聖霊が来る目的を説明しています。「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」この聖霊の約束は、ペンテコステの日曜日以前に受けた聖霊とは別の、あかしする.....を受けることでした。

### ペンテコステの日曜日

まず、使徒 2:1-4 を開きましょう。そこには、使徒 1:8 と他の箇所に書かれている約束の成就がいくつか含まれています。

五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した。

11. この箇所に 3 つの連続する段階があります。

(ア) 浸し - まず、聖霊が激しい風のように下り、彼らが座っていた家全体に満ちました。言語学的に言うと、バプテスマという語は、「つける、浸す」であることを覚えておくことが重要です。ですから、すべてのバプテスマは.....なければなりません。水のバプテスマは水の中に下り、出てくることです。しかし、聖霊のバプテスマは聖霊に浸されることで、聖霊があなたの上に下り、上から浸されることです。

(イ) 満たし - 次に、「みなが聖霊に満たされ」とあります。彼らは.....た状態で一人

一人が聖霊を受けました。

- (ウ) **あふれ出す** - 三番目に、彼らは満ちあふれ、.....が話させてくださるとおりに、他国のことばで話すこととなって出てきました。マタイ 12:34 でイエスはこのように言っています。「心に満ちていることを口が話すのです。」つまり、あなたの心に満ちていることがあふれ、あふれたことがあなたの口を通して出て来るということです。これは聖書的です。彼らが満たされ、いっぱいになってそれ以上入らなくなったとき、聖霊があふれ出したのです。

理論上では、あなたはいつでも聖霊の満ちしを止めることができます。弟子たちは浸されても、満たされないでいることはできました。あるいは、浸され、満たされても、あふれる前に止めることはできました。しかし、最善のものを受け取らない理由はありません。

12. 使徒の働き 2 章全体を読むと、聖霊によって弟子たちに下った力は明らかでした。その聖霊の浸しの結果として、いくつかのカギとなる要素があります。

- (ア) それは明確な.....でした - 起こっていることがすべての人に知られました。それは単なる内なる体験ではありませんでした。
- (イ) それは.....でした - そのことに疑問はありません。群衆の前に立って最初の説教をしたペテロは、本来は無学の人でした。彼は神の助けなしにそのようなことはできませんでした。
- (ウ) 弟子たちは以前には持っていなかった.....する大胆さを受け取りました。彼らはすでに新生してはいましたが、聖霊が彼らに臨むまで、彼らのあかしに大胆さはなかったのです。
- (エ) 彼らは.....の理解を受け取りました。数分以内に、ペテロは虎の巻や覚書などまったくなしに立ち上がって言いました。「これは、預言者ヨエルによって語られたことです。」つい 1 時間前までは彼はそう言うことができませんでした。そのような理解はまったくなかったのです。直ちに、彼らにとって聖書が新しい方法で生きたものとなったのです。
- (オ) 彼らは使徒的使命へと解放されました。ペンテコステの後、ペテロは漁に行くとは二度と言いませんでした。イエスが前に預言したように、彼らは.....を取る漁師となったのです。
- (カ) エルサレム中がそのインパクトを受けました。数時間以内にエルサレムにいた全員が、普通ではないことが起こったと知りました。彼らが復活に続く聖霊により新生した体験は広まりませんでした。しかし、彼らが聖霊の.....を受けたときは、素早く広まったのです。

以下の表は、「復活の日曜日」と「ペンテコステの日曜日」の3つの違いを表わしています。

復活の日曜日	ペンテコステの日曜日
復活のキリスト	昇天/栄光のキリスト
御霊が吹き込まれる	御霊の流れ出し
結果: いのち	結果: 力

双方の体験に矛盾点はありません。どちらか一方ではなく、両方ともすべての神の民のための神の目的なのです。生まれ変わりを体験したすべての神の子どもは、いのちとしての聖霊を受けていますが、新約聖書によると、すべての新生した神の子どもは聖霊のバプテスマを受け、あかしする超自然的力を受ける必要があります。それらは矛盾せず、完全に結びついています。

### 聖霊を受ける - 聖書の中の例

13. ヨハネ 20:22 に記されている、聖霊を受けよというイエスの命令は推奨ではなく、.....です。
14. 使徒 2 章の「五旬節の日になって」(使徒 2:1)以降、聖霊を受けることは常に.....の日曜日の体験であることに注目することが重要です。この例のいくつかが使徒 8:12、14-17 に見られます。これらの聖句の中に、救われ、水のバプテスマを受けた信者は、なお復活の日曜日の体験ではなく、ペンテコステの日曜日の体験である聖霊を受ける必要があったことが 3 回書かれています。
15. 使徒 10:46-47 で、コルネリオの家の者たちが聖霊を受けた場面で、彼らとそのバプテスマを受けたしるしは、.....で話したことでした。(46 節)
16. 使徒 19:2 でパウロは初めてエペソに行ったとき、幾人かの弟子に会いましたが、何らかの体験が欠けていると感じ、質問しました。「『信じたとき、聖霊を受けましたか』と尋ねると、彼らは、『いいえ、聖霊の与えられることは、聞きもしませんでした』と答えた。」これは、信じたときにすべての人が自動的に.....を受けたとしたら、意味のない質問になります。パウロは新生について言っているのではなく、ペンテコステの日曜日の体験を受けることについて言っていたのです。

## どのように聖霊を受けるか

17. 聖霊のバプテスマの明確なし、あるいは結果は、異言で.....ことです。このしるしは他の人にも見えるもので、周りのすべての人にその人がこの御霊の賜物を受けたことがわかります。私たちが聖霊を受けたとき、人に、またサタンに対しての証明となるものです。
18. このしるしは、以下の方法において新約聖書全体に表われています。
- (ア) それは、弟子たちが個人的な.....において受けたしるしでした。彼らは 10 日ほど待ちましたが、受けた後は二度と待つ必要がありませんでした。
- (イ) それは、使徒たちが他の人々にも求めたしるしでした。顕著な例はコルネリオの家の人々です。彼らが異言で話すのを聞いたとき、ペテロは他のしるしや教理を待つことはなく、水の.....を受けるように導きました。

以下は、聖書の中で示されている聖霊を受ける模範です。あなたがすでに聖霊を受けているなら、他の人を導くためにこれを用いることができます。

19. **求める** - ルカ 11:13 でイエスはこう言っておられます。「してみると、あなたがたも、悪い者であっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人々に、どうして聖霊を下さらないことがありますでしょう。」ここでイエスは、求めることは私たちの責任であることを言っています。あなたが新生した神の子であり、父なる神への唯一の道である御子イエスを通して神のもとへ行き、良い物、霊的なものを求めるなら、決して悪いものを受け取ることはありません。それは、.....からの保証です。
20. **渴く** - ヨハネ 7:37-39 でイエスは言われました。「さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。『だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。』これは、イエスを信じる者が後になってから受ける御霊のことを言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊はまだ注がれていなかったからである。」聖霊を受けるのは、渴いた人です。素晴らしい変革が起きます。渴いた人が求めて聖霊を受けると、単なる川ではなく、生ける水の.....の流れとなるのです。
21. **わたしのもとに来なさい** - ヨハネ 7:37 でイエスは、「わたしのもとに来なさい。」と言っています。

もしあなたが聖霊のバプテスマを受けたいと願うなら、そのバプテスマを授ける唯一のお方である  
.....のもとに行かなければなりません。

22. **飲む** - 同じ箇所イエスは、私たちが飲む必要があることを教えています。あなたの.....を開けて、あなたに注がれている目には見えない御霊を飲むのです。それは液体ではなく霊なので、私たちはそれを吸い込みます。
23. **あふれ出させる** - あなたに注がれている御霊を飲んだなら、口からあふれ出させる必要があります。それは超自然的な満たしですから、.....なあふれ出しとなるでしょう。

### どのように聖霊を受けるか

24. まず、古い告発者であるサタンがあなたの真横にいて、あなたが異言で話し始めると、「それは本物じゃない。お前は自分でやっているだけだ。」とささやくでしょう。実はそれは正しいことなのです。使徒 2 章でこう言っているのを思い出してください。「すると、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださる…」(4 節)。ですから、.....が話しているのですが、それは聖霊が与えたことばを話しているのです。
25. サタンはもう一つ、私たちにこう聞いてきます。「おまえは正しいものを受け取ったと、どうやってわかるんだい？」 それに対する答えは、先ほどルカ 11:13 で学んだことに戻る必要があります。私たちが良い物を求めたら、悪い物を受け取ることはありません。ヘブル 11:6 もまた、こう言っています。「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならないのです。」 私たちが.....を持って神に求めるなら、神は聖霊で私たちに報いてくださいます。

あなたは異言を話すというしるしという意味においては、まだ聖霊のバプテスマを受けていないかもしれません。あるいは、あなたは受けたけれども、あふれ出しがないかもしれません。また、あふれ出しはあったけれども、それが正しいことだったのかわからない、続けて行なうことに信仰や勇気がなかった、あるいは本当の解放がなかったかもしれません。もし、あふれ出しの完全な解放を願うなら、恥ずかしがることはありません。それは最善のものを求めて神のもとへ行くときの普通の感情です。期待しましょう。

以下は、ペンテコステの日曜日の体験における聖霊のバプテスマに導くためのデレクの祈りです。

主イエスさま、私はあなたが十字架で私の罪のために死に、死からよみがえられた神の子であることを信じます。あなたの赦しときよめを信じます。私を神の子として受け入れてくださったことを信じます。あなたが受け入れてくださったので、私も自分を神の子として受け入れます。

今、私の心に誰かに対して、何らかの怒りや赦せない思いがあるなら、それを捨て、神が私を赦してくださったように、私はすべての人を赦します。もし、私が今までに魔術に関わってきたら、それは罪ですから、イエスの御名によってあなたに赦しを求め、今後サタンや魔術の力との一切の関わりを断ちます。

主イエスさま、今私は聖霊を授ける方である、あなたのもとに来ています。私のからだをあなたの聖霊の宮となるようにお捧げします。私の舌を、新しいことばであなたをほめたたえる、義の管(くだ)として、あなたにゆだねます。信仰によって、私はそのことを今受け取り、イエスさまの御名によって感謝します。アーメン。

今、聖霊を吸い込んでください。そして口を開け、唇を動かし、与えられていることばを語り始めてください。

## 第 19 課

### 「御霊の賜物を用いる」第二回

## 解き明かしと預言

### 導入

*このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。*

前回のメッセージで、異言を話すという超自然的しるしを伴う聖霊のバプテスマについて学びました。神の目的において、聖霊のバプテスマはゴールというよりも、むしろ入り口となる手段です。それは最終地点ではなく、超自然的力の中を歩む出発地点なのです。まったく平坦なクリスチャン生活を歩むことは不可能で、私たちは必ず超自然的の中を歩むのです。

使徒の働きの手紙は、主が願われる教会の姿を知ることのできる唯一の公的記録です。その 28 章すべての章に、まさに超自然的な出来事の記述があるのですから、私たちもイエス・キリストのからだなる教会の一部として、自分の人生も超自然的であるように期待しましょう。

今回と次回のメッセージは、他のシリーズとは違ってさらに実践的な内容となっており、デレクは行動に移す様々なみことばを紹介し、具体的に集会の中で適用することを励ましています。

### まとめと質問

*このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。*

デレクが第三の御霊の賜物と呼んでいるのは、口(声)の賜物です。それらは、人間の声帯を通して機能することが不可欠であるという事実からそう呼んでいます。それらの賜物を人々が、またあなた自身が用いるようになることは、教会の中で信者が整えられる素晴らしい方法です。

今回は、多くの質問はありませんが、デレクの他の教えから付加された多くの情報がありますので、注意深く読んでメモを取りながら行なってください。

以下の空欄を埋めてください。

## 御霊の賜物

新約聖書では、人生の超自然的な歩みとしてクリスチャン生活が描写されています。世界でキリストをさらに効果的にあかしし、またキリストのからだの一部として機能するために、御霊の9つの超自然的な賜物とそれらの働きを理解する必要があります。御霊の賜物を明確にしている主要な聖句は、I コリント 12:7-11 です。

しかし、みな<sup>の</sup>益となるために、おのおのに御霊の現れが与えられているのです。ある人には御霊によって知恵の<sup>ことば</sup>が与えられ、ほかの人には同じ御霊にかなう知識の<sup>ことば</sup>が与えられ、またある人には同じ御霊による信仰が与えられ、ある人には同一の御霊によって、いやしの賜物が与えられ、ある人には奇蹟を行う力、ある人には預言、ある人には霊を見分ける力、ある人には異言、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。しかし、同一の御霊がこれらすべてのことをなさるのであって、みこころのままに、おのおのにそれぞれの賜物を分け与えてくださるのです。

これらの賜物はすべて超自然のものです。一つとして生まれつきの才能や教育、能力であると説明できるものはありません。知恵の<sup>ことば</sup>、知識の<sup>ことば</sup>は、何年間も学校で学んだことや、多くの学位を持っていることで得た知恵や知識のようなものではなく、聖霊によって与えられた知恵、知識です。私たちは医療科学を尊敬しますし、それは素晴らしいものですが、いやしは通常の内科医や外科医の施術による治療のようなものではなく、超自然的ないやしなのです。

1. その賜物は御霊の.....です(7 節)。あなたのうちに住む御霊は目には見えず、人間の感覚で感じることもできませんが、外側へ出ることによって人間の感覚に影響を与える賜物です。あなたのうちにおられる聖霊が人間の感覚に結びつきをもたらすのです。
2. 賜物はおのおのに与えられますが、それらは.....の益となるために与えられます(7 節)。言い換えれば、神があなたに預言の賜物を与えているのに、あなたが声に出して言うのを恐れるなら、あなた自身を偽るだけでなく、キリストのからだなる人々にも偽ることになってしまいます。私たちは賜物に仕え、賜物が他の人々に対する責任を伴って与えられることを理解しなければなりません。

利便性から、聖書教師は通常それらの9つの賜物を3つずつ3つのグループに分類します。

### 3. 「啓示」の賜物:

- (ア) .....のことば - あなたは、「私たちは何かを壊そうとしているのか、それとも建て上げようとしているのか。」という質問に何と答えるでしょうか。それは時(状況)によります。「植えるのか、それとも収穫するのか。」それも時によります。知恵に関する質問に対しては、「絶対そうだ」とか、「絶対違う」と断言することは必ずしもできないのです。時間という要素が決定的になります。正しい時を示すのは誰ですか。聖霊です。聖霊が正しい時を示してください。おこな方法は、知恵の指示的なことばによるものです。
- (イ) .....のことば - 最も顕著な結果は、真理の確信をもたらすことです。二番目に、神が他の方法によって私たちに示していることに確信を与えます。三番目に、特定の状況において、これから起こることのために私たちに準備させます。
- (ウ) .....の見分け - これは、キリストのからだなる教会にとって非常に重要なものです。この賜物により、信者たちは聖霊の臨在と神が働かれる方法を知ることができます。それは人間の心の性質と動機を明らかにし、病気や争いの原因が悪霊であるとき、それを見分けることができます。霊の見分けが教会の中で十分に機能するとき、驚くべきミニストリーを世界にもたらします。

### 4. 「力」の賜物

- (ア) ..... - 神が人間にご自身の信仰を分け与えるとき、人間の存在はまるで神が直接語っているのと同じように話すことができます。神のような信仰を持った人は、神のことばが人々の思いを突き抜けて、聖霊の導きよって来る驚くべき信仰のことばで、霊と心の中に突き刺さることを語ります。これらのことばは、被造物、死、サタンにまさる力を持っており、物理的、霊的存在のあらゆる要素に対して権威を現わします。また悪を打ちこわし、神ご自身の信仰によって正しいことと義を建て上げます。
- (イ) ..... - これは、人々の肉体の完全さを超自然的に回復することができる賜物です。そのような回復が起こるとき、この賜物を持った人によっていやしが与えられます。いやしの賜物は、復活の御霊の力を通してもたらされると考えられます。聖霊の導きのもとでの特定の個人のいやしはもちろん、多くの人が完全にされるいやしの状況も現れることがあるでしょう。いやしの賜物はまた、さらなるいやしを信じる状況や、イエス・キリストの福音に心を開く状況をつくり出します。
- (ウ) ..... - ある点において、いやしは奇蹟を伴います。瞬時の目に見えるいやしは奇蹟です。また、別の点において奇蹟は信仰を伴います。しかし、I コリント 12:28 によれば、奇蹟のミニストリーは、いやしのミニストリーの前に置かれます。今日教会に何よりも必要な

ことは、奇蹟の賜物が行なわれることです。なぜなら、世界が神の存在と力の現われを知る必要があるからです。神がクリスチャンにこの賜物を完全に回復して下さるように祈るべきです。

5. 「声の」賜物

(ア) ..... - 信者が理解できることばで聖霊によって語られることば。

(イ) 様々な.....のことば - 聖霊によるバプテスマの超自然的しるし以上の賜物。

(ウ) 異言の..... - 異言を聞いた人が聖霊によってその異言の意味を理解できる。

6. I コリント 12:11 でパウロは、一人一人の信者には、その人の内に住む御霊の現われとして少なくとも一つの.....が与えられると言っていますが、どの賜物を与えるかは、御霊によって決められます。私たちは、自分の人生で少なくとも一つの御霊の賜物が働くことを期待するべきです。

7. I コリント 12:31 でパウロは、「あなたがたは、よりすぐれた賜物を熱心に求めなさい。また私は、さらにまさる道を示してあげましょう。」と言っています。さらにまさる道とは、次の 13 章に書かれている.....の道です。その愛とは賜物ではなく、実ですが(ガラテヤ 5:22)、その道は、最善の賜物を熱心に求める重要性に代わるものでも、その重要性を取り消すものでもありません。

8. 賜物は.....ではなく、道具です。あなたは働きのためにそれを必要とするのです。もしあなたが神の備えを拒み、その働きをしないなら、その働きをしなかったことに対して神に申し開きをしなければならないでしょう。

9. I コリント 14:1 でパウロは、「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。」と書いています。愛と御霊の.....は選択の自由や選択肢ではありません。どちらも求めなければならないものです。

### 声の賜物について

10. パウロはこう言いました。「私はあなたがたがみな異言を話すことを望んでいますが、それよりも、あなたがたが預言することを望みます。もし異言を話す者がその解き明かしをして教会の徳を高めるのでないなら、異言を語る者よりも、預言する者のほうがまさっています。」(I コリント 14:5)。

この14章でカギとなることばは、「徳を高める」です。すべては個人や教会を建て上げることに導かれるのです。パウロは異言を話すことは素晴らしいことだが、それはただ.....を高めるだけである。しかし、あなたが預言するなら、会衆全体、教会を高めると言っています。異言を話し、解き明かしがあるなら、それは預言と同じくらい素晴らしいものです。

11. I コリント 14:12-13 は、御霊の賜物を .....求めるべきだと教えています。また、異言を話すとき、解き明かしがなされるように祈るべきであると教えていることに注目してください。
12. I コリント 14:26 でパウロはこのように書いています。「あなたがたが集まるときには、それぞれの人が賛美したり、教えたり、黙示を話したり、異言を話したり、解き明かしたりします。そのすべてのことを、徳を高めるためにしなさい。」 私たちが神の民としてともに集まる時、受けるためにではなく、むしろ何かを分け与えるために集うべきで、そのための方法の一つは、御霊の賜物を通してです。その目的は、.....、あるいは建て上げるためであることを忘れないでいきましょう。

### 異言の様々な種類

パウロは、「私は、あなたがたのだれよりも多くの異言を話すことを神に感謝していますが、教会では、異言で一萬語話すよりは、ほかの人を教えるために、私の知性を用いて五つのことばを話したいのです。」(I コリント 14:18-19)と言いました。異言を批判する人は、19 節だけを取り上げ、18 節を無視しています。ですから、彼らは「パウロは異言で一萬語話すよりも、人にわかることばで五つのことばを話したいと言っているじゃないか。」と言うでしょう。その通りです。しかし、パウロは同時に、コリントのすべての信者よりも多くの異言を話すことを神に感謝しているのです。

パウロの手紙からコリントの教会がどれほど多く異言を話していたかを読み解くとき、パウロがかなり多く異言で話していたことは明らかです。同時に、彼は通常多くの人の前で異言を話していたのではありません。パウロはどこでそんなに多くの異言を話していたのでしょうか。明らかに、それは個人的な神との交わりにおいてです。これは、非常に明確な異言のタイプがあることを示しています。パウロが言っていることは本質的には、人々の前で一時間ほど立ち上がって人々のわからないことばを話すことは良くないということです。それは誰をも高めたり助けたりしないので、不適切です。人々の前で私たちの目的は、仲間の信者と通じ合うこと、祝福し、仕えることであり、それに基づいて私たちは動く必要があります。人々に届き、人々が理解できる方法で話さなければなりません。

前回のメッセージ「聖霊を受ける」で、聖霊のしるしとして異言を話すことについて学びましたが、ここ

では、他の 2 つの声の賜物(預言と異言の解き明かし)とともに、I コリント 12:28 に書かれている「様々な種類の異言」、あるいは、「種々の異言」(NIV 訳、口語訳など)にフォーカスします。

13. 聖霊のバプテスマを受けたすべての信者は、いつでも異言で主と個人的な交わりを持つための権利と賜物が与えられています。パウロは I コリント 14:2、4 で、「異言を話す者は、人に話すのではなく、神に話すのです。というのは、だれも聞いていないのに、自分の霊で奥義を話すからです…異言を話す者は自分の徳を高めます…」と言っています。

異言を話す 2 つの理由があります。

- (ア) あなたは素晴らしい特権で.....に話している - 生ける神と霊と霊で直接語り合います。
- (イ) あなたは.....を話している。私たちには理解できない隠されたことです。
- (ウ) あなたは、自分自身を.....ている、あるいは建て上げています。

たとえ他の理由がなくても、上記の理由で十分ですが、さらには、

14. 「種々の異言」の賜物は、個人的に用いることを超えたものです。異言には様々な形があります。
- (ア) 一つは、人々の前で理解できないことばで話し、.....が続いてなされるというものです。
- (イ) また、未信者へのしるしとして用いられます。これはまれですが、信者が集まっているとき、あるいは信者がミニストリーをしているとき、ある信者が自分ではわからないことばを話していて、その場にいる未信者がそのことばを理解できるというものです。それは .....へのしるしです。
- (ウ) あなたが異言を話しているとき、怒りがこみ上げてくるときに我慢できず爆発するような経験をするとはよくあることです。それはまさに激流のように出てきて、.....の力に立ち向かっているときのようです。あなたはどのように祈ったらよいのか、何を言えばいいのかわかりませんが、聖霊が異言を通してやって来るのです。
- (エ) 異言はまた、単に礼拝のためでもあります - 神とのシンプルな交わりです。

I コリント 12:28 の賜物のリストに続いて、パウロはすべての信者が人々の前で異言を語る働きをするのではないとはっきり述べています。彼は、「あなたが使徒でしょうか。あなたが預言者でしょうか。あなたが教師でしょうか。あなたが奇蹟を行う者でしょうか。みながいやしの賜物を持っているでしょうか。みな異言を語るでしょうか。みなが解き明かしをするでしょうか。」(29 節)と言っています。パウロは誇張

した言い方を用いており、ほとんどの人がそのような質問の答えは、すべて「いいえ」となると知っているでしょう。

この聖句から、すべての人が異言の賜物を持っているわけではないので、異言は必ずしも聖霊のバプテスマを受けた結果とは言えないと推測する人もいるでしょう。しかし、パウロが聞いているのは、「信者の集まりで、すべての異言の機能が働くか。」ということなのです。その答えは「いいえ」です。デレクが知っている多くの人が聖霊のバプテスマを受け、神と異言で個人的に話すことはできるけれども、人々の前で異言のミニストリーはしていないと言っています。つまり、パウロは聖霊のバプテスマの結果についてではなく、信者の集会での様々なミニストリーについて言っているのです。

### 解き明かしの賜物

15. 解き明かしの賜物は.....の賜物と離れては何の意味もありません。もし誰かが聖霊によって異言を語るとき、その人自身や別の人によって解き明かしの賜物が用いられます。それは聞いたことのない言語で語られたことを知的理解ではなく、聖霊によって、知っている言語ではっきり話すことです。
16. それは通訳ではなく、.....ですから、異言の長さで解き明かしの長さは同じにはならないでしょう。知らないことばで語られたことを、知っている言語で伝えるからです。解き明かしが文字通り翻訳の形をとることもあり得ます。自分では理解できないことばの解き明かしが与えられ、それが一語一句正確に翻訳されていることを、別の人によって証明されることもあります。

解き明かしを聞いてみると、語っている人の個性がその解き明かしの中に見られます。旧約聖書の預言者のことばを比較してみてください。例えば、ほぼ同時代に生きたアモス、ホセア、イザヤのことばを見てください。あなたはそれぞれの人のことばを他の人のことばと間違えることはあり得ません。個性があるからです。しかし、それらの預言、解き明かしはすべて聖霊によるものでした。

聖霊は人間の個性を愛し、喜ばれます。人間の存在を決してハンコのように扱いません。個性、人格を無視して人をロボットや機械のように用いることは決してありません。しかし、悪霊はそうのように人間を扱います。神の霊とサタンの霊には大きな違いがあります。神は人間の人格を創造し、それを尊重し、価値を認めておられます。しかし、悪魔は人格を踏みつぶします。これは、神の霊のものか、それとも別の霊が働いているのかを識別できる一つの方法です。もし、それが正常な人間の人格を束縛し、無視している霊であるなら、それは神の霊ではありません。

I コリント 14:28 でパウロは言いました。「もし解き明かす者がだれもいなければ、教会では黙っていなさい。自分だけで、神に向かって話しなさい。」あなたが教会や人々の前にいるときに、異言で祈りたいけれど解き明かしがなされないとわかっているとしたら、どうしますか。とても単純です。あなたは小さな声で、自分自身で神とだけ話してください。

解き明かしの賜物は様々な方法で働きます。まず一般的原則から始めましょう。I コリント 12:6 に、「働きにはいろいろの種類がありますが、神はすべての人の中ですべての働きをなさる同じ神です。」とあります。つまり、二人の人が同じミニストリーをしていたとしても、それぞれの人生で機能する方法は大きく異なることがあります。解き明かしの賜物が働く方法のいくつかを紹介します。

- **紹介的なフレーズ** - 信仰によって、権威をもって最初のことばを語り始めるなら、残りは続いて出てきます。しかし、もしためらうなら、それ以上出てきません。
- **ことばや聖句が押し出される感覚** - おそらく、異言のことばが話された後に解き明かしがある最も一般的な方法は、その人が自分の胃の中に蝶がいる感覚や圧迫のような感覚を経験する、あるいは神が何かをしたいと思われていると感じ、頭の中に聖句が思い浮かぶというようなものでしょう。これがあなたに起こったなら、聖句やそれらのことばを分かち合うべきです。その後、先へ進みましょう。
- **一般的な考えやアイデア** - 別の人に一般的な考えが与えられ、その人は自分のことばを用いて表現することがあるでしょう。聖霊は正確なことばを与えるのではなく、むしろ一連の洞察的な考えを与え、人々に表現法をゆだねます。
- **ことばを聞く、見る、情景が浮かぶ** - 人々は実際にことばが聞こえたり、文字が見えたりすることによって解き明かしを受けることがあります。また、幻を見たり、情景が思い浮かんだりする人もいます。

## 預言の賜物

預言は、聖霊により靈感を受け、与えられたことばを信者が理解できることばで話す能力と定義されます。預言は単なる霊的なメッセージではありません。また、人間の推論や学習、教育、神学校の訓練から出てくるものでもありません。他のすべての賜物と同様、聖霊の超自然的な働きによってのみ可能にされます。

17. 預言の賜物は異言と解き明かしより一歩踏み込んだものです。みな理解できることばで話しま

すが、それは聖霊によって与えられたことばです。それは.....の理解からくるものではありません。聖霊によって超自然的に与えられます。

18. 解き明かしと預言の違いは、解き明かしは、.....ことばが語られたあと、その発言に関してなされるもので、預言は最初からすでに知っていることばで話し始めることです。

ペンテコステの日、ペテロは人々に向かって言いました。「これは、預言者ヨエルによって語られた事です。『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。』」(使徒 2:16-17)。神は終わりの日にすると言ったことをまさになさっておられます。ご自身の霊をすべての人々に注いでおられます。例外なく、すべての民族がイエスへの信仰に導かれる手段として、この終わりの日の聖霊の訪れを経験します。

ヨエルは聖霊が注がれると何が起こると言いましたか。「あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。その日、わたしのしもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。すると、彼らは預言する。」(使徒 2:17-18)

この聖句では特に預言が強調されています。終わりの日に、あらゆる場所にいる神の民にこの預言の素晴らしい霊的現われが回復されます。私たちは今日聖霊の注ぎを見していますが、その時には、今まだほとんどの人が理解していないほど、さらに広範囲で劇的なスケールのものを見るでしょう。

預言する人は教会に何を語りますか。「ところが預言する者は、徳を高め、勧めをなし、慰めを与えるために、人に向かって話します...預言する者は教会の徳を高めます。」(I コリント 14:3-4)。預言は徳を高め、勧めをなし、慰めを与えることに限界がありますが、神は信者を失望させてはしません。預言の3つのおもな目的をもう少しじっくり見ていきましょう。

第一の目的は、「徳を高めること」です。このフレーズは多くに人々にとって時代遅れや、教会用語のように思えます。しかし、私たちが知っている「建物」という語を用いるなら、徳を高めるとは、単純に「建て上げる、あるいは強めること」です。それは、人々が持っている特別な奉仕が何であれ、キリストのからだの一部としてさらに効果的にさせる、という意味です。もしあなたが預言の賜物を受けているなら、あなた自身だけでなく、預言を与える人々を強め、建て上げるべきです。

第二の目的は、「勧めをなす」ことで、励まし、気づかせる、奮起させるという意味です。気づかせることは、厳しい警告や、さらには戒めも含まれます。しかし、勧めには非難することは含みません。「こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません...それは、肉に従って歩まず、御霊に従って歩む私たちの中に...」(ローマ 8:1、4)。

第三の目的は、「慰めを与える」で、現代のことばで言うなら、元気づけることです。

### 解き明かしと預言の賜物の使い方

このセクションは、メッセージを聞きながら行なうのが一番効果的でしょう。デレクは異言の解き明かしと預言を教えるとき、具体的に役立つことを語っています。

聖書からの励ましのことばで締めくくりましょう。

「長老たちによる按手を受けたとき、預言によって与えられた、あなたのうちにある聖霊の賜物を軽んじてはいけません。」(Ⅰテモテ 4:14)

「それですから、私はあなたに注意したいのです。私の按手をもってあなたのうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせてください。」(Ⅱテモテ 1:6)

パウロは、テモテが特定の賜物を持っているのだと、はっきりと伝えています。賜物があなたのうちにあるなら、あなたはそれを持っている、それをういなさいということです。

「それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。」(Ⅰペテロ 4:10)

ペテロはパウロと似たことばを用いています。あなたは持っていないものを働かせることはできません。まず、あなたはそれを受けなければなりません。ペテロはすべてのクリスチャンが賜物を持っているので、互いに仕え合うことができると信じました。本当の貧困とは、分け与えるものが何もないことです。それが、キリスト信仰を公言している教会に通うクリスチャンのおそらく90%の悲劇的な状況です。彼らは神が与えておられるものをまだ受けていないため、与えることができないのです。しかし、それは神のみこころではありません。聖霊の明確な現われを必要としないでいられるイエス・キリストの信者は一人としていません。

「しかし、みな益となるために、おのおのに御霊の現れが与えられているのです…しかし、同一の御霊がこれらすべてのことをなさるのであって、みこころのままに、おのおのにそれぞれの賜物を分け与えてくださるのです。」(Ⅰコリント 12:7、11)

すべての信者に異なる賜物が与えられますが、願うときはだれでも、どのような賜物でも聖霊を制限することなく現わすことができます。すべての賜物は神のうちにあるからです。例えば、あなたが緊急事態の中にあり、目の前に瀕死の状態の人にがいるなら、あなたはその人に向かってこのようには言わないでしょう。「私はいやしの賜物を持っていないので、私には何もできません。」もし、あなたが聖霊に満たされているなら、あなたは神にあつてすべてのものを潜在的に持っているのです。その瞬間にあなたを通していやしの賜物が現わされるために、聖霊を妨げるものは何一つありません。しかし、あなたの人生でそれが定期的に現わされない限り、聖書はあなたがいやしの賜物を持っているとは言わないでしょう。神はだれにでも必要な御霊の現れを与えることができますが、それは賜物を持っていることと同じではありません。私たちは、バラムのろばが預言の賜物を持っていたと言うことはできません。なぜでしょうか。それは一度だけ、起こっただけだからです。

ですから、信者としてそれぞれの人生の中で聖霊の特定の現われの資格があると、私たちに思い出させるために、パウロは御霊の賜物のリストで始め、締めくくったのです。パウロは、神はたった一つの現れだけに制限すると言っていません。しかし、もし私たちが霊的相続の中を歩むなら、私たちは人生の中で聖霊の現れを楽しむ資格があるのです。これらの御霊の現われなしに歩んでいる信者は、その人の人生のための神の備えのレベルに達していないのです。

次のメッセージで、デレクは力と啓示の賜物とその働きを教えます。

## 第 20 課

### 「御霊の賜物を用いる」第三回

## 力と啓示の賜物

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

前回のメッセージで、異言、異言の解き明かし、預言など声の賜物について学びました。この学びでは、知恵のことば、知識のことば、霊の見分けなどの啓示の賜物とともに、信仰、いやし、奇蹟の働きなど、力の賜物を学びます。

このシリーズの最後となる今回のメッセージは、講義と言うより実際の適用が多いので、このメッセージを聞き適用する間にそれらの賜物を理解するでしょう。あなたがキリストのからだを通して働く方法を聖霊に期待する素晴らしい洞察を与えるでしょう。また、他の学びのように、多くの質問はありません。このテーマについては、デレクの著書「御霊の賜物」でさらに詳しく学ぶことができます。

### まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

パウロは、I コリント 12 章を自身の手紙の中で繰り返し使っていることばで始めています。「さて、兄弟たち。御霊の賜物についてですが、私はあなたがたに、ぜひ次のことを知っていただきたいのです。」神がパウロを通して、教会に「ぜひ知ってほしい(無関心でいてほしくない)」と、ほぼすべての手紙で言っていることは、デレクも自身の教えの中で繰り返し語っています。

しかし、私たちはただ知るだけではいけません。神は御霊の賜物についての真理をみことばを通して啓示しておられ、地上に神の国を建て上げるため、またキリストのからだを建て上げるために私を用いてくださいと神に求めるとき、私たちに力を与えてくださいます。

御霊の 9 つの賜物に言及しているカギとなる聖句です。

さて、賜物にはいろいろの種類がありますが、御霊は同じ御霊です。奉仕にはいろいろの種類があり

ますが、主は同じ主です。働きにはいろいろの種類がありますが、神はすべての人の中ですべての働きをなさる同じ神です。しかし、みなの益となるために、おのおのに御霊の現れが与えられているのです。ある人には御霊によって知恵のことばが与えられ、ほかの人には同じ御霊にかなう知識のことばが与えられ、またある人には同じ御霊による信仰が与えられ、ある人には同一の御霊によって、いやしの賜物が与えられ、ある人には奇蹟を行う力、ある人には預言、ある人には霊を見分ける力、ある人には異言、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。しかし、同一の御霊がこれらすべてのことをなさるのであって、みこころのままに、おのおのにそれぞれの賜物を分け与えてくださるのです。 (I コリント 12:4-11)

以下の空欄を埋めてください。

### 力の賜物 - 信仰

1. 聖書は信仰の3つのおもな形について教えています。

(ア) .....の信仰 - これは、「義人は信仰によって生きる」と書かれているように、私たちの信仰が私たちを救うということです。(ハバクク 2:4、ローマ 1:17、ガラテヤ 3:11)

(イ) .....としての信仰 - これは、時間とともにキリストの性質を養うプロセスです。ガラテヤ 5:22は御霊の賜物の実として、「信仰」あるいは「誠実」をリストに挙げています。パウロが用いているギリシャ語の名詞「*pistis*」は、信仰に用いられる語です。ギリシャ語もヘブル語も、信仰という語は知性ではなく、性質を表わします。信仰はまさに誠実さであり、神への献身です。ある特定の教理を行なうことではありません。

(ウ) .....としての信仰 - この賜物を通して、聖霊は神ご自身の信仰の一部を信者に一時的に分け与えます。これは、人間のレベルをはるかに超えた神のレベルです。量ではなく、質が重要です。この「からし種」の信仰は、山を動かすのに十分です。それは私たちが求めるものではなく、神が賜物として与えてくださるものです。

2. マルコ 11:12-14と20-24に、いちじくの木の話があります。イエスが言ったことばで、通常の翻訳は「神を信じなさい。」となっていますが、ギリシャ語では、「神の信仰を持ちなさい。」で、全く別物です。イエスは、もしあなたが神の信仰を持っているなら、あなたが話すこと、あなたが行なうことは、まるで.....ご自身がそれをしているかのように効果をもたらすのだ、と言っているのです。それは、あなたの信仰ではなく、神の信仰です。

3. イエスはマルコ 11:23 で、このように宣言しています。「まことに、あなたがたに告げます。だれでも、この山に向かって、『動いて、海に入れ』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりになると信じるなら、そのとおりになります。」それは、まさにすべてのものです。だれでも、どんなことでも、言うことすべてです。しかし、単純にあなた自身の決断によってそれができるのではなく、その状況の中に賜物として、神ご自身の.....があなたに与えられる時だけです。
  
4. それと並行してマタイ 17:20 で同じ出来事が書かれています。イエスは言われました。「もし、からし種ほどの信仰があったら、この山に、『ここからあそこに移れ』と言えば移るのです。どんなことでも、あなたがたにできないことはありません。」ですからイエスは、それが神の信仰であるなら、あなたは多くではなくても、からし種ほどの信仰で山を動かすことができると言っているのです。つまり、あなたの信仰の量ではなく、信仰の.....にあるということです。
  
5. 信仰の賜物は、特定の働きをする状況の中であなたに分け与えられる、神の信仰の小さな.....種です。あなたがそれを用いるならば、神ご自身がなさっているように効果的に働くのです。いったんその働きが終わると、あなた自身の信仰のレベル、すなわち日々歩むための信仰に戻ります。

その賜物は通常、他の 2 つの力の賜物を解放するための促進剤です。その 2 つとは、いやしと奇蹟を行なう賜物です。それらは、どちらも複数形で書かれています。

### いやしの賜物

6. いやしの賜物を理解する 2 つの方法があります。
  - (ア) 一つ一つのいやしは異なる.....です。
  - (イ) ある人は、てんかんや関節炎などの特定の病気、症状のための.....の賜物を持っています。
  
7. いやしは病気とつながっているため、この賜物は.....に対する神の超自然的な力です。いやしを受けることができるのは、病気の人々だけです。
  
8. ルカ 5:17 でイエスをご自身の働きの期間について語っている箇所で、次のように言っています。「ある日のこと、イエスが教えておられると、パリサイ人と律法の教師たちも、そこにすわっていた。

彼らは、ガリラヤとユダヤとのすべての村々や、エルサレムから来ていた。イエスは、主の御力をもって、病気を直しておられた。」主の御力をもって、いやしを行なっていたという部分に注目してください。神のいやしの力は病を追い出し、.....と置き換えます。それは通常、手を置くことによって、時には油を注ぐことによって、また他の様々な方法によって解放された聖霊によって与えられる超自然の力です。

9. いやしは、常に即時に受けるとは限らず、また、神が触れてくださるときに完全ないやしを受けるとは限りません。その.....の源に「直結」し続けるために、いやしを信じ、感謝し続ける必要があります。

### 奇蹟の働き

10. 奇蹟は.....より大きなことができます。デレクは完治が可能な中耳炎の例を用いていますが、完治不可能なものであれば、いやしを超えた創造的な奇蹟が必要です。
11. いやしとのもう一つの違いは、奇蹟はしばしば.....なものです。いやしは過程的であることもあり、常に即座に感じることはできません。
12. 奇蹟は、しばしば単純な(時にはばかげた).....の行為によって解放されます。預言者エリヤは奇蹟とは結びつかない、奇妙な行動をした一人です。

### 啓示の賜物

「知恵のことば」と「知識のことば」の違いと類似点に注目しましょう。まず、知恵と知識は緊密につながっているので、完全に区別することはできません。私たちは9つの御霊の賜物すべてを調べ、正確な線引きをしようとしているではありません。それらは七色から成る虹の色のようにです。虹の色を個々に識別するのは容易ですが、青色がどこで終わって紫色がどこから始まっているのか、という一点を断定することはできません。互いに溶け合っています。

同じことが霊的賜物や霊的な話題についても当てはまります。知恵と知識について分離して語ることは妥当ではありますが、どこまでが知恵で、どこからが知識であるかを言うことは決してできないと気づくのです。あなたは、「これは知恵のことばか、それとも知識のことばだろうか。」とわからない時があるでしょう。どちらかがある時、もう一方もその役割の中に入って来ることが多いのです。

知恵と知識の原則的な違いは、知識は私たちに事実を与えるもの、知恵はその事実について何をすればいいのかを与えてくれるものである、ということです。もし、あなたが世界のすべての知恵を持っていても、事実をまったく持っていないなら、知恵を正しく適用することはほとんどできません。また、たとえあなたがあらゆる事実を知っていても、知恵がないなら、それらの事実に関連した行動をする可能性が高いのです。

### 知恵のことば

では、知恵のことばとは、どんな賜物なのでしょう。それは、神の完全な知恵のひとかけらを直接、超自然的に聖霊によって分け与えられることです。「ある人には御霊によって知恵のことばが与えられ…」( I コリント 12:8)。神はすべての知恵を持っておられます。しかし、神は私たちにそのすべてを一度に与えることはありません。なぜなら、神の知恵は私たちを完全に圧倒し、沈めてしまうほどのものだからです。この賜物は超自然的な方法によって与えられます。その結果が自然な方法で起こるものではないからです。私たち自身が不可能な方法で、聖霊によって分け与えられます。

13. まず、「知恵のことば」の賜物は、信仰の賜物に似ていますが、それは知恵です。神はすべての知恵を持っておられ、私たちが必要とする状況において、自然な方法ではなく、知恵の.....的なことばを、神ご自身の知恵の小さなからし種として私たちに与えてくださいます。
14. 知恵の性質は、.....なもので、どのように取りかかり、何をすればいいのかを示してくれます。

### 聖書に見る知恵のことば

- **魚と人間についての知恵のことば** - ルカ 5:4-10はイエスがペテロに、どこで魚を取れるかを教えている話です。イエスは魚の取れる場所について、権威ある指示的な知恵のことばをペテロに与えました。ペテロがそのことば通りにすると、網が破れそうなほど多くの魚が掛かり、舟を持っていたヤコブやヨハネにも助けを求めましたが、彼らの舟は沈みそうになるほどでした。
- **移動手段についての知恵のことば** - マタイ 21:1-7で、イエスは弟子たちに、エルサレムに入るためのろばをどこで見つけるかを教えています。これは、この箇所でも引用されている旧約聖書の預言(ザカリヤ 9:9)の成就となる「ろば」であることを理解することが重要です。聖

書を通して、また神の霊によって、イエスはその日のための神の計画を知っていました。イエスは、エルサレムに入るために乗るろばの子がいるということを知っておられました。そして御霊の啓示により、弟子たちがろばをどこで見つけることができるかを知っておられ、弟子たちに指示したのです。この知恵のことは、イエスのみことばの知識から出てきたものです。みことばの知識は、啓示の賜物における基礎です。

- **ミニストリーについての知恵のことは** - 次の例は、知恵のことはによって緊急を要する問題が解決した例です。使徒 6:1-4 は、初代教会にアラム語やヘブル語を話すユダヤ人クリスチャンと、ギリシャ語を話すユダヤ人クリスチャンがもめていた話がかかれてあります。そこで、聖霊は知恵のことはを十二使徒に与えました。彼らは自分たちの第一の奉仕にとどまり、他の信者たちの中から使徒が配給を監督するために七人を選ぶことにしました。
- **道についての知恵のことは** - 使徒 8:26-30 は、伝道者ピリポのミニストリーの例です。これは、イエスが弟子たちに魚を取る場所を教えた物理的領域での出来事に比例する、霊的領域の例です。聖霊はピリポに馬車に乗るように言いました。神の主権的な指示を受けたのでした。この導きにより、神はご自身が選んだ人(エチオピアの宦官)の声の聞こえるところまで、ピリポを運びました。この全体的な出来事は、神によって整えられました。その人は自分が読んでいるイザヤ 53 章の答えを求めていたのです。その箇所は、イエス・キリストの贖いについての偉大な預言です。そのようにして、ピリポは救いの道を彼に説明することができたのです。
- **神が救いたいと願っている人々についての知恵のことは** - 使徒 10:9-16 に、いつどこへ行ってミニストリーをすべきかについて主のしもべに指示を与えて用いるもう一つの例があります。カイザリヤに住んでいたローマの百人隊長であったコルネリオは神を信じる敬虔な人で、御使いの訪問を受け、ヨッパのシモン・ペテロのところに人を遣わしなさいと告げられました。ペテロは自分の思い、慣習、背景にそぐわない、神に指示された異邦人の家に行って福音のメッセージを携えていくために訓練されていた最中でした。
- **律法と恵みについての知恵のことは** - 使徒 15 章で、教会に増えてきた異邦人改宗者に何を求めるべきか、という非常に重要な問題を討議するために、エルサレムの教会全体が集まっています。ヤコブは 13-18 節で知恵の指示的ことはを語っていますが、それが旧約聖書の知識に基づいて知恵であることに注目しましょう(アモス 9:11-12)。ここでも、知恵のことはは常にみことばの知識と結びついています。この知恵のことは(19-20 節)は 4 つの条件におい

て、会議での全会一致をもたらしました。

- **地域についての知恵のことば** - 知恵のことばの最後の例は、パウロの第二次宣教旅行でのミニストリーを方向付けました。パウロとシラスは小アジアと呼ばれる地域へ行きました。彼らは、パウロとバルナバが第一次宣教旅行で行った地域を回り終え、そこからどこに行くべきかと考えていました。使徒 16:6-10 に注目すべき話があります。彼らは小アジアの西岸にある地域に向かおうとしていましたが、聖霊はそこへ行くことを禁じました。イエスは、ご自分に従う者たちに、「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」(マルコ 16:15)と言われました。しかし、彼らがアジア地域に行こうとしたとき、聖霊が禁じたのです。そして彼らは北の、黒海の南岸ビテニヤに向かいましたが、聖霊はそれを赦しませんでした。彼らが何をしたというのでしょうか。彼らは北西へ向かっていましたが、神はマケドニアに行くように示されたのです。そこは神の驚くべきみわざが現れたところです。彼らが神の子の働きを経験したのは、神によってそこへ行ったからです。扉が開かれており、人々の心も開かれていました。その道は彼らのために用意された道だったのです。

### 知識のことば

知恵のことばは、聖霊によって分け与えられる、神の完全な知恵のひとかけらであると、デレクは定義づけています。知識のことばも並列した定義を持っており、聖霊によって超自然的に分け与えられる神の完全な知識のひとかけらです。「ほかの人には、同じ御霊にかなう知識のことばが与えられ…」(I コリント 12:8)

知恵のことば同様、超自然的な知識は、自然の方法や教育、訓練によって来るものではなく、聖霊によって導かれ、神の指令によってのみ機能するものです。デレクは、ただ自分の意志を行なうことによって知識のことばを持つことはできないと言っています。知識を必要とし、また神からそれを受け取るかもしれませんが、神が与えてくださるものは、結局は神の御手の中にあると教えています。

### 聖書に見る知識のことば

- **性質と場所についての知識のことば** - この最初の例は、ピリポがメシヤだと言ったイエスに会わせるためにナタナエルを招いた話です。ナタナエルはイエスがナザレ出身だと知っていたので、預言されたメシヤのような良い物はその町からは出てこない、ピリポのことを全く信

じませんでした。ですから、ナタナエルは疑いというより、むしろ批判的な態度をもってイエスのもとに連れて来られました。ヨハネ 1:47 にこうあります。「イエスはナタナエルが自分のほうに来るのを見て、彼について言われた。『これこそ、ほんとうのイスラエル人だ。彼のうちには偽りがない。』」ナタナエルの反応は、「あなたは私に会ったことがないのに、どうして私がどんな人か知っているのですか。」というのが真意です。イエスは、彼に答えて言いました。「わたしは、ピリポがあなたを呼ぶ前に、あなたがいちじくの木の下にいるのを見たのです。」(ヨハネ 1:48)。49 節でナタナエルは即座に強い確信を経験しました。この結果は、私たちが知恵のことばだと理解したときの結果と似ています。

- **個人的な過去についての知識のことば** - 次の例は、イエスが井戸のほとりでサマリヤの女に出会った有名な話の中にあります(ヨハネ 4:1-26)。イエスは彼女に飲む水を求めました。彼女は驚き、そして会話の中で、イエスは井戸からくみ続ける必要のない、生ける水について話し始めました。それからイエスは、彼女には五人の夫がいたが、現在住んでいる男の人とは結婚していないということを知っているとしました。その女は自分の過去のそこまで詳細についてイエスを知ることができるのは、自然の手段によるものではないということがよく分かっていました。イエスがその女に話しかけたとき、彼女の防波堤が瞬時に崩れ落ち、彼女は、「あなたは預言者だと思えます。」と言ったのでした。
- **不誠実についての知識のことば** - 知識のことばの賜物が確かに表わされた一人の人は、ペテロです。それは彼のミニストリーの中で明確でした。使徒 5:1-11 でペテロの賜物が現れた初代教会のまさに初めの出来事にそれが見られます。その状況の背景はこうです。当時初代教会の生活において、信者たちは自分たちの土地や資産を売って、教会とミニストリーの働きのために使徒たちの所へ持って来ていました。アナニヤとサツピラという夫婦は持ち物を売りましたが、この代金の一部を残しておき、全額をささげたようなふりをしました。知識のことばによってペテロは彼らに、聖霊を欺いたと非難し、彼らは2人とも死んでしまいました。この2人は聖霊の超自然的な知識の臨在に耐えることができず死んだのです。今日、どれほど多くの人が神に本当の自分よりも良く見せようとしたり、多く捧げているふりをしたりして、ごまかそうとしているでしょうか。これは、神のさばきの警告です。神は彼らのようなすべての偽善を取り扱うという意味ではなく、神が偽善をどのように考えておられるかを表わしています。
- **神に選ばれたしもべについての知識のことば** - 使徒 9 章に、もう一つの知識のことばの例があります。タルソのサウロは、ダマスコの町にいるイエスの信者を牢に入れ、有罪とするために

向かっている途中でした。ダマスコに近づいたとき、主イエスはまばゆい光で彼を止め、ご自身を現わしました。サウロは目が見えなくなり、その町まで手を引いてもらわなければならなくなりました。

アナニヤという信者はダマスコに住んでいました。彼は使徒でも伝道者でもなく、聖書はただ、「弟子」と呼んでいます(使徒 9:10)。神は、牧師や宣教師、リーダーたち以外には賜物や啓示を与えないと考える人もいますが、神はこのアナニヤという弟子に知識の**ことば**を与えています。10-12 節で、アナニヤはサウロの名前と居場所を正確に与えられ、サウロが幻を見たことを知ることができました。その知識にはまた、知恵の**ことば**の導きも含まれていたことに注目してください。その知恵とは、アナニヤがサウロに手を置くと、彼は見えるようになるというものです。

最初、アナニヤはしり込みしました。その人物はクリスチャンを迫害するためにダマスコに来たのだからと主に抗議しました。しかし主は彼を説得し、「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの**選びの器**です。」(使徒 9:15)と言いました。アナニヤの従順により、サウロはイエス・キリストの信仰によって生まれ変わった者となりました。それは、神の初代教会の取り扱いにおける重要な瞬間でした。

- **確信のための知識のことば** - 前のセクションで、知恵の**ことば**の例として使徒 10 章を見ました。ペテロはカイザリヤで異邦人に宣べ伝える幻が与えられました。その幻は知識の**ことば**に続くものであったことに注目してください。デレクが言っているように、これら 2 つの賜物はともに働くことが多いのです。ペテロは幻を見た後、カイザリヤの家からコルネリオの家の人たちが到着して門をたたきました。ペテロはまだ見た幻について祈り、思い巡らして屋上にいました。

「ペテロが幻について思い巡らしているとき、御霊が彼にこう言われた。『見なさい。三人の人があなたをたずねて来ています。さあ、下に降りて行って、ためらわずに、彼らと**いっしょ**に行きなさい。彼らを遣わしたのはわたしです。』そこでペテロは、その人たちのところへ降りて行って…」(使徒 10:19-21)

その人たちがそこに着いたこと、また誰が彼らを遣わしたかを誰かから聞いて知る前に、聖霊はペテロに告げていました。この知識の**ことば**は、彼が前もって受け取った幻の**確証**として与えられました。この時点で、神はペテロに、行ってコルネリオに福音を伝えるという大きなプレッシャーを与えたのです。なぜなら、異邦人の家に行くということはペテロの性格、背景、慣習とは全く逆のことで、ましてや福音をもたらすなどということは考えにも及ばなかったからです。ですから、知恵の**ことば**が知識の**ことば**に続いて与えられ、知識の**ことば**は前もって与えられた知恵の**ことば**を**確信**させているのがわかります。

- **準備のための知識のことば** - 使徒 20 章で、パウロはエルサレムに向かう道で、エペソの教会の長老たちに会い、教会の信者たちを訪問していた旅の間に、彼自身が聖霊から自分についての知識のことばを受けたことを語りました。パウロは彼らに、「いま私は、心を縛られて、エルサレムに上る途中です。そこで私にどんなことが起こるのかわかりません。ただわかっているのは、聖霊がどの町でも私にはつきりとあかしされて、なわめと苦しみが私を待っていると云われることです。」(使徒 20:22-23)と言いました。私たちは詳細を知ることはできませんが、パウロが信者たちに出会ったすべての町で、「なわめと苦しみ」がエルサレムで彼を待っていると、聖霊が警告していたのです。

### 見分けの賜物

15. **見分ける**ことは、認識、区別することですから、**霊を**.....ことは、**霊を認識し**、その違いを区別することです。それは霊的感覚です。

見分けには、様々な方法があります。時に、そこに不自然なものを見るという幻としてくるかもしれません。聖書の中での 2 つの顕著な例は、バプテスマのヨハネが、聖霊が鳩のように下るのを見た(ヨハネ 1:32-34)こと、もう一つは、黙示録 16:13-14 で、使徒ヨハネが竜、獣、偽預言者の口からかえるような 3 つの汚れた霊が出てくる幻を見たことです。

### 見分けを養う

ヘブル 5:14 には、見分けについて、またすべての賜物についての重要な事実が書かれています。「しかし、堅い食物はおとなの物であって、経験によって良い物と悪い物とを見分ける感覚を訓練された人たちの物です。」

ほとんどの人が最初は賜物を完全に働かせることはできません。しかし、訓練によって賜物の理解と用い方を完全に至らせることができるようになります。自分がそれを正しく行なうことができるようになることを知らないために、何もしないままにいる完全主義者のような人もいます。これは、御霊の賜物を用いることについて多くの人が抱えている問題です。自分にはイザヤのような預言ができないと考え、全く預言をしようとしません。実にばかっています。イザヤが最初どのようであったかを、だれが知っているのでしょうか。

特に、見分けは養うことができるものです。ヘブル 5:14 は良い物と悪い物を見分ける感覚を訓練する必要性について語られています。あなたの道にサタンが仕掛けるあらゆる種類のわなに常にはまるような歩み続けることは、神の栄光にはなりません。また、誠実な人と偽善者を見分けることができないことも神の栄光にはなりません。多くの人は、神が私たちのために可能にしてくださっている見分けを訓練しないことで失敗するのです。

### **霊を見分ける意味**

霊を見分ける賜物についての定義を考えてみましょう。第一に、この賜物は悪霊を見分けることだけに適用されるものではありません。クリスチャン生活の中で私たちが遭遇する様々な霊があります。

- 神の霊である聖霊
- 良い御使い
- 墮落した、反逆の御使い(悪霊)
- 人間の霊(すべての人間は、個々の霊を持っています。)

第二に、見分けというのは複数形です。つまり、それぞれの見分けは賜物の働きであるということです。いやしの賜物と奇蹟の働きと同様に、個々のいやしや奇蹟は賜物の働きです。第三に、霊の見分けの賜物もまた、神のコントロールの下で働きます。私たちは思いのままにそれを行なうことはできません。

### **聖書に見る、霊の見分け**

- **聖霊を見分ける**
  - **鳩の形** - ヨハネ 1:29, 31-33 バプテスマのヨハネのことばから、聖霊が鳩のように下るのを見たのは彼だけであったことが明らかです。他の人々は、そのビジョンが見えませんでした。それは、ヨハネに与えられた超自然的な見分けでした。彼にはそれが必要だったからです。それは、メシヤが誰であるかをヨハネが知るための方法でした。
  - **炎の舌** - 使徒の働き 2 章で、聖霊は炎の舌の形で人間の視覚に現われました。「また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した。」「(3-4 節)。これは、聖霊の超自然的な見分けです。聖霊自体は炎の舌ではありませんが、

その方法で現われたのです。

- **御使いを見分ける**

- **人の子の上り下り** - イエスはナタナエルに言いました。「『あなたがいちじくの木の下にいるのを見た、とわたしが言ったので、あなたは信じるのですか。あなたは、それよりもさらに大きなことを見ることになります。』そして言われた。『まことに、まことに、あなたがたに告げます。天が開けて、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたはいまに見ます。』」
- **ゲッセマネの園で** - イエスご自身も神の御使いの臨在を見分けました。ご自身の公生涯の終わり頃、捕らえられ、十字架につけられる直前、イエスはゲッセマネの園で祈っていました。苦しみもだえながら祈っているときです。「すると、御使いが天からイエスに現れて、イエスをカづけた。」(ルカ 22:43)。この記述から、イエスだけが霊的見分けによって御使いを見たことが明らかです。他の者たちには見えませんでした。
- **復活で** - イエスがよみがえられた後、マグダラのマリヤは、ヨハネにもペテロにも見る事ができなかった御使いを見ました。(ヨハネ 20:1-12)
- **危険な航海で** - 使徒の働きで、パウロが囚人として移送される船は「暴風に激しく翻弄されて」(使徒 27:18)おり、マルタ島に座礁しそうでした。パウロは嵐のただ中で立ち上がり、一緒に乗っていた人々に昨夜御使いを見たと言いました(22-26節)。御使いを見たのはパウロだけで、御使いのことばは 100%正しかったことが確認されました。

- **人間の霊を見分ける**

- **イエスと人間の心** - ヨハネ 2 章でイエスについて聖書が言っていることに注目してください。「イエスが、過越の祭りの祝いの間、エルサレムにおられたとき、多くの人々が、イエスの行われたしるしを見て、御名を信じた。しかし、イエスは、ご自身を彼らにお任せにならなかった。なぜなら、イエスはすべての人を知っておられたからであり、また、イエスのご自身で、人のうちにあるものを知っておられたので、人についてだれの証言も必要とされなかったからである。」(ヨハネ 2:23-25)。イエスは人々に欺かれることはありませんでした。イエスには目に見えない、人の内側の本当のものを見ることができました。
- **ペテロと魔術師シモン** - 使徒 8 章で、ペテロは魔術師のシモンに対して見分けの賜物を働かせました。シモンは魔術によってサマリヤの町を長く支配していました。彼はピリポが福音を語っているのを聞き、またその奇蹟としるしを見てバプテスマを受け、ある

意味弟子となりました。その後ヨハネとペテロがその町にやって来て、救われた人々のために祈り、使徒たちが手を置くことによって力のしるしの現われとして人々は聖霊を受けました。使徒 8:18-23 で、ペテロはシモンの外側を通して、彼の心の中のゆがんだ動機という内側を見ることができたことがわかります。ピリポは、シモンをそのように見たことはなかったようです。シモンの内側の性質の啓示は、ペテロに与えられました。

- **パウロと足なえの男の信仰** - 使徒 14 章に、パウロが足のなえた男の信仰を見分けた例があります。「ルステラでのことであるが、ある足のきかない人がすわっていた。彼は生まれつき足のなえた人で、歩いたことがなかった。この人がパウロの話すことに耳を傾けていた。パウロは彼に目を留め、**いやされる信仰があるのを見て、**大声で、『自分の足で、まっすぐに立ちなさい』と言った。すると彼は飛び上がって、歩き出した。」(使徒 14:8-10)

パウロがその男に信仰があるのを見たとき、おそらく多くの会衆に語っていた途中だったでしょう。彼はメッセージを途中で止め、「自分の足で、まっすぐに立ちなさい。」と言いました。その男は信仰によって応答し、歩き出しました。これは、聖霊や悪霊の働きの見分けでもなく、むしろ人間の中に信じる霊を見分けたことによります。

- **悪霊を見分ける** - イエスのミニストリーにおいて、この賜物はいやしと結びついて頻繁に用いられました。福音書の中のどれほど多くの肉体的病が、悪霊によるものかに驚かされます。
  - **悪霊により、口がきけず、耳が聞こえない** - 最初の例は、イエスによる口のきけない人のいやしです。「この人たちが出て行くと、見よ、悪霊につかれて口のきけない人が、みもとに連れて来られた。悪霊が追い出されると、その人はものを言った。群衆は驚いて、『こんなことは、イスラエルでいまだかつて見たことがない』と言った。』(マタイ 9:32-33) イエスはその人が話せないのは、悪霊によって声帯を用いることを妨げられたものだと思われました。イエスが悪霊を追い出すと、その人は直ちに話し始めました。これは、口のきけないことがすべて悪霊によるものだと言っているのではなく、このケースでは、その背後に悪霊がおり、イエスがそれを見破ったということです。この種の見分けの例は他にも多くありますが、注目すべき一例はマルコ 9:17-27 で、口をきけなくし、耳を聞こえなくする霊をイエスが見分けた箇所です。
  - **悪霊により、足がなえた状態** - もう一つの例は、18 年もの間女を悩ませた病の霊です。ルカ 13:11-17 で、イエスはその女を縛っていた病の霊を見分けて追い出しました。彼女は悪霊の力から解放され、直ちにいやされました。霊が彼女を離れた瞬間、

腰をまっすぐ伸ばすことができました。イエスは彼女の病の原因を見分け、どのように取り扱うかを知っておられました。

- **占いの霊** - 最後の例は、パウロとシラスがピリピで福音を宣べ伝えていた時に起こった出来事です。「私たちが祈り場に行く途中、占いの霊につかれた若い女奴隷に出会った。この女は占いをし、主人たちに多くの利益を得させている者であった。彼女はパウロと私たちのあとについて来て、『この人たちは、いと高き神のしもべたちで、救いの道をあなたがたに宣べ伝えている人たちです』と叫び続けた。幾日もこんなことをするので、困り果てたパウロは、振り返ってその霊に、『イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け』と言った。すると即座に、霊は出て行った。』（使徒 16:16-18）

その女が言ったことはすべて真実です。彼女は福音を語る者を宣伝していましたが、悪霊が彼女を通してそれを行っていたのです。パウロはこれを見破り、彼女からその霊を追い出しました。今日、私たちも同じ種類の見分けを持たなければなりません。占いの霊は教会の中に満ちています。デレクは自身が訪問した様々な教会において、それがたとえ非常に尊敬され、評判の良い教会の中であっても、占星術などを信じる人々や占い、魔術の霊があったと言っています。

### **霊の見分けの結果**

霊を見分ける賜物は、キリストのからだなる教会の機能に非常に重要になります。それは、信者が聖霊の臨在と神が働かれる方法を認識する結果として現われ、人間の心の性質と動機を明らかにし、悪霊が原因となっている病気や争いを見分けます。霊の見分けがキリストのからだ全体に働くとき、教会と世界に注目すべきミニストリーをもたらします。

### **力と啓示の賜物の働き**

前回の「声の賜物」のメッセージ同様、デレクはこれらの賜物のいくつかを実践することで、素晴らしい扉を用意しています。御霊の賜物の働きは、勇気と大胆さとともに聖霊への敏感さを必要とします。時に神は、その時は奇妙に思えることを私たちに要求することがありますが、私たちが忠実で従順であるなら、神の霊の素晴らしい現われを見、神の国が地上に建て上げられるのを見ることができます。

これは、「御霊の賜物を用いる」というシリーズの締めくくりですが、クリスチャン信仰の多くの要素と同様、生涯を通して学び成長し続けるものです。

## 第 21 課

# 宣言の力

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

エペソ人への手紙には、神の民を描写する様々な美しい表現が用いられています。教会、キリストのからだ、神の作品、家族、宮、妻などです。

1 章 22 節で「教会」と訳されているギリシャ語は「エクレシア」で、英語ではそこから「エクレシオロジー」(教会論)という語も生まれました。「教会」とは、「呼び出された」という意味です。その概念は、人々の大集団から呼び出されることによって形成された人々の集まりです。それは、特別な目的のために呼び出されたグループでもあり、それが世界にある教会です。私たちは神の特別な目的のために、イエス・キリストへの信仰によって、世から呼び出されています。

新約時代の世俗的なギリシャ語では、「エクレシア」という語は、非常に特別な意味を持っています。それは、「政府の集会」です。聖書では、神の定めに従って神の民が集まることを指す呼び方は、「シオン」です。聖書がシオンについてどのように言っているか、またシオンと信者の関係について見てみましょう。

*しかし、あなたがたは、シオンの山、生ける神の都、天にあるエルサレム、無数の御使いたちの大祝会に近づいているのです。また、天に登録されている長子たちの教会、万民の審判者である神、全うされた義人たちの霊、さらに、新しい契約の仲介者イエス、それに、アベルの血よりもすぐれたことを語る注ぎかけの血に近づいています。* (ヘブル 12:22-24)

これは、将来の出来事ではありません。著者は、あなたがたは「まもなく近づく」と言っているのではなく、すでに近づいていると言っています。私たちは、すでに神の完全な統治の集まりの一部となっているのです。その一部は天にあり、その一部は地上にあっても、私たちはみな、一つの集まりなのです。その集まりには、「万の幾万倍、千の幾千倍」の御使いたちも含まれています。それは、最高に栄光ある集まりです。それが、ここで描かれているシオンであり、私たちはその一部なのです。

イエス・キリストにある信仰を通して、私たちは全宇宙を治める統治の集団の一部とされています。その集団のかしらは、父なる神のもとにおられるイエス・キリストです。私たちは神の民、教会として、地上において神の権威の代表者です。では、「私たちは神が与えてくださったその驚くべき権威をどのよ

うに用いるか」を考えなければなりません。その答えは、重要で力強いデレクのこの教えの中で語られています。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

この教えを通して覆いが取り除かれ、私たち自身の人生、また家族や教会、コミュニティ、自国で、さらに他の国々に変化をもたらすために、私たちが神の民として神のことばの力と権威を「神の杖」としてどのように用いるかを新しく理解し始めてくださっていることを願います。聖霊の導きのもとで私たちがみことばを宣言するとき、神のことばと神の霊がともに働き、すべての被造物にいのちをもたらした同じ力を、その宣言の中に与えます。

私たちは敏感さをもって、信仰により神のことばに深い尊敬と畏敬を抱かなければなりません。それは、私たちが決して高慢にならないためです。神のことばには力がありますが、聖霊の導きなしに用いるなら、私たちはわざわざに会います。聖霊の権威を無視するからです。使徒 19:11-17 に、権威なしにイエスの力を用いようとした、スケワという人の七人の息子の話があります。

*神はパウロの手によって驚くべき奇蹟を行われた。パウロの身に着けている手ぬぐいや前掛けをはずして病人に当てると、その病気は去り、悪霊は出て行った。ところが、諸国を巡回しているユダヤ人の魔よけ祈禱師の中のある者たちも、ために、悪霊につかれている者に向かって主イエスの御名をととなえ、「パウロの宣伝しているイエスによって、おまえたちに命じる」と言ってみた。そういうことしたのは、ユダヤの祭司長スケワという人の七人の息子たちであった。すると悪霊が答えて、「自分はイエスを知っているし、パウロもよく知っている。けれどおまえたちは何者だ」と言った。そして悪霊につかれている人は、彼らに飛びかかり、ふたりの者を押さえつけて、みなを打ち負かしたので、彼らは裸にされ、傷を負ってその家を逃げ出した。このことがエペソに住むユダヤ人とギリシヤ人の全部に知れ渡ったので、みな恐れを感じて、主イエスの御名をあがめるようになった。*

イエスには権威があり、パウロにも権威がありましたが、スケワの息子たちには権威がありませんでした。正当な権威は正しい関係から来るので、私たちがイエス、神のことば、聖霊と正しい関係にあるなら、神はご自身のために権威を私たちに与えてくださるのです。デレクはこう言っています。「ある状況の中に神の権威を解き放つ最も効果的な方法は、信仰によって聖霊の油注ぎのもとで宣言することです。なぜなら、みことばは息とともに出行かなければならないからです。しかし、その2つがともに出て

行き、神の息(霊)が私たちの口から神のことばを押し出すとき、私たちは状況の中へみことばを解き放ち、全能の神のすべての権威がその状況にもたらされます。」

以下の空欄を埋めてください。

1. 「宣言する」という動詞は、「.....」という意味のラテン語から来ています。
2. 「告白する」、「告白」は、.....ことを言うという意味です。
3. 私たち信者にとって、聖書の「告白」というのは、神が聖書ですでに語られていることを、私たちの.....で言うことです。私たちは神のことばと一致させ、自分の口のことばとすることによって、イエスの完全な後押しと権威を受けるために私たち自身を整えます。
4. ヘブル 3:1 で、イエスは「私たちの告白の大.....」と呼ばれています。これは、もし私たちが告白しないなら、私には大祭司がないということになるのです。
5. 私たちがイエスの信者として、聖書が私たちについて言っていることを自分の口で宣言するときは常に、ご自身の.....と祝福を解放している天におられる大祭司イエスを持っています。しかし、私たちが黙ったままにいるなら、大祭司としてのイエスの働きを閉め出してしまうこととなります。さらに、もし私たちが間違った告白をするなら、自分の周りに否定的な力を招き、私たちの思いを変えさせてしまうこととなります。
6. さらに、宣言することは告白を攻撃的にさせます。宣言とは、霊的.....のことばです。ある状況の中へ神のことばの権威を解き放ちます。それがどのようなことであっても、私たちの人生の中へ、教会の中へ、政治的状況の中へ解き放ちます。

神の力が解き放たれる必要のある数え切れないほどの状況があります。それがあなたの人生であれ、家族、教会、国、その他どのような状況であっても、その中へ宣言によって神の力を解放する以上に、効果的なものは何一つありません。

7. 宣言は、.....役的活動です。伝統的に「おふれ」は、王や公爵、あるいは貴族から承認を得て、特定の地域に行った信頼できる人が、その遣わされた地域で統治者の意志や決定を宣

言っていました。

8. ほとんどの翻訳では不明瞭かもしれませんが、「宣べ伝える」という語は、.....という語です。それは「宣言する」という意味です。例として、デレクはマタイ 24:14 を引用し、「この福音は全世界に『宣言され』、すべての国民にあかしされ、それから終わりの日が来ます。」と言い換えています。
9. デレクは、聖書をモーセの杖に例えています(出エジプト 4:1-5:17 参照)。自分の杖が蛇になった時のモーセの荒野での神との出会いには、私たちと神のことばに関連する 3 つの重要な側面があります。
  - (ア) モーセは自分の手にある杖の.....を知りませんでした。彼はそのような力を一度も想像したことはありませんでした。
  - (イ) 神の指示に従って自分の杖を投げると、それが蛇になり、モーセは.....。聖書は、彼はそれから身を引いたと書いています。
  - (ウ) その杖は、モーセの.....の道具となりました。エジプトからイスラエルを救い出す出エジプト記の残りの部分はすべて、その杖によって成し遂げられました。モーセがその杖を伸ばすたびに、神が介入してくださったのです。
10. 私たちは.....が超自然的な書物であることを認識する必要があります。モーセの杖のように、聖書を最初に見るときには、その中にある力はよくわかりません。しかし、それを理解し始めると、その力は無限であるとわかるのです。

### 神のことばの力

11. 詩篇 33:6 にこうあります。「主のことばによって、天は造られた。天の万象もすべて、御口の.....によって。」この節で、「いぶき」と翻訳されているヘブル語は *ruach* で、「霊」を表わす普通の語です。このことは、全被造物が神のことばと神の霊という 2 つの媒体によって造られたことを明らかにしています。今存在しているもの、かつて存在していたもの、また、これから存在するものすべての始まりは、これら 2 つの力によるのです。

Ⅱ ペテロ 3:5-7 で書かれていることに目を留めましょう。「…すなわち、天は古い昔からあり、地は神のことばによって水から出て、水によって成ったのであって、当時の世界は、その水により、洪水にお

おわれて滅びました。しかし、今の天と地は、同じみことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びの日まで、保たれているのです。」

12. この聖句から、私たちは神のことばによって.....と地が造られ、神のことばによって保たれ、また神のことばによって神の時が来ると、それらは消え去ることが理解できます。つまり、神のことばは創造し、保ち、消し去るのです。
13. イザヤ 55:10-11 で神は言われています。「そのように、わたしの口から出るわたしのことば…」すなわち、「私の.....によって押し出される、それが私のことば」です。
14. II コリント 3:6 でパウロは言っています。「文字は殺し…」つまり、息のない、空しいことばはいのちをもたらしません。ことばがいのちとなるために、ことばと.....がともになければなりません。すべての聖句を用いたメッセージであっても、その中に息(霊)がないなら、それはいのちを与えず、死をもたらす渴いたメッセージとなり得るのです。

神のことばを宣言して、状況の中に解き放つには、確信と大胆さが必要です。臆病であってははいけません。あなたの思いを奮い立たせなければなりません。「私はこれを信じる。これは神のことばであり、私の信じる心で、信じる唇で、神の霊が私を通して語るとき、まるで神ご自身が言っているかのように、効果をもたらすのだ。」あなたはそう信じますか。神ご自身が話さなければならないではありません。もし、神の霊があなたの口を通して神のことばを発するなら、神がすべてのものに、いのちをもたらしたときと同様に効果的になります。

### **神のことばにおののく**

再び出エジプト記 4 章に戻ります。モーセの神との対面を見ると、まずモーセは恐れたことがわかります。彼が杖を地に投げると、それは蛇になり、モーセはそれから身を引きました。宣言が効果的となる前に、私たちはまず神のことばを恐れなければなりません。神のことばにおののくことを学ばなければならないのです。

15. イザヤ 66:1-2 で、主はご自身の.....を引きつける人はどのような人かを教えています。「へりくだって心砕かれ、わたしのことばにおののく者だ。」モーセのように私たちの最初の反応は、神のことばに恐れと畏敬を抱くべきです。

16. ヨハネの福音書では、私たちが神のことばにおののくべきである2つの理由が明らかにされています。

(ア) ヨハネ 12:47-48 にこうあります。「だれかが、わたしの言うことを聞いてそれを守らなくても、わたしはその人をさばきません。わたしは世をさばくために来たのではなく、世を救うために来たからです。わたしを拒み、わたしの言うことを受け入れない者には、その人をさばくものがあります。わたしが話したことばが、終わりの日にその人をさばくのです。」

神のことばは私たちの.....です。聖書を開いて読み、理解するとき、私たちは、やがてその神のことばが私たちをさばくものとなることが確信できます。おののくことは当然です。

(イ) ヨハネ 14:23 でイエスは、もう一つの驚くべきことを言っています。「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。」

私たちが神のことばに心を開き、それを信じるなら、父と御子が私たちとともに.....くださるのです。私たちの人生におけるすべての良きものを受け取ることができるために、私たちは神のことばに畏怖を示す必要があります。

### 神のことばを握る

次にモーセがしたことは、杖を取ることでした。信仰によってその蛇をつかむと、それは彼の手の中で再び杖に戻りました。ですから、私たちはおののき、それから神のことばを強く握りしめる必要があります。

17. 詩篇 149:5 節以降に、この詩篇の作者は、自分たちを.....としてみなしている素晴らしいことばが次々と書かれています。私たちはもろ刃の剣、すなわち神のことばを手にし、口には神への称賛があり、それをもって国々に復讐することができ、国民を凝らすことができると言っています。この光景をあなた自身のものとしてみなすことができますか。

18. 詩篇 149:9 で、私たちは書き記されたさばきを国々の間で行なうと言っています。「それは、すべての聖徒の誉れ(特権)である」とも書かれています。それが理解できますか。神は私たちに国々を.....特権を与えてくださっています。その光の中に自分自身に見始めるなら、私たちの祈りの生活は変えられます。

19. 私たちは書き記されたさばきをするのだということに注意しなければなりません。それは、私たちのさばきではなく、私たちは国々とその支配者たちをさばく.....のさばきの特権が与えられているのです。

20. この神のさばきを解き放つために、私たちはみことばを.....します。

### **神のことばを伸ばし出す**

エジプトに戻ったモーセが次にしたことは何でしたか。杖を伸ばすことでした。その杖にあった権威を用いたのです。私たちも同じことをする必要があります。書かれた神のことばを取り、どんな状況であっても、神の権威が必要なところへそれを伸ばすのです。その最も効果的な方法の一つが、信仰と聖霊の油注ぎによって宣言することです。神のことばは息(霊)とともに出て行かなければならないことを思い出してください。しかし、その2つがともに働くとき、神の霊が私たちの口から神のことばを押し出すとき、そのことばを状況の中に解き放つことができます。そのことばはその状況の中に全能の神のすべての権威を持っているのです。

21. それは.....の杖と呼ばれていますが、持っていたのはモーセでした。神の杖となるために、モーセがそれを用いて勝利をもたらしたことで、神は栄光を受けました。

22. 一つのカギとなる宣言は、みことばを.....なものとすることです。例えば、ヘブル 13:5に「私は決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」と言っています。それを個人的に適用すると、「神は決して私を離れず、私を捨てない。」と私たちは宣言することができます。真理を自分の人生や状況に適用します。

以下は、メッセージの中で語られていた、聖書から直接取った宣言です。

### **悲観主義を取り扱う**

「主よ、あなたが私のために立てている計画を感謝します。それはわざわざではなく、平安を与える計画で、私に将来と希望を与えるためのものです。」(エレミヤ 29:11 に基づく)

### 暗く、否定的な死の予感に直面するとき

「私は死ぬことなく、かえって生き、そして主のみわざを語り告げよう。」（詩篇 118:17）

### 非難、否定的なことばや祈りに直面するとき

私を攻めるために作られる武器は、どれも役に立たなくなる。また、さばきの時、私を責めたてるとどんな舌でも、私はそれを罪に定める。これが、主のしもべたちの受け継ぐ分、主から受ける私の義である。（イザヤ 54:17）

注意： 私たちは、私たちを非難する舌を罪に定めることができます。それらの舌が神の義を非難するからです。そして、それらの舌は常に敗北します。

デレクはそう教えた後、このように言っています。「私たちに敵対して語ったり、祈ったり、あるいは私たちに危害を加えたり、悪を計ろうとしている人たちがいるなら、私たちは彼らを赦し、主の御名によって彼らを祝福します。」

私たちは否定的なものを肯定的なものに置き換えます。聖書が、もし人々があなたをのろうなら、のろい返してはならない、むしろ祝福するよと言っているからです。パウロは、「悪に負けてはいけません。かえって善をもって悪に打ち勝ちなさい。」と言っています。悪に打ち勝つことができる唯一の力は、善です。

### 家族やミニストリーなどに対する攻撃の防御

私(たち)のかんぬきが、鉄と青銅であり、私(たち)の力が、私(たち)の生きるかぎり続くように。エシユルンよ。神に並ぶ者はほかにない。神は私(たち)を助けるため天に乗り、威光のうちに雲に乗られる。昔よりの神は、住む家。永遠の腕が下に。私(たち)の前から敵を追い払い、『根絶やしにせよ』と命じた。（申命記 33:25-27）

私たちがこの種の宣言をするとき、敵というのは人間の存在に対してではなく、空中の霊的な力に対して言っていることを決して忘れないでください。私たちの敵は血肉のものではありません（エペソ 6:12）。私たちの夫や妻は敵ではありません。時にそう考えたくなることもあるかもしれませんが、違います。私たちは人間に脅かされないことを学ばなければなりません。これらの武器はとて力強いもので

すが、正しい形で用いられなければなりません。

### 経済的、实际的、あるいはいやしの必要

神は、私たちを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です。（Ⅱコリント 9:8）

この節は 3 つのシンプルなことばで成り立っています。神は、「できる」お方です。神にはできることをあなたは信じますか。私たちが信じることは非常に重要です。神には何ができるのでしょうか。ギリシャ語では、「すべて」という単語が 5 回、「あふれる」は 2 回出てきます。それ以上にパウロの心をとらえた「あふれるもの」が、この節の中に見られます。それは、信仰によって与えられるあふれる恵みです。

### 強さが必要な時

私は、私を強くくださる方によって、どんなことでもできるのです。（ピリピ 4:13）

### いやし

そして（イエスは）自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、私は、いやされたのです。（Ⅰペテロ 2:24）

この節では、いやしは過去形です。聖書が十字架の贖いにおけるいやしについて言う時、未来形は一つも用いられていません。イエスが来られる 700 年前にイザヤは、「彼の打ち傷によって私たちはいやされた」と言いました。十字架の後それを振り返ってペテロは、「キリストの打ち傷によってあなたがたはいやされた。」と言いました。

これは、あなたにまったく新しい視点を与えます。それは自動的に病が消え去るという意味ではありません。病気になってチャレンジを受けることにより、異なる基盤をあなたに与えるのです。時にあなたは長い間それを言い続けなければなりません。神のことばとあなたの症状のどちらが、より信頼できるかを考え、決断しなければなりません。

### 国々への介入

神の御名はとこしえからとこしえまでほむべきかな。知恵と力は神のもの。神は季節と時を変え、王を廃し、王を立て、知者には知恵を、理性のある者には知識を授けられる。神は、深くて測り知れないことも、隠されていることもあらわし、暗黒にあるものを知り、ご自身に光を宿す。その主権は永遠の主権。その国は代々限りなく続く。地に住むものはみな、無きものとみなされる。彼は、天の軍勢も、地に住むものも、みこころのままにあしらう。御手を差し押さえて、「あなたは何をされるのか」と言う者もない。(ダニエル 2:20-22、および 4:34-35)

これらのことは、未信者のネブカデネザル王のものであることを考えてください。聖書は、彼がその頃までには神を信じる者であったと推測しています。しかし今、ネブカデネザルの人生への神のすばらしい働きについて考えてみましょう。私たちが祈り方を学ぶなら、神は、神を知らない邪悪な支配者をも変えることができるということは、私たちへの励ましです。

主よ。力の強い者を助けるのも、力のない者を助けるのも、あなたにあつては変わりはありません。私たちの神、主よ。私(たち)を助けてください。私(たち)はあなたに拠り頼み、御名によってこの大軍に当たります。主よ。あなたは私(たち)の神です。人間にすぎない者に、あなたに並ぶようなことはできないようにしてください。(Ⅱ歴代誌 14:11)

私たちの父祖の神、主よ。あなたは天におられる神であり、また、あなたはすべての異邦の王国を支配なさる方ではありませんか。あなたの御手には力があり、勢いがあります。だれも、あなたと対抗してもちこたえうる者はありません。(Ⅱ歴代誌 20:6)

全地よ。主を恐れよ。世界に住む者よ。みな、主の前におののけ。まことに、主が仰せられると、そのようになり、主が命じられると、それは堅く立つ。主は国々のはかりごとを無効にし、国々の民の計画をむなしくされる。主のはかりごとはとこしえに立ち、御心の計画は代々に至る。幸いなことよ。主をおのれの神とする、その国は。神が、ご自身のものとしてお選びになった、その民は。(詩篇 33:8-12)

つまり、誰がすべての勝利者となるのですか。主を神とする国です。国々や国連、政府のあらゆるはかりごと、計画は、神のご計画に反するなら、単なるがらくたに過ぎません。

## イスラエルのために

悪の杖が正しい者の地所の上にとどまることなく、正しい者が不正なことに、手を伸ばさないためである。（詩篇 125:3）

この文脈における悪の杖とは何ですか。イスラム教です。正しい者の地所とは何ですか。神の民の地所です。政治家たちが何と言おうと、彼らが何をしようと、悪の杖は正しい者の地所の上にとどまることはない、聖書は言っています。

あなたはそれを信仰によって言わなければなりません。あらゆることが正反対に見えていても、その時こそが宣言する時です。その杖を伸ばすと、あなたの蛇が魔術師たちの蛇を飲み込むのです。

シオンを憎む者はみな、恥を受けて、退け。彼らは伸びないうちに枯れる屋根の草のようになれ。（詩篇 129:5-6）

ヤコブのために喜び歌え。国々のかしらのために叫べ。告げ知らせ、賛美して、言え。「主よ。あなたの民を救ってください。イスラエルの残りの者を。」（エレミヤ 31:7）

主のことばを聞け。遠くの島々に告げ知らせて言え。「イスラエルを散らした者がこれを集め、牧者が群れを飼うように、これを守る」と。（エレミヤ 31:10）

これは、私たちのライフスタイルを変える始まりです。どうしたらよいかわからない状況に直面したとき、その状況に宣言する適切なみことばを示してくださるよう、聖霊に祈り求めましょう。

## 第 22 課

# 感謝、賛美、礼拝

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

祈りとは、あなたの買い物リストを神に差し出すようなものと考えている人が多くいますが、それは非常に限られた不十分な祈りの視点です。祈りは、オーケストラで演奏される様々な楽器のようなもので、一つ一つの祈りは単独の楽器ではなく、多くの楽器の演奏のように組み合わせられ、つながっています。

一つの楽器でも美しい音色が奏でられるでしょう。しかし、オーケストラの各セクションに様々な楽器を配置すると、すべての楽器の音色が組み合わせられて無限の可能性を秘めたハーモニーを創り出すことができます。楽器を練習するように、祈りには実践が必要です。感謝なことに、神との親しい関係を楽しむことができるように、私たちにはみことばという楽器が与えられています。みことばは、私たちが掘り出さなければならない宝です。

このメッセージでデレクは祈りの 3 つの要素を取り扱っており、それらは神に近づく方法です。その 3 つとは、感謝、賛美、礼拝です。神は、私たちが神に近づくための特定の条件を定めておられます。感謝と賛美なくして、神の臨在の中に入って行く道はありません。

これら 3 つの各要素は、神に近づき、神とつながる道ですが、それぞれは別々のかたちで神につながります。感謝、賛美、礼拝は以下のように区別できるでしょう。

- 感謝によって、神の素晴らしさを認識する。
- 賛美によって、神の偉大さを認識する。
- 礼拝によって、神の聖さを認識する。

つまり、感謝は神の素晴らしさにつながり、賛美は神の偉大さにつながり、人間のたましいの最高の活動である礼拝は、神の聖さにつながります。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

このメッセージは他のメッセージよりも少し長いですが、素晴らしい真理を多く含んでおり、祈りの生活を解放し、なぜ答えられない祈りがあるのかを理解する助けとなります。祈りが答えられないのは、神が聖書の中で言われている方法で私たちが神に近づかないからです。

急いで答えを知ろうとするよりも、時間を取り、一つ一つのセクションを熟考し、教えを吸収し、学んだことを実践し始めてください。私たちの人生に変化や主との新鮮な出会いをもたらさない限り、聖書の知識に価値はありません。ほとんどの人が、実践するより知識を増やそうとしているのが現実です。主の啓示を最近いただいていないと感じている人は、神がこれまでに示してくださったことを真剣にとらえてきたかどうか、自分自身を振り返る必要があるでしょう。

以下の空欄を埋めてください。

1. ....によって、神の素晴らしさを認識する。
2. ....によって、神の偉大さを認識する。
3. ....によって、神の聖さを認識する。

## パート 1 - 感謝

ヘブル 12:28 はこう言っています。「こういうわけで、私たちは揺り動かされない御国を受けているのですから、感謝しようではありませんか。こうして私たちは、慎みと恐れとをもって、神に喜ばれるように奉仕をすることができるのです。」

4. この「感謝しようではありませんか。」という部分は、別訳では「.....を捧げよう。」という訳で、どちらの翻訳も正しいです。言語のギリシャ語では、「恵みを持つこと」で、カギとなる語は *charis* (カリス) で、「ありがとう。」と言うことです。
5. ....と感謝することの間には直接のつながりがあります。感謝しない人は神の恵みの外にいます。感謝せずに、神の恵みの中にいることはできません。

コロサイ 3:15-17 にこう書かれています。「キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。キリストのことはを、あなたがたのうちに豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。」

6. 私たちは神に.....を捧げることなく、何をすることも許されていません。
7. 聖書は私たちがすべてのことを行なうための 2 つの方法があることを教えています。それは、「イエスの御名によって」と、「主に感謝を捧げることによって」です。それは、素晴らしい.....を定めています。私たちが自由に行なうことに制限を設けています。

エペソ 5:18-20 はこう言っています。「また、酒に酔ってははいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって父なる神に感謝しなさい。」

8. 私たちは聖霊に満たされると、神に感謝し続けるのです。神に感謝を捧げる時間にどれだけ費やしているかによって、私たちの内の.....の満たしの度合いを量ることができます。聖霊が漏れ始めていることを示す確証の一つは、私たちが神に感謝していないときだと言えます。

I テサロニケ 5:16-18 にこうあります。「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことについて、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」

9. 神のみこころは、私たちが.....において感謝を捧げることです。感謝を捧げないなら、私たちは神のみこころの外にいることとなります。必ずしも、私たちの行ないのゆえにそうなるものではありません。神に応答しないので、みこころの外にいるのです。

「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。」(ピリピ 4:6)

10. 私たちは.....ことなくして、神に願いを持って行くべきではありません。ジョン・ウェスレーは言いました。「私は、神が祈りによってすべてをされ、祈りなしには何もなされないと確信している。」

詩篇 100 篇は、神の家に来ることについて語っています。4 節で、「感謝しつつ、主の門に、賛美しつつ、その大庭に、入れ。主に感謝し、御名をほめたたえよ。」と言っています。

11. 神に近づくためには 2 段階を経ます。まず、.....を通り、次に大庭に入ります。門は、あなたが大庭に入る許可を与え、大庭は神の家への通り道です。

12. 私の人生はうまくいかず、混乱しているのに、なぜ感謝するべきなのかと疑問に思う人がいるかもしれませんが、詩篇 100:5 は感謝を捧げる理由として、変わる事のない 3 つの理由を挙げています。

(ア) 主は.....。

(イ) 主の.....はとこしえである。

(ウ) 主の.....は代々に至る。

自分の感情や状況にフォーカスしてはいけません。上に挙げた 3 つの永遠なる神のご性質と、神が私たちを取り扱う方法の不変性にフォーカスするなら、私たちは絶えず感謝するでしょう。神に感謝すべきことは非常に多くあり、感謝しないことは恥ずべきことです。

ルカ 17 章で、らい病(ツアラアト)がきよめられた 10 人の話があります。祭司に自分を見てもらった 10 人のうち一人だけが感謝するために戻って来ました。「そこでイエスは言われました。『十人きよめられたのではないか。九人はどこにいるのか。神をあがめるために戻って来た者は、この外国人のほかに、だれもないのか。』それからその人に言われた。『立ち上がって、行きなさい。あなたの信仰が、あなたを直した(ギリシャ語では、「救った」)のです。』」(17-19 節)。

13. 10 人全員がらい病からきよめられましたが、感謝するために戻ってきた一人だけが救われました。つまり、彼らはみな肉体的ないやしを経験しましたが、感謝するために戻ってきた一人だけが、.....という永遠の霊的いやしを受け取ったのです。その一人だけがイエスのもとに近づいたからです。

14. ヨハネ 6:1-14にある、五つのパンと二匹の魚でイエスが五千人を養う話で、イエスは神に祈ったり、求めたりしたという記録はなく、イエスはただ、.....を捧げたとあります。(23 節も参照)

感謝することの重要性をさらに理解するために、感謝しないことについて聖書はどのように言っているかを調べてみましょう。

15. パウロはローマ 1 章で、人間が神を知ることから、最も恐ろしい悪と罪深さへと向かった墮落を見事に要約しています。その章は、人間がどのようにして墮落していくかという、聖書の中でも最も恐ろしいリストの一つで終わっています。その答えはローマ 1:21 にあります。「彼らは.....を知っているが、その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなりました。」

Ⅱ テモテ 3:1 はこう言っています。「終わりの日には困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。そのときに人々は、自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、不遜な者、神をけがす者、両親に従わない者、感謝することを知らない者、汚れた者になり・・・」

16. このリストの中で「感謝することを知らない者」の次には、.....者があります。感謝しないことは汚れた者となるのです。あなたは聖く、感謝しない者でいることはあり得ません。あなたが感謝するなら、聖とされる大きな一歩となるのです。

Ⅰ コリント 10:7-10 でパウロはクリスチャンに対して、イスラエルがエジプトを出た後に陥った同じ間違いに陥らないようにと警告しています。このように言っています。7 節「あなたがたは、彼らの中のある人たちになっても、偶像崇拜者となつてはいけません。」 8 節「また・・・姦淫をすることはないようにしましょう。」 9 節「主を試みることはないようにしましょう。」 10 節「また、彼らの中のある人たちがつぶやいたのにならってもつぶやいてはいけません。彼らは滅ぼす者に滅ぼされました。」

17. 民数記 21 章で、イスラエルは長く疲れる旅のゆえに、落胆し、忍耐がなくなっていました。彼らは神とモーセに対して.....始めました。神は彼らの中に燃える蛇を送り、その蛇は民にかみつき、民は死に始めました。私たちは感謝を捧げるか、不平を漏らすかという正反対のものに直面させられています。決心してください。

## パート2 - 賛美

賛美することによって、私たちは神の偉大さを知る、とデレクが言ったことを思い出してください。

18. 詩篇 48:1 はこう言っています。「主は大なる方。大いにほめたたえられるべき方。その聖なる山、われらの神の都において。」私たちが神の偉大さを知るためには、神を大いにほめたたえることです。つまり、私たちの賛美は神の.....に比例しており、計り知れないものであるはずです。賛美の力と可能性を使い果たすことは決してありません。

イザヤは、私たちが救いとイエスの血によって入ることができる、神の都について書いています。イザヤ 60:18 にこの都の非常に美しい姿が見られます。

「あなたの国の中の暴虐、あなたの領土のうちの破壊と破滅は、もう聞かれぬ。あなたは、あなたの城壁を救いと呼び、あなたの門を賛美と呼ぼう。」

19. 神の臨在に囲まれた城壁は、.....ですが、すべての門には賛美という名があります。つまり、あなたがその城壁の中に入りたいなら、賛美の門を通らなければなりません。賛美なしにその中に入ることはできません。賛美は、神の臨在の中に入る唯一の道です。
20. 詩篇 22:3 に、主に向かって語っていることばがあります。「けれども、あなたは聖であられ、イスラエルの賛美を住まいとしておられます。」王であるイエスに.....を設けることはふさわしいことです。主はとても恵み深い方で、命令はしません。神は私たちのただ中に来てくださいますが、私たちが賛美の御座を神にささげるまで、私たちは神の王権を認めることにはなっていないのです。
21. 詩篇 106:47 は言っています。「私たちの神、主よ。私たちをお救いください。国々から私たちを集めてください。あなたの聖なる御名に感謝し、あなたの誉れを勝ち誇るために。」ここでも同じ順序であることに注目してください。感謝し、それから賛美する。ですから、神をほめたたえるとき、私たちは.....をしています。古代ローマ文化や古代世界における凱旋(パレード)は、勝利を取るためではなく、すでに勝ち取った勝利の祝勝パレードでした。
22. 私たちが心から神を.....するとき、勝利を求めているわけではありません。すでに勝ち取った勝利という事実を祝っています。私たちは神のパレードに加わっています。パウロはⅡコリント 2:14 でこう言っています。「しかし、神に感謝します。神はいつでも、私たちを導いてキリストによる勝

利の行列に加え、至る所で私たちを通して、キリストを知る知識のかおりを放ってくださいます。」

23. 詩篇 30:11-12 にこうあります。「あなたは私のために、嘆きを踊りに変えてくださいました。あなたは私の荒布を解き、喜びを私に着せてくださいました。私のたましいがあなたをほめ歌い、黙ってることがないために。私の神、主よ。私はとこしえまでも、あなたに感謝します。」神は一つの目的のために、私たちの荒布を解き、嘆きから私たちを解放しててくださいます。何のためですか。私たちの.....(栄光)が神をほめたたえるためです。

24. 私たちの.....は、神に賛美する私たちの栄光です。(詩篇 16:9、使徒 2:26)

25. 嘆き、絶望している人にとって、イザヤ 61:3 は大きな慰めです。「シオンの悲しむ者たちに、灰の代わりに頭の飾りを、悲しみの代わりに喜びの油を、.....の心の代わりに賛美の外套を着けさせるためである。」

エレミヤ 33:11 に、賛美、感謝のもう一つの側面が見られます。その 2 つの言葉は重要です。神の民の回復、そして、エルサレムの通りで聞こえる声についてです。「楽しみの声と喜びの声、花婿の声と花嫁の声、『万軍の主に感謝せよ。主はいつくしみ深く、その恵みはとこしえまで』と言って、主の宮に感謝のいけにえを携えて来る人たちの声が再び聞こえる。それは、わたしがこの国の繁栄を元どおりにし、初めのようにするからだ」と主は仰せられる。」(別の訳には、「賛美のいけにえ」となっているものがあります。

26. 賛美が.....であることを理解することは重要です。それは常に容易なことではなく、時には犠牲を伴います。主を賛美する最も重要な時とは、賛美する気分ではない時です。感情があなたに影響を与えないようにしてください。神のことばは、あなたが賛美する気分でない時であっても、何をするかをあなたに教えてくれます。

ヘブル 13:15-16 は私たちを引き上げてくれます。「ですから、私たちはキリストを通して、賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえるくちびるの果実を、神に絶えずささげようではありませんか。善を行うことと、持ち物を人に分けることとを怠ってはいけません。神はこのようないけにえを喜ばれるからです。」

27. 賛美や感謝することが、時には犠牲と感じるでしょう。私たちにとって最も犠牲的であるとき、最も.....に受け入れられるのです。すべてが私たちに不利な状況に思える時こそ、信仰によって

最も神を賛美するときです。

28. 詩篇 8:2 は、賛美が霊的.....であることを教えています。「あなたは幼子と乳飲み子たちの口によって、力を打ち建てられました。それは、あなたに敵対する者のため、敵と復讐する者とをしずめるためでした。」
29. マタイ 21:16 で、祭司長たちと律法学者たちは、宮の中で.....が神をほめたたえていることに腹を立てました。イエスは、「聞いています。『あなたは幼子と乳飲み子たちの口に賛美を用意された』とあるのを、あなたがたは読まなかったのですか。』」と、詩篇 8:2 を引用しています。
30. 詩篇の作者が「力を打ち建てられた」と言っている箇所を、イエスは、「あなたは賛美を用意された」と言いました。神の民に定められた.....は賛美を備えるということを私たちに教えています。私たちの弱さは問題ではありません。私たちの武器は圧倒的なものです。詩篇の作者は最も弱い者の例として幼子と乳飲み子を選び、そのような者であっても神を賛美するとき、敵に沈黙を強要すると言っているのです。
31. 詩篇 50:23 はこのように翻訳することができます。「賛美のいけにえを捧げる人に、私は神の.....を見せる備えをする。」神に賛美のいけにえを捧げるとき、私たちの状況の中に救いが現わされるための道を備える、とも言うことができます。

第二歴代誌 20 章でヨシャパテ王が大軍に直面している話があります。彼の戦略は、レビ人の一人によって超自然的に啓示され、実際に戦う必要はありませんでした。21 節以降です。「それから、彼は民と相談し、主に向かって歌う者たち、聖なる飾り物を着けて賛美する者たちを任命した。彼らが武装した者の前に出て行って、こう歌うためであった。『主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。』彼らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、主は伏兵を設けて、ユダに攻めて来たアモン人、モアブ人、セイル山の人々を襲わせたので、彼らは打ち負かされた。」

32. 賛美の武器が完全な.....を与えたのです。そして、彼らの敵は互いに敵意を抱き始め、同士討ちとなりました。ヨシャパテの軍が戦場に来たとき、敵は全員死んでおり、彼らがすべきことは、戦利品を取ることだけでした。賛美の力の驚くべき姿です。

33. ヨナ 2 章でヨナは祈っていますが、状況を変えたものは、彼が主に感謝と賛美をし始めたときでした。9-10 節「『しかし、私は、感謝の声をあげて、あなたに.....をささげ、私の誓いを果たしましょう。救いは主のものです。』主は、魚に命じ、ヨナを陸地に吐き出させた。」

使徒の働きに、パウロとシラスのミニストリーにおける賛美の力の美しい例があります。パウロは解放のミニストリーをしており、占い師の女から悪霊を追い出し、その町全体が騒動になりました。パウロとシラスは激しくむち打たれ、最も厳重な牢屋に入れられてしまいました。使徒 16:25 にこうあります。「真夜中ごろ、パウロとシラスが神に祈りつつ賛美の歌を歌っていると、ほかの囚人たちも聞き入っていた。ところが突然、大地震が起こって、獄舎の土台が揺れ動き、たちまちとびらが全部あいて、みな鎖が解けてしまった」

34. みな鎖を解いた超自然的な.....を解放したものは、賛美でした。

どのように、またいつ、だれが神を賛美するのでしょうか。以下のようなものがあります。

35. いつ神を賛美するのでしょうか。

(ア)..... - 世々限りなく。(詩篇 145:2).  
(イ).....時に - いつも。(詩篇 34:1)

36. どのように神を賛美するのでしょうか。

(ア).....を尽くして。(詩篇 111:1)  
(イ).....を上げて - 喜ぶにあふれたくちびるで。(詩篇 63:4-5)  
(ウ)手を上げて - タペの.....として。(詩篇 141:2)  
(エ).....をもって。(詩篇 149:3)  
(オ).....と踊りをもって。(詩篇 150:4)

37. だれが神を賛美するのでしょうか。

(ア)たった一篇の詩篇の中に、主を賛美する 29 種類の.....があります。(詩篇 148 篇)  
(イ).....のあるものはみな。(詩篇 150:6)

38. では最後に、神を賛美しない者は誰でしょうか。.....です(詩篇 115:17)。もし、あなたが主を賛美していないなら、あなたは肉体的には死んでいなくても、霊的には死んでいるのです。

### パート 3 - 礼拝

礼拝によって私たちは神の聖さを知ります。礼拝とは、人間という存在ができる最も崇高な活動であると、デレクは言っています。賛美と感謝は、おもに口から出ることばによるもので、私たちは話したり、歌ったり、また、叫んだりもします。しかし、礼拝は言葉を第一とするのではなく、むしろ心の態度を反映するからだの姿勢と言えるでしょう。

39. 聖書の中に、礼拝を特徴づける姿勢がいくつかあります。

- (ア) 頭を……。この例は、モーセが燃える柴での体験をしてエジプトに戻ってきたときの長老たちの応答に見られます。(出エジプト 4:31)
- (イ) それは、単に頭を垂れるだけでなく、……もかがめることも多くあります。
- (ウ) 主の前にひざまずくことは、……を上に向けて差し伸ばすことも多くあります。これは、神に感謝を伝える方法でもあり、また神が私たちに分け与えてくださるものを受け取るために、そのように差し伸ばします。
- (エ) ……ことは、礼拝独特の姿勢です。デレクはこのメッセージの中で、ある教会での奉仕の中で、人々がみなひざまずいて神の前に出たときに最も力強い聖霊の訪れを味わったことを分かち合っています。
- (オ) 礼拝はまた、神の前に顔を……ことです。聖書の中で、神の前に地に顔をつけたことのない偉大な人物をほとんど見つけることができません。これはおそらく、礼拝の究極的な行為でしょう。

イザヤ 6:1-3 にこのようにあります。

*「ウジヤ王が死んだ年に、私は、高くあげられた王座に座しておられる主を見た。そのすそは神殿に満ち、セラフィムがその上に立っていた。彼らはそれぞれ六つの翼があり、おのおのその二つで顔をおおい、二つで両足をおおい、二つで飛んでおり、互いに呼びかわして言っていた。『聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主。その栄光は全地に満ち。』」*

40. この箇所は、礼拝と賛美の関係の美しい概念を表わしています。賛美は口にすることです。セラフィムは主を賛美し、その聖さを宣言していました。「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主。」しかし、イザヤが最初に見たものは主の聖さではなく、……でした。セラフィムには、それぞれ六つの翼がありました。二つの翼で顔をおおい、二つで両足をおおっていました。その姿勢は何でしょうか。礼拝です。礼拝とは、神の前に敬意を表しておおわれた顔とからだです。

41. セラフィムは残りの二つの翼で飛んでいました。飛ぶことを奉仕、顔と足をおおうことを礼拝ととらえるなら、四つの翼は礼拝のため、二つの翼は仕えるためという割合になります。それが正しい割合です。私たちの主への働きにおいても、奉仕を行なう倍の時間を礼拝にささげるべきです。さらに言うと、.....は礼拝から生まれるものであるべきです。
42. 奉仕なしに、単に礼拝するだけでは偽善者です。マタイ 4 章の荒野での誘惑で、サタンはイエスに自分を.....て拝むように誘惑し、イエスは「引き下がれ、サタン。『あなたの神である主に拝み、主にだけ仕えよ』と書いてある。」と答えました。礼拝のあとには、奉仕が続くべきです。

次の 5 つの質問は、詩篇 95 篇を読んで答えてください。

さあ、主に向かって、喜び歌おう。われらの救いの岩に向かって、喜び叫ぼう。

感謝の歌をもって、御前に進み行き、賛美の歌をもって、主に喜び叫ぼう。

主は大いなる神であり、すべての神々にまさって、大いなる王である。

地の深みは主の御手のうちにあり、山々の頂も主のものである。

海は主のもの。主がそれを造られた。陸地も主の御手が造られた。

来たれ。私たちは伏し拝み、ひれ伏そう。私たちを造られた方、主の御前に、ひざまずこう。

主は、私たちの神。私たちは、その牧場の民、その御手の羊である。きょう、もし御声を聞くなら、メリバでのときのように、荒野のマサでの日のように、あなたがたの心をかたくなにはならない。

あのとき、あなたがたの先祖たちはすでにわたしのわざを見ておりながら、

わたしを試み、わたしをためした。

わたしは四十年の間、その世代の者たちを忌みきらい、そして言った。

「彼らは、心の迷っている民だ。彼らは、わたしの道を知ってはいない」と。

それゆえ、わたしは怒って誓った。「確かに彼らは、わたしの安息に、入れない」と。

43. 1-2 節は、叫び、喜びの.....です。
44. 3-5 節に、私たちが神に感謝と賛美を捧げる理由が書かれています。.....は非常に論理的で、単に主に賛美せよと言うだけではなく、その理由も教えてくれています。
45. 神が造られたものの素晴らしさに対して感謝と賛美をするために、私たちは神のもとに行きます。

しかし、それはただの通り道で、礼拝に入る方法は 6 節から始まります。それを見ると、礼拝が.....であることにすぐに気づくでしょう。それは、言葉に出すことから姿勢へと移っていきます。

46. 他のすべての方法以上に、礼拝を通して神である主を知り、認めます。なぜなら、礼拝はただ.....だけのものだからです。

47. 7 節の最後に、「きょう、もし御声を聞くなら、」とありますが、そこには素晴らしい奥義があります。私たちが礼拝するとき、私たちは実に神の.....を聞くのです。礼拝するとき、私たちは語るのをやめ、すべての叫びや賛美を終えます。もちろん、それらは正しい事なのですが、ある意味あまり多くのことを語らず、静まって待ち望むことが神の前に敬意を表す態度です。

48. ヨハネ 4 章はヤコブの井戸でのイエスとサマリヤの女の話です。23 節でイエスはこう言っています。「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのように 人々を礼拝者として求めておられるからです。」驚くべきことに、全能の神がご自分の礼拝者を求めておられるのです。しかし、私たちはイエスが言われるように、霊と.....によって神を礼拝しなければなりません。

49. 聖書によると、人はからだ、たましい、霊という 3 つの要素から成り立っています。次の 24 節でイエスは、続けてこう言っています。「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」感謝と賛美を結びつけるものはたましいですが、礼拝において神の霊と直接交わるものは、私たちの.....です。

旧約聖書のいけにえに関連して、主はいけにえとしてささげても良い物、ささげてはいけなない物の指示を与えています。レビ記 2:1-2 で、神は乳香と呼ばれる特定の芳香性樹脂がすべてのいけにえにおいてささげられるべきであると命じています。

「人が主に穀物のささげ物をささげるときは、ささげ物は小麦粉でなければならない。その上に油をそそぎ、その上に乳香を添え、それを祭司であるアロンの子らのところに持って行きなさい。祭司はこの中から、ひとつかみの小麦粉と、油と、その乳香全部を取り出し、それを記念の部分として、祭壇の上で焼いて煙にしなさい。これは主へのなだめのかおりの火によるささげ物である。」

50. いけにえには様々なものがありました。小麦粉、油などもありました。それらは一部分だけが焼かれましたが、乳香は.....焼かれました。

51. 旧約聖書で乳香は.....の型で、私たちの神へのささげ物は、神に仕える人、祭司職の人のためにも捧げられます。しかし、神以外にだれも受け取ってはいけななささげ物の部分があります。それは乳香、つまり礼拝です。私たちはいかなる時も、人間の存在に礼拝を捧げてはいけなことを肝に銘じておかななくてはなりません。礼拝はただ主だけのものです。

52. 乳香は木から採られる香りの樹脂の一種で、焼かれると、素晴らしい.....を放ちます。それ自体はあまり美しいものではありませんが、素晴らしい香りがあるのです。それこそ、神が願っておられるものであり、それこそが、私たちの神への礼拝となるものです。神の鼻先に上る、美しく香ばしいかおりです。

一方、神へのささげ物としてはならない物が一つあります。同じ章の 11 節です。

「あなたがたが主にささげる穀物のささげ物はみな、パン種を入れて作ってはならない。パン種や蜜は、少しでも、主への火によるささげ物として焼いて煙にしてはならないからである。」

53. 蜜は、火に入れる前には甘くおいしいものですが、焼かれると黒く、べとべとになります。主が言われていることは、「.....に耐えられない礼拝を捧げてはならない。乳香を捧げよ。それは火に焼かれるほど、甘さが増す。しかし、あなたが試みられ、試練に会うとき、汚れて混乱した礼拝を捧げてはならない。」

礼拝の非常に鮮明な様子が I コリント 6:16-17 にあります。「遊女と交われば、一つからだになることを知らないのですか。『ふたりは一体となる』と言われているからです。しかし、主と交われば、一つ霊となるのです。」

54. 最初のたとえは.....、性的、不道德の一致です。しかし、それに並行してパウロは主と交わる者は霊において一つとなると言っています。つまり、一致には 2 種類あります。肉的一致と霊の一致です。

55. 礼拝は、私たちの霊が直接神と一つとなる唯一の方法で、その.....から生み出されることにつながります。礼拝は霊的な生産を私たちにさせるものです。それが理解できますか。礼拝について考えるとき、あなたの霊が神の霊と一つとなることについて考えてみて下さい。

感謝、賛美、礼拝は、神に召された私たちが熟練者となるために、実践と忍耐が求められるライフスタイルの一部です。自分の霊的生活の中に感謝、賛美、礼拝を取り入れる努力は、新鮮な方法、神の声を聞き、神の臨在を楽しむという神との出会いをする、比べることのできない素晴らしい祝福となります。

今、少し時間を取って、いつくしみ深い神に感謝を捧げ、使徒パウロが I テサロニケ 5:18 で言っているように、「すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」を思い起こしてみましよう。感謝を捧げることは、信仰の表現であり、私たちの心だけでなく、周りの霊的環境も変え始めます。感謝をささげた後、続けて神の偉大さを賛美してください。それは、私たちの状況の視点を変える助けとなり、神の視点で物事を見ることができるようになってきます。最後に、神のその聖さをたたえて礼拝してください。

## 第 23 課

# 血潮の適用

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

私たちがイエス・キリストの福音を理解し、信じる時 - その福音とは、キリストが私たちの罪のために死なれ、葬られ、三日目によみがえられたことです - イエスの血は私たちの罪を洗いよめるということはわかって、その重要性をまだ少ししか理解していないかもしれません。しかし、聖書はイエスの血について大きく取り上げており、信仰によってそれが私たちに与えられると知る時の私たちの人生に働く力について語っています。

レビ記 17:11 にこうあります。「肉のいのちは血の中にあるからである。」このみことばは、イエスが私たちのいのちを贖うために、ご自身の血という代価を支払ってくださった、という理解を与えてくれます。しかし、主から素晴らしい備えをいただいていると感じていても、それが自分の人生に完全に働くためにはどうすればいいのかがわからないことがあります。

血というものに対して抵抗を感じ、それについて話したくない人が多くいますが、イエスの血はすべての信者の人生に不可欠です。私たちはイエスの血について明確な理解がないまま、聖餐式でイエスの血を受け取るべきではありません。デレクは出エジプト 12 章に記録されている過越しの話を通して、どのように私たちの人生でその血を適用するかを示してくれます。そして、聖書に啓示されている贖い、きよめ、義認、聖化、いのち、とりなし、アクセスという 7 つの適用を教えています。

神のことばに見出せるイエスの血についての真理を理解し始めるとき、私たちは今までと同じままでいることはできません。非常にシンプルな真理ですが、それらの真理は人生を変革するものです。

### まとめと質問

このセクションはメッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

デレクのメッセージを聞いた通り、イエスの血は信者の人生に極めて重要なものです。それは私たちの贖い、きよめ、義認、聖化、いのち、とりなし、神へのアクセスに対して影響を与えます。

そのリストを見ると、イエスの血なしに、神の素晴らしさと私たちに対する神のあわれみにあずかることはできないとすぐに気づくでしょう。ヘブル 12:14 はこう言っています。「すべての人との平和を追い求め、また、聖められることを追い求めなさい。聖くなければ、だれも主を見ることはできません。」

ほとんどの人が、平和を追い求めることについては何らかの理解がありますが、聖さについてはどうでしょうか。私たちはどのようにして聖くなるのでしょうか。聖くされるプロセスを聖化と呼んでおり、ヘブル 13:12 こう言っています。「ですから、イエスも、ご自分の血によって民を聖なるものとするために、門の外で苦しみを受けられました。」

神を見るために、私たちは聖くなければなりません。そしてイエスの血を通して私たちは聖くされ、聖なる者となり、神のために聖別されます。これは、イエスの血が私たちの人生に与える 7 つの影響の一つにすぎません。重要なことは、イエスの血についての真理を私たちがつかんで離さないことです。神との人生において中心となるものだからです。

以下の空欄を埋めてください。

### サタンに打ち勝つ

黙示録 12:11 「兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。」

1. 「彼に打ち勝った。」 - 兄弟たちとは、私たちのような人々、イエス・キリストにある.....  
です。
2. 信者たちが打ち勝った「彼」とは、.....のことです。聖書は他の何ものでもなく、信者とサタンの間に直接対決があるということを明確に示しています。
3. そして、信者がサタンに打ち勝つ 3 つの手段があることがわかります。:  
(ア).....の血によって - これはイエスの血です。神の小羊は世の罪を取り除きます。  
( Iヨハネ 1:29)  
(イ) 彼らの.....のことばによって - 私たちはイエスの血が私たちに成して下さったことを神のことばが何と言っているかをあかしする必要があります。もし、あかししないなら、イエ

スの血は完全に働くことができません。

(ウ) 全き.....によって - 彼らは死に至るまでも自分のいのちを惜しみませんでした。

4. 軍の兵士と同様、主の兵士も戦いで自分の.....を失わないという保証はありません。サタンが恐れる人々というのは、イエス・キリストの御国のために自分のいのちを捧げることを恐れない人です。
5. Iヨハネ 2:17に素晴らしいことばがあります。「世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行う者は、いつまでもながらえます。」あなたの.....と神のみこころが完全に一致するとき、あなたは決して沈まない者、揺るがない者、挫折しない者となります。神のみこころに全き確信を持つ人となります。生きるか死ぬかはもはや重要ではなくなり、あなたは打ち負かされることはありません。

黙示録 12:11 を自分のものとするために、以下の宣言をしましょう。

「私は神のことばが言っている、イエスの血が私にしてくださったことをあかしするとき、私はサタンに打ち勝つ。」

神のみこころを行なうことは、生き残る以上に重要であることを忘れないでいましょう。

### 過越しの儀式

過越しの学びの導入として、Iコリント 5:7の「私たちの過越しの小羊キリストが、すでにほふられたからです。」について考えてみましょう。つまり、パウロは旧約聖書のエジプトでの過越しは、十字架のイエスの犠牲的な死によって完成されるものの単なる預言的な型、予告であると言っているのです。キリストが真の過越しです。過ぎ越しの子羊の血ではなく、イエスの血こそが永遠の贖いへの私たちの決定的な確信です。

では、出エジプト 12:21-23 から過越しを振り返ってみましょう。

そこで、モーセはイスラエルの長老たちをみな呼び寄せて言った。『あなたがたの家族のために羊を、ためらうことなく、取り、過越しのいけにえとしてほふりなさい。ヒソプの一束を取って、鉢の中の血に浸

し、その鉢の中の血をかもいと二本の門柱につけなさい。朝まで、だれも家の戸口から外に出るはならない。主がエジプトを打つために行き巡られ、かもいと二本の門柱にある血をご覧になれば、主はその戸口を過ぎ越され、滅ぼす者があなたがたの家に入って、打つことがないようにされる。』

6. この過越しの儀式は、聖書が多く示している.....としての大きな責任の一つです。イスラエルにおいて民の安全と救いを得させることができたのは、父親たちだけでした。もし、イスラエルの父たちが義務を怠っていたら、イスラエルは過越しによって守られることはなかったのです。
7. それが.....と呼ばれるのは、子羊の血によって守られた戸口を主が過ぎ越して下さるからです。
8. 定められた日にそれぞれの父親は自分の家のために適した子羊を選び、その後、それをほふり、その血を.....に取らなければなりません。その血は非常に貴重で、一滴も地面にこぼしてはなりません。
9. 子羊がほふられたとき、鉢の中にあるその.....は守りを意味しますが、鉢の中にあるままでは、それは一人も守ることができません。鉢の中からそれぞれの家の二本の門柱とかもいに塗り付けるか、振りかけなければなりません。誰ひとりその血の上を歩いてはなりません。
10. ....の運命のすべては鉢から戸口に移されたその血にかかっていました。これを行なうためにヒソブの一束を引き抜き、それを鉢の中の血に浸し、戸口に血をふりかけるようにと神は言いました。
11. 神はイスラエル人にもう一つの条件を与えました - .....の中にとどまることです。血の外側には守りがないので、彼らは外に出ることはできませんでした。これは、私たちにとっても当てはまります。イエスの血の外側では、私たちに守りはありません。
12. I ペテロ 1:1-2 で、ペテロはエルサレムへの巡礼者たちへのあいさつで、このように表現しています。「...選ばれた人々、すなわち、父なる神の予知に従い、御霊の聖めによって、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人々へ。」その.....は、注ぎかけよりも先に来ています。血は不従順な人々には注ぎかけられません。従わない者、神の家の外に出る者には何の益ももたらしません。その血には完全な守りがあるけれど、それは従順な人

に対してだけであることを忘れないでいましょう。

過越しの儀式に戻りましょう。鉢の中にある血は家に移されます。一束のヒソブを取り、それを血に浸し、かもと門柱にふりかけ、イスラエル人は守られました。

これは私たち自身にどのように適用できるでしょうか。パウロは、私たちのために犠牲となられたイエスが私たちの過越しであると言っています。キリストは 19 世紀以上前にほふられ、過ぎ越しの教えに関連した用語を用いるなら、血は鉢の中にあります。しかし、鉢の中の血は誰をも守りません。私たちもイスラエルと同じ状況にあるのです。私たちは人生の中で鉢から血を振りかけられた者です。そして私たちが従順であるなら、守りが与えられています。

では、鉢から受けたイエスの血を、私たちはどのようにして自分の人生へと移していくのでしょうか。

13. 黙示録 12:11 で学んだことを思い出しましょう。イエスの血が私たちにしてくださることを、神のことばがどう言っているかを個人的にあかします。鉢の中から私たちの人生の中にその血を移すもの(ヒソブ)は、私たちの.....であることが明らかになります。
14. あかしとは非常にシンプルなものです。それはみことばによるわずかなことばです。小さな.....の束のようにわずかなものですが、それが私たちを救うのです。それは私たちの守りであり、極めて重要なものです。
15. ヘブル 3:1 はこう言っています。「そういうわけですから、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。私たちの告白する信仰の使徒であり、大祭司であるイエスのことを考えなさい。」ヘブルの著者は、イエスは私たちの告白する大祭司であると言っています。告白とは、文字通りの意味は「同じことを言う」です。ですから、聖書とイエス・キリストを信じる私たちにとって、.....とは、神がみことばで言っておられる通りに、私たちの口で言うことです。

### 鉢からあなたの人生に血を移す方法 - イエスの血の 7 つの適用

#### 1. あがない: 買い戻す

16. エペソ 1:7 はこう教えています。「この方にあつて私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。」贖いとは、買い戻すという意味です。悪魔の手に渡されていた私たちを、イエスはご自身の.....で買い戻してくださいました。

17. ペテロ 1:18-19 にはこうあります。「ご承知のように、あなたがたが父祖伝来のむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、傷もなく汚れもない小羊のようなキリストの、尊い血によったのです。」小羊という語は、私たちに過越しを思い起こさせます。「傷もない過ぎ越しの小羊キリスト」とは、イエスには原罪がないという意味で、「汚れもない」とは、ご自身の個人的な罪がないという意味です。そして、私たちはイエスの血によって.....ています。
18. 詩篇 107:2 です。「主に贖われた者はこのように言え。主は彼らを敵の手から贖い・・・」私たちは贖われているなら、私たちはそのことを.....なければならぬと言っています。自分が贖われている事実をあかししなければなりません。あかししないことは、自分の贖いを認めていないことになるのです。贖いを私たちの内に働かせるものはあかしです。あかししなければ、血は鉢の中に残ったままです。私たちがあかしするなら、敵であるサタンの手から贖われています。

具体的に、あかしして言いましょう。

「イエスの血を通して、私は悪魔の手から贖われている。」

## 2. きよめ

19. I ヨハネ 1:7 のことばです。「しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。」原語では、この聖句の動詞はすべて現在進行形です。「私たちもが光の中を歩み続けているなら」、「私たちは、互いに交わりを保ち続け、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめ続けます。」となります。私たちが光の中を歩み続けるしるしは、私たちが.....を持っていることです。もし、私たちが交わりから出てしまうなら、光の外の暗闇の中に出てしまいます。そして、イエスの血はもはや私たちをきよめません。
20. 詩篇 51 篇は、殺人と姦淫という 2 つの恐ろしい罪を示され、悔い改めの大きな叫びとあわれみを求めて神に立ち返ったダビデの悔い改めの詩です。7 節で彼はこう言っています。「ヒソプをもって私の罪を除いてきよめてください。そうすれば、私はきよくなりましょう。私を洗ってください。そうすれば、私は雪よりも白くなりましょう。」ヒソプは過越しを思い起こさせます。血は私たちを完全に.....めします。

具体的に宣言しましょう。

「私たちが光の中を歩むとき、イエスの血はすべての罪から現在も、そしてきよめ続けます。」

### 3. 義認

ギリシャ語の「義認」という語には様々な意味がありますが、根本的な意味は、「義を作る」です

21. ローマ 5:9 にこうあります。「ですから、今すでにキリストの血によって..... 私たちが、彼によって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。」これは、私たち自身の義ではなく、イエス・キリストの義で、義とされたという意味です。それはまた、私たちが無罪とされ、義とされているという意味です。
22. 「私は義とされている」とは、「私は決して罪を犯したことがないかのように義とされている。」とされていることなのです。私がイエス・キリストの義で.....とされているのは、イエスは罪を犯したことがないからです。イエスには罪はなく、覆い隠さなければならない過去もありません。
23. イザヤ 61:10 はこう言っています。「わたしは主によって大いに楽しみ、わたしのたましいも、わたしの神によって喜ぶ。主がわたしに、救いの衣を着せ、正義の外套をまとわせ、花婿のように栄冠をかぶらせ、花嫁のように宝玉で飾ってくださるからだ。」私たちは、.....と義を受け取ります。イエスを信じ、イエスが私たちのためのいけにえとなってくださったことを信じる時、私たちは救いの衣を着せていただきますが、それだけではなく、義の外套でも覆われるのです。

私たちの状況の中にイエスの血を適用できる宣言をしましょう。

「イエスの血によって、私は義とされ無罪とされました。罪を犯したことがないかのように義と認められています。」

### 4. 聖化

イエスの血と聖化のつながりを理解するために、ヘブル 13:12 を開いてみましょう。「ですから、イエ

スも、ご自分の血によって民を聖なるものとするために、門の外で苦しみを受けられました。」

24. 原語のギリシャ語で「聖化」は、.....に関連する語です。

25. 聖化には 2 つの側面があります。

(ア) 一つ目の側面：私たちは.....と、汚れたすべてのものから分離されます。

(イ) もう一つの側面は、私たちは神の聖さで.....くされます。

ヘブル 12:7-11 に、人間の父の懲らしめと、神の懲らしめについての類似点と相違点が書かれています。

*訓練と思って耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が懲らしめることをしない子がいるでしょうか。もしあなたがたが、だれでも受ける懲らしめを受けていないとすれば、私生子であって、ほんとうの子ではないのです。さらにまた、私たちには肉の父がいて、私たちを懲らしめたのですが、しかも私たちは彼らを敬ったのであれば、なおさらのこと、私たちはすべての霊の父に服従して生きるべきではないでしょうか。なぜなら、肉の父親は、短い期間、自分が良いと思うままに私たちを懲らしめるのですが、霊の父は、私たちの益のため、私たちをご自分の聖さにあずからせようとして、懲らしめるのです。すべての懲らしめは、そのときは喜ばしいものではなく、かえって悲しく思われるものですが、後になると、これによって訓練された人々に平安な義の実を結ばせます。*

26. 私たちの肉の父は、自分が良いと思うままに私たちを懲らしめますが、神の.....はまったく別のレベルです。「霊の父は、私たちの益のため、私たちをご自分の聖さにあずからせようとして、懲らしめるのです。」それは何よりも私たちが受ける義のためで、神の聖さにあずかるためです。

27. 私たちは、イエスの.....によって神の聖さにあずかります。

次のように宣言しましょう。

「イエスの血によって私たちは聖くされ、聖とされ、神のために選ばれ、罪から離れ、神の聖さで聖くされます。」

イエスの血が私たちにしてくださる神のことばについて、この宣言をするたびに、私たちはあかしのヒソ

ブを鉢の中に浸し、私たちの上に振りかけているのです。

## 5. いのち

28. たましいを.....のは血です。レビ記 17:11。「なぜなら、肉のいのちは血の中にあるからである。わたしはあなたがたのいのちを祭壇の上で贖うために、これをあなたがたに与えた。いのちとして贖いをするのは血である。」これは、神のいのち、創造者のいのちが、イエスの中にあることを言っています。

29. イエスの血の一滴は、サタンの王国全体にある力よりも強力です。なぜなら、その血の中で私たちは永遠の非被造物、つまりすべての創造主である神ご自身の計り知れないいのちを得ているからで、すべてが創造される前に存在していた.....だからです。

ヨハネ 6:53-57 で、イエスのからだと血に関して言っています。

『まことに、まことに、あなたがたに告げます。人の子の肉を食べ、またその血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。わたしの肉はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物だからです。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしも彼のうちにとどまります。生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。』

30. 聖餐式についての多くの教えが、単にイエスの.....を記念するというものですが、聖書はそれ以上のことを私たちに教えています。私たちはイエスの肉を食べ、イエスの血を飲みます。この理由は単純です。そうすることで、私たちは私たちの死ぬべきからだの中に、永遠のいのちを受け取ることができるのです。

I コリント 10:16 ではこう言っています。「私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血にあずかることではありませんか。私たちの裂くパンは、キリストのからだにあずかることではありませんか。」

31. 聖餐式にあずかる時、私たちは主イエス・キリストの血と.....にあずかっています。

その次の章、I コリント 11 章でパウロはこう書いています。

私は主から受けたことを、あなたがたに伝えたのです。すなわち、主イエスは、渡される夜、パンを取り、感謝をささげて後、それを裂き、こう言われました。『これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。』夕食の後、杯をも同じようにして言われました。『この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。』ですから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです。( I コリント 11:23-26)

32. この聖句で、聖餐式にあずかる 2 つの特定の理由がわかります。

(ア) からだ(パン)も血(ぶどう酒)も、それをイエスの.....として行ないます。しかし、それ以上に何ををするのでしょうか。からだと血にあずかります。

(イ) 私たちは再び主が来られるまで、主の死を.....ます。たまにではなく、頻繁に行なうことに注目してください。

33. 聖餐式にあずかるとき、時間の概念の外にいます。私たちには、.....以外の過去はなく、主の再臨以外の未来はありません。私たちは主が来られるまで、主の死を告げ知らせ、それを行なうたびに、自分自身に主が再び来られることを思い起こさせるのです。

信仰によって、これを告白しましょう。

「主イエスさま、私たちがあなたの血にあずかるとき、その中にあるあなたのいのち、永遠で終わることのない神の聖なるいのちを受け取ります、主よ、感謝します。」

今、主を受け取りましょう。あなたの心と思い、肉体にも神のいのちが満ちますように。使徒パウロは、いずれ死はいのちに飲み込まれると言っています。私たちのからだには病、衰えなど、死に向かう進行中のプロセスがあります。それらは神のいのちによって日々飲み込まれるものです。しかし、パウロは私たちの外側は衰えても、内なる人は日々新しくされると言いました。それにより、私たちの働きが終わるまで外側の人を守るために、内なる人には十分ないのちが与えられているのです。

## 6. とりなし

イエスの血の適用の最後の 2 つは、時間の領域の中から、私たちの願う最終地点である天の永遠

の領域の中へと導くものです。私たちの新約聖書の体験と、旧約聖書のシナイ山でモーセが神に近づいた体験を比較して、ヘブル 12 章にこう書かれています。

しかし、あなたがたは、シオンの山、生ける神の都、天にあるエルサレム、無数の御使いたちの大祝会に近づいているのです。また、天に登録されている長子たちの教会、万民の審判者である神、全うされた義人たちの霊、さらに、新しい契約の仲介者イエス、それに、アベルの血よりもすぐれたことを語る注ぎかけの血に近づいています。（ヘブル 12:22-24）

まず、最初の文の「あなたは・・・近づいているのです。」は、実は過去形です。私たちは近づこうとしているのではなく、すでに近くに来ているのです。

34. 私たちの近くにある 8 つのものは、

- (ア) .....山
- (イ) 生ける神の都、天にある.....。これは今地上にあるエルサレムではなく、天にあるものです。
- (ウ) 無数の.....の大祝会。
- (エ) 天に登録されている長子たちの..... - 新生し、天に名前が記されている者たち。
- (オ) 万民の.....である神。
- (カ) .....された義人たちの霊。
- (キ) 新しい.....の仲介者イエス - 私たちだけで神のさばきに向き合うことはできないという、もう一つの側面です。私たちはすべての罪からきよめてくださるイエスの贖いの死を必要とします。
- (ク) アベルの血よりも優れたことを語る.....の血。

ここで、イエスの血とアベルの血を比較しましょう。おもに 3 つの対比があります。

- アベルの血は自分の思いに逆らって流された。イエスはご自身の血を喜んで与えてくださった。
- アベルの血は地に注がれた。イエスの血は至聖所で注がれた。
- アベルの血は復讐を叫んだ(創世記 4:10)。イエスの血はあわれみを懇願した。

この素晴らしい真理を告白しましょう。

「主よ、私が祈ることができない時でさえ、イエスの血が天で私のためにとりなしてくださっていることを感謝します。」

## 7. アクセス

ヘブル 10:19-23 です。

こういうわけですから、兄弟たち。私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所に入ることができるのです。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのためにこの新しい生ける道を設けてくださったのです。また、私たちには、神の家をつかさどる、この偉大な祭司があります。そのようなわけで、私たちは、心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか。約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。

35. ヘブル書の3つの聖句を比較すると、新しい真理を発見できます。ヘブル 3:1 は、イエスは「私たちの告白する大祭司」であると言っており、4:14 では、「私たちの信仰の告白を堅く保つ」と言っていますが、10:23 では、「私たちは動揺しないでしっかりと…」とあります。私たちが動揺せず、告白する必要があるということは、何らかの.....があるということが確かだとわかります。私たちは周りのすべてが敵対しているように思えても、正しい告白をし続ける必要があります。

36. 20節の「新しい生ける道」ということばを読むとき、アロンが一年に一度至聖所に入る時、垂れ幕と贖いのふたの間に血を.....たび振りかけなければならなかったことを思い起こさせます。

デレクは自身の「Extravagant Love(なんという愛)」という著書の中で、アロンと同様イエスもまた七たび血をふりかけたということを聖書から示しています。

- ①ゲッセマネの園で、汗が血のようにしたたり落ちた(ルカ 22:42)。
- ②大祭司の家で打たれた(マタイ 26:67)。
- ③イエスはむち打たれた(マタイ 27:26)。
- ④イエスのひげが抜かれた(イザヤ 50:6)。
- ⑤いばらの冠が頭にかぶせられた(マタイ 27:28,29)。
- ⑥イエスの手足がくぎで十字架につけられた(マタイ 27:35)。

⑦槍がイエスの脇腹を突き刺した(ヨハネ 19:34)。

この素晴らしい真理を宣言しましょう。

「主よ、イエスの血の注ぎかけによって、私が宇宙で最も聖なる場所であるあなたの臨在の中に入ることができることを感謝します。」

最後に、このメッセージの最初に学んだ黙示録 12:11 を思い出しましょう。

私たちは小羊の血と私たちのあかしのことばによって、サタンに勝利し、死に至るまでのちを惜しみません。

## 第 24 課

# いやしを妨げるもの

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

自身のミニストリーを通して、実に何千人もの人が神の力によって奇蹟的にいやされた、とデレクはあかしています。その反面、いやされなかった人々もおり、その中には素晴らしい聖職者たちも含まれていました。すべての人がいやしを受けるのではないことを認め、いやされなかったとしても、そのことを隠そうとしないことが大切です。

なぜ、いやされる人といやされない人がいるのか、私たちには説明できませんが、申命記 29:29 は私たちに正しい方向性を示しています。「隠されていることは、私たちの神、主のものである。しかし、現されたことは、永遠に、私たちと私たちの子孫のものであり、私たちがこのみおしえのすべてのことばを行うためである。」私たちは、神が隠しておられることを詮索するように召されているのではなく、明らかにされている真理を学び、行動に移すことが求められているのです。

神が明らかにしておられるいやしを妨げるものがいくつかあり、私たちがそれらを理解し、取り除くと、多くの場合主からのいやしを受け取ります。このメッセージで、デレクは聖書と彼自身の広範囲にわたる経験に基づいて 7 つのいやしの障壁を体系的に教え、神の素晴らしいいやしを受けるために私たちが整えるように導いています。

### まとめと質問

このセクションはメッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

あなたがこのメッセージを聞いて、イエスの十字架の死を通して与えられるいやしとあなたとの間にある、取り除かれるべき障壁を主が示してくださっていることを願います。

聖書は、イエスの打ち傷によって私たちはいやされたと教えています。いやしがすぐには起こらないこともあります。無知、不信仰、告白していない罪、他の人に対する憤りと赦さない心、オカルトへの関与、フリーメイソン主義、また、のろいを伴った他の偽りの宗教などから来ているものなど、私たちが取り除くことのできる障壁があります。加えて、悪魔は私たちの人生に介入する正当な権利を持っているので、病気の原因やいやしを妨げる悪魔的な働きに気づく必要があります。

いやしについて考えるとき、いやしの必要以上に、神との関係が必要であることを忘れないでください。デレクの「強さの源」というメッセージからの3つの引用を見てみましょう。

一般的に、あなたが力について語るとき、人々は耳を開き、いやしについて語るとき、ほぼ絶え間なく人々がやって来ます。また、クリスチャンの働きの劇的なあかしについて語る時、人々は聞く態勢ができています。しかし、神自身について本当に教えていることを、私が耳にすることはほとんどありません。神に根差していないすべてのものは、悪の洪水によって押し流されてしまうのだと、私はあなたに言いたいのです。

神の第一の願いは、私たちをご自身の中へ導くことで、契約や律法、あるいは約束の地の中へと導くことではありません。それが神の心からの願い、変わらない目的です。私は、この世で唯一安全な場所、それは主ご自身との深く親しい、個人的な交わりを持つことであるとあなたに伝えたいのです。

もし、あなたが神ご自身を避けているなら、あなたは完全に間違っているのだと、強く言わせてください。もし教理や教会の仕組み、あるいは宣教に興味があるだけで、神との関係がないなら、あなたは完全な間違いを犯しています。神はあなたを祝福し、助け、あなたのためにできることをしてくださるでしょう。しかし、もしあなたが天で何が起きているのかを聞くことができないなら、次のような、神の心の深い嘆きを聞くことになるでしょう。「彼らは私が差し出す、すべてのものを欲しがるが、私自身には興味がないのだ。」

それが私たちに当てはまらないことを確認しましょう。いやしは素晴らしいのですが、それは常に、神ご自身を望むことの次に来るべきものです。

以下の空欄を埋めてください。

## 無知

一つ目、おそらく最も一般的な障壁は、「無知」でしょう。

1. 無知と言うとき、それは特に、神の.....と神のみこころに対するものを指します。多くのクリスチャンが、明確でシンプルな真理と神のことばの教えを知りません。
2. イザヤ 5:13 で神は言われています。「それゆえ、わが民は無知のために捕らえ移される。」彼らの大きな問題は知識に欠けていることでした。クリスチャンである私たちにとって、それは特にイエスが.....で完成されたことについての知識がないという意味です。

3. 主はホセア 4:6 で非常に似たことを言っています。「わたしの民は知識がないので滅ぼされる。」私たちの学びはプロセスですが、.....を一掃するために、私たちは神のことばの霊的栄養への飢え渇きが必要です。

主に赦しを求め、神のことばを知ることにより私たち自身を主にささげましょう。

主よ、私自身の落ち度によって、いろんな形であなたのことばとみこころに無知であったことを認めます。主よ、それを罪として告白し、悔い改めます。私を赦し、今日からもっと熱心に真理を求めることができるように助けてください。イエスの御名によって。アーメン。

## 不信仰

二つ目は、これも教会内で極めて一般的な障壁で、「不信仰」です。

4. 多くの教会で、不信仰は害のない弱さのように見なされていますが、それは間違いです。新約聖書では、不信仰は.....であると言っています。それを認めるとき、私たちは不信仰から抜け出す準備ができ、神が私たちのために持つておられる約束を受け取るために、神を信じる道が開かれます。
5. ヘブル 3:12-13 にこう書かれています。「兄弟たち。あなたがたの中では、だれも悪い不信仰の心になって生ける神から離れる者がないように気をつけなさい。『きょう』と言われている間に、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされてかたくなにならないようにしなさい。」著者が不信仰を.....いもの、また、罪と呼んでいることに注目してください。

今、不信仰の罪の赦しを求め、私たちの信仰をシンプルに宣言しましょう。

神さま、イエスの御名によって、私はあなたの元へ来て不信仰の罪を告白します。言い訳はしません。私にはその責任があります。不信仰を悔い改めます。私を赦し、不信仰から解放し、信仰を与えてください。私は父なる神を信じ、御子イエス・キリストを信じ、聖霊を信じ、偽りのない権威ある神のことばによって与えられている啓示を信じます。主イエスが言われた、「神のことばは真理です。」(ヨハネ 17:17)ということばを信じます。アーメン。

## 告白していない罪

三つ目の障壁は、全員ではありませんが、多くの人に見られるもので、「告白していない罪」です。

6. 箴言 28:13 は、「自分のそむきの罪を隠す者は成功しない。」ということばで始まっています。これは、人生で成功したいと必死になったり、多くのものを得ようとしたりするけれど、あなたの中に赦されていない罪が隠されているなら、あなたは.....しないということを思い出させます。
7. 自分の罪を.....しなければ、神は知らずにいると考える人が多いようですが、それはばかげています。なぜなら、神はすでに知っておられるからです。神はあなたがしたことを探し出すためにあなたからの告白を求めているのではなく、あなたが告白すれば、あなたを助けることができるので、告白を求めておられるのです。それはあなたのためによいことだからです。告白は神のための情報ではありません。
8. 箴言 28:13 の後半部分は、「それを告白して、それを捨てる者はあわれみを受ける。」です。これは、私たちに.....を示すために、神が罪を明らかにするのだということを理解する助けになります。私たちがすべきことは、自分の罪を告白し、その罪を捨てることです。

まだ告白していない罪がないかを思い出させてくださるよう、聖霊に求めましょう。神は決して戸惑うことはありません。すでにすべてをご存知です。主を待ち望み、心を静め、神があなたの罪を明らかにしてくださいと信じてください。神はあなたを罪に定めたいのではなく、贖いたいのです。聖霊が何か示してくださったら祈ってください。

神さま、私は.....を罪と認めます。その罪から立ち返ることを選びます。私を赦し、イエスの血できよめてください。

Iヨハネ 1:19 はこう言っています。「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」神の赦しを受け取ったなら、神のあわれみとあなたへの愛を感謝してください。

もし、あなたが自分自身を赦す必要があるなら、このように祈ってください。

神さま、あなたが私を赦してくださったので、私も自分自身を赦します。アーメン。

### 他の人への憤りと赦せない心

四つ目の障壁は、先ほどの無知、不信仰、告白していない罪に深く関連しているもので、他の人に対する憤りと赦せない心です。再び、これはキリストのからだの中にとても多く見られますが、聖書が言っていることを信じ、それに従っていこうとするなら、この障壁はすぐに取り払われるでしょう。

イエスは言われました。「また立って祈っているとき、だれかに対して恨み事があったら、赦してやりなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの罪を赦してくださいませ。」(マルコ 11:25)

9. この聖句で、イエスは私たちの祈る時の態度について言っています。私たちが誰かに対して .....を持っていないかどうかを探らなければならないと言っています。
10. もし、私たちが心の中に、憤りや赦せない思いを持ったまま .....なら、私たちの祈りが答えられるための妨げとなってしまいます。
11. もし、私たちが神と透き通ったコミュニケーションを願い、祈りの答えを受け取りたいなら、祈る前に .....に対する憤りなどが心の中に残っていないかを探り、一つでも残っているなら、まずそれを赦さなければなりません。そのあと、自分の祈りを続けることができます。
12. 赦しは .....ではなく、思いの決断です。私たちが他の人を赦すとき、神が私たちを赦してくださる道を開きます。他の人々が私たちにある貸し以上に、私たちは神に対してさらに莫大な貸しがあります。

赦しは超霊的なことではありません。単に利己主義を示し、教えるためのものです。

ヘブル 12:14-15 にこうあります。

すべての人との平和を追い求め、また、聖められることを追い求めなさい。聖くなければ、だれも主を見ることはできません。そのためには、あなたがたはよく監督して、だれも神の恵みから落ちる者がないように、また、苦い根が芽を出して悩ましたり、これによって多くの人が汚されたりすることのないように…

私たちの心の中の苦い根が、悩みや汚れの原因となっていないかを示してくださるよう、聖霊に祈り求めましょう。それには、両親が私たちを正当に取り扱ってくれなかったと感じていることも含まれます。私たちは親を赦す必要があります。なぜなら聖書は、あなたの父と母を敬うことは、祝福の約束を運ぶ第一の戒めと教えているからです。(エペソ 6:2)

聖霊さま、イエスの御名によって、私の心に語ってください。苦々しさや怒り、赦せない思いがあるかどうかを示し、赦したいと願うように助けてください。

しばらくの間静まって、あなたの思いの中に特定の事柄や、名前、顔などが浮かぶように主を待ち望みましょう。もし、主が何かを示して下さったら、次のように祈ってください。

主よ、もし私の心に何らかの憤りや苦々しさ、赦せない思いがあるなら、今それを破棄します。それを捨て去ります。これまで私を傷つけた人、不当に扱った人がいるなら、私が神に赦されたように、私もその人を赦します。主イエス・キリストの御名でその人を赦し、私はあなたが私を赦して下さったことを信じます。感謝します。主イエスの御名によって祈ります。アーメン。

## オカルトへの関与

次の五番目の障壁も今日非常によくあるもので、オカルトへの関与です。これは占い、こっくりさんのようなもの、偶像礼拝、占星術、麻薬、ハードロック、その他迷信やサタンのカルトといった様々なかたちで現代文化の中に入り込んでいます。それらは例外なくいやしの妨げとなります。デレクと妻のルースは、いやしを求めて来た人々のいやしを遮っているオカルトの暗い影が、その人々の人生に残っているということ、数え切れないほど経験しました。

13. 出エジプト 23 章で、.....の地に入る前に、その地でなされている礼拝の形や宗教をどのように取り扱うべきかという、モーセからイスラエル人への指示を見ることができます。
14. 24 節でモーセは言っています。「あなたは彼らの.....を拜んではならない。仕えてはならない。また、彼らの風習にならってはならない。これらを徹底的に打ちこわし、その石の柱を粉々に打ち砕かなければならない。」つまり、どのような種類のオカルト的風習にも関わってはいけないということです。

15. それを踏まえて、モーセは言います。「あなたがたの神、主に仕えなさい。主はあなたのパンと水を祝福してくださる。わたしはあなたの間から病気を除き去ろう。あなたの国のうちには流産する者も、不妊の者もいなくなり、わたしはあなたの日数を満たそう。」(25 節)。何と素晴らしい約束でしょう。流産、不妊、いかなる婦人疾患もどんな病気もなく、全生涯にわたる保証です。あなたはそれが欲しいと願いませんか。しかし、それはあらゆる形での.....を完全に打ち砕いた人々にだけ与えられるのです。

もし、意図的であっても、なくても、あなたに解放される必要のあるオカルト(魔術)に関与した領域が一つでもあるなら、聖霊が示してくださるようによく求め始めましょう。主が何か示されたら、次のように祈ってください。

主よ、私が知らないうちにでも、オカルトに関わってきたものがあるなら、それは罪であることを告白し、破棄します。私を赦してください。今あなたにそのようなものと二度とかかわらず、私自身をあなたにお捧げします。主よ、それらの影響から私を解放してください。今、主の御名で祈ります。

### フリーメイソン主義や他の偽りの宗教

オカルトと密接につながっているもう一つの障壁が、出エジプト 23:32 で浮かび上がっています。「あなたは、彼らや、彼らの神々と契約を結んではならない。」人々が、偽りの神々を持った人々と何らかの契約の中に入る可能性があります。もし、あなたがそうするなら、その人々の罪と彼らの偽りの神々に関与することになるのです。

これはあなたにとっては、かけ離れた空想論的のように思えるかもしれませんが、デレクは一つの具体例を挙げています。英語圏のいたる所に流布している非常に一般的な契約集団、秘密結社のフリーメイソンです。もし、あなたがフリーメイソンに関わっていたら、あなたはのろいの下にあります。あなただけでなく、あなたの家族や子孫ものろいの下に来ます。フリーメイソンは偽りの宗教システムです。

一つの単純な例を挙げると、フリーメイソンの上流階級であるロイヤル・アークはジャブロンという名の神です。ジャというのは、ジェホパの略、ブルはバアルの略、オンは古代エジプトの誘拐の王オシリスの略です。あらゆる礼拝の形式がバアルとオシリスとともにまことの神に混ぜられることは、主の目に忌み嫌われるものです。誰がそれを行なうかは問題ではありません。神はそれに関わる人を忌み嫌います。

もしみなさんの中で、あなた自身であろうと、夫や父親、その他の親戚を通してフリーメイソンに関わっている人がいるなら、放棄する祈りを導きたいと思います。

主イエスさま、私はあなたに仕え、あなたを愛したいです。私の人生、あるいは家族の中に、フリーメイソンや他の儀式ののろいがあるなら、私を解放し、私を赦し、今私の上にあるその力を砕いてください。イエスの御名によって。アーメン。

## のろい

七つ目、デレクが扱う最後の障壁は、のろいと結びついています。以下は、その人やその家族の人生に働いている、のろいの一般的兆候のリストです。もし、これらのいくつかにあなたやあなたの家族が当てはまるなら、のろいがあなたの上にあるかもしれません。しかし、私たちがのろいから贖われ、祝福を受けるためにイエスがのろいとなってくださったという、良き知らせがあります(ガラテヤ 3:13-14)。ほとんどの場合において、私たちはそののろいを破棄し、解放を宣言する必要があります。

16. 以下は、7つのカギとなるのろいの兆候です。

- (ア) .....、感情的な疾患 - 特に、それが家系の歴史にあるとき。
- (イ) 繰り返される、.....疾患。特に遺伝性のものなら、のろいのしるしは世代から世代へ引き継がれる。
- (ウ) 度重なる.....や婦人疾患
- (エ) .....の崩壊や家庭不和
- (オ) 継続する.....困窮。単に一時的なものではなく、常に貧困である状態。
- (カ) .....の傾向
- (キ) .....の歴史、あるいは不自然な死

上記のリストを見るとき、神が罪に定めるためではなく、贖いのためであることを忘れないでください。神はあなたを助けたいと願っておられ、あなたの必要をすでに備えてくださっています。まず、この宣言から始めましょう。

「主イエスさま、感謝します。あなたは、私のがのろいから贖われるために、のろいとなってくださいました。」

この祈りをするとき、のろいはあなたから取り去られるでしょう。あなたは瞬間的に変えられます。あなたの人生を覆っていたその暗い影は、神の光に道を譲ることになります。のろいの下にあることを表わす一つのカギとなることは、フラストレーションです。すべてののろいから解放されるように、今祈りましょう。

*主イエスさま、感謝します、あなたが十字架でのろいとなってくださったのは、私のがのろいから贖われ、祝福の中へ入れられるためでした。あなたがなされたことのゆえに、主イエスの尊いお名前によって私と私の家族を覆うすべてののろいから私を解放し、私をあなたの十字架上で血潮によって買い戻してくださった祝福を宣言します。感謝します。*

あなたが解放を受ける最善の方法は、続けて感謝し、主をほめたたえることです。これについてのさらなる教えは、「のろいからの解放」というメッセージにあります。

### **悪魔的活動**

いやしに対する特定の障壁の教えの後、いやしを求めるときに注意しなければならないことをデレクは非常に簡潔に語っています。病気は時に悪霊の存在と関連していることがあります。

17. イエスのミニストリーについて、ルカ 4:40-41 に記録されている、「日が暮れると、いろいろな病気で弱っている者をかかえた人たちがみな、その病人をみもとに連れて来た。イエスは、ひとりひとりに手を置いて、いやされた。また、悪霊どもも、『あなたこそ神の子です』と大声で叫びながら、多くの人から出て行った。」というのがあります。いやしのために病人に.....を置くミニストリーが、悪魔を追い出すことと関連していることに注目してください。

18. ....の超自然的な力が働こうとすると、悪霊はそれ以上我慢できず、出て行くしかありません。

悪霊からの解放は、信者の人生に大きな違いをもたらす教えとして非常に重要な領域です。デレクはこのメッセージで少しだけ触れましたが、それについてさらに深く扱っている、「解放の基礎」というメッセージをぜひお聞きください。

## 「私たちが直面する敵」シリーズ

### 導入

この4回のシリーズで、私たち信者が戦いの中にあることを理解、認識できるように、聖書に示されているサタンの王国の働きについてデレクは教えています。

第一回は、「サタンの王国の構造」という学びで、サタンの王国の起源、権威のレベル、支配の領域とその作用の仕方を取り扱います。第二回は、「魔術の性質」で、墮落した人間の宗教と魔術がどのように教会に入り込むかについて説明します。第三回の「反キリストの霊」では、第4回の「教会の勝利」で締めくくる前のテーマを取り扱います。

最初に到着点を知ることが重要です。その到着点とは、「イエスがご自身の教会のために勝利した」ことですから、最初の3つの学びの内容で恐れたり、失望しないでください。私たちが神の子どもとして神の願う勝利者となるために、敵がどのように働くのかを知ることが重要です。黙示録 21:7 はこう言っています。「勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。」ですから、勝利を得る人はすべてを受け取ります。勝利できない人は何も受けることができません。

黙示録 12:11 には、「兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。」と言っています。勝利者となるために不可欠なものが3つあります。

- 小羊の血
- あかしのことば
- 全き献身 - 生き残ること以上に神のみこころを行なうことを重要とする

## 第 25 課

### 「私たちが直面する敵」 第一回

## サタンの王国の構造

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

これは、「私たちが直面する敵」というテーマの 4 回シリーズの最初の学びです。私たちクリスチャンが実際に敵に直面しているということに、あなたは気づいているでしょうか。力強く行動的な敵が自分に敵対していることに気づいていないことは、非常に危険な状況です。

私たちが直面している敵は血肉のものではなく、目に見えない霊の存在です。デレクが取り扱うこの学びは、人間の感覚によって見分けることができるものではありません。聖書が言っている、「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの」( I コリント 2:9)とは、目に見えない霊的なものです。これからお話しすることは、みことばを通してのみ理解できることです。聖書以外に信頼できる確実な情報はありません。

多くの人は、目に見える、触ることができる、聞こえる、味わうことができるものが真の実体であると考えます。実を言うと、歴史を通して哲学者たちはそのようなものは、真の実体ではないとの結論に至ったのです。それらは永久的ではなく一時的なもので、ほとんどあてになりません。あなたは自分の感覚に頼ることはできません。歴史を通して、あまりにも多くの哲学者たちがその結論に至ったことは驚くべきことです。聖書も同じことを言っています。パウロは、見えるものは一時的であって、目に見えないものこそ、永遠のものであると言いました。つまり、「感覚の世界」のものは一時的なものにしか過ぎないのです。それらは部分的に現実的なだけで、長続きしません。しかし、私たちが見ることができず、私たちの感覚によって感じるできない霊的な世界のものこそ、真に実在のものです。そしてそれらは続いていくものです。

ですから、このようなテーマを取り扱う時、私たちは思いを調整し、自分自身にこう言い聞かせなくてはなりません。「私は、見えるもの、触れることができるもの、聞こえるもの、味わうことのできるものに自分を制限せず、異なる世界のものに対して、聖霊を通してみことばで与えられる啓示に心と思いを開きます。」

パウロはエペソのクリスチャンたちのために、「神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えてくださいますように。」と祈りました(エペソ 1:17)。今、私たちが知恵と知識の霊である神のことば

に心を開くとき、神が啓示を与えてくださるように祈りましょう。なぜなら、私たちは啓示によってのみ知ることができるものを取り扱うからです。

## まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

聖書は私たちが恐れを抱くような多くの真理を啓示していますが、神は私たちが傷つけるためではなく、私たちの益のためにそれらのことを示してくださるという事実には平安を得なければなりません。私たちが理解し、適切に応答するために、神は私たちが知らなかったことであっても、それがすでに存在する真理を示してくださるのです。

霊的戦いのテーマについて言えば、あなたが気づいていても、気づいていなくても、クリスチャンである私たちは現実的に戦いの中にあります。私たちが戦いの被害者となるためではなく、むしろイエスが十字架で私たちのために勝ち取ってくださった勝利を通して勝利者となるために、神は戦いについて、またどのように備えるべきかについて明らかにして下さい。

以下の空欄を埋めてください。

### 敵対する2つの王国

1. このメッセージで、デレクは互いに.....する2つの王国があるということを語っています。世界には英国やスウェーデンのような君主制の王国などが今も存在しますが、そのような国についてではなく、目に見えない霊的な王国の事について考えていきます。一つは神の国、もう一つはサタンの王国です。
2. マタイ12章でパリサイ人たちから、イエスは悪霊のかしらベルゼブルの仲間だから悪霊を追い出すことができるのだと非難されています。イエスは、それはとても非論理的で、ばかげしていると反論しました。  
(ア) 26節でイエスはこう言っています。「もし、サタンがサタンを追い出して仲間割れしたのだったら、どうしてその国は立ち行くでしょう。」このように、イエスはサタンには.....があると述べています。

(イ) 28 節ではまたこう言っています。「しかし、わたしが神の御霊によって悪霊どもを追い出しているのなら、もう神の国はあなたがたのところに来ているのです。」ここでイエスは、もう一つの王国である、.....の国があることを明らかにしています。

3. イエスはご自分のミニストリーには、その 2 つの王国を明るみに出し、ご自身の力と権威によって、を追い出すという特定の目的があることを示しておられます。目に見えない霊的存在である悪霊は、サタンの王国の象徴です。イエスとイエスに従うしもべたちは神の国の象徴で、悪霊を追い出すときに、神の国とサタンの王国の目に見える衝突が明るみに出されます。
4. イエスとそのしもべたちがサタンの悪霊を追い出すことができるという事実は、.....の国がサタンの王国よりも力強いという何よりの証拠です。

### サタンの王国の性質と構造

サタンの王国の構造を示すおもな聖句は、エペソ 6:12 です。

*私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天に  
いるもろもろの悪霊に対するものです。*

このテーマについてギリシャ語で学び、何年も教えてきているデレクは自身の翻訳として、この節を以下のように読み解いています。

「私たちの闘いは肉体を持った人間に対するものではなく、様々な領域と権威の順序における支配力の位に対するもの、現在の暗闇の世界の制圧者に対するもの、空中にいる悪霊たちに対するものです。」

5. この聖句を考察するときに以下のことに注目してください。
  - (ア) これは、.....技です。一対一で争うあらゆる闘いです。中でもレスリングは最も激しいものです。
  - (イ) 私たちは.....を取り扱っているということを理解しなければなりません。人間という存在ではなく、肉体を持たないけれども、確かに人格を持った霊的存在が相手です。
  - (ウ) サタンの王国は.....のない非常に組織化された王国です。なぜなら、サタンは墮落

するときに持っていた天の体系である、神から直接与えられた組織的な体系をそのまま取り入れたからです。

(エ) その戦いは支配力に対するものです。サタンの王国には支配力の差による特定の霊的.....のレベルがあります。

(オ) 「現在の暗闇の世界の制圧者に対する」 - 「制圧」というのはサタンの言葉ですから、それがサタンの体系であることがわかります。神は決して.....しません。ですから、私たちは制圧に出くわすとき、背後にサタンがいることがわかります。

(カ) サタンの野望と戦略は、全世界を制圧する立場に来ることです。しかし、彼は.....のシステムで制圧するでしょう。ご存知のように、神の国は光の王国で、サタンの王国は暗闇の王国です。神の国にいる人々は自分たちが仕えているお方を知っており、自分が何をしているのかを非常に明確に理解しています。しかし、サタンの王国にいる人たちのほとんどは、自分たちが仕えているものの正体さえ知らず、実際自分たちが何をしているのかもわかっていません。

(キ) 「空中にいる悪霊たちに対し、」というフレーズは、「空中」と呼ばれる領域にいる、邪悪、力強さ、反抗の霊の存在の.....全体を意味します。

## ルシファーの墮落

このサタンの王国がどのように存在するに至ったかを見るにあたり、イザヤ 14 章から始めましょう。

*暁の子、明けの明星よ。どうしてあなたは天から落ちたのか。国々を打ち破った者よ。どうしてあなたは地に切り倒されたのか。*

*あなたは心の中で言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山にすわろう。密雲の頂に上り、いと高き方のようになろう。』*

*しかし、あなたはよみに落とされ、穴の底に落とされる。*

6. ルシファーという名の意味は、.....をもたらす者、輝く存在という意味です。

7. この御使いの存在がルシファーと呼ばれたのは、彼が非常に栄光あり、美しかったからですが、彼は悲しい間違いを犯してしまいました。自分の造り主に反抗し、自分を神と.....しようとしたのです。

8. ピリピ 2:6-7 でイエスについて、「キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず」(口語訳)とっており、続けて 9 節では、「それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。」ルシファーとは対照的に、イエスは神の主権により、神と.....地位を持っておられましたが、ご自分を低くしたので、神がイエスを高く上げたのです。
9. イザヤ 14:13、14 節で、ルシファーは「私は〜しよう」と 5 回言っています。これは神のみこころに敵対する被造物の意志を表わしています。カギとなることばは、.....です。
10. 14 節の「いと高き方」とは、全能の神のことです。そして、「〜のように」とは、「私は神と等しくなるう。」という意味です。つまり、サタンの.....は、自分自身を神と等しい地位に上げることでした。彼は、「私は神のようになれる。」と自分で言うほどに、非常に頭が良く、美しく、また栄光を持っていたことがその動機でした。

エゼキエル 28 章でこれと同じく、際立った存在の様子が見られます。28 章は 2 つに区分でき、それぞれは悲しみの声、宣言です。一つ目はツロの「君主」、もう一つはツロの「王」です。ツロの君主は、自分は神であると宣言していますが、人間の存在です。一方、ツロの王についての描写を読むと、ツロの王は人間の存在ではないことがはっきりとわかります。

これは、サタンの王国の作用の仕方を表わす非常に興味深いものです。私たちにはツロの君主である人間の支配者がいますが、その背後の目に見えない領域にサタンの支配者であるツロの王がいるのです。ある意味、人間の支配者は動きを指図する、目に見えない領域からの糸で動かされる操り人形以上の何ものでもありません。あなたがこの真理を理解し始めたなら、歴史と政治がまったく異なる意味を持つようになります。いわゆる歴史の偉人たちの多くが行なってきたことは、単にサタンの王国の目に見えない糸によって動かされてきた、サタンの操り人形が行なってきたことなのです。

以下の質問に答える前に、エゼキエル 28:12-19 を読んでください。

11. 多くの人々がルシファーは天での賛美楽団の責任者であったと信じています。それが正しいか誤りかは別にして、13 節によると、彼は多くの音楽について知っており、墮落した被造物としてサタンは今もなお、人々を虜にするために.....を用いています。
12. 13 節の最後と 15 節で、ルシファーは.....存在であったことがわかります。彼は神のように永遠の存在ではありません。

13. 15 節はルシファーが.....、反抗が見出されるまでは完全であったことがわかります。反抗の深刻さは見過ごされがちですが、Ⅰサムエル 15:23 で、悪魔(かつてはルシファー)と反抗のつながりを見ることができます。「まことに、そむくことは占いの罪、従わないことは偶像礼拝の罪だ。」
14. 17 節の「あなたの心は・・・高ぶり」というのを見るとき、それが最初は地上ではなく、天で起こったことがわかります。それは.....の罪で、現在でも、あらゆる罪の中で最も危険で致命的です。

この箇所によくある疑問は、「サタンが天から追い出されたのなら、彼はどのようにしてなおも天に居ることができるのか。」です。答えは単純です。二つ以上の天があるのです。聖書では一貫して天は複数形で表わされています。(創世記 1:1、Ⅱコリント 12:2、エペソ 4:9-10)

### 空中の戦い

ダニエル 10 章を読むと、ダニエルは非常に成熟した信者で、ある時三週間断食をすることを決めたとあります。彼はすべての食物を絶ったのではなく、非常に簡素で基本的な食物だけを食べ、ぶどう酒も飲みませんでした。(このような断食はのちにダニエル断食と呼ばれるようになりました。)

ダニエルは自分の民であるユダヤ人の将来について真剣に神を求め、3 週間祈りましたが、何も起こりませんでした。3 週間後、素晴らしく力ある天の存在が彼の祈りの答えを携えてやって来ました。その力強さは、ダニエルも共にいた人々も震え上がるほどで、ダニエルはまさにヨハネがイエスの復活と昇天を目撃した後のように、からだの力を全く失い、死人のように地に倒れました(黙示録 1:17)。しかしこの御使いは、ダニエルの祈りの答えを持ってやってきたのです。御使いは神から遣わされたのでした。

15. この箇所から、私たちが祈りやとりなしをするときの助けとなることを学ぶことができます。
- (ア)ダニエルが祈り始めた.....の日に御使いは遣わされました。しかし、神の御座から地上にいるダニエルのところに行く途中、サタンの妨害にあったため、着くのが 3 週間遅れました。
- (イ).....が出くわした妨害は人間の存在からのものではありませんでした。人間は御使いのように耐えることができません。それは地上ではなく、神のおられる天でもなく、神の天と地上の間のどこかの領域です。それはサタンの領域です。

- (ウ)ダニエルの祈りは、.....のすべてを動かしました。神の御使いを動かし、サタンの使いの妨害に立ち向かいました。
- (エ)ダニエルは答えを得るまで 21 日間持ちこたえ、祈り通さなければなりません。時に、私たちは祈っても答えられないことがあるのは、間違っただけを祈っているわけではないことがあります。事実、私たちは.....ことを祈っていても、妨害されることがあります。
- (オ)ダニエルは.....を通して理解し、神の前にへりくだることを心に決めました。断食は神の前に自分自身をへりくだらせるための一つの方法です。
- (カ)ダニエルの祈りは.....の日に聞かれ、御使いはその答えとともに遣わされましたが、21 日間到着しませんでした。空中でペルシャの君に 21 日間抵抗され、引き止められたからでした。
- (キ)サタンがしようとしていることは、ユダヤ人、イスラエルを彼らの.....に帰せないように縛っておくことです。ダニエルが祈っていたことは、イスラエルを彼らの地に帰らせることでした。
- (ク)御使いは自分の力では打ち破ることができず、.....ミカエルの助けが必要でした。ダニエル 12:1 は常にミカエルが中心におり、ユダヤ人が歴史の中心であることを示しています。ミカエルの任務はユダヤ人を見張り、彼らを滅ぼそうとするサタンのたくらみから守ることだったからです。
- (ケ)ダニエル 10:13 で、御使いはこのように決断したと言っています。「私は彼をペルシャの王たちのところに残しておき…」王たちと複数形になっているので、君は最高統治者であり、.....はその下につく者たちであったようです。
- (コ)ダニエル 10:20 で、御使いはダニエルにこう言います。「私が、なぜあなたのところに来たかを知っているか。今は、ペルシャの君と戦うために帰って行く。」つまり、.....の君との戦いは終わってはいませんでした。ペルシャの君がそれに対処する時、ペルシャ帝国に何が起こりますか。おそらく崩壊で、それは少し後に起こりますが、それが最後の帝国ではありません。
- (サ)ダニエル 10:20 の後半部分で、御使いは続けてこう言っています。「私が出かけると、見よ、ギリシャの君がやって来る。」これは、次に来る主要な帝国の.....的支配者のことを示しています。アレクサンダー大王のもと、ギリシャ帝国はペルシャ王国を完全に打ち負かし、地上のかなりの領域の支配権を掌握しました。そして、アレクサンダーは軍事的征服の偉業の一つとされる、地中海の南沿岸地方も含む、西はギリシャから東はインドまでを 10 年間征服しました。しかし、もう一人が関与している者がいました。アレクサンダーの背後に「君」がいたのです。

16. イスラエルの歴史をざっと見ると、ペルシャとギリシャについても、さらにわかりやすくなります。救い主メシヤはユダヤ人からしか来ないので、人類に対する神のすべての目的はユダヤ民族にあることを覚えておいてください。神の目的がイスラエルを中心とするので、サタンの敵意もまた、イスラエルが中心なのです。つまり、あなたが神の計画の中心にいるとき、あなたはサタンに最も敵意を持たれています。反抗によって神に背を向けた後、ユダヤ人を次々と支配した4つの異邦の帝国により、彼らは自分たちの土地を追い出されました。
- (ア) 一つ目は捕囚とされて連れて行かれた.....です。
- (イ) 二つ目は、ダニエルの時代に力を持っていた、メド・ペルシャ、あるいは.....です。
- (ウ) 三つ目は.....です。
- (エ) 四つ目は.....です。
17. ダニエル 11:1 で御使いはダニエルに言います。「私はメディア人ダリヨスの元年に、彼を強くし、彼を力づけるために立ち上がった。」ここで再び、人間の支配者と人間の指揮官が自分たちだけで独立して動かないことがわかります。彼らの背後には神の御使いとサタンの使いという見えない力が働きます。神の御使いは、地上で神の目的に向かうそれらの支配者たちと人々を強め、サタンの使いはそれらに立ち向かいます。それこそが、クリスチャンが自分たちの国々をつかさどる者たちのために.....べきという、おもな理由なのです。

### サタンの支配

18. 自分の地位から落ちたルシファーであるサタンは、空中に敵対する反抗的王国を作り、反逆した御使いたちの軍勢を支配しています。サタンとその仲間たちを表現するカギとなることは、.....です。神に敵対する者たちです。
19. エペソ 2 章でパウロはクリスチャンに宛てて書いている中で、サタンの支配下にいる人々についてこのように言っています。

あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。私たちがみな、かつては不従順の子らの中にあって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子ら

でした。

- (ア)「不従順の子ら」という言葉は反抗のことで、神に対して.....する者はみな、自動的にサタンのコントロールの下に来ます。私たちが反抗を捨て、自分自身をイエスに従わせるまでは、それが私たちの元々の立場です。
- (イ) それは、肉の思いだけでなく、私たちが明け渡すまでは、神に対して私たちの.....が離れており、神の敵となっています。知識人は最も強烈な神の敵の一つです。
- (ウ)「御怒りを受けるべき子ら」とは、サタンの王国の下層級のことで、地上の人類です。人種や宗派に関係なく、すべての人間は反抗します。神が任命された統治者である.....キリストに心から従わない限り、人間は反抗者で、サタンは靈的力によって人々をコントロールします。
- (エ)この聖句の「空中の権威を持つ支配者」というのは、地表に接する低い.....を表わすので、サタンは地の上を支配するということになります。

20. ヨブ記 41:34 で、私たちはサタンを描いている、海の巨獣レビヤタンの注目すべきイメージを見ることができます。「それは、すべて高いものを見おろし、それは、すべての誇り高い獣の王である。」が人間の心に入り込むことは、神に反抗するサタンの影響によるものであり、サタンのコントロール下に私たちを連れてきます。問題は、神に対する私たちの心の態度です。私たちがイエス・キリストを通して真に神に従い、ゆだねない限り、あらゆる立派な宗教的用語を用い、あらゆる肩書きを誇ることもできて、実際には、私たちはレビヤタンの王国のもとにいるのです。レビヤタンはすべての高ぶりの子たちの王だからです。

21. サタンにはおもに 2 つの野望があります。

- (ア) 一つ目は、全人類を.....することです。デレクがエペソ 6:12 の解説で用いたことばを思い出してください。「現在の暗闇の世界の制圧者」です。
- (イ) 二つ目は、.....を受けることです。サタンは神と等しいと主張し、その資格は得られなかったにもかかわらず、その主張を決して取り下げませんでした。礼拝は神に対してだけのものですから、彼はあがめられるたびに、自分はまだ神であると言い張っているのです。

ギリシャであれ、ローマ、ノルウェー、ヒンズーや他の神々であれ、どんな呼び名であっても、サタンとその使いたちは、同じ存在である異教の神々です。人々がそれらの神々を礼拝するとき、サタンとその使いたちを礼拝しているのです。

墮落した人がサタンの王国につながる特定の道は、様々なかたちであらゆる異教社会で行なわれている魔術を通してです。それは人間の神への反抗を表わす宗教的行ないです。

このメッセージで、神の力と権威の視点からサタンの王国を取り扱うことを学びました。神は私たちに恐れを与えるためにみことばでこれらの真理を表わしたのではなく、むしろ私たちが戦いに備えることができるように、理解を与えてくださっているのです。私たちが気づいていても、気づいていなくても、クリスチャンである私たちは戦いの中にあり、神は主イエス・キリストにある勝利者となるために必要なすべてを与えてくださっています。

私たちが主にある力で、主の栄光のために勝利者となるために、学んだすべてを行なうことができるように主に祈り求めましょう。

天の父よ、私を取り巻く霊的戦いについての新しい理解を与えてくださったことを感謝します。おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊を私に与えてくださり、感謝します。(Ⅱテモテ 1:7) 効率よく効果的に戦うことを学び、真理の帯、義の胸当て、平和の福音の備えの靴、信仰の大盾、救いのかぶと、神のことばである御霊の剣という神の完全な武具を着けることができるように助けてください(エペソ 6:10-20)。そして、霊的要塞を打ち砕くために、あなたが与えてくださった霊的武器を用いるとき、すべての祈りと願いを用いてどんなときにも祈ることができま

すように。  
あなたの守りの中にとどまり、自分の意志ではなく、ただあなたのみこころだけに従うことができますように。今日私は宣言します。「神によって、私たちは力ある働きをします。神こそ、私たちの敵を踏みつけられる方です。」(詩篇 60:12、108:13)

イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

次のメッセージで、私たちの周りにある魔術を認識し、適切に備え、十字架によってそれに勝利するために、魔術の性質を学びます。

## 第 26 課

### 「私たちが直面する敵」 第二回

## 魔術の性質

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

これは、「私たちが直面する敵」シリーズの第二回のメッセージです。第一回では、サタン王国の性質と構造を考察し、その王国が2つのレベルで機能することを学びました。上の層は神の天ではない、どこかの空間にある空中で、目には見えません。この層は神に反逆した御使いたちで成り立っており、下の層は神とメシヤなるイエスの義の統治に従わない人間で成り立っています。デレクは、サタン王国にいるすべての者を表わすカギとなる言葉は「反抗」であると指摘しています。それが御使いであれ、人であれ、神に対して反抗する者たちです。

デレクは続けて、ギリシャやローマ、他の国々で様々な名称で呼ばれているサタン王国を表わす異教の世界の神々について教えました。異教の宗教と異教社会に礼拝されるすべての空中の存在は、サタンの使いです。

それらのサタンの使いにつながるようとする人間のやり方の総称を「魔術」と呼びます。それは墮落した人間の宗教です。それには様々な形や儀式がありますが、共通の特徴が一つあります。それは、様々なサタンの霊的存在につながる様々な方法です。多くの儀式があり、性的なもの、残虐、あるいは汚れたものがほとんどです。代々、人間はサタンとその王国に取り入ろうとして、実に考えるのも恐ろしいことを行なってきました。

このメッセージで、デレクは魔術の性質についてさらに教え、魔術が発展した原因を探ります。肉の行ないとして、また霊的な力としての魔術を探り、それがどのように教会の中に表われているかについても見ていきます。

### まとめと質問

このセクションはメッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

クリスチャン・ホームで育った人や、キリスト教国で育った人にとって、魔術は何か別の時代や遠い

世界のように思えるかもしれませんが、魔術にさらされてきた人にとっては、魔術が現実のもの、有害なものであることに疑いがないでしょう。

このメッセージを通して、魔術は私たちが思っているよりも理解しにくく、社会のあらゆる領域に蔓延していると、あなたが気づくことを願います。神が私たちを暗闇から神の驚くべき光の中へ召してくださったことを、感謝しなければなりません( I ペテロ 2:9)。私たちはもはや魔術に影響される必要はありません。キリストが私たちにより素晴らしい道を示すために来てくださったからです。

以下の空欄を埋めてください。

1. 魔術と神に対する.....の間には直接的なつながりがあります。
2. サウル王が主の命令に背いた後、預言者サムエルはこう言っています。「まことに、そむくことは占いの罪、従わないことは偶像礼拝の罪だ。あなたが主のことばを退けたので、主もあなたを王位から退けた。」( I サムエル 15:23)。この節で、サムエルは 2 つを対比しています。  
(ア) 反抗は.....の一つです。魔術(占い)の根は反抗ですから、反抗や非合法の権威が見られるところには、魔術の非合法な力が働いているとわかります。  
(イ).....ことは偶像礼拝の一つです。かたくなな人は自分の意見を偶像にするので、それが偶像礼拝に当たるのです。
3. 魔術は人々を.....しようとし、聖霊ではない別の霊によってあなたの思う通りに人々を仕向けます。聖霊は決して人々をコントロールしようとしません。

### 魔術の 3 つの要素 - 肉の行ないとしての魔術

ガラテヤ 5:19 でパウロは言っています。「肉の行いは明白であって、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術・・・」

この肉の行ないのリストの真ん中あたりに、「偶像礼拝」と「魔術」が含まれています。それは墮落した肉的な人間を表わしており、それが肉のやり方、墮落した人間の性質です。私たちの墮落した性質は人々をコントロールしたいと願うのです。人々を私たちの思い通りにしようとして、不法な手段を使うことがほとんどです。

4. この種の行ないには 3 つのカギとなる言葉があります。
- (ア) ..... - 子どもや妻、仕事関係の人々、また教会の人々やリーダーも含み、操りによって自分のやり方を通そうとします。
- (イ) ..... - 父親、教師、また他の権威ある人物が叫んだり、脅したり、暴力で自分の下にいる人を脅迫します。
- (ウ) ..... - 操りと脅迫の目的は、常に人々や状況をコントロールすることです。
5. 魔術の最も一般的な罫は、あなたに.....を抱かせることです。反対に、聖霊は人々に罪悪感を抱かせるのではなく、罪と義、さばきを認めさせます(ヨハネ 16:8)。聖霊は特定のことを指して、「あなたは間違っていた。あなたがしなければならないことは、悔い改めて正しく行なうことだ。」と言います。一方、罪悪感はあなたを縛り付けて、放すことはありません。
6. もう一つの魔術の作用は、その人の意見と.....が非常に重要であるとあなたに感じさせようとすることです。私たちがそれに直面するとき、自分自身に問いかけてみてください。「私はあの人に操られようとしているのではないか。私にとって本当にあの人の支持は重要だろうか。」そうすると、ほとんどの場合、その人の意見はたいして重要ではないとの結論に至るのです。
7. ヤコブ 1:14 はこう言っています。「人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです。」人はそれぞれ、力やコントロール、評価、知識に対する.....があります。それは私たちの内で生み出されるのですが、サタンがそれを利用するなら、私たちを自分のコントロール下に置きます。

### **霊的行ないとしての魔術**

では、人間の能力を超えた、超自然的なことについてお話ししましょう。

8. 超自然的な現象のすべてが神から来るというわけではないことを理解することが非常に重要です。多くのものがサタンから来ています。超自然の源はただ 2 つで、それが神からのものでないなら、.....からのものです。
9. サタンの超自然的な全分野は以下の 3 つに分かれると言えます。

- (ア) ..... - これは力の分野で、魔力やのろいのようなものを通して作用します。
- (イ) ..... - これは将来の運勢を占うことで、魔術の知識の分野です。人間の最初の罪が知識への願いであったことを思い出してください。
- (ウ) ..... - これは、ほとんどの場合、媚薬やお守り、悪魔的な音楽、麻薬(ギリシャ語の「ドラッグ」は魔術というギリシャ語から直接来ている)など、幸運を呼ぶと言われるものを通して作用します。

おそらく、魔術の最も強力な武器とは、非常に古くからあるのろいの儀式でしょう。民数記 22 章で呪術医のバラムのことが書かれています。バラムは、神とサタンの両方からの超自然を得ていたため、最も分類が困難な人の一人でした。今日そのような人が多くおり、非常に対処しにくいのです。あることは正しく、あることは間違っているからです。その人がただ神にだけ通じているなら、その人は常に正しく、サタンにだけ通じている人は常に間違っています。しかし、教会の中にいる、時に神に開かれ、時にはサタンにも開かれているという、両方に通じている人々は扱いが非常に困難です。そのような人を扱うには、洞察と権威、勇気が必要です。

10. 聖書に書かれている標準的な習慣がありました。王や他の人にとって、戦いに行くときは、自然のレベルで戦うだけでなく、霊的レベルでの ..... もしていました。戦いで打ち倒すことができる場所に敵をおびき出し、のろうために呪術師を呼ぶという方法でした。(一例として、民数記 22:10-11)
11. 使徒 16:16-24 でパウロとシラスが福音を宣べ伝えるために初めてピリピに着いたとき、占いの霊(ギリシャ語ではニシキヘビの霊)につかれた女奴隷に出会いました。彼女が言ったことは、全く ..... で、その啓示は超自然的に与えられたものでしたが、その源がサタンであったため、パウロはイエスの御名によってその霊に彼女から出て行くように命じ、彼女は解放されました。
12. ヨハネが黙示録 9:21 で邪悪に対する神の罰について、「その殺人や、魔術や、不品行や、盗みを悔い改めなかった。」と言っています。魔術に加えて性的 ..... と暴力があります。現代における暴力の急増には魔術が大きく関わっているため、私たちはこの問題について祈る時、その表面的な行ないについてだけ祈るのではなく、その根も取り扱わなければなりません。

## 教会内の魔術

デレクがメッセージの中で言っているように、教会内の魔術は、多くのクリスチャンにとって何が起きているのか見当もつかない領域です。魔術が教会内に浸透しうる方法を知ることができる聖句は、ガラテヤ 3:1-5 です。

ああ愚かなガラテヤ人。十字架につけられたイエス・キリストが、あなたがたの目の前に、あんなにはつきり示されたのに、だれがあなたがたを迷わせたのですか。ただこれだけをあなたがたから聞いておきたい。あなたがたが御霊を受けたのは、律法を行ったからですか。それとも信仰をもって聞いたからですか。あなたがたはどこまで道理がわからないのですか。御霊で始まったあなたがたが、いま肉によって完成されるというのですか。あなたがたがあれほどのことを経験したのは、むだだったのでしょうか。万が一にもそんなことはないでしょうが。とすれば、あなたがたに御霊を与え、あなたがたの間で奇蹟を行われた方は、あなたがたが律法を行ったから、そうなされたのですか。それともあなたがたが信仰をもって聞いたからですか。

13. ガラテヤのクリスチャンたちは主を知っていました。彼らは救われ、聖霊を受け、奇蹟を見ましたが、1 節でパウロが言っているように、彼らは.....ました。彼らは魔術の影響下に来てしまったのです。
14. 魔術が働いたしるしは、.....のみわざをぼやけさせたことです(1 節)。教会内での魔術の最大の目的は、十字架にかけられたイエス・キリストの現実を隠すことです。
15. 入り込んだサタン力による、おもに 2 つの結果が見られます。
  - (ア) ..... - 神を喜ばせようとして、肉的行ないに戻る。(3 節)
  - (イ) ..... - 神の義に達する方法としてあらゆる律法を守ろうとして、キリストの死の目的を見失ってしまった。(5 節)
16. 肉と律法を行ないによって完全さを求めた結果が、ガラテヤ 3:10 です。「*というのは、律法*の行ないによる人々はすべて、.....のもとにあるからです。こう書いてあります。『*律法の書に書いてある、すべてのことを堅く守って実行しなければ、だれでもみな、のろわれる。*』」律法の一部を守ることは、何の益にもなりません。もし、あなたが律法を守ることによって義とされようとするなら、あなたは常に律法全体を守らなければなりません。私たちは誰ひとり、神の目から見て律法

の行ないによって義とされることはできません。それはサタンの欺きです。

17. キリスト教は.....のかたまりではありません。それを忘れてしまったら、私たちは十字架のビジョンと神の力を失ってしまいます。
18. 今日の教会に多く見られる弱さに立ち向かうには、2つのおもな必要があります。
- (ア) 一つは、イエスの.....の中心性を正しい位置に回復することです。なぜなら、十字架は他のあらゆる宗教とキリスト教とまったく違っているものの一つだからです。私たちが十字架とその独自性を置き換える時、律法のかたまりによって生きることに戻ってしまうのです。変化の力は一つの源、ただ十字架からだけ来るのです。
- (イ) もう一つの関連する問題は、イエスを教会のかしらとしての地位に戻す必要があるということです。なぜなら、神はイエスを教会のすべての上に立つ.....とされたからです(エペソ1:22)。そして問題の根本は、教会がかしらとしてのイエスの地位をしっかりと認識できていないということです。かしらが物事を決断し、からだは従います。どれほどの教会が実際に聖霊を通してイエスによって決断をしているのでしょうか。聖霊の他に何の力が働いていることがあるのでしょうか。魔術です。
19. 肉の行ないとしての魔術の性質であれ、超霊的な魔術の性質であれ、最終的なサタンの望みは、魔術が.....の中で働いていることにクリスチャンが気づくことです。
20. サタンが十字架をぼやけさせたいおもな3つの理由は、
- (ア) 一つ目に、十字架は神が贖った人々に対する神のすべての.....の基礎です。他の基礎はありません。ヘブル10:14はこう言っています。「キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。」イエスの犠牲によって、歴史のあらゆる時代におけるすべての人類に必要なすべてを神は成し遂げられました。それはすべて、十字架によってなされました。
- (イ) 二つ目に、十字架はサタンの完全な.....の手段でした。十字架を通して、イエスは完全に、永遠に撤回できないサタンへの敗北を成し遂げました。サタンはそれをくつがえすことはできませんが、私たちに勝利を歩まないように、その事実を隠そうとします。それは、私たちのために成されたその勝利を私たちがしっかり理解していないからです。
- (ウ) 三つ目に、十字架は真のクリスチャンの歩みのための唯一の力の源です。私たちが勝利の中を歩むことを可能にするのは、十字架のイエスの.....を通してのみです。なぜなら、

イエスの犠牲は、古い人である肉の性質を取り扱ったからです。パウロは、「私たちの古い人はイエスとともに十字架につけられた。」と言っています。彼はその少しあとにガラテヤ書で、「キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を様々な情欲や欲望とともに、十字架につけた。」と言っています。あなたの肉の性質に十字架を適用することを学ばない限り、肉の性質があなたを支配します。あなたがそれを治めることはできません。パウロはローマ 6 章で言っています。「私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減びて、私たちがもはやこれからは罪の奴隷でなくなるためである。」(6 節)。それが十字架の備えです。

私たちが十字架を適用するとき、その適用は前進します。私たちは聖とされつつあります。イエスが成してくださったことは完全、完了、完成ですが、私たちの適用は前進的です。十字架を通してすべて適用できた人は一人もいません。しかし、私たちがきよめのプロセスを通り、聖とされ、神に従い、神の思いを考え、神の道を歩むなら、さらにふさわしい者となっていくでしょう。

しかし、もし魔術が侵入し、十字架をくらませるなら、王の子どもとして歩むべきであるのに、私たちは物乞いや貧しい人のように歩み始めるでしょう。なぜなら、すべての神の良きものは十字架を基礎としてのみ、私たちに与えられるからです。サタンはまさに抜け目がありません。どこを狙えばいいのかを正確に知っています。もし、十字架をくらませることができるなら、サタンは安心して教会を手にすることができるのです。

見分けが重要なこの領域において、主に助けを祈り求めましょう。

天の父よ。イエスの十字架の備えを感謝します。私は十字架だけがあなたの備えの基礎であること、また、十字架はサタンの完全な敗北となり、効果的なクリスチャン生活を歩む唯一の原動力であることを改めて思い起こします。

私の人生の中心に十字架を置き続け、義を求める方法として、肉的な行ないや律法主義に走らないよう助けてください。私は、自分の行なってきたどんな行ないのゆえでもなく、あなたのあわれみと恵みによって義とされていることを宣言します。

主よ、軽率に魔術にたよろうとしたり、自分のやり方をしてきたことを示し、私の心の中に聖霊の光を輝かせてください。あなたに私の人生をゆだねます。私が操りや脅迫によって他の人を支配しようとするのがないように助けてください。私のすべての言動にまさるあなたのいと高き道を私に示してください。貴いイエスの御名によって。アーメン。

次のメッセージで、デレクは「反キリストの霊」を取り扱います。

## 第 27 課

### 「私たちが直面する敵」 第三回

## 反キリストの霊

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

これは、「私たちが直面する敵」シリーズの第三回です。最初の 2 回で、サタンの王国の性質と構造について学びました。ルシファーという名の大天使が神に反逆する御使いたちのグループを率い、新約聖書で「空中」と呼ばれる領域に、神に敵対する王国を作ったというサタンの王国の起源を聖書に基づいてたどりました。イエス・キリストの教会は、サタンの王国に抵抗して空中で戦っていると書かれています。

第二回のメッセージでは、サタンの王国の主な活動であり、その力が現わされるおもな方法の一つである魔術を取り扱いました。多くの人々は、魔術はすでに消え去った中世の時代のような古臭いものと考えているかもしれませんが、それは全くの誤りです。魔術はまさに現実で、人間の歴史の中で今日ほど活発に働いていることはありません。一世代、二世代前にクリスチャン国と呼ばれた多くの国々では、今日魔術による激しい活動が広がっています。

デレクは魔術を 3 つの領域で簡潔に定義しています。

- 第一に、魔術は**肉の行ない**として人間の墮落した性質をそのまま表す方法の一つで、3 つのキーワードがあります。**操り、脅迫、支配**です。魔術の狙いは単純です。他の人々をコントロールし、自分がその人にしてもらいたいことをさせるのです。魔術は反逆と密接に関連しており、人間の神に対する反逆から起こったものです。
- 第二に、魔術は様々な側面と段階を備えた一種の**超自然的なサタンの宗教**です。ほとんどの国において、魔術の祭司は呪術医と呼ばれます。大部分は太古の昔からあり、人々が魔術と関わって来なかった地域は地球上には一つも見出すことができません。そして、世界の非常に多くの地域で今もなお、魔術の霊的な活動が広く行われています。

- そして第三に、**教会内の魔術**で取り扱いましたが、魔術はサタンの見事な一撃の一つです。パウロは、ガラテヤのクリスチャンに宛てた手紙で、「ああ愚かなガラテヤ人・・・だれがあなたがたを迷わせたのですか。」と言っています。そして十字架のイエスのみわざが覆い隠されたことによって、彼らが迷わされたという証拠を見ました。その結果、彼らはイエスが死によって与えてくださったあらゆる特権を奪われてしまいました。

魔術の働きは、霊よりも肉に頼るという**肉の欲**と、肉の欲から出た**律法主義**という2つの側面において、教会の中でその姿を現わしています。おそらく、ほとんどのキリスト教教会がその記述と一致しているのではないかと、デレクは言っています。そのような教会は超自然的な恵みと聖霊の力に背を向け、今や人間的な方法、人間的努力に頼り、ある意味において、あらゆるたぐいの律法主義のシステムに縛られているのです。

## まとめと質問

このセクションはメッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

このメッセージを通して、神は教会に侵入し支配しようとするサタンの方法の一つに対して、あなたの目を開き始めています。おそらくあなたは「反キリスト」という言葉を聞いたことがあると思いますが、その意味をはっきりと理解していなかったかも知れません。あなたは今、最後の反キリストがいることは認識しているでしょう。しかし、真のメシヤに反対し、メシヤにとって代わりたくらむ個々人とグループの背後で働く悪霊もまた存在するのです。

空欄を埋めてください。

1. .....という語は、ギリシャ語の *christos* から来ており、メシヤを意味するヘブル語の *Maschiach* と完全に一致します。私たちが反キリストと言うとき、それは「反メシヤ」と言っていることと同じなのです。
2. 「反」という前置詞は、反キリストの文脈に当てはまる2つの意味を持つギリシャ語の前置詞です。
  - (ア) 一つ目の意味は、.....です。ですから、反キリストの働きはメシヤへの反抗です。
  - (イ) 二つ目の意味は、「～の.....に」で、つまり、その最終目的は真のメシヤの代わりに偽メシヤを置くことです。

この反キリストの力は、まずメシヤを排除し、その代わりに偽メシヤを置くことです。その完全な作用には2段階あることに私たちが気づき始めるとき、反キリストの霊は世界中の教会の大半で激しく活動していることがわかります。

### 反キリストの霊

3. 反キリストの霊に関して言うと、この特定のサタン作用は、.....が宣べ伝えられている所でのみ起こるということを知っておくことが重要です。イエスについて一度も聞いたことがないなら、イエスを拒絶することはできないからです。魔術はそれとは異なり、墮落した人類全体に関係します。
4. 神が私たちを取り扱う方法として、神は間違った選択肢を排除しません。正しい選択をすることは私たちの責任です。人間は真のメシヤと偽メシヤかを.....することが求められています。

ヨハネの第一の手紙に、おもに反キリストの霊について書かれている箇所が2つあります。一つ目は、Iヨハネ 2:18-23 です。

*小さい者たちよ。今は終わりの時です。あなたがたが反キリストの来ることを聞いていたとおり、今や多くの反キリストが現れています。それによって、今は終わりの時であることがわかります。彼らは私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかったのです。もし私たちの仲間であったのなら、私たちといっしょにとどまっていたことでしょう。しかし、そうなったのは、彼らがみな私たちの仲間でなかったことが明らかにされるためなのです。*

*あなたがたには聖なる方からのそそぎの油があるので、だれでも知識を持っています。このように書いて来たのは、あなたがたが真理を知らないからではなく、真理を知っているからであり、また、偽りはすべて真理から出てはいないからです。*

*偽り者とは、イエスがキリストであることを否定する者でなくてだれでしょう。御父と御子を否認する者、それが反キリストです。だれでも御子を否認する者は、御父を持たず、御子を告白する者は、御父をも持っているのです。*

二つ目は、Iヨハネ 4:2-3 です。

人となって来たイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。それによって神からの霊を知りなさい。イエスを告白しない霊はどれ一つとして神から出たものではありません。それは反キリストの霊です。あなたがたはそれが来ることを聞いていたのですが、今それが世に来ているのです。

5. この2つの箇所を一つにすると、反キリストに3つのかたちがあることがわかります。
- (ア) まず、多くの反キリストがいます。人類の歴史の中で多くの.....が現われ、明らかにされてきました。
  - (イ) 次に、一人の特定の反キリストがいます。これは最終的な出現、あるいは反キリストの.....の最後の産物で、まだ人類の歴史で明らかにされてはいません。聖書は、短い期間人類を支配する一人の最終的で最も邪悪な力強い支配者が現れるとはっきりと言っています。
  - (ウ) 三つ目に、反キリストの霊は.....の反キリスト者を通して働きます。
6. これらの聖句で、ヨハネは覚えておくべき非常に重要な反キリストの霊の特定のしるしを教えています。
- (ア) I ヨハネ 2:19 で、反キリストは常に何らかの形で.....の民とつながっている存在です。決してそこに属しているのではなく、やがて明らかにされるためです。
  - (イ) I ヨハネ 2:22 は、反キリストの霊はイエスがメシヤであることを.....します。
  - (ウ) 同じ箇所で、ヨハネは3つ目のしるしとして、反キリストは父と御子を否定すると言っています。反キリストは父の存在を否定するのではなく、実は、自分が神の代表となるのだと主張することに注意してください。反キリストが否定するのは、神格の中の.....と御子の関係です。
  - (エ) 4つ目に、反キリストはメシヤがすでに.....ことを否定します(I ヨハネ 4:2)。おそらく、メシヤはやがて来るという教えをするでしょう。

あなたが宗教やムーブメント、個人を見極めようとするとき、これらの4つの反キリストのしるしは、明確な理解を持つための極めて重要なポイントとなるでしょう。

### 歴史的な例

デレクはユダヤ教とイスラム教という二大宗教の特徴をいくつか取り上げ、反キリストの霊の特質のしるしを理解するように教えています。そしてこう言っています。「真理に関する問題は、議論的になりやすいが、私は誰に対しても不快感を与えたくありませんし、他の宗教を攻撃したいともまったく思いま

せん。私は真理を示したいだけです。」

7. 最初に、最も長期間継続している反キリストの霊はユダヤ教です。ユダヤ教のしるしを先ほどのヨハネの反キリストの4つのしるしと照らし合わせると、以下のようなことがわかってきます。
  - (ア) それは、確かに神の.....とのつながりで始まりました。多くの人々がキリスト教はユダヤ教から枝分かれしたと言いますが、真のキリスト教は旧約聖書の宗教の継続で、ユダヤ教はそこから枝分かれしたものです。
  - (イ) 2つ目のしるしは、非常に明確です。ユダヤ教はイエスがメシヤであることを.....します。
  - (ウ) ユダヤ教は.....の中の父と御子の関係を否定します。イエスが神の子であるというイエスの主張を否定し、神に子がいることを受け入れません。
  - (エ) ユダヤ教は.....がすでに来られたことを否定しますが、メシヤはやがて来ると教えます。
  
8. マタイ 27:21 で、ピラトはユダヤ人たちに選択肢を与えます。「『あなたがたは、ふたりのうちどちらを釈放してほしいのか。』彼らは言った。『バラバだ。』」イスラエルは人類に起こることの予型です。私たちはみな同じ質問に直面するからです。私たちは救い主、いやし主、義なるお方イエスを望むのか、それとも、邪悪で暴力的、政治的扇動者バラバを望むのでしょうか。ある意味、.....は反キリストを表わす型です。
  
9. マタイ 27 章に書かれている群衆の多くが、つい一週間前にはエルサレムに来られたイエスを歓迎していた人々に違いありません。群衆に急に広まり、変えてしまう恐ろしいほどの霊的な力があつたのでしょうか。彼らは何の根拠もなく、怒りとねたみに駆られ、暴力的なほどに狂気してしまいました。それは最初に起こった.....の霊で、今に至るまでユダヤ人を支配しています。
  
10. ヨハネ 5:43 でイエスは言われました。「わたしはわたしの父の名によって来ましたが、あなたがたはわたしを受け入れません。ほかの人がその人自身の名において来れば、あなたがたはその人を受け入れるのです。」これは、.....において確認されていますが、後に来る反キリストについてもまた、確認されるでしょう。
  
11. 二つ目にデレクが反キリストの出現として挙げているのが、ムハンマドの宗教であるイスラム教です。イスラムとは、完全、完成、成就という意味です。ムハンマドは、クリスチャンと福音は本当の真理をゆがめたので、自分がイスラムを通してそれを回復したと主張しました。イスラム教が反キ

リストであるしるしを見ていきましょう。

(ア) イスラム教は旧約・新約聖書とのつながりで始まりました。神の啓示から生まれたものだと主張しますが、キリスト教信仰の特定の基本原則を否定します。たとえば、.....のイエスの贖いの死を否定します。ムハンマドは、イエスが死ぬ前に御使いが来て十字架からひそかにイエスを連れ去ったと教えます。死がなかったため、贖いはなく、贖いがないので、赦しもないと教えます。ムスリムの中で罪の赦しの保証を得ることができる人は一人もいません。

(イ) 二つ目に、ムスリムはイエスが神の.....であることを強烈に否定します。コーランはイエスを預言者、救い主、さらにはメシヤと認めています。神の子であることは激しく反対します。イスラム教によると、神には子が必要ではなかったと言います。

(ウ) イスラム教は神格の父と御子の.....を否定します。

## 最後の反キリスト

すべての詳細がはっきりとしていなくても、私たちは反キリストについて聖書が言っていることに無関係であってはなりません。サタンが何を企んでいるのか、またその計画がどの程度まで遂行されてきているのかに注意することが重要です。

テサロニケ人への手紙第二の2章には、反キリストの姿、啓示、出現が書かれています。また、主の再臨の前の最終的なサタンの行動は反キリストの行為であるため、主の再臨への備えについても書かれています。8節でパウロは、主は来臨の輝きをもって不法の人(反キリスト)を滅ぼすと言っています。

12. 真のキリストである主の再臨のおもな目的の一つは、.....キリストを取り扱うことです。反キリストを打ち破り、滅ぼし、投げ捨てることです。

II テサロニケ 2:1-3 にこう書かれています。

さて兄弟たちよ。私たちの主イエス・キリストが再び来られることと、私たちが主のみもとに集められることに関して、あなたがたにお願いすることがあります。霊によってでも、あるいはことばによってでも、あるいは私たちから出たかのような手紙によってでも、主の日がすでに来たかのように言われるのを聞いて、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。だれにも、どのようにも、だまされないようにしなさい。なぜなら、まず背教が起こり、不法の人、すなわち滅びの子が現れなければ、主の日は来ないからです。

この聖句に基づいて、以下の最初の 6 つの質問に教えてください。

13. この章のテーマは主イエスの.....です(1 節)。「来る」という語は、通常キリストの再臨を意味するギリシャ語の「*parousia*」です。
14. 「私たちが主のみもとに集められる」(1 節)とは、私たちがイエスとともに引き上げられることを言っています。I テサロニケ 4:17 は、「次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で.....と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。」と述べています。
15. パウロは 2 節で、「すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。」と述べています。パウロは人々が、主が.....と言ったり、さらにはすでに再臨されたと言ったりするとき、偽りに警戒し、偽の預言に混乱させられないようにしなさいと述べています。
16. 「霊によってでも、あるいはことばによってでも、あるいは私たちから出たかのような手紙によってでも…」とは、偽りには様々な源があることを示しています。悪の偽りの霊、またことばによる欺き、さらにはパウロや他のクリスチャンの名を借りたものなどもあります。私たちは神の.....によってすべてのことを見極めるように注意しなければなりません。
17. 3 節にある「.....」は、ギリシャ語で「*apostacia*」と言い、啓示された真理を意図的に拒絶するという意味です。
18. 3 節には反キリストのさらなる 2 つの肩書が示されています。  
(ア).....の人 - 神と、神の律法への拒絶に対する人間の反逆の究極的な化身です。  
(イ).....の子 - 失われた永遠に向かう者です。
19. 反キリストとともに、不法の人と滅びの子は黙示録 13:1-2 に 4 つ目の名前、.....と呼ばれています。
20. 黙示録 13:2 でヨハネはこう述べています。「竜(サタン)はこの獣に、自分の力と位と大きな権威とを与えた。」サタンが獣に力を与えるのは、その人物(獣)が全人類の支配権を手にし、サタンが最も願っていること、すなわち人類が自分を.....するようにさせるためです。(黙示録 13:4)

21. 黙示録 13:6 は、「そこで、彼はその口を開いて、神に対するけがしごとを言い始めた。すなわち、神の御名と、その幕屋、すなわち、天に住む者たちをのしった。」これは、獣が.....の挑戦者であることを表わしています。彼は隠れた敵ではなく、むしろ全能の神にこぶしを振り上げています。
22. 続く節では、「彼はまた.....に戦いをいどんで打ち勝つことが許され...」(黙示録 3:7)。キリスト教はあらゆることに対して楽勝なのではありません。ある意味、私たちの信仰の要素は、明らかな勝利と打ち破りでありたいのですが、実際はそうではありません。それが十字架の苦しみ の姿です。
23. イエスの最後の公けの姿は何でしたか。.....上の遺体です。イエスは決してその姿を修正しようとはされず、イエスを信じた者だけに再び現れたのです。
24. 黙示録 13:8 に劇的な言葉があります。「地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、世の初めからその名の書きしるされていない者はみな、彼(獣)を拝むようになる。」これは、神がご自身のために選び、いのちの書に名が書かれている人々以外、全.....が獣を拝むということです。
25. 黙示録 13:11 に、第二の獣が現れます。「また、私は見た。もう一匹の獣が地から上って来た。それには小羊のような二本の角があり、竜のようにものを言った。」それは.....のように見えました。実際は竜の声を持っていました。それは偽預言者と呼ばれます。偽の宗教が偽メシヤと手を組むのです。
26. 黙示録 13:12 は、サタン、獣、偽預言者という偽の.....を示しています。「この獣は、最初の獣が持っているすべての権威をその獣の前で働かせた。また、地と地に住む人々に、致命的な傷の直った最初の獣を拝ませた。」この3つは、ある意味、間違った教会のイメージを作り出しているのです。
27. 黙示録にはサタンの支配者である獣と、神の統治者である.....の二人の意図的な対比があります。私たちは自分の霊の中において、獣の性質を育てるのではなく、小羊の性質を育まなければなりません。

28. ヨハネ 1:29 で、バプテスマのヨハネはイエスにこう言いました。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」イエスのバプテスマに続いて、聖霊が鳩のように下りました。このことは、聖霊は小羊の.....を持った人々に下ることを私たちに示しています。
29. 黙示録 5:5-6 でヨハネは天に.....を解くことのできる人が誰もいないので、泣いていました。そして、一人の長老が彼に言いました。「泣いてはいけない。見なさい。ユダ族から出た獅子、ダビデの根が勝利を得たので、その巻き物を開いて、七つの封印を解くことができます。」しかし、6 節でヨハネは獅子ではなく、「ほふられたと見える小羊が立っているのを見」ました。獅子とは、小羊です。
30. 神が任命された統治者は.....の性質ではなく、小羊の性質を持っています。彼は自分のいのちを捧げ、自分を卑し、柔和と謙遜の道を歩まれ、自分をとらえる者たち、迫害する者たちに逆らわなかったため、すべての者の上に高く上げられました。現代の教会も、同じ性質を表していく必要があります。

何世紀にもわたって、クリスチャンや教会のリーダーたちは不正をしたり、不道德、貪欲でしたが、公にはクリスチャン信仰の基本的真理を否定することはせず、実はそれらの真理を自分たちの力を支えるための手段としてきたのです。

しかし 20 世紀以降、イエスの神性、処女降誕、贖いの死、肉体を持った復活、そして再臨という、キリスト教信仰の偉大な基本的真理を否定してきた教会のリーダーたちがいます。彼らの多くが、キリスト教会で荣誉と権威の地位を占めています。これについて、私たちはすでに背教に直面しているのです。

教会は誤りに対する防波堤です。ですから、サタンは手違いで正体がばれる前に、教会に侵入する必要があります。

主の助けを求めて祈りましょう。

主よ、聖書を通して反キリストの霊についての重要な真理を明らかにしていただき、感謝します。私自身のすべての領域において反キリストの霊を見分けることができるように助けてください。そして何よりも、その霊が私に影響を与えている部分があるなら、どうか教えてください。たとえ、大きな反対や死に直面しても、常に真のメシヤ、真の教会の前に立つ勇気を与えてください。黙示録 12:11 はこう言っているからです。「兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあか

しのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。」たとえ死という犠牲を払ってでも、イエスの血と私のあかしのことばによって、私がサタンに打ち勝てるように助けてください。

私を獣の性質から救い出し、小羊の性質が私のうちに働くようにしてください。あなたの御霊が小羊の性質を持った人と同じように私にも下って来るように祈ります。イエスの尊い名前によって祈ります。アーメン。

このシリーズの最後のメッセージは、「教会の勝利」です。デレクは私たちがどのように神に従い、敵に打ち勝つかという肯定的なメッセージを語ります。また、勝利ある教会のための聖書的条件についても教えます。

## 第 28 課

### 「私たちが直面する敵」 第四回

## 教会の勝利

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

これは、「私たちが直面する敵」というテーマの最後のメッセージです。「私たち」とは神の民、イエス・キリストの教会のことです。デレクは今日教会が直面していると考えられる、「魔術」と「反キリストの霊、力」という2つのおもな敵について話してきました。

魔術は墮落した人間の普遍的宗教と定義づけられます。時代を問わず、空中にあるサタンが使いたちの反逆の王国と接触しようとする人間による手段のことで、何らかの形でサタンを神々として礼拝します。

反キリストは、魔術とは異なる種類の霊的な力によって、イエスの福音がすでに伝えられたところでのみ意味を持ちます。反キリストの「反」とは、2つの意味があるとデレクは指摘しました。第一に、「～に反する」、第二に、「～の代わりに」です。反キリストの霊の圧力は、真のメシヤであるイエス・キリストに敵対し、イエスを排除しようとしませんが、第二の動きはイエスを偽のメシヤに置き換えることです。みなさんに言いたいことは、その霊的な力が現代の教会の中で非常に活発に活動しているということです。前回のメッセージの最後で、デレクは反キリストの霊、反キリスト、あるいは獣の最後の出現はどのようであり、聖書がどのようにそれを啓示しているかを話しました。

### まとめと質問

このセクションはメッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

このテーマの最後のメッセージで、聖書に啓示されている教会の勝利を簡単に見ていきます。聖書を学ぶ者として自分も一握りの人々のように聖書をよく学び、教えることを愛しているが、完全な真理を持っている人は一人もいないと、デレクが言ったことを思い出してください。私たちが信仰書を読み、聖書のメッセージを聞くと、私たちが最初にならなければならないことは、聖書に反することを確かめることです。そのための最善の方法は、聖書が言っていることを調べ、聖霊を通して啓示と私たちの人生への適用が与えられるように祈ることです。

すべての啓示には関係性がありますから、もし私たちがそれを単なる知識として受け取るだけなら、啓示のポイントを見失ってしまいます。良い教理を持つことは非常に重要ですが、私たちは神についての知識を持つために召されているのではなく、神を個人的に深く知るために召されているのです。

デレクが教会の勝利について教えていることは、このテーマについて学ぶ素晴らしい出発点となります。すべてが成就されるときにのみ、神が私たちに意図されたものの豊かさを知ることができるのです。パウロはこのように書いています。「『目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。』神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及ばれるからです。」( I コリント 2:9-10)

以下の空欄を埋めてください。

### どのように神に従い、敵に勝利するか

1. 聖書を締めくくっている黙示録のすべての肯定的な約束、ご自身の教会の最後の啓示は、  
.....する者だけのためです。敗者のための約束はありません。
2. パウロはローマ 12:21 でこう書いています。「悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい。」私たちの選択肢は 2 つだけです。勝利するか、敗北するかどちらかです。悪に勝利を許してしまう人々には、神からの ..... な約束は一つもありません。

上記の原則が働くことを理解するために、黙示録 2、3 章を読み、神が勝利者たちに与えた約束のいくつかを理解しましょう。

3. 神は ..... でのイエスの死によって、私たちに勝利を得させてくださいました。事実、神は私たちが勝利することを期待しておられます。黙示録 21:7 はこのことを要約しています。「勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。」勝利者は、すべてを手にしませんが、敗北した者は何も得られません。
4. 誰一人として、またどんな集団であっても、勝利を独占することはできません。勝利とは、標語でも教理でもなく、..... なのです。

5. サタンの力を取り扱うにあたって、まず次のことを理解することが非常に重要で基本的なことです。それは、イエスはご自身の死と復活を通して、完全に、永久に、最終的に、取り消すことのできない.....をすでにサタンに与えたということです。それを理解していないなら、あなたは勝利の基礎を何も持っていないことになります。
6. イエスは息を引き取られるとき、こう言いました。「完了した。」(ヨハネ 19:30)。それは.....したのです。イエスが成し遂げられたことに何も付け加える必要もなく、何一つ取り除くこともできません。
7. コロサイ 2:13-15 は、勝利についてのいくつかの重要なポイントを教えています。「あなたがたは罪によって、また肉の割礼がなくて死んだ者であったのに、神は、そのようなあなたがたを、キリストとともに生かしてくださいました。それは、私たちのすべての罪を赦し、いろいろな定めのために私たちに不利な、いや、私たちを責め立てている債務証書を無効にされたからです。神はこの証書を取りのけ、十字架に釘づけにされました。神は、キリストにおいて、すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし、彼らを捕虜として凱旋の行列に加えられました。」
- (ア) イエスは、支配と権威を.....しました。それは、前にエペソ 6:12 で言及したものと同じ力があります。
- (イ) .....とは、勝利を得るためのものではなく、すでに勝利したことを祝うもの、つまり祝勝パレードです。そして、ここでパウロが言っていることは、ご自身の死と復活により、イエスは凱旋の馬車に乗って、目に見えない世界を歩きめぐり、その後ろには、鎖でつながれたサタンのすべての力が引きずられているということです。それが勝利の完全性です。
- (ウ) その勝利を得るために、イエスは 2 つのことを成してくださいました。一つ目は、私たちのすべての罪を赦すことによって、サタンの大きな武器である.....を取り扱ってくださいました。私たちはこれまでに犯してきたすべての罪が赦されていることを信じなければなりません。もし、一つでも赦されていない罪が残っているなら、それが私たちを失望、無能にするためにサタンが用いる強い武器となり得ます。一つ残らず罪を告白し、赦していただきましょう。
- (エ) 二つ目は、イエスは、.....を達成する手段としてモーセの律法を撤廃したということです。イエスは、神のことばの一部として、あるいはイスラエルの歴史の一部として、またモーセの律法から私たちが学ぶことをすべて撤廃したわけではありません。神の義を得る手段のためにモーセの律法を用いることだけを撤廃したのです。

(オ) 私たちの義は、もはや戒めを守ることによるのではなく、.....によるものです。イエスは義とされる条件としての律法を十字架に釘付けにしました。

8. イエスが十字架で私たちのために死んでくださったことにより、天の法廷は私たちに.....の判決を下しません。私たちは義とみなされ、一度も罪を犯したことがないかのように、正しい者とされています。あなたがその位置に立つなら、イエスがすでに収めた勝利により、あなたはサタンという征服者にまさる者です。他の土台によっては、私たちは決して勝利を成し遂げないでしょう。唯一の土台は十字架です。

9. 罪悪感という大きく絶対的な武器を含め、私たちに対するサタンの武器を奪うために、イエスはサタンを打ち負かす武器を私たちに備えてくださっています。Ⅱコリント 10:3-5 です。「私たちは肉にあって歩んではいても、肉に従って戦ってはいません。私たちの戦いの武器は、肉の物ではなく、神の御前で、要塞をも破るほどに力のあるものです。私たちは、さまざまの思弁と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従させ・・・」

(ア) 私たちが用いるべき武器は、肉の武器ではありません。なぜなら、私たちは肉体を持った人間と戦っているのではないからです。私たちはサタンの要塞を打ち砕くために、.....武器を用いなければなりません。

(イ) 戦場は、.....の中にあります。サタンは福音の真理を受け取ることができないように、人々の思いの中に要塞を築き上げます。神が私たちに与えてくださった祈り、メッセージ、賛美などの霊的武器を用いることはその働きの一つです。人々の中へ入り、救い、その人々を変えるためにそれらの要塞を打ちこわし、神のことばへの道を開きます。

前回のメッセージで、ユダヤ教徒イスラム教という2つの反キリスト教の力を取り扱いました。どちらにも、打ち壊さなければならない特定の要塞があります。ユダヤ教の思いの要塞は、「もし私がイエスを信じるなら、私はユダヤ人でなくなる。」です。それは、彼らがイエスについての真理を受け入れることに対する最強の壁です。ムスリムの要塞は、「神には息子が必要でない。神の子は存在しない。」です。もしあなたが、ユダヤ教徒やムスリムに効果的に伝道しようとするなら、彼らに実際的なインパクトを与える前に、それらの要塞を打ち壊す霊的武器を用いなければなりません。

(ウ) 最終的な目的は、あらゆる思いを、キリストへの従順の中へと.....ことです。まず、私たちは人々の思いをサタンの偽りの束縛から解放しなければなりません。それから、彼らの思

いをイエスへの従順の中へと導かなければなりません。

## 勝利ある教会となるための 7 つの条件

### 1. キリストの体を分裂から守る

10. マタイ 12:25 に、イエスが言われた極めて重要な言葉があります。「どんな国でも、内輪もめして争えば荒れすたれ、どんな町でも家でも、内輪もめして争えば立ち行きません。」サタンが一番の攻撃は教会を.....させることです。そうなれば、勝つことができないからです。
11. 私たちが何よりもしなければならないことは、.....を阻止することです。聖書に従ってイエスを信じ、イエスを愛し、イエスに仕える真の信者であるなら、兄弟姉妹であることを認め、私たちの間に不必要な壁を作ってはいけません。
12. 私たちは.....なことにフォーカスしなければなりません。人々が祈りととりなし、あるいは伝道に献身しているところでは、壁はなくなります。

### 2. 神のことば全体を知り、宣言する

Ⅱ テモテ 3 章はこう始まっています。「終わりの日には困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。」この章は特に、終わりの日に関連することを取り扱っています。最初に、終わりの日が近づくときに人類を特徴づける 18 の主な道徳的、倫理的汚点を挙げ、人間の性質と行ないが退化する様子が描かれています。それらすべての根源は自己中心です。

パウロは続けて、終わりの時代の様々な特徴を指摘しています。パウロは非常に明確に、オカルトの急激な高まりを描いており、それはまた私たちの時代にとっても顕著です。パウロは神の答えを 3 章の最後に書いています。16 節から始まります。「聖書はすべて、神の靈感によるもので・・・」

13. Ⅱ テモテ 3:16-17 によるとパウロは、私たちが十分に整えられるために、.....の真理全体を受け入れる必要があると教えています。いくつかのおもな箇所だけを受け入れるのではありません。

真理について、Ⅱ テモテ 4:1-5 から以下の 3 つの空欄を埋めてください。

神の御前で、また、生きている人と死んだ人とをさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現れとその御国を思って、私はおごそかに命じます。みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしつかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。というのは、人々が健全な教えに耳を貸そうとせず、自分につごうの良いことを言ってもらうために、気ままな願いをもって、次々に教師たちを自分たちのために寄せ集め、真理から耳をそむけ、空想話にそれて行くような時代になるからです。しかし、あなたは、どのような場合にも慎み、困難に耐え、伝道者として働き、自分の務めを十分に果たしなさい。

14. パウロは、私たちは.....である神と主イエス・キリストの御前に立つと言っています(1 節)。私たちはみことばを宣べ伝えることに対してさらに厳粛にならざるを得ません。
15. 2 節で言われているように、私たちは責めや戒め、勧めを受けるようなメッセージを聞きたいと願っているかどうか、自分自身に聞いてみる必要があります。.....の教師や牧師と呼ばれる人々は、戒めや勧めをするメッセージを語るべきです。しかし、神が責めをもたらす目的は、その領域において私たちを贖うためであることを決して忘れてはなりません。
16. 3 節と 4 節で言われているように、.....の絶対的真理と権威が攻撃を受け、以前は信仰と教理において健全であると考えられてきた多くの教会やムーブメントがむしばまれてきています。
17. 使徒 20:27 でパウロは、「私は、神のご計画の全体を、余すところなくあなたがたに知らせておいたからです。」と言っています。これは、神の計画全体を宣言しないようにという社会的、経済的、教派的な多くの.....があることを示唆しています。

### 3. 神の御前にへりくだる

自分をへりくだらせる必要について、I ペテロ 5:5-6 を見ましょう。

同じように、若い人たちよ。長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。ですから、あなたがたは、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高めてくださるためです。

18. 従うためのカギは、従順さという態度です。あなたが同意しない時でも、.....的であることはできます。なぜなら、最も重要なことは、行動そのものよりも態度だからです。
19. ペテロは「謙遜を身に着けなさい。」と言っています。それはギリシャ語の意味では、「謙遜のエプロンを着けなさい。」で、奴隷だけが身に着ける.....のことを言っています。
20. ....は神がしてくださるものではなく、私たちがするように命令しておられるものです(6 節)。私たちが決断しなければなりません。
21. エズラ 8:21-23 に自分をへりくだらせる方法として、団結した.....の素晴らしい例があります。
22. 私たちの自尊心、自己本位を取り扱う方法が詩篇 35:13 でダビデによって啓示されています。「私は断食して.....を悩ませ・・・」 私たちは神のみこころと思い、私たちのたましいを従わせなければなりません。

#### 4. 神のすべての武具を着ける

私たちは、空中でなされている霊的戦いに関連して、エペソ 6:12 を何度か見てきました。エペソ 6:13 は、「ですから」という言葉で始まっており、デレクによると、聖書の中の「ですから」という言葉に出くわすとき、「何のために」なのかを見いだす必要があります。この聖句の場合、激しい戦いが続いているからです。「ですから・・・神のすべての武具をとりなさい。」

18 節までを読み、以下の空欄を埋めてください。

23. 13 節で、すべての武具を「とりなさい」と言われています。それは徐々に育つものではなく、また神が着けてくださるのでもなく、私たちがそれを.....なければなりません。
24. この箇所、パウロは 7 つの武具について語っています。
- (ア) .....の帯
  - (イ) .....の胸当て
  - (ウ) 私たちの足は.....の福音の備えを履かなければならない。
  - (エ) .....の大盾
  - (オ) .....のかぶと

(カ) 神の.....である御霊の剣

(キ) 御霊によってすべての.....と願いを用いる。祈りは私たちの大陸間弾道ミサイルのようなものです。私たちが正しい軌道にセットするなら、どんな<sup>ま</sup>にも命中させることができます。

25. このリストを分析すると、私たちは背後を除き、頭の前からつま先まで完全に守られています。もし私たちが.....を向けてしまうなら、守りはありません。

## 5. 神の超自然的な力が必要

使徒の働き各章を見て、超自然でなされたことを除外するなら、28章のうち損なわれずに済む章は1章たりともありません。キリスト教は超自然の宗教であり、私たちには神の超自然的な力が必要であることを認めなければなりません。私たちは、自然の能力だけでは効果的に機能することができず、神のみこころを達成することはできません。

26. I コリント 4:20 でパウロは、注目すべきことを言っています。「神の国はことばにはなく、力にあるのです。」神学の位置というものはあるのですが、神の国は神学ではなく、議論や知的な証明のことではありません。それは、神の超自然の.....の実証です。

27. このシリーズのメッセージの中でガラテヤ 3章を考察し、デレクは教会の中での魔術の影響は、.....をぼやけさせることだと示しました。I コリント 2:2 でパウロは、「なぜなら私は、あなたがたの間で、イエス・キリスト、すなわち十字架につけられた方のほかに、何も知らないことに決心したからです。」と言っています。

28. パウロは I コリント 2:4-5 で続けてこう言っています。「そして、私のことばと私の宣教とは、説得力のある知恵のことばによって行われたものではなく、御霊と御力の現れでした。それは、あなたがたの持つ信仰が、人間の知恵にささえられず、神の力にささえられるためでした。」パウロは.....につけられたキリストにフォーカスしたので、聖霊は彼の宣教に素晴らしいあかしをもたらしました。

29. 終わりの日について書いている II テモテ 3:8 で、パウロはパロの前でのモーセと魔術師たちの競争について書いており、終わりの時代には、イエス・キリストのしもべとオカルトを実践する者たちと

の間にそのような競争が再びなされることを示唆しています。それは、.....によって行なわれるのではなく、どちらが強いかという、力の対決です。

30. 力を証明することにおいて、实际的に役立つ3つの啓示的な賜物があります。サタンが超自然の領域でどのように働いているかを示す「知識のことば」、サタンの行為にどう立ち向かうかを示す「.....のことば」、そして、悪霊の力と活動に直面したときに「霊を見分ける」ことです。

## 6. 喜びの賛美と大胆な宣言

31. エレミヤ 31:7 は、霊的戦いに用いることができる3つの.....を明らかにしています。「まことに主はこう仰せられる。「ヤコブのために喜び歌え。国々のかしらのために叫べ。告げ知らせ、賛美して、言え。『主よ。あなたの民を救ってください。イスラエルの残りの者を。』」「言え。」というのは、神に祈るということですから、その3つの武器とは、告げ知らせ(宣言し)、賛美し、祈ることです。
32. 祈りとは、単に自分の欲することを考え出し、神に求めるというものではありません。祈りは聖書に啓示された神の目的を見だし、その.....が働くように祈ることです。それは、御使いガブリエルに対するマリヤの応答に美しく表れています。「あなたのおことば通り、この身になりますように。」(ルカ 1:38)
33. 詩篇 102 篇は、終わりの時代のシオンの回復の預言です。18 節でこう言われています。「次のことが、後の時代のために書きしるされ、新しく造られる民が主を賛美しますように。」神を.....するという最高の目的をもって、神はご自身のために人々を造られました。
34. 神がどのように力を打ち建てるかを啓示している2つの関連した箇所を比較しましょう。詩篇 8:2 でダビデは言っています。「あなたは幼子と乳飲みみ子たちの口によって、力を打ち建てられました。それは、あなたに敵対する者のため、敵と復讐する者とをしずめるためでした。」マタイ 21:16 でイエスがその箇所を引用してこう言っています。「あなたは幼子と乳飲みみ子たちの口に賛美を用意された」ですから、神の民の.....を打ち建てることは賛美を用意し、それによって私たちに対するサタンの非難は沈黙させられます。

エレミヤ 31:7 に戻りましょう。宣言はおふれの活動であり、否定的な言葉と偽りの宣言に勝利する

ために、私たちの状況の中に神のことは宣言する必要があります。デレクは例として、自分が用いていた多くの宣言の中の2つを分かち合っています。

私たちのかんぬきが、鉄と青銅であり、私たちの力が、私たちの生きるかぎり続くように。

エシュルンよ。神に並ぶ者はほかにない。

神は私たち助けるため天に乗り、威光のうちに雲に乗られる。

昔よりの神は、住む家。永遠の腕が下に。

私たちの前から敵を追い払い、「根絶やしにせよ」と命じた。 (申命記 33:25-27)

神は、私たちを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です。 (Ⅱコリント 9:8)

## 7. 完全な献身

35. 黙示録 12:11 はこう言っています。「兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。」ですから、地上の信者たちは3つのことを通してサタンに勝利します。小羊の血、あかしのことば、完全な献身です。それらは、主を否定したり、自分の.....を撤回するよりも、むしろ自分のいのちを投げ出します。その人々は勝利者です。

メッセージの最後にあるデレクの祈りを繰り返しましょう。

神さま、勝利と、勝利のすべての栄光ある可能性のための条件をみことばによって明確にしてください。感謝します。主よ、多くの時にあなたを信じず、また従わなかった私たちの罪と至らなさを告白します。主よ、私自身のため、そしてイエス・キリストの全教会のために私たちを赦してください。また主よ、あなたの聖霊の力によって、私たちがあなたの栄光のために勝利者となる条件を満たすものとしてください。

イエスの御名によって。アーメン。

## 第 29 課

# 2つの収穫

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

終わりの時代に関して、聖書に啓示されているテーマの一つは収穫です。種まきと収穫というのは、聖書の最初から最後まで一貫して流れているテーマで、「*地が続く限り、種まきと刈り入れはやむことはない。*」と、ノアの時代に語られた神の約束です。(創世記 8:22)

イエスはそれを、終わりの時代のたましいの刈り取りに結びつけて多く語っています。聖書では、刈り入れは聖霊の雨が与えられる季節であることを示しています。このことは、デレクがこのメッセージの中で伝えようとしている、収穫のために雨(聖霊)が与えられることを理解するカギとなります。

さらに、義人の収穫だけでなく、邪悪な者の刈り取りもあり、その2つの対比がなされています。メッセージを聞くとき、義人の収穫におけるあなたの位置はどのようなものかを、主が示してください。あなたは収穫の刈り入れのため、地上で神の国を建て上げるために、あなたの人生でどのように投資しているでしょうか。

### まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

多くの方が、終わりの時代の収穫についての教えを今回初めて聞くかもしれません。デレクは、主が与えてくださる聖霊の注ぎについてカギとなる目的の一つを、私たちが理解できるように教えます。聖霊は単に慰め主、導き手、神の賜物の管理者であるだけではありません。聖霊の働きのおもな役割は、目の前に来ている収穫に私たちが準備できるようにすることです。

以下の空欄を埋めてください。

### 雨と収穫

申命記で、モーセはイスラエルの民が約束の地に導かれるためにどう振る舞うべきか、神が導いて

くださる彼らの相続地の利益と祝福をどのように楽しむことができるかについて、完全な指示を与えています。

以下の表は、エジプトとイスラエルの国と水についての簡単な比較です。空欄を埋めてください。

	エジプト	イスラエル
1. 地形	相対的に平地	丘々と.....
2. おもな水源	.....川	天
3. 水の管理	基本的に、 人間の.....下	神の管理下

4. もし、イスラエルが誠実で従順であるなら、.....は彼らに雨を与えると約束しました。それは、最終的に収穫の約束をもたらす雨です。
5. 聖書ではほぼ不変的に、.....の約束は、収穫の約束と結びついています。
6. イスラエルの地には、おもに 2 つの季節しかありません。暑く、雨が降らない.....(夏)と、2 つの雨季を持つ冬です。冬の 2 つの雨季の初めと終わりには、局所的になわか雨が降ります。
7. イスラエルの雨には以下の 3 つのタイプがあります。
  - (ア) 冬の初めの雨を、「.....の雨」と呼びます。農業経済から見たその雨の目的は、農夫が収穫するための工程に取り掛かることができるように、太陽で焦げ付いた硬い土を柔らかくすることです。それは、通常、国全土を覆うほどの大雨です。
  - (イ) その後、.....の間ずっと、断続的に各地で雨が降ります。
  - (ウ) 過越しの祭りの時期の冬の終わり、ユダヤの歴で第一の月に、「後の雨」が降ります。これもまた大雨で、農業におけるこの「後の雨」の目的は、種の.....です。
8. もし、「先の雨」、「後の雨」のどちらか一方でも降らなければ、おそらく.....にも失敗するでしょう。雨は常に収穫と深く結びついています。
9. 聖書全体で、3 つのおもな収穫について言及されています。穀物の収穫、ぶどうの収穫(新しいぶどう酒)、そして.....の収穫(油)です。

申命記 11:13 節以降を見てください。

もし、私が、きょう、あなたがたに命じる命令に、あなたがたがよく聞き従って、あなたがたの神、主を愛し、心を尽くし、精神を尽くして仕えるなら、わたしは季節にしたがって、あなたがたの地に雨、先の雨と後の雨を与えよう。

10. 雨は神からの.....であることに注目してください。聖書は雨が神の主権のもとにあることを強調しています。

14 節の続きです。

わたしは季節にしたがって、あなたがたの地に雨、先の雨と後の雨を与えよう。あなたは、あなたの穀物と新しいぶどう酒と油を集めよう。

11. 神の経済から見た.....の目的は、収穫を集めることです。
12. 聖書全体で、雨は.....の姿を表わしています。これは先の雨に相当し、ペンテコステの日  
に教会の歴史において目に見えるものとして現われ、後の雨は 20 世紀の初めに降り始めました。
13. 世界に驚くべき違いをもたらしたクリスチャンたちは、一般的に高く評価されていた人や特別な教育を受けた人でも、知識人たちでもありませんでした。神の.....に入るたましいを集める収穫のために雨が与えられるのだと理解する感覚が養われていた人々だったのです。能力や知性のものではなく、神の目的を理解していたかどうかです。ですから、彼らは出て行って、国々をひっくり返したのです。

エレミヤ 5 章で、エレミヤは当時のイスラエルの人々を戒めています。なぜなら、イスラエルは神が何をしようとしておられるのかに対して無関心で、自分たちの肉体的な思いにふけていたからです。23 節以降でエレミヤはこう言っています。

ところが、この民には、かたくなで、逆らう心があり、彼らは、そむいて去って行った。彼らは心の中で

も、こう言わなかった。「さあ、私たちの神、主を恐れよう。主は大雨を、先の雨と後の雨を、季節にしたがって与え、刈り入れのために定められた数週を私たちのために守ってください」と。

14. ここで再び、雨が収穫のために与えられることがわかります。しかし、イスラエルが犯した過ちは何だったのでしょうか。彼らは収穫をもたらす雨が.....の手の中にあることを理解していなかったのです。
15. エレミヤ 5 章のこの聖句は、神が収穫の.....を定めておられることも明らかにしています。神はそれを指定し、サタンが触れることができないようにしています。その「数週」とは、私たちのために定められた期間が短いことを教えています。
16. 箴言 10:5 はこう言っています。「夏のうちに集める者は思慮深い子であり、刈り入れ時に眠る者は恥知らずの子である。」収穫は全員が敏感になって働く必要がある時期です。私たちは、たましいの収穫のときに.....いて、天の父を辱めることがないようにしなければいけません。
17. ヨエル 2 章は、回復について書かれており、自然界における収穫である霊的収穫を啓示しています。特に、.....をもたらすものは雨、すなわち聖霊であることがわかります。

ヨエル 2:23-24 です。

*シオンの子らよ。あなたがたの神、主にあつて、楽しみ喜べ。主は、あなたがたを義とするために、初めの雨を賜り、大雨を降らせ、前のように、初めの雨と後の雨とを降らせてくださるからだ。打ち場は穀物で満ち、石がめは新しいぶどう酒と油とであふれる。*

18. この箇所でも、雨の目的は穀物と新しいぶどう酒、油の収穫をもたらすためであることを啓示しています。それは、.....の雨によりもたらされます。
19. 神の民が集まり、断食し、祈り、主を呼び求めたあと(ヨエル 2:12-13)、神は言われます。「その後、わたしは、わたしの.....をすべての人に注ぐ。」(ヨエル 2:28)
20. 使徒 2:17 で、使徒ペテロがこのヨエル書の聖句をわずかに変えて引用しています。ヨエルが「私の霊を注ぐ」と神が言った部分を、ペテロは「私の霊から注ぎ出す」と変えています(注: 日本語で

は同じ訳になっています)。ペテロは「終わりの日に」、神はご自身の霊のいくらかを.....と言っていますが、ヨエルは、最終的に神はご自身の霊のすべてを注ぐと言っています。

21. さらに、神はご自身の霊を「すべての.....」に注ぐと言っており、今日世界を見回してみると、神がまだ聖霊を注いでいない多くの「人」がいます。これは、神の訪れを経験する人々がまだ残されているという興奮すべきことです。
22. マタイ 13:39 でイエスは言われました。「収穫とは、この世の終わりのことです。」この.....が終わりを迎える収穫というクライマックスがやって来ます。この節で用いられている「終わり」という語は、通常の終わりではなく、「この世の完成」です。それは、この世のすべての糸をより合わせる、大いなるクライマックスです。
23. ヤコブ 5:7 は、その日がやって来ることを支持してこう言っています。「こういうわけですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は、大地の貴重な実りを、秋の雨や春の雨が降るまで、耐え忍んで待っています。」収穫は、農夫が収穫を待ち望む期間に従ってもたらされるものではありません。先の雨と後の雨が来ない限り、収穫は来ないのです。そのことは自然界だけでなく、.....な世界においても当てはまります。
24. ヤコブは 5:8 でそれを適用して続けています。「あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主の来られるのが近いからです。」クライマックスとは何でしょうか。.....の再臨です。しかし、それは収穫が集められたときのみやって来るのです。そして、その収穫は、後の雨が降るまでは集められません。
25. まとめると、連続する 3 つの出来事があることがわかります。
  - (ア) .....の雨
  - (イ) .....を集める
  - (ウ) .....の再臨

### 収穫のビジョン

26. 箴言 29:18 はこう言っています。「幻がなければ、民はほしいままにふるまう。しかし律法を守る者は幸いである。」これは、訓練されることを可能にさせるものは、.....であり、それがなけ

れば、訓練されていない者となるという意味です。

27. 私たちは.....を成功させたいなら、収穫のビジョンを持たなければなりません。
28. イエスはサマリヤの女について、弟子たちに、「あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある』と言ってはいませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。』（ヨハネ 4:35）と言いました。その違いは、.....です。弟子たちは自然界のものしか理解できず、収穫までまだ4か月あると考えましたが、イエスは霊的視点から見て、たましいの畑は収穫できる色になっていると言いました。
29. マタイ 9:36-37 でも、イエスと.....のビジョンの違いを見ることができます。「また、群衆を見て、羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかわいそうに思われた。そのとき、弟子たちに言われた。『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。』」あなたは、収穫のための働き人になりたいと願いますか。
30. マタイ 25 章に、完全に神から拒絶される人々の様子が3つ書かれています。
- (ア) 愚かな.....(1-13 節)
  - (イ) 自分のタラントを用いなかった不従順な.....(14-30 節)
  - (ウ) イエスの兄弟たちを拒絶した「山羊」の.....(31-46 節)

マタイ 9 章でイエスは、「収穫は多いが、働き手が少ない。」と言われました。次に何と言われましたか。「収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」です。デレクは「送る」という語は、ギリシャ語では非常に強い語で、イエスが人々から悪霊を追い出すときに使われた単語と同じ単語であると強調しています。収穫の中に人を追い出す、押し出すように、聖霊に祈りなさい、とイエスは言われたのです。

イエスはいったい何を語っておられるのでしょうか。私たちは収穫の地で散歩をするわけではありません。収穫は何気なくするものではありません。聖霊から押し出されて行かないです。また、何かをあきらめることを意味します。今日の教会に2つの偶像があるのをご存知ですか。毎週日曜日の朝、礼拝される、安全と快適という偶像です。

## 2つの連続する収穫

黙示録 14:14-16 でヨハネはこう言っています。

また、私は見た。見よ。白い雲が起り、その雲に人の子のような方が乗っておられた。頭には金の冠をかぶり、手には鋭いかまを持っておられた。すると、もうひとりの御使いが聖所から出て来て、雲に乗っておられる方に向かって大声で叫んだ。『かまを入れて刈り取ってください。地の穀物は実ったので、取り入れる時が来ましたから。』そこで、雲に乗っておられる方が、地にかまを入れると地は刈り取られた。

31. この最初の収穫には、私たちが覚えておくべき特定の側面があります。

- (ア)「人の子のような方」とは、.....を指します。他にこの描写に合致する人は一人もいません。「収穫の主に祈りなさい。」と言われた方は誰でしたか。イエスです。
- (イ)「地の穀物は実った」という箇所は、ギリシャ語では、収穫は.....います。
- (ウ)「.....を入れて刈り取ってください。」とイエスが言われたことは、力強くというだけではなく、急いで、ということも私たちに教えています。イエスは急いでおられ、緊迫感をもっています。
- (エ)この穀物の最初の収穫は、.....の収穫です。

続けて、黙示録 14:17-18 です。

また、もうひとりの御使いが、天の聖所から出て来たが、この御使いも、鋭いかまを持っていた。すると、火を支配する権威を持ったもうひとりの御使いが、祭壇から出て来て、鋭いかまを持つ御使いに大声で叫んで言った。「その鋭いかまを入れ、地のぶどうのぶさを刈り集めよ。ぶどうはすでに熟しているのだから。」

32. 次に来るぶどうの収穫は、穀物の収穫と対比すると、2つのことがわかります。

- (ア)刈り入れている人物は主ではなく、.....です。
- (イ)これは、.....の収穫です。イザヤ 63:1-6 は類似した怒りとさばきのぶどうの酒ぶねが踏まれている様子を描写しています。

33. 神の課題は悪者をさばくことではなく、むしろ悪者を.....方法を見いだすことです。その唯

一の解決法は十字架を通してですが、私たちは神がさばき主であり、地上の悪をさばくことも忘れてはなりません。

#### 4 人の馬に乗った人たち

34. 黙示録 6 章に、4 人の馬に乗った人たちについて語られています。

- (ア) .....馬は勝利の上にさらに勝利を得ようとして出て行きました。
- (イ) .....馬は死と暴虐、流血をもたらします。
- (ウ) .....馬は欠乏、制限、飢餓をもたらします。
- (エ) .....馬は死をもたらします。

デレクは、これらの 4 頭の馬は、終わりの時代に近づける段階を表わしていると教えています。それぞれの馬は天からの命令によってやって来ました。神のさばきは神の命令によって来るということです。白い馬は、出て行く福音のイエスです。詩篇 45:3-5 で、剣を腰に帯び、真理と柔和と義のために乗り進め、と描かれています。これは、福音が非常な緊急性を持って出て行く様子です。なぜなら、赤い馬、黒い馬、青ざめた馬というさばきが後に続いているからです。それら 4 頭の馬は今日も存在しています。

デレクはそれに続いて、自分が動機づけられた確信を分かち合っています。白い馬が他の馬たちの前を走り続けなければなりません。他の馬たちが着く前に、私たちが人々のところに着かなければならないのです。神のさばきが下る前に、私たちが彼らにあわれみを示さなければなりません。これは緊急のものです。待つてはくれません。あなたの都合のいい時、悪い時とかは関係なく、収穫を刈り取ることができる間に刈り取るかどうかが問われています。何十億という人々への憐れみのメッセージを携えて行くとき、聞く耳を持っている人々の多くが福音に応答するでしょう。

少し静まって、聖霊にあなたの心を探っていただくように主に祈りましょう。神があなたのために定められる世界の中にあなたを押し出す収穫の主の願いが、あなたの心の中で叫び声を上げていると感じているかもしれません。

あなたの心の叫びをことばにすることが難しいなら、次のように祈ってみてください。

父なる神さま、この大切な教えを感謝します。たましいの収穫のためにすべての人に降り注ぐ聖霊の雨の大きな必要性を理解しました。人々の心を柔らかくし、私たちの内にみことばの種

が芽生え、成長するためのあなたの雨を感謝します。

私のためのあなたのビジョンを与えてください。私の人生で知恵を持って投資し、あなたのあわれみと恵みにより、それを増し加えてください。収穫までまだ4か月あると言わず、収穫は乾いており、腐ってしまう危険があるというあなたの視点を持って見るように助けてください。働き手が少ないという問題を理解し、どうかあなたが喜ばれる収穫の中へと私を遣わしてください。

大宣教命令を真剣にとらえてこなかったことを赦してください。そして、あなたとの関係の中で強く成長させてください。イエスの御名によって。アーメン。

神の声を聞き続け、神が与えてくださった召しを求め続けることが重要です。神が何かをあなたに示すとき、恥ずかしがらず、あなたの中に疑いを起こさせないようにしてください。神は常に最善を知っておられるという約束に堅く立ち、あなたが従順に従うなら、神はすべての障害を通り抜ける道を備えてくださいます。

## 第 30 課

# なぜイスラエル

### 導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

「なぜイスラエルか。」という問いには、2つの疑問点が含まれています。なぜイスラエル民族なのか、なぜイスラエルの地なのか、ということです。この国は土地も人口も小さいにも関わらず、なぜ日々ニュースで大きく取り上げられるのでしょうか。なぜ世界の教会の中では、イスラエルに関して様々な混乱があるのでしょうか。

聖書には、イスラエル、あるいはイスラエル人という語が2,600回近く出てきます。ですから、イスラエルを理解していなければ、聖書を十分理解することができません。イスラエルについて混乱したままだと、聖書の理解においても混乱したままになってしまいます。新約聖書には「イスラエル」という語が97回登場しますが、この学びを始めるにあたって、イスラエルという語は教会を指しているものではないことを理解することが重要です。単純に、イスラエルはイスラエル自体であって、教会は教会です。教会は、神が国として贖うと決めた特有の民族であるイスラエルに置き換えることができません。

このメッセージはイギリスでのメッセージの記録です。イスラエルに関する統計で更新している部分もありますが、真理は変わりません。神は国としてイスラエルを選び、再び彼らをアブラハム、イサク、ヤコブに約束した彼らの地に集め、そしてイエスはイスラエルに戻って来られます。

### まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

この教えを初めて聞く多くの人にとって、イスラエルの重要性について心と知性の中に大きな変革が生まれるでしょう。イスラエルについて、よく理解できていないクリスチャンが多くいます。しかし、神ご自身の忠実さがこの真理を明らかにしてくださり、私たちは神の祝福を受け取ることができるでしょう。

創世記 12:1-3 を読みましょう。

主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示

す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

この箇所から引き出されるカギとなる真理は、アブラムの子孫であるユダヤ民族を私たちが祝福するとき、私たちは神の祝福を受けるといことです。その逆もまた事実で、もし私たちがユダヤ民族をのろえば、神ののろいを受けるのです。私たちが彼らを祝福できるように、聖書がイスラエルとユダヤ民族についてどのように言っているかを知り、私たちが神の目的と結びつくことが不可欠です。そのようにして私たちは神の祝福を経験するのです。

以下の空欄を埋めてください。

### イスラエルについての事実

1. 「イスラエル」とは、アブラハム、イサク、ヤコブの子孫たちの国(民族)の名前です。のちに彼らはユダヤ人と呼ばれますが、今日では、ユダヤ人と.....人はほぼ同義語です。
2. 旧約聖書には、「イスラエル」、あるいは「イスラエル人」という語が.....回以上出てきます。
3. 新約聖書には「イスラエル」という語が 97 回出てきており、それは決して.....を表わすものではありません。
4. 「ユダヤ」という語は旧約聖書に 84 回、新約聖書に 192 回出てきます。一方、「クリスチャン」という語は新約聖書にたった.....回しか出てきません。

### イスラエルの独特性

5. イスラエルの独特性は、第一歴代誌 17:21 でダビデによって言われています。「また、地上のどの国民があなたの民イスラエルのようでしょう。神ご自身が来られて、この民を贖い、これをご自身の民となさいました。あなたがエジプトから贖い出してくださったあなたの民の前から、国々を追ひ払うという大いなる恐るべきことを行って、名を得られるためでした。」神が他の国々から一つの国として.....た国は、他に一つもありません。

6. 出エジプト記 19:6 で、神はモーセにイスラエルについてこう言っています。「あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。」神がそのようなことばを語った.....は他に一つもありません。
7. パウロはローマ 9:4-5 で、イスラエルとユダヤ人だけに当てはまる特別な特徴の数々を挙げています。「彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法を与えられることも、礼拝も、約束も彼らのものです。父祖たちも彼らのものです。またキリストも、人としては彼らから出られたのです。このキリストは万物の上であり、とこしえにほめたたえられる神です。アーメン。」
- (ア) 神はイスラエル人を国として.....としました。
- (イ) ..... - イスラエルが従順に歩んでいる限り、神の超自然的臨在の現われがともにあります。
- (ウ) イスラエルが国とされる以前に結ばれたものを除くと、.....はすべてイスラエルと結ばれました。
- (エ) .....は、イスラエルに与えられました。
- (オ) 神への.....者としての務め。
- (カ) .....
- (キ) すべての族長たちが.....として同じ家系から来ています。
- (ク) イスラエルを通して、救い主・.....:イエス・キリストが世に來られました。
8. 地上の生涯でイエスは、.....人であり、天に昇られた今もイエスはユダヤ人です。黙示録 5:5 はイエスを「ユダ族から出た獅子」と啓示しています。ユダ族はユダヤ人という語のルーツですから、イエスは永遠にユダヤ民族としてみなされます。
9. ヨハネ 4:22 はサマリヤの女へのイエスのことばを記しています。「救いはユダヤ人から出るので、わたしたちは知って礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。」  
.....が存在しなければ、世界に救いはなく、族長もなく、預言者もなく、使徒もなく、聖書も救い主もありません。
10. イスラエルの全歴史は預言によって語られています。
- (ア).....での奴隷生活。
- (イ)エジプトから富とともに.....される。

- (ウ).....の地を所有する。
- (エ)約束の地で.....に戻る。
- (オ)神はエルサレムに.....の中心を確立する。
- (カ)北王国は.....に捕囚となって連れて行かれる。
- (キ)南王国は、.....に捕囚となって連れて行かれる。
- (ク)第一.....(ソロモンによって建てられた)の破壊。
- (ケ)バビロンから.....が帰還する。
- (コ).....神殿(イエスの時代)の破壊。
- (サ)彼らは異邦の.....の間に散らされる。
- (シ)彼らは.....の間で迫害と抑圧に耐える。
- (ス)すべての.....から再び集められる。
- (セ)戦争のため、.....に敵対してあらゆる国々が集まる。
- (ソ)神の民への.....の超自然的な啓示。
- (タ)栄光と力をもってメシヤが.....。

上記のリストで最後の 3 つの預言はまだ成就されていませんが、その他の 13 の預言は成就したという事実が、残りの 3 つの預言も成就されるという確信を私たちに与えてくれます。

### イスラエルの地に対する神の計画

デレクが言っているように、現代政治において最も論争されている話題はおそらく、誤ってパレスチナと呼ばれているイスラエルの地のための神の計画でしょう。

11. ヨシュアのもとでイスラエル人がその地を手に入れるまでは、そこは、.....の地と呼ばれていました。新約聖書ではローマの統治下にあったにもかかわらず、イスラエルの地と呼ばれ続けています。
12. 創世記 17:7-8 で、神はアブラハムとご自身の完全な主権による契約を結びました。「わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、そしてあなたの後のあなたの子孫との間に、代々にわたる永遠の契約として立てる。わたしがあなたの神、あなたの後の子孫の神となるためである。わたしは、あなたが滞在している地、すなわちカナンを、あなたとあなたの後のあなたの子孫に永遠の所有として与える。わたしは、彼らの神となる。」

あなたが聖書を信じているなら、その「地」が誰のものかという議論はありません。イスラエル人がその中にいる、いないは何の違ひももたらしません。それは、.....の所有として与えられたのです。

聖書全体で最も注目すべき聖句の一つは、詩篇 105 篇です。その中には、イスラエルに対する計画への神ご自身のまっつき献身を示すことばが多く記されているからです。

「この方こそ、われらの神、主。そのさばきは全地にわたる。主は、ご自分の**契約**をとしえに覚えておられる。お命じになった**みことば**は千代にも及ぶ。その契約はアブラハムと結んだもの、イサクへの**誓い**。主はヤコブのためにそれをおきてとして立て、イスラエルに対する**永遠の契約**とされた。そのとき主は仰せられた。『わたしはあなたがたの相続地としてあなたに、カナン<sup>1</sup>の地を与える。』」

神がご自分の民イスラエルに与えた、イスラエルとも呼ばれるその地に関する神ご自身の献身のことばを、しっかりとらえてください。 **契約、みことば、誓い、おきて、永遠の契約**、です。

13. エレミヤ 30:3 に、終わりの日になされるユダヤ民族の相続地への.....についての数え切れない約束のうちの一つが記されています。「見よ。その日が来る。—主の御告げ— その日、わたしは、わたしの民イスラエルとユダの繁栄を元どおりにすると、主は言う。わたしは彼らをその先祖たちに与えた地に帰らせる。彼らはそれを所有する。」ある程度聖書の知識がある人なら、アブラハム、イサク、ヤコブに与えられた土地は、カナン<sup>1</sup>の地、イスラエルの地であるとわかります。
14. エレミヤ書は、イスラエルの帰還は非常に恐ろしく、抑圧と妨害となると言っています。ユダヤ民族のその地への帰還はすぐに.....を生み出すものではありません。反対に、それは彼らが経験したことのないほどの苦難のクライマックスとなるでしょう。しかし、彼らはその苦難から救われると約束されています。その地を出て救われるものではありません。
15. エゼキエル 36 章は神が.....を取り扱う第一の動機を明らかにしています。21 節はこう言っています。「わたしは、イスラエルの家<sup>2</sup>がその行った諸国の民の間で汚したわたしの聖なる名を惜しんだ。」神がイスラエルを取り扱っているのは、ユダヤ民族のためにではなく、ご自身の名のゆえです。
16. 24 節で神は言われています。「わたしはあなたがたを諸国の民の間から連れ出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。」彼らがそこにいる、いないにかかわらず、その地

はイスラエルのものです。神が.....の所有として彼らに与えたからです。

17. 25 節は神による回復のプロセスの次の段階へと続きます。「わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよめられる。わたしはすべての偶像の汚れからあなたがたをきよめ…」 神はきよめと回復をもたらすために、彼らに神のことばというきよい水をふりかける前の、まだ.....ときに彼らは集められるということに注目してください。
18. エゼキエル 36:26 はこう続いています。「あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。」 例外であった人がいたとしても、何世紀にもわたる離散の間、ユダヤ民族は神のさばきという石の.....を持っていました。石の心は聖霊に応答することが不可能ですが、今、神はその石の心を取り除き、肉の心とイエシュア、イエスに対する態度の興奮すべき変化の一つを与えておられます。
19. 27 節で神はイスラエルにこのように言っています。「わたしの霊をあなたがたのうちに授け、わたしのおきてに従って歩ませ、わたしの定めを守り行わせる。」 これは、神のおきてを守ることを可能にする、聖霊の.....のことを言っています。
20. 28 節でこれまでの段階すべてのクライマックスの時が来ます。「あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住み、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。」 たとえ、あなたがユダヤ人に批判的であったとしても、.....が働き、私たちの目の前でこのみことばが成就するのを見るとき、私たちは受け入れなければなりません。
21. 原語のヘブル語では、エゼキエル 36:23-30 の中で神は「わたしは～する。」と.....回言っています。神は主権者であり、段階的にすべてのことを成し遂げられます。

### 現在成就されつつある預言

22. イザヤ 11:11 で、神は最初に集められることが起こる前に、.....の集めがあると預言しています。この第二の集めは数か所からではなく、まさに世界中から集められます。
23. イザヤは「国々のために旗を上げ」(イザヤ 11:12)と言っています。.....は神がみことばを

成就した国々へのしるしです。神はご自身の契約を守る、と全世界の前で確証しています。イスラエルを彼らの地へ回復することによって、神はおよそ 3800 年前にアブラハムと結んだ契約を守られるのです。

24. 契約を守るという神の誠実さは、私たちクリスチャンにとって非常に重要なことです。なぜなら、私たちの神との関係は.....の血によって結ばれた契約に基づいているからです。神は契約を破るお方ではありません。神は契約を結び、その契約を守られます。

25. ヨエル 3 章は、国々への神のさばきについて語っており、2 節の最後に、神の.....を分け取った者たちは神の怒りに遭うと言っています。

### **すべての背後にある本当に問題は何なのか？**

このセクションの背景となる、マタイ 23:37-39 を見てみましょう。

*ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。見なさい。あなたがたの家は荒れ果てたままに残される。あなたがたに告げます。「祝福あれ。主の御名によって来られる方に」とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。*

37 節で「あなたがたはそれを好まなかった。」と言っており、それが特定の人々の集団であることが表わされています。38 節の「家」とは、宮のことで、イエスがこのことばを語っている一世代の間に、その宮は紀元 70 年ローマによって完全に荒れ果ててしまいました。

39 節でイエスはユダヤ民族がご自分を喜んで迎える準備ができるまでは、彼らはわたしを見ることにはないと言っています。イエスはご自分が戻って来られる前にユダヤ民族の心を整えなければなりません。これについて重要なことは、再臨の時、メシヤなるイエスをその場所で迎えることができるように、ユダヤ民族がイスラエルとエルサレムで回復される必要があるということです。

26. ゼカリヤ 12:10 にこうあります。「わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。」

(ア) 聖霊によって、ご自身の民ユダヤ人に対して、イエスがどのようなお方であるかの.....  
が訪れます。

(イ) そして、イスラエルの歴史において経験したことのないほどの.....があります。その時  
初めて彼らは、「自分たちがメシヤを十字架につけた。私たちは自分たちの神を拒絶した。」  
と気づきます。

27. もし、そのマタイの福音書とゼカリヤ書の聖句を一つにするなら、主が戻って来られる前に特定の  
ことが回復されなければならないと気づきます。.....民族がエルサレムとイスラエルの地  
で回復されなければなりません。主イエスは彼らが回復されるまで戻って来られないからです。  
そして、ご自身へと人々の心を立ち返らせるイエスの超自然的な啓示がなければなりません。

28. この時代の神であるサタンが最も恐れていることは、.....の再臨です。イエスが戻って来  
られるまでは、サタンは多くの戦いに敗れても、敵意は失いません。その敵意はイエスの再臨ま  
で変わることはありません。

29. サタンが最も圧力をかけてくる状況とは、イエスの再臨にふさわしいすべての条件が整えられるこ  
とに対してです。ユダヤ民族は、イエスが戻って来られる前に自分たちの都として.....  
にいて、その地を占領していなければなりません。ですから、サタンは主を連れ戻すシナリオの準  
備の妨害となり得るあらゆることをしているのです。

30. イエスは戻って来られる時、すべての国々を集め、イスラエルの地のために神の要求にどのよう  
に応答したかに基づいて、国々を.....ます。

この重要なメッセージの締めくくりとして、主の前に静まりましょう。

天の父よ、あなたの民イスラエルの驚くべき重要性を理解できるように助けteくださったことを  
感謝します。あなたが彼らとの契約を守り続けてくださっていること、そしてあなたは彼らへの約  
束のすべてを成就してくださることを感謝します。もし、ユダヤ民族に対する考え方や態度、言  
動で、私に悔い改める必要があるなら、それに気づくことができるよう私の心を聖霊に敏感にさ  
せてください。私の無関心を赦してくださり、私がエルサレムの平和のために祈り、主の再臨の  
ための備えとして、ユダヤ人の正当な相続のために彼らの帰還の支援を積極的に行なうこと  
ができるように助けteてください。イエスの御名によって。アーメン。

## 設問の答え

## 第1課 十字架のみわざ

1. イエス
2. 聖なる
3. 十字架
4. (ア) 永遠 (イ) 聖霊 (ウ) 父 (エ) 十字架
5. 完全
6. 何もありません
7. 交換
8. イエス
9. 影響/結果
10. 罰せ
11. いやされる
12. 罪
13. いのち
14. (ア) 感情 (イ) 疾患/病気 (ウ) 流産 (エ) 結婚  
(オ) 経済 (カ) 事故 (キ) 早死に
15. のろい
16. イエス
17. 豊かさ
18. 恥
19. (ア) 外側 (イ) 愛
20. 拒絶

問題数 - 30 問

## 第2課 「土台を据える」 第一回：岩の上に建てる

1. 建物
2. 主
3. (ア) 大きさ (イ) 重量
4. イエス
5. 対比
6. (ア) 対面 (イ) 啓示 (ウ) 認める (エ) 告白
7. (ア) 聞くこと (イ) 行なうこと
8. (ア) 伝統 (イ) 偏見 (ウ) 先入観 (エ) 不信仰 (オ) 反抗
9. 書き記された
10. 人
11. (ア) 世 (イ) 神 (ウ) 弟子たち (エ) キリスト (オ) 父

問題数 - 24 問

### 第3課 「土台を据える」 第二回：神のことばの権威と力

1. 著者
2. すべて
3. 聖霊
4. (ア) 人間 (イ) メッセージ (ウ) 火
5. 廃棄
6. 疑わ
7. 聖書
8. ことば
9. あなたがた
10. 聖霊
11. 教え
12. 時点
13. (ア) 約束 (イ) イエス (ウ) ことば (エ) 性質
14. (ア) 信仰 (イ) いのち (ウ) 食物 (エ) 思い (オ) a)救い b)全身  
(カ) サタン (キ) きよめ (ク) 鏡

問題数 - 27 問

## 第4課 「土台を据える」第三回：悔い改めから信仰へ

1. 信仰
2. 思い
3. 向きを変える
4. 信仰
5. (ア)我 (イ)決心 (ウ)向き
6. 後悔
7. 信仰
8. 悔い改めなさい
9. 信じなさい
10. 悔い改めなさい
11. 悔い改め
12. 命じておられます
13. さばき主
14. 神
15. すべて
16. 滅び
17. ことば
18. 心
19. 思い
20. 見えるもの
21. 信じ
22. 楽観主義者
23. 特徴
24. ためされる

問題数 26 問

## 第5課 「土台を据える」 第四回：信仰と行ない

1. (ア) 死なれた (イ) 葬られた (ウ) よみがえらせた
2. 義
3. 信じる
4. 行ない
5. 規則
6. 律法
7. 一致
8. 死
9. 高慢
10. 賜物
11. 行ない
12. のろわ
13. 迷わされ
14. 恵み
15. 律法
16. 愛
17. ことば
18. 律法
19. 行ない
20. 愛
21. 恐れ
22. 愛

問題数 - 24 問

## 第6課 「土台を据える」 第五回：水に浸かる

1. (ア) ヨハネ (イ) クリスチャン (ウ) 聖霊
2. (ア) ギリシャ (イ) 浸す
3. 変化
4. (ア) メシヤ (イ) 恵み
5. (ア) 悔い改める (イ) 罪 (ウ) いのち
6. (ア) 誕生 (イ) クリスチャン
7. 悔い改め
8. 水
9. 正しいこと
10. 悔い改め
11. イエス
12. 死
13. (ア) 福音 (イ) ペンテコステ (ウ) 信じる (エ) 良心
14. 弟子
15. 時間
16. (ア) イエス (イ) 埋葬 (ウ) キリスト
17. (ア) 悔い改め (イ) キリスト
18. 信仰
19. 霊
20. 箱舟

問題数 - 33 問

## 7 課 「土台を据える」 第六回 : 聖霊に浸される

1. バプテスマを授ける方
2. バプテスマ
3. (ア) 天 (イ) 個人的 (ウ) 流れ出した
4. 口
5. 話し
6. (ア) 公 (イ) ご自身 (ウ) 保証
7. 御霊
8. (ア) 使徒たち (イ) 印(しるし) (ウ) 約束 (エ) 選択肢
9. (ア) 神 (イ) 手
10. (ア) あかし (イ) 一致
11. 中へ
12. 一致
13. 入り口
14. 現象
15. 消して
16. (ア) 悔い改め (イ) バプテスマ (ウ) 湯く (エ) イエス  
(オ) 飲ま (カ) 求め (キ) 舌

問題数 - 31 問

## 第8課 「土台を据える」第七回：神の力を伝える

1. 聖書
2. つながり
3. (ア) 伝える (イ) 委任
4. (ア) 承認 (イ) 聖別 (ウ) 支持 (エ) 整える
5. (ア) 右 (イ) 与え移し (ウ) 儀式 (エ) 運命
6. (ア) 聖別 (イ) 承認される (ウ) 整える
7. 手
8. 王
9. (ア) 未信者 (イ) 信者
10. 賜物
11. 任命
12. 使徒たち
13. 長老
14. 御霊/聖霊
15. 罪
16. 汚れ

問題数 - 26 問

## 第9課 「土台を据える」第八回：終末

1. 時
2. (ア) 物理的/物質的 (イ) 靈的
3. 住まい
4. 永遠
5. 都
6. 時間
7. 富
8. (ア) 約束 (イ) 預言的 (ウ) イエス (エ) くる
9. (ア) 隠された (イ) 現わされた
10. (ア) 悪 (イ) 歩む道 (ウ) 再臨 (エ) 御国 (オ) 教会
11. (ア) クリスチャン (イ) 反キリスト (ウ) サタン (エ) イスラエル (オ) 異邦人の  
(カ) 王国 (キ) 千年 (ク) 国々 (ケ) 地 (コ) さばき  
(サ) 天 (シ) 父

問題数 - 31 問

## 第10課 「土台を据える」 第九回：死者の復活

1. 復活
2. 霊
3. (ア) 人格 (イ) 人 (ウ) 地上 (エ) 自覚 (オ) 隔たり
4. (ア) たましい (イ) 義
5. (ア) 霊 (イ) たましい (ウ) からだ
6. 霊
7. 神
8. 復活
9. 死
10. (ア) 死者 (イ) かしら (ウ) 教会 (エ) 頭
11. (ア) いやしい (イ) からだ (ウ) 清く (エ) 時間
12. (ア) 死 (イ) 継続 (ウ) 変化 (エ) イエス
13. (ア) 朽ちない (イ) 不死 (ウ) 栄光 (エ) 強い (オ) 霊的
14. 死
15. (ア) イエス (イ) 義 (ウ) 保証 (エ) 完成 (オ) キリスト
16. (ア) キリスト (イ) 再臨 (ウ) 復活

問題数 - 42 問

## 第11課 「土台を据える」第十回：永遠のさばき

1. さばき
2. (ア) 歴史 (イ) 永遠
3. (ア) 真理 (イ) 行ない (ウ) 人 (エ) 光 (オ) 隠れた
4. クリスチャン
5. (ア) 個人的/一人ひとり (イ) からだ (ウ) 中立 (エ) 有罪 (オ) 奉仕
6. (ア) 動機 (イ) 従順 (ウ) カ
7. (ア) 人生/いのち (イ) タラント (ウ) 賜物 (エ) 正しい (オ) 拒絶
8. イスラエル
9. 異邦人
10. イスラエル
11. 平安
12. 苦難
13. (ア) ユダヤ (イ) 分割
14. (ア) 羊 (イ) 山羊
15. 白い
16. いのち

問題数 - 33問

## 第12課 「のろいからの解放」 パート1

1. 超自然
2. 世代
3. ことば
4. 対象物/象徴する物
5. のろい
6. 声
7. (ア) 賞賛 (イ) 実り豊か (ウ) 健康 (エ) 繁栄 (オ) 勝利  
(カ) かしら (キ) 上
8. (ア) 屈辱 (イ) 不作 (ウ) 病 (エ) 貧困 (オ) 征服  
(カ) 尾 (キ) 下
9. (ア) 感情 (イ) 病 (ウ) 流産 (エ) 結婚 (オ) 経済  
(カ) 事故 (キ) 自殺
10. 原因
11. 祝福
12. のろい
13. (ア) 神 (イ) のろい (ウ) 偶像礼拝 (エ) 父母 (オ) 隣人  
(カ) 不正 (キ) 性的 (ク) ユダヤ (ケ) 心  
(コ) ① 盗む ② 偽りの誓い  
(サ) 十分の一 (シ) 福音

問題数 - 43 問

## 第13課 「のろいからの解放」 パート2

1. (ア) ヨシュア (イ) ダビデ (ウ) エリシャ (エ) イエス
2. 関係
3. (ア) 夫 (イ) 父母 (ウ) 教師
4. 課す
5. ことば
6. 否定的
7. 3
8. ユダヤ人
9. 契約
10. サタン
11. オカルト
12. (ア) 認識 (イ) 悔い改める (ウ) 放棄/廃棄 (エ) 抵抗
13. (ア) 贖って (イ) 血 (ウ) 父
14. 告白
15. 従順
16. 罪
17. 赦す
18. オカルト
19. イエス

問題数 - 29 問

## 第14課 「解放の基礎」 第一回：敵の見分け方

1. 3
2. 霊
3. 人
4. イエス
5. 現象
6. 悪魔
7. 病気/病人
8. シナゴーク/会堂
9. 病気
10. 伝道
11. (ア) 霊 (イ) 知識
12. 人格
13. (ア) 知る事 (イ) 仕える
14. (ア) 肉 (イ) 悪霊
15. (ア) 十字架 (イ) 吐き出す
16. (ア) 誘惑 (イ) 攻撃 (ウ) 苦しめ (エ) 脅迫 (オ) 奴隷  
(カ) 汚れ (キ) 偽り者 (ク) 殺し (ケ) 落ち着き
17. (ア) 感情 (イ) 思い (ウ) 舌 (エ) セックス/性 (オ) 欲  
(カ) 依存 (キ) オカルト (ク) 宗教 (ケ) 異端 (コ) からだ/肉体

問題数 - 38 問

## 第15課 「解放の基礎」 第二回：敵を吐き出す

1. (ア) 家族 (イ) 代、代 (ウ) 解放
2. 忌みきらわれる
3. (ア) 胎/お腹 (イ) 拒絶 (ウ) 妊娠
4. コントロール/支配
5. (ア) 防衛 (イ) ねたみ (ウ) 5
6. 弱さ
7. 罪深い
8. (ア) 謙遜 (イ) 告白 (ウ) 先祖  
(エ) ①解放 ②捨てる/廃棄 ③告白  
(オ) 秘密 (カ) ①赦して ②へりくだる/謝る (キ) 吐き出す
9. (ア) 悔い改める (イ) 必死 (ウ) 注目 (エ) オカルト (オ) 人間関係  
(カ) のろい (キ) 結婚 (ク) 水 (ケ) からだ
10. (ア) 空室 (イ) 賛美 (ウ) 武具 (エ) ことば (オ) 悪魔  
(カ) 交わり (キ) 規律/訓練 (ク) イエス

問題数 - 40 問

## 第16課 「神のことば」 パート1

1. 神
2. (ア) 聖書 (イ) 人
3. ことば
4. 創造
5. 読む
6. 信じる
7. 信仰
8. (ア) 生きて (イ) カ (ウ) 鋭い (エ) 霊 (オ) 関節  
(カ) 判別
9. 高慢
10. (ア) 聞くこと (イ) 信仰
11. (ア) 種 (イ) ことば (ウ) 古い
12. 乳
13. (ア) 聖書 (イ) 祈る (ウ) 告白 (エ) 交わり
14. パン
15. (ア) 赤ちゃん (イ) 食物
16. 精神的
17. からだ/肉体
18. (ア) みことば (イ) いやされる (ウ) 助け出される
19. (ア) 注意 (イ) 傾ける (ウ) 目 (エ) 心
20. 全身

問題数 - 38 問

## 第17課 「神のことば」 パート2

1. (ア) ことば (イ) 耳 (エ) 目 (オ) 心
2. 罪
3. 道
4. サタン
5. 剣
6. とどめて
7. (ア) 小羊 (イ) あかし (ウ) 死
8. 聖
9. 鏡
10. 栄光
11. 聖霊
12. 支払った
13. 愛する
14. (ア) 貧しい (イ) 悔いた (ウ) おののく
15. (ア) 貧しい (イ) 恐れる (ウ) 親しく
16. 選ば
17. 悔い改め
18. 行なう
19. 暗記

問題数 - 28 問

## 第 18 課 「御霊の賜物を用いる」 第一回 : 聖霊を受ける

1. (ア) 復活 (イ) ペンテコステ
2. 日曜日
3. 手
4. フルート
5. 救い
6. 型
7. 息
8. 約束
9. 父
10. カ
11. (ア) 浸され (イ) 満たされ (ウ) 御霊
12. (ア) カ (イ) 超自然 (ウ) あかし (エ) 聖書 (オ) 人  
(カ) バプテスマ
13. 命令
14. ペンテコステ
15. 異言
16. 聖霊
17. 話す
18. (ア) 体験 (イ) バプテスマ
19. 神
20. 川
21. イエス
22. 口
23. 超自然的
24. 私たち
25. 信仰

問題数 - 34 問

## 第 19 課 「御霊の賜物を用いる」 第二回 : 解き明かしと預言

1. 現われ
2. みな/全員
3. (ア) 知恵 (イ) 知識 (ウ) 霊
4. (ア) 信仰 (イ) いやし (ウ) 奇蹟
5. (ア) 預言 (イ) 異言 (ウ) 解き明かし
6. 賜物
7. 愛
8. おもちや
9. 賜物
10. あなた自身/その人自身
11. 熱心に
12. 徳を高める
13. (ア) 神 (イ) 奥義 (ウ) 高め
14. (ア) 解き明かし (イ) 未信者 (ウ) 悪 (エ) 礼拝
15. 異言
16. 解き明かし
17. 人間
18. 知らない/理解できない

問題数 - 29 問

## 第 20 課 「御霊の賜物を用いる」 第三回 : 力と啓示の賜物

1. (ア) 救い (イ) 実 (ウ) 賜物
2. 神
3. 信仰
4. 質
5. からし
6. (ア) 賜物 (イ) いやし
7. 病気
8. 健康
9. 力
10. いやし
11. 瞬間的
12. 信仰
13. 超自然
14. 指示的
15. 見分ける

問題数 - 18 問

## 第 21 課 「御霊の賜物を用いる」 第四回 : 宣言の力

1. 叫ぶ
2. 同じ
3. 口
4. 祭司
5. 権威
6. 戦い
7. おふれ
8. おふれ
9. (ア) 可能性 (イ) 恐れた (ウ) 権威
10. 聖書
11. 息
12. 天
13. 息
14. 霊
15. 心
16. (ア) さばき主 (イ) 住んで
17. 聖徒
18. さばく
19. 神
20. 宣言
21. 神
22. 個人的

問題数 - 25 問

## 第 22 課 感謝、賛美、礼拝

1. 感謝
2. 賛美
3. 礼拝
4. 感謝
5. 恵み
6. 感謝
7. 境界線
8. 御霊/聖霊
9. すべてのこと
10. 感謝をささげる
11. 門
12. (ア) いくしみ深い (イ) 恵み (ウ) 真実
13. 救い
14. 感謝
15. 神
16. 汚れた
17. つぶやき
18. 偉大さ
19. 救い
20. 御座
21. 凱旋/パレード
22. 賛美
23. たましい
24. 舌
25. 憂い
26. いけにえ
27. 神
28. 武器
29. 子どもたち

30. 力
31. 救い
32. 勝利
33. いけにえ
34. 地震
35. (ア) 日ごと (イ) あらゆる
36. (ア) 心 (イ) 両手 (ウ) ささげ物 (エ) 踊り (オ) タンバリン
37. (ア) 被造物 (イ) 息
38. 死人
39. (ア) 垂れる (イ) からだ (ウ) 手のひら (エ) ひざまずく (オ) 伏す
40. 礼拝
41. 奉仕
42. ひれ伏し
43. 賛美
44. 聖書
45. 姿勢
46. 神
47. 声
48. まこと
49. 霊
50. 全部
51. 礼拝
52. 香り
53. 火
54. からだ
55. 一致

問題数 - 68 問

## 第23課 血潮の適用

1. 信者
2. サタン
3. (ア) 小羊 (イ) あかし (ウ) 献身
4. いのち
5. 思い
6. 父親
7. 過越し
8. 鉢
9. 血
10. イスラエル
11. 家
12. 従順
13. あかし
14. ヒソブ
15. 告白
16. 血
17. あがなわれ
18. 言わ
19. 交わり
20. きよめ
21. 義とされている
22. 義
23. 救い
24. 聖さ
25. (ア) 罪 (イ) 聖
26. 懲らしめ
27. 血
28. あがなう
29. いのち

- 30. 死
- 31. からだ
- 32. (ア) 記念                      (イ) 宣言
- 33. 十字架
- 34. (ア) シオン      (イ) エルサレム      (ウ) 御使いたち      (エ) 教会      (オ) 審判者  
    (カ) 全う      (キ) 契約      (ク) 注ぎかけ
- 35. 患難
- 36. 七

問題数 - 47 問

## 第 24 課 いやしを妨げるもの

1. ことば
2. 十字架
3. 無知
4. 罪
5. 悪
6. 成功
7. 告白
8. あわれみ
9. 何らかの思い/怒り
10. 祈る
11. だれか/他の人
12. 感情
13. カナン
14. 神々
15. オカルト
16. (ア) 精神的      (イ) 病気      (ウ) 流産      (エ) 結婚      (オ) 経済的  
    (カ) 事故      (キ) 自殺
17. 手
18. 神

問題数 - 24 問

## 第 25 課 「私たちが直面する敵」 第一回 : サタンの王国の構造

1. 敵対
2. (ア) 王国 (イ) 神
3. 悪霊
4. 神
5. (ア) 格闘 (イ) 人格 (ウ) 信用 (エ) 権威 (オ) 制圧  
(カ) 暗闇 (キ) 軍
6. 光
7. 等しく
8. 等しい
9. 反抗
10. 野望/野心
11. 音楽
12. 造られた
13. 不正
14. 高慢
15. (ア) 最初 (イ) 御使い (ウ) 天 (エ) 正しい (オ) 断食  
(カ) 最初 (キ) 土地 (ク) 大天使/第一の君 (ケ) 王たち (コ) ペルシャ  
(サ) サタン
16. (ア) バビロン (イ) ペルシャ (ウ) ギリシャ (エ) ローマ
17. 祈る
18. 反抗
19. (ア) 反抗 (イ) 心 (ウ) イエス (エ) 空中
20. 高慢
21. (ア) 支配 (イ) 礼拝

問題数 - 45 問

## 第 26 課 「私たちが直面する敵」 第二回 : 魔術の性質

1. 反抗
2. (ア) 魔術 (イ) 従わない
3. コントロール
4. (ア) 操り (イ) 脅迫 (ウ) 支配
5. 罪悪感
6. 支持
7. 願望
8. サタン
9. (ア) (黒)魔術 (イ) 占い (ウ) (白)魔術
10. 戦い
11. 真実
12. 不品行
13. 迷わされ
14. 十字架
15. (ア) 肉の欲 (イ) 律法主義
16. のろい
17. 規則
18. (ア) 十字架 (イ) かしら
19. 教会
20. (ア) 備え (イ) 敗北 (ウ) 犠牲

問題数 - 29 問

## 第 27 課 「私たちが直面する敵」 第三回 :反キリストの霊

1. キリスト
2. (ア) 反対する/反抗する (イ) 代わり
3. イエス
4. 選択
5. (ア) 反キリスト (イ) 霊 (ウ) すべて
6. (ア) 神 (イ) 否定 (ウ) 父 (エ) 来られた
7. (ア) 民 (イ) 否定 (ウ) 神格 (エ) メシヤ
8. バラバ
9. 反キリスト
10. 歴史
11. (ア) 十字架 (イ) 御子 (ウ) 関係
12. 偽
13. 再臨
14. 主
15. 再臨
16. ことば
17. 背教
18. (ア) 不法 (イ) 滅び
19. 獣
20. 礼拝
21. 神
22. 聖徒たち
23. 十字架
24. 人間/人類
25. 小羊
26. 三位一体
27. 小羊
28. 性質
29. 巻物
30. 獣

問題数 - 42 問

## 第 28 課 「私たちが直面する敵」 第四回 : 教会の勝利

1. 勝利
2. 肯定的
3. 十字架
4. いのち
5. 敗北
6. 完了
7. (ア) 解除 (イ) 凱旋 (ウ) 罪悪感 (エ) 義 (オ) 信仰
8. 有罪
9. (ア) 霊的 (イ) 思い (ウ) 導く
10. 分裂
11. 分裂
12. 肯定
13. 聖書
14. さばき主
15. ことば
16. 聖書
17. プレッシャー
18. 従順
19. エプロン
20. 謙遜
21. 断食
22. たましい
23. とら
24. (ア) 真理 (イ) 正義 (ウ) 平和 (エ) 救い (オ) ことば  
(カ) 祈り
25. 背中
26. 力
27. 十字架
28. 十字架
29. 神学

- 30. 知恵
- 31. 武器
- 32. 目的
- 33. 賛美
- 34. 力
- 35. あかし

**問題数 - 47 問**

## 第 29 課 2つの収穫

1. 谷
2. ナイル
3. 管理
4. 神
5. 雨
6. 乾期(夏)
7. (ア) 先 (イ) 冬 (ウ) 発芽/成長
8. 収穫
9. オリーブ
10. 賜物
11. 雨
12. 聖霊
13. 御国
14. 神
15. 数週
16. 眠って
17. 回復
18. 後
19. 霊
20. 注ぐ
21. 人
22. 世
23. 霊的
24. 主
25. (ア) 後 (イ) 収穫 (ウ) 主
26. 幻
27. 刈り入れ
28. 幻
29. 弟子たち
30. (ア) おとめたち (イ) しもべ (ウ) 国々

31. (ア) イエス (イ) 乾いて (ウ) かま (エ) あわれみ  
32. (ア) 御使い (イ) 怒り  
33. 赦す  
34. (ア) 白い (イ) 赤い (ウ) 黒い (エ) 青ざめた

問題数 - 47 問

## 第30課 なぜイスラエル

1. イスラエル
2. 2500
3. 教会
4. 3
5. 贖い出し
6. 国
7. (ア) 子 (イ) 栄光 (ウ) 契約 (エ) 律法 (オ) 礼拝  
(カ) 約束 (キ) イスラエル (ク) メシヤ
8. ユダヤ
9. ユダヤ人
10. (ア) エジプト (イ) 救い出し (ウ) カナン (エ) 偶像礼拝 (オ) 礼拝  
(カ) アッシリヤ (キ) バビロン (ク) 神殿 (ケ) 残りの者 (コ) 第二  
(サ) 国々 (シ) 異邦人 (ス) 国々 (セ) エルサレム (ソ) メシヤ  
(タ) 来られる/再臨する
11. カナン
12. 永遠
13. 帰還
14. 平和
15. イスラエル
16. 永遠
17. 汚れている
18. 心
19. バプテスマ
20. 神
21. 18
22. 第二
23. 旗
24. イエス
25. 地

- 26. (ア) 啓示 (イ) 嘆き
- 27. ユダヤ
- 28. イエス
- 29. エルサレム
- 30. さばき

**問題数 - 53 問**

## デレク・プリンスについて

デレク・プリンス氏（1915–2003）はイギリス人両親のもと、インドで生まれました。その後、イギリスのイートン大学とケンブリッジ大学にてギリシャ語、ラテン語の学者となり、キングズ・カレッジでは、古代哲学と近代哲学の研究会を設立しました。数か国語を習得する中、ケンブリッジ大学やエルサレムのヘブライ大学にてヘブル語とアラム語を学びました。

第二次世界大戦中、英国陸軍に従軍中に聖書を学び、彼の人生を変えるイエス・キリストとの出会いを体験します。この体験を通して、イエスが今も生きておられること、そして聖書が時代を超えて真理を語っていることに気づきます。この二つの発見が、彼の人生の航路を大きく変え、後に、聖書の研究と神のみことばを教えることに人生を捧げることとなりました。

デレク氏の明確かつ簡潔な聖書の教えは、これまでに何百万という人々の信仰の霊的な糧となってきました。教会や教派間の違いを超えた彼の聖書の教えは、人種や宗教的背景の違いを超えて、どのような人にも理解しやすく、人々の霊的成長のために素晴らしく用いられてきました。

これまでに 80 冊以上の本を執筆し、600 本ものオーディオ教材、110 本のビデオ教材があり、それらは 100 か国語以上に翻訳され、出版されています。彼のラジオ放送はアラビア語、中国語（アモイ方言、広東語、標準中国語、上海語、汕頭語）、クロアチア語、ドイツ語、マラガシ語、モンゴル語、ロシア語、サモア語、スペイン語、バハサ・インドネシア語、トンガ語に翻訳され、現在も世界中の各国で多くの人々のもとに届けられています。

デレク・プリンス ミニストリー（Derek Prince Ministries）では、140 か国以上の国々でクリスチャンたちにデレク氏の聖書の教えを届けており、イエスの戻られる時まで、主のみこころである世界宣教のために、これからも働き続けていきます。

この働きは、オーストラリア、中国、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、ネパール、オランダ、ニュージーランド、ノルウエー、パキスタン、ロシア、南アフリカ、スイス、イギリス、アメリカ、太平洋の島々など、世界 30 か国以上のデレク・プリンス・オフィスを通してなされています。

この働きについて、また他の国々についての情報は、[www.derekprince.com](http://www.derekprince.com) で知ることができます。

## **DPM オフィス**

デレク・プリンス・ミニストリーズについて詳しい情報、教材をご希望の方は、お近くのDPMオフィスにお問い合わせください。

### **DPM-オーストラリア**

enquiries@au.derekprince.com  
www.derekprince.com.au

### **DPM-東アフリカ**

www.dpmeastafrica.org  
dpmeastafrica@gmail.com

### **DPM-インド**

www.derekprince.in

### **DPM-インドネシア**

www.derekprinceindonesia.org

### **DPM-ニュージーランド**

enquiries@dpm.co.nz  
www.derekprince.co.nz

### **DPM-イギリス**

enquiries@dpmuk.org  
www.dpmuk.org

### **DPM-アメリカ**

contactus@derekprince.org  
www.derekprince.org

